

令和7年度  
沼津市高齢者の生活と意識に関する調査  
報告書

令和8年3月  
沼津市



# 目次

<b>I. 調査概要</b>	<b>1</b>
1. 調査の目的	1
2. 調査の内容	1
3. 調査の方法	1
4. 回収状況	2
5. 注意事項	2
<b>II. 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】</b>	<b>3</b>
(1) あなたのご家族や生活状況について	3
(2) からだを動かすことについて	16
(3) 食べることについて	30
(4) 毎日の生活について	46
(5) 地域での活動について	58
(6) あなたとまわりの人の「たすけあい」について	78
(7) 健康について	86
(8) 認知症にかかる相談窓口の把握について	98
(9) その他について	104
(10) 日常生活圏域ごとの高齢者の身体機能の状況の分析	118
<b>III. 調査結果【在宅介護実態調査】</b>	<b>125</b>
A票 調査対象者様ご本人について、お伺いします。	125
(1) あなたのご家族や生活について	125
(2) 介護・介助の状況について	136
(3) 在宅生活について	166
B票 主な介護者の方について、お伺いします。	170
(1) 主な介護者の状況について	170
(2) 主な介護者の就労について	180
(3) 支援について	186



## 調査概要



# I. 調査概要

## 1. 調査の目的

平成12年に介護保険制度がスタートし、その後も高齢者を取り巻く環境が、大きく変化し続けていることを受けて、令和4年度には第9期計画のための見直しが行われました。これらの動きの中で沼津市におけるサービス利用の実態を把握し、介護保険制度をより円滑に運営していくために役立てていくとともに、要介護認定を受けていない高齢者においても、ふだんの生活や健康などについてどのようなご意見を持っているかを把握することで、今後の高齢者保健福祉行政に役立てるために、アンケートを実施しました。

## 2. 調査の内容

### 【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

- (1) あなたのご家族や生活状況について
- (2) からだを動かすことについて
- (3) 食べることについて
- (4) 毎日の生活について
- (5) 地域での活動について
- (6) あなたとまわりの人の「たすけあい」について
- (7) 健康について
- (8) 認知症にかかる相談窓口の把握について
- (9) その他について
- (10) 日常生活圏域ごとの高齢者の身体機能の状況の分析

### 【在宅介護実態調査】

#### A票

- (1) あなたのご家族や生活について
- (2) 介護・介助の状況について
- (3) 在宅生活について

#### B票

- (1) 主な介護者の状況について
- (2) 主な介護者の就労について
- (3) 支援について

## 3. 調査の方法

調査対象：高齢者一般調査・・・沼津市在住の65歳以上の男女  
総合事業対象者調査・・・沼津市在住の総合事業対象認定を受けている男女  
在宅要支援認定者調査・・・沼津市在住の要支援認定を受けている男女  
在宅要介護認定者調査・・・沼津市在住の要介護認定を受けている男女

抽出方法：高齢者一般調査・・・1,500人を無作為抽出  
総合事業対象者調査・・・150人を無作為抽出  
在宅要支援認定者調査・・・800人を無作為抽出  
在宅要介護認定者調査・・・1,100人を無作為抽出

調査方法：郵送配布 郵送回収

調査期間：介護予防・日常生活圏域ニーズ調査  
令和7年11月20日～令和7年12月18日  
在宅介護実態調査  
令和7年11月20日～令和7年12月18日

#### 4. 回収状況

	発送数	回収数	有効回収数 <sup>1</sup>	有効回収率
高齢者一般調査	1,500通	1,043票	1,043票	69.5%
総合事業対象者調査	150通	74票	74票	49.3%
在宅要支援認定者調査	800通	595票	595票	74.4%
在宅要介護認定者調査	1,100通	656票	656票	59.6%

#### 5. 注意事項

- ①回答は各質問の回答者数(n)を基数とした百分率(%)で示してある。
- ②百分率は小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このため、百分率の合計が100%にならないことがある。
- ③1つの質問に2つ以上答えられる“複数回答可能”の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- ④スペースの関係上、一部設問、選択肢の文言を省略している箇所がある。

---

<sup>1</sup>有効回収数：回収票から全く回答がないもの（白票）を除いた数。

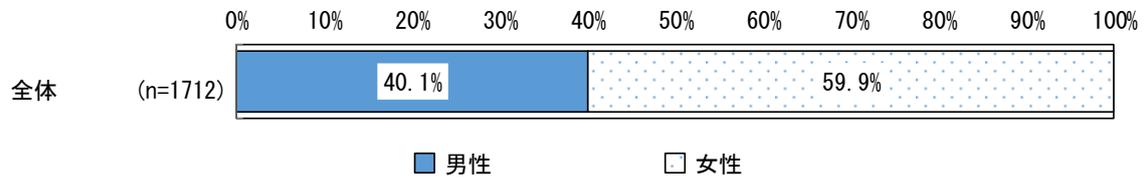
**調査結果**  
**【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】**



## Ⅱ. 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

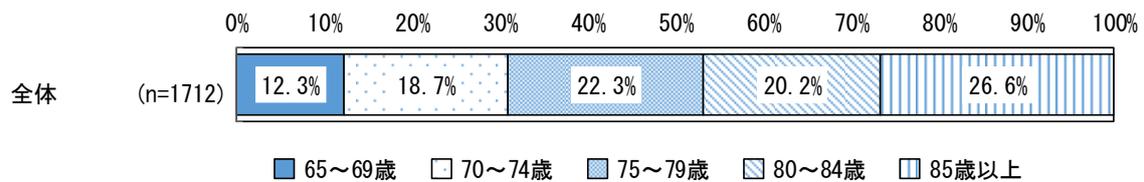
### (1) あなたのご家族や生活状況について

#### F 1 調査対象者の性別



性別においては、「男性」が40.1%、「女性」が59.9%となっています。

#### F 2 調査対象者の年齢

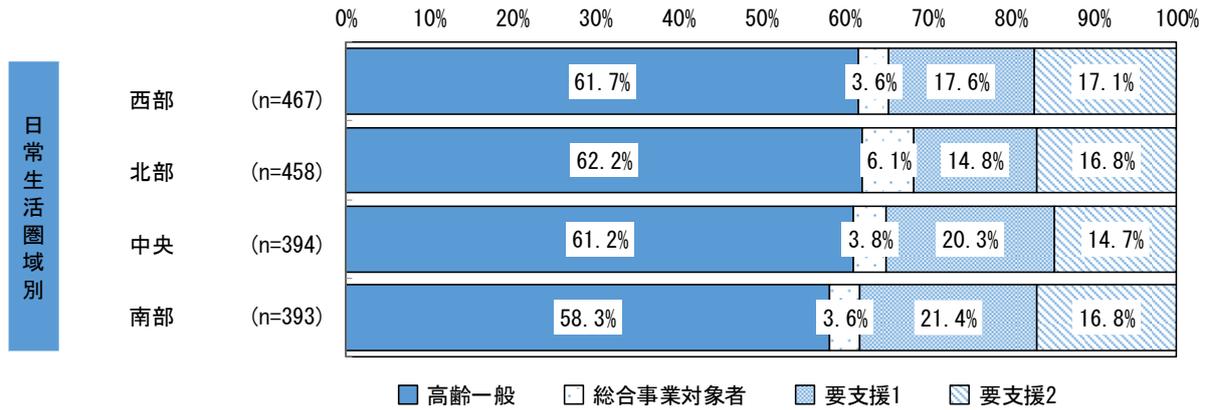


年齢においては、「85歳以上」が26.6%と最も多く、次いで「75～79歳」が22.3%、「80～84歳」が20.2%となっています。

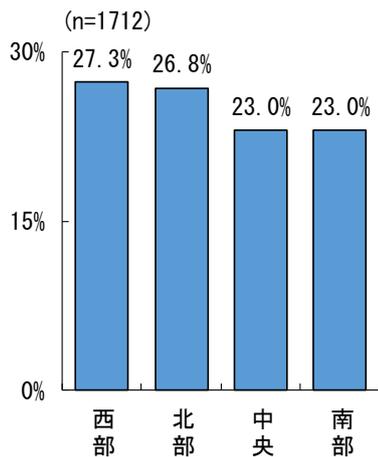
F 3 調査対象者の対象種別



対象種別においては、「高齢一般」が60.9%と最も多く、次いで「要支援1」が18.3%、「要支援2」が16.4%となっています。



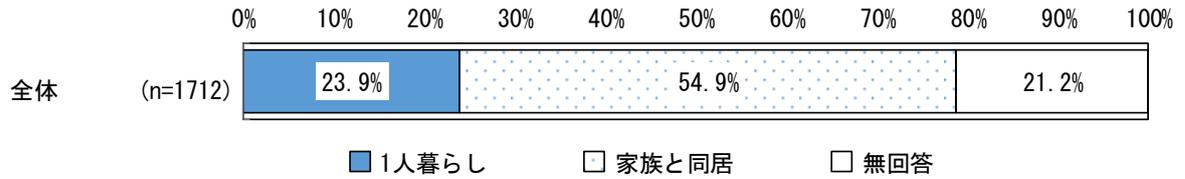
F 4 居住地区・日常生活圏域



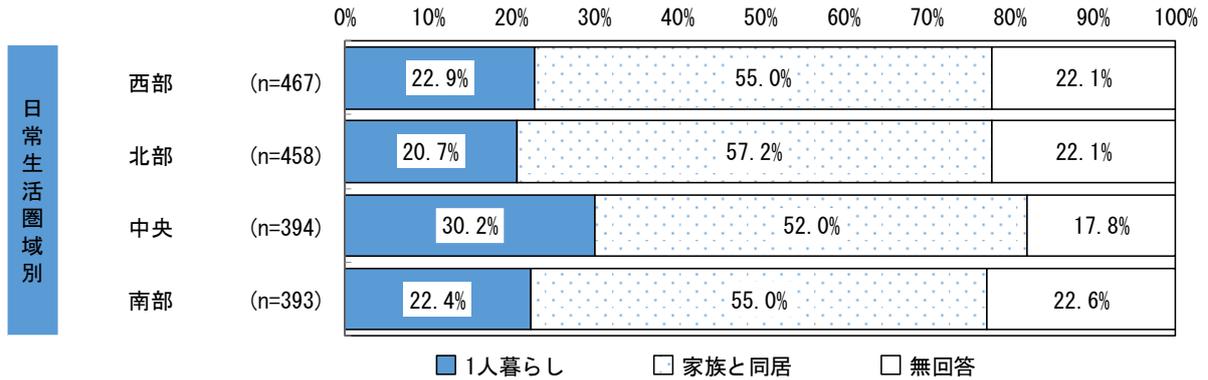
圏域名	居住地区名
西部	片浜・愛鷹・原・今沢・浮島
北部	金岡・大岡・門池
中央	第一・第二・第四・第五
南部	第三・静浦・内浦・大平・西浦・戸田

日常生活圏域においては、「西部」が27.3%と最も多く、次いで「北部」が26.8%、「中央」「南部」が23.0%となっています。

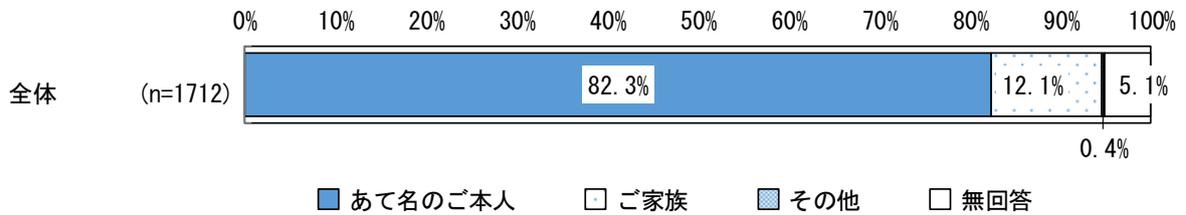
F 5 居住状況



居住状況においては、「家族と同居」が54.9%、「一人暮らし」が23.9%となっています。

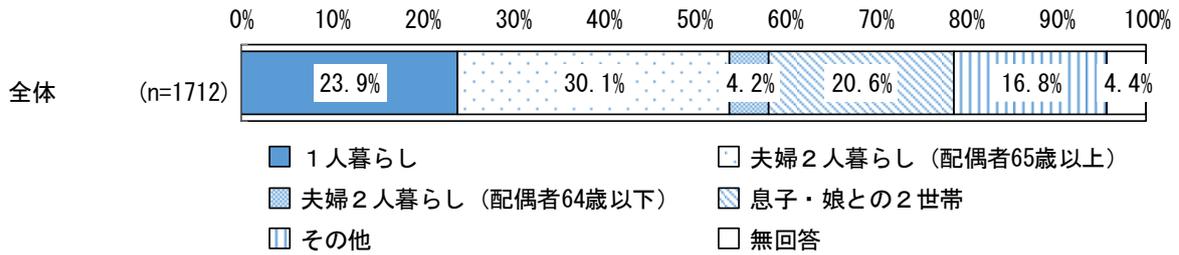


F 6 調査票の記入者



調査票の記入者においては、「あて名のご本人」が82.3%、「ご家族」が12.1%、「その他」が0.4%となっています。

問1 家族構成をお教えてください。(✓はひとつ)



「夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)」と答えた人がおよそ30%

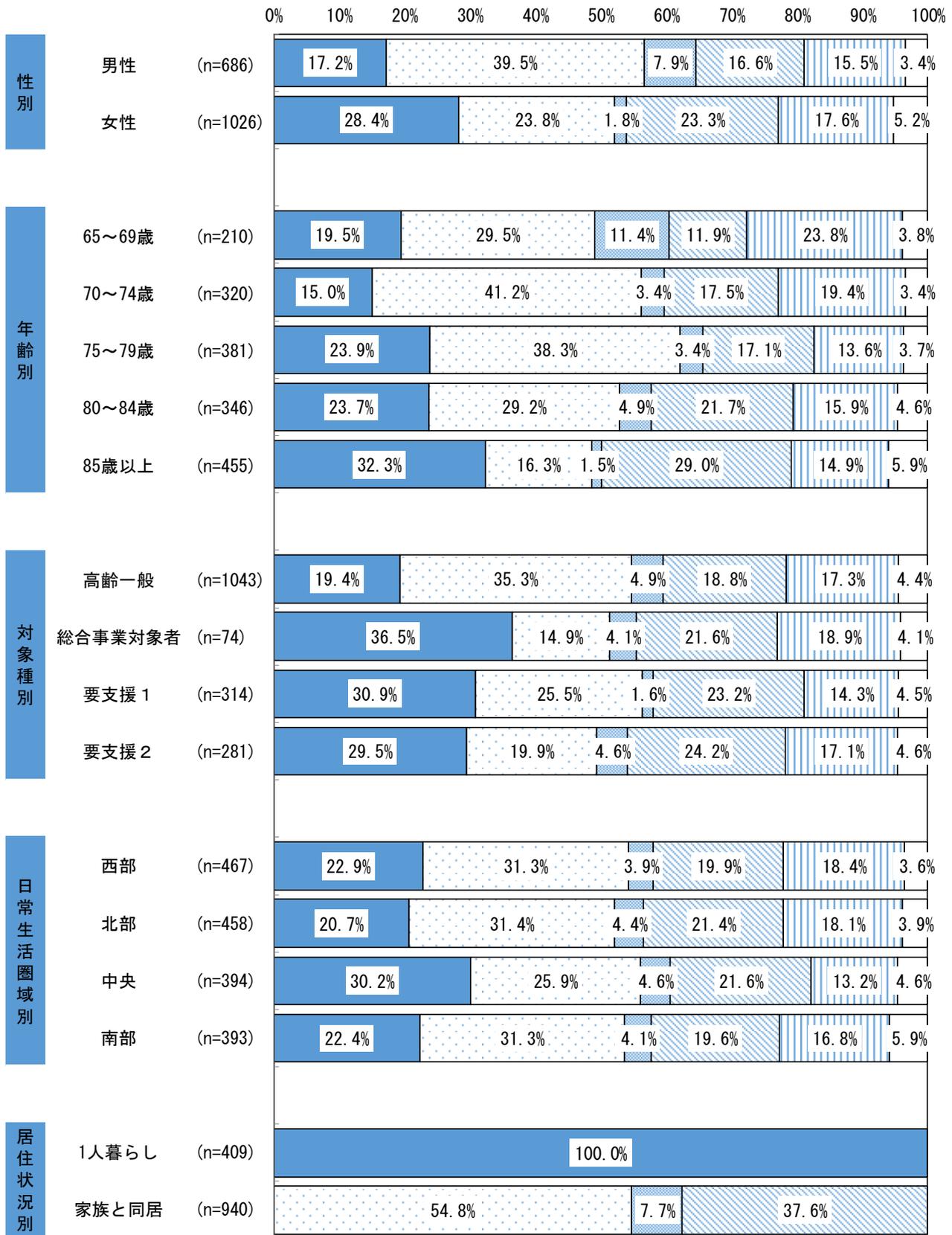
家族構成においては、「夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)」が30.1%と最も多く、次いで「1人暮らし」が23.9%、「息子・娘との2世帯」が20.6%となっています。

性別にみると、“女性”では、「1人暮らし」が28.4%と最も多くなっています。

年齢別にみると、“85歳以上”では「1人暮らし」が32.3%と最も多くなっています。

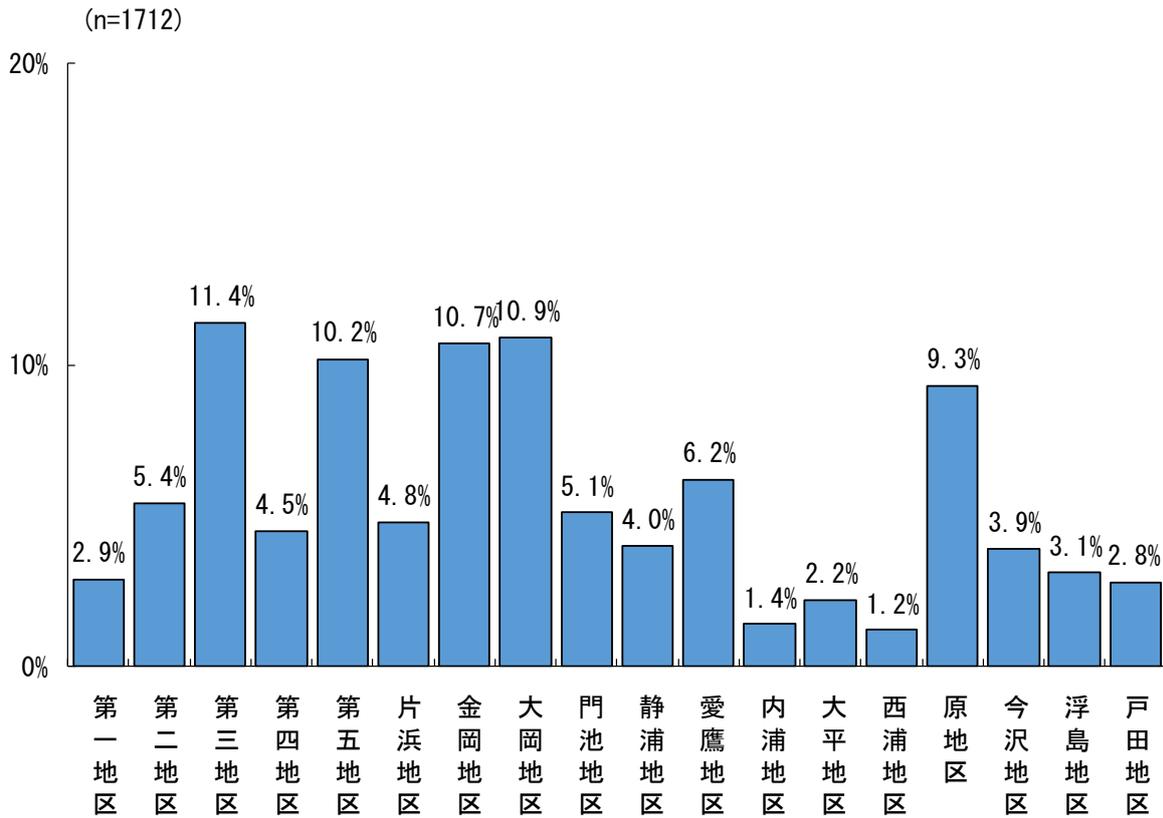
対象種別にみると、“総合事業対象者”、“要支援1”、“要支援2”では「1人暮らし」が最も多くなっています。

日常生活圏域別にみると、“中央”では、「1人暮らし」が30.2%と最も多くなっています。

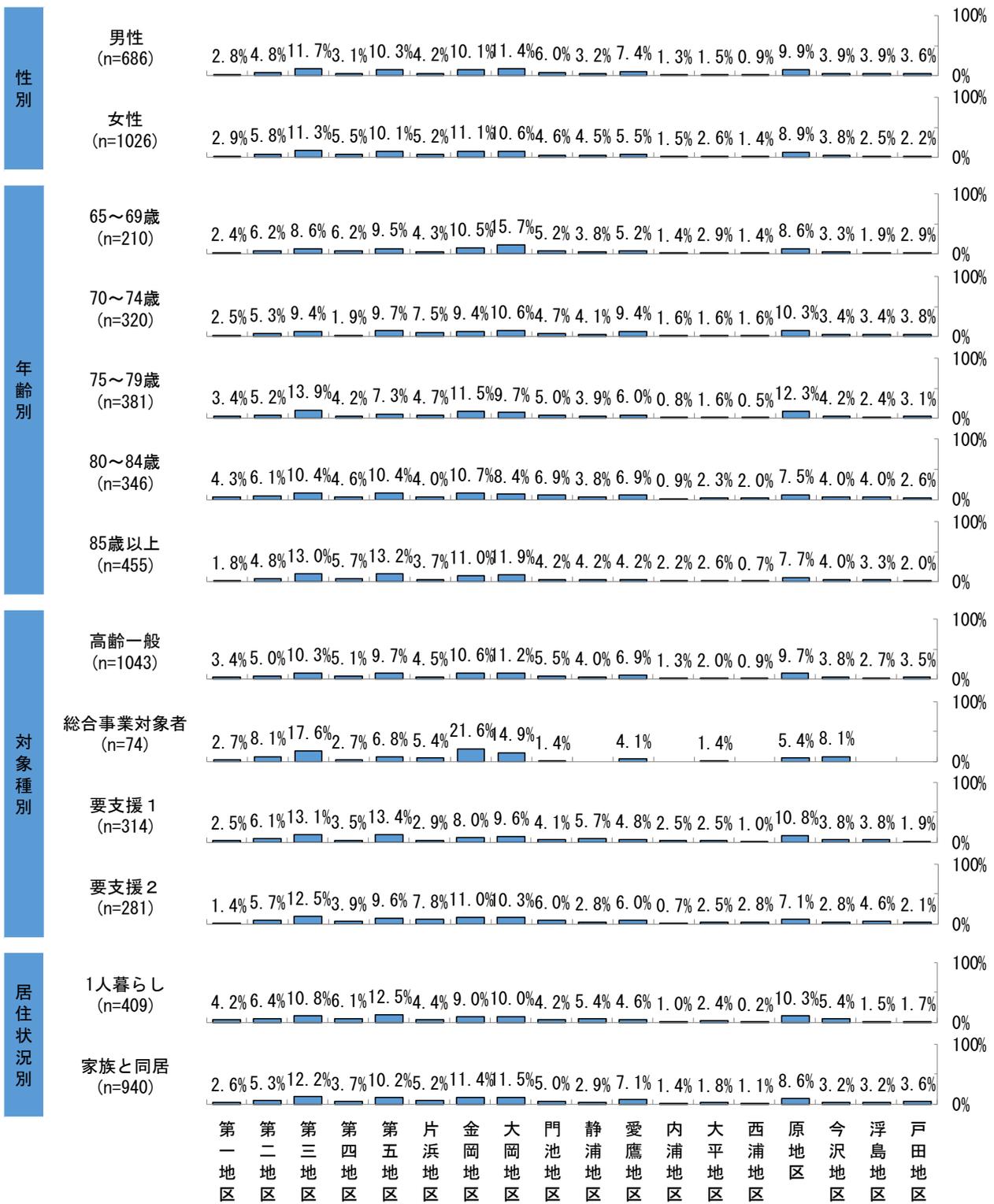


- 1人暮らし
- 夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)
- ▨ 夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)
- ▨ 息子・娘との2世帯
- ▨ その他
- 無回答

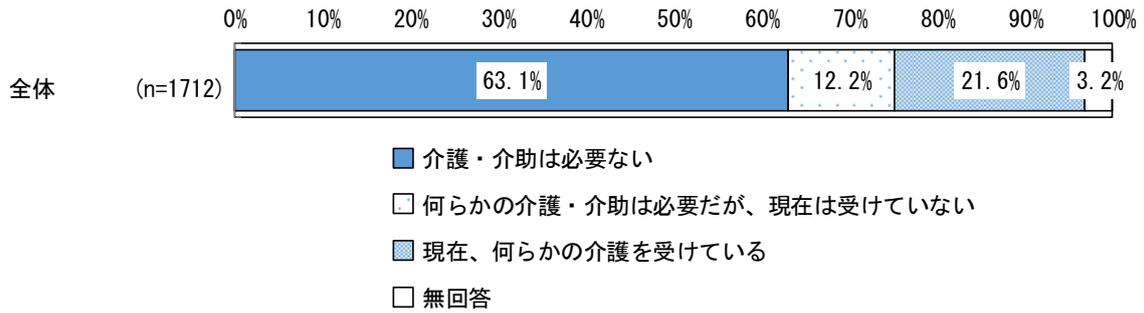
問2 あなたの住所地の地区をお教えてください。(✓はひとつ)



居住地区においては、「第三地区」が11.4%と最も多く、次いで「大岡地区」が10.9%、「金岡地区」が10.7%となっています。



問3 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(✓はひとつ)

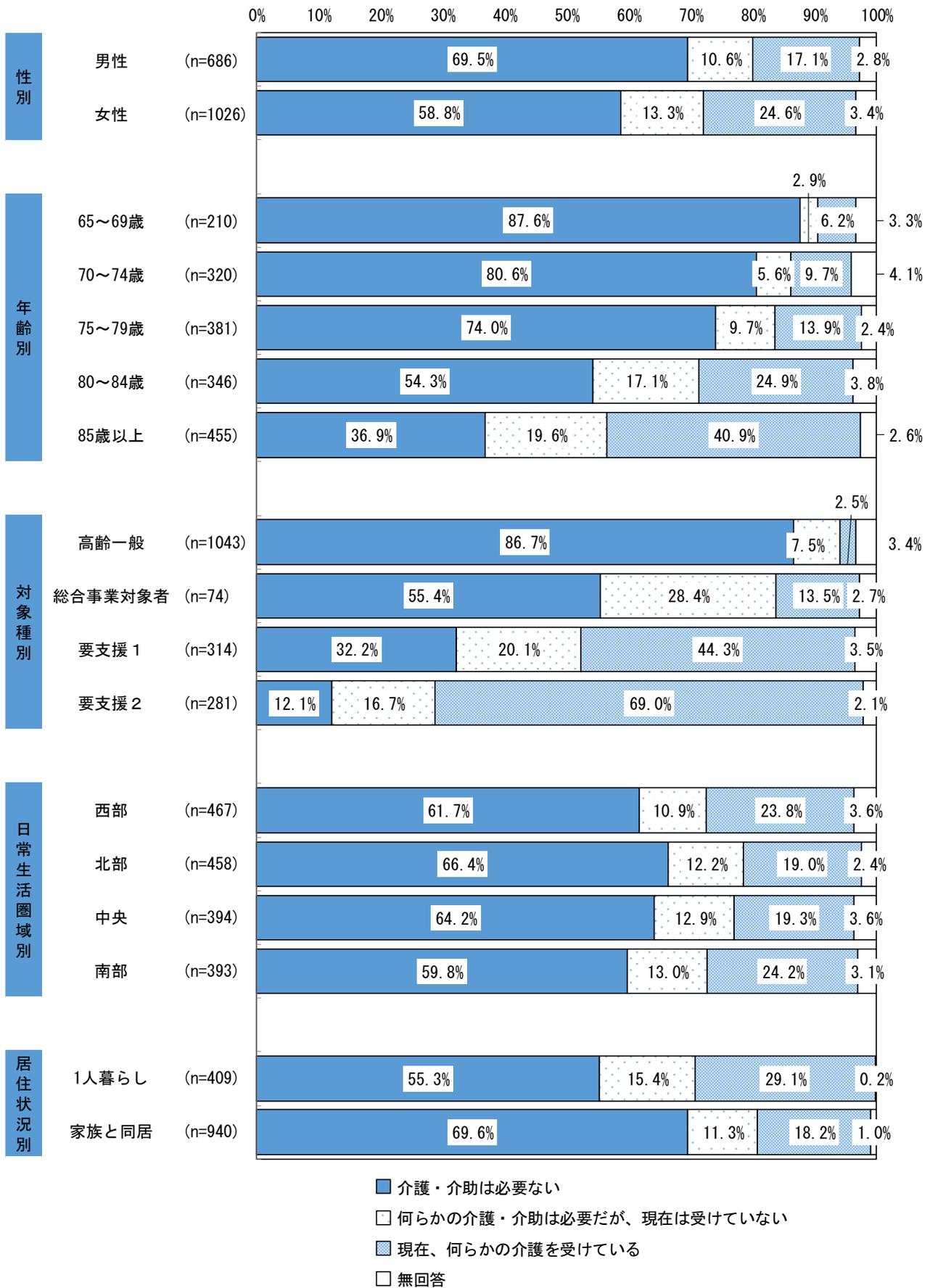


### 「介護・介助は必要ない」と答えた人がおよそ60%

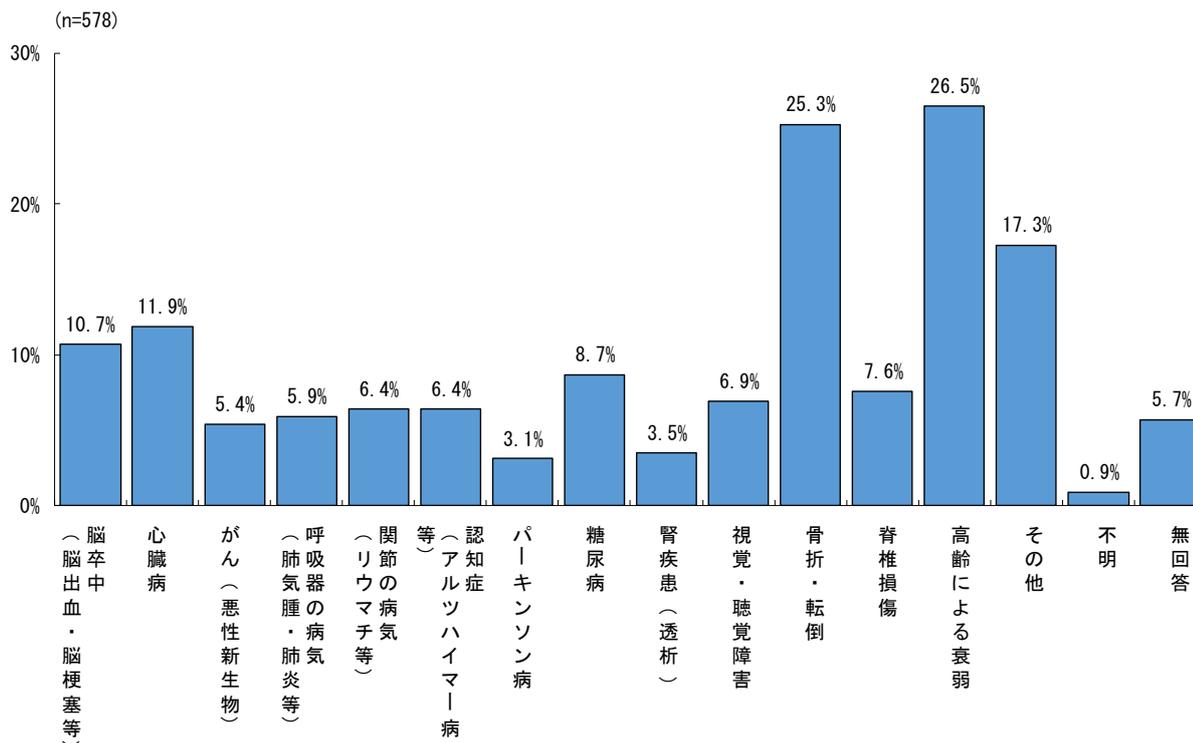
普段の生活で介護・介助が必要かにおいては、「介護・介助は必要ない」が63.1%と最も多く、次いで「現在、何らかの介護を受けている」が21.6%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が12.2%となっています。

年齢別にみると、“85歳以上”では「現在、何らかの介護を受けている」が40.9%と最も多くなっています。

対象種別にみると、“要支援1”、“要支援2”では「現在、何らかの介護を受けている」が最も多くなっています。



## 問4 介護・介助が必要となった主な原因は何ですか。(✓はいくつでも)




---

### 65～69歳では「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」がおよそ40%

---

「高齢による衰弱」が26.5%と最も多く、次いで「骨折・転倒」が25.3%となっています。

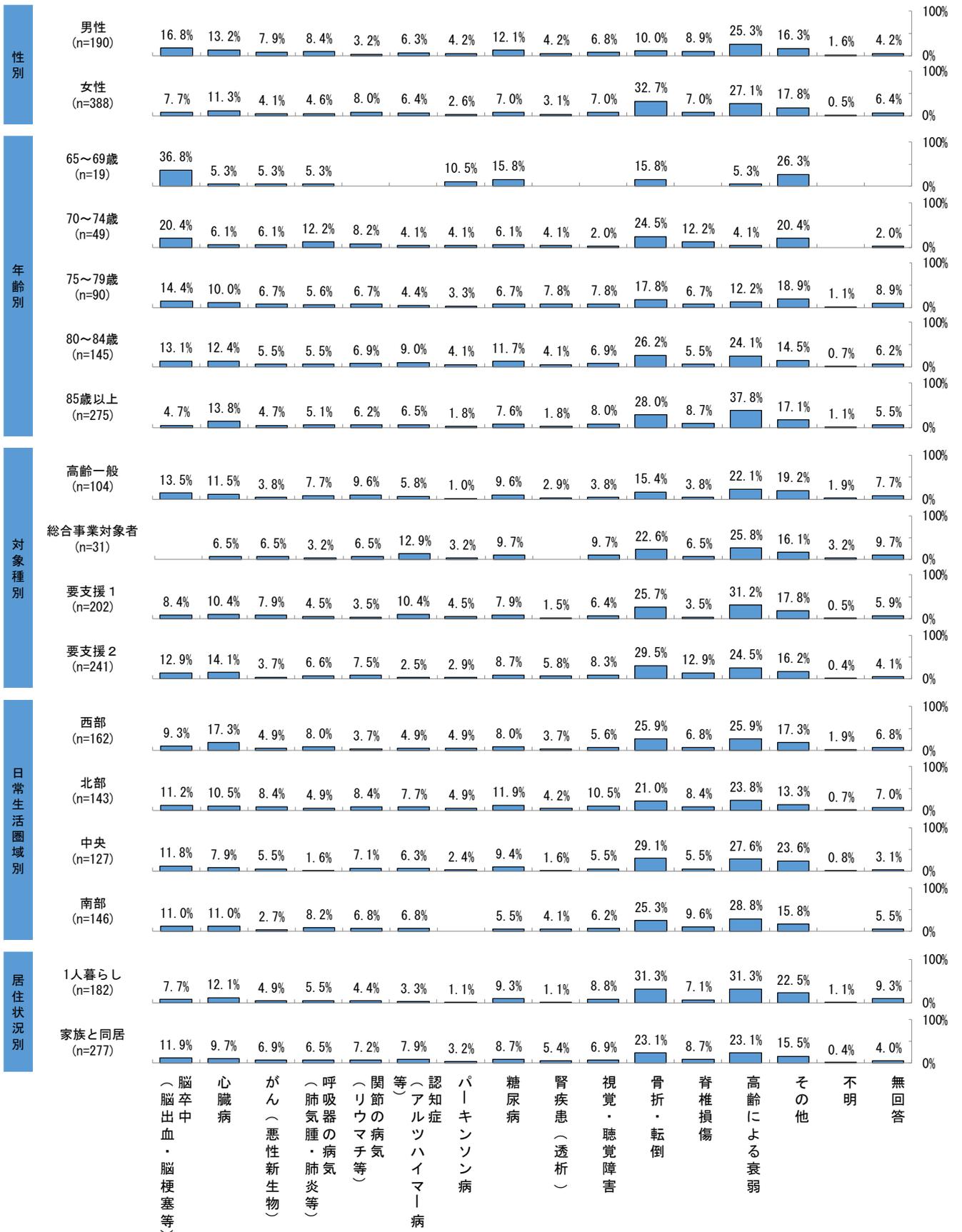
性別にみると、“女性”では「骨折・転倒」が32.7%と最も多くなっています。

年齢別にみると、“65～69歳”では「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が36.8%と最も多くなっています。“70～74歳”、“75～79歳”、“80～84歳”では「骨折・転倒」が最も多くなっています。

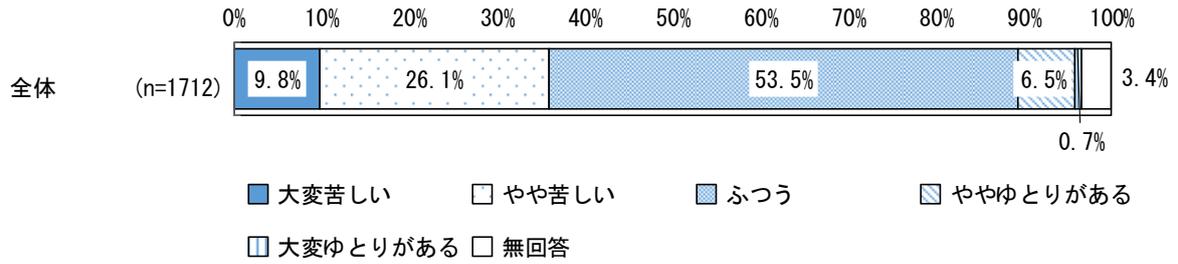
対象種別にみると、“要支援2”では、「骨折・転倒」が29.5%と最も多くなっています。

日常生活圏域別にみると、“中央”では、「骨折・転倒」が29.1%と最も多くなっています。

II. 調査結果【介護予防・日常生活圏域二一ズ調査】



問5 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇はひとつ)




---

**「ふつう」と答えた人がおよそ50%**  
**『苦しい』と答えた人がおよそ40%**

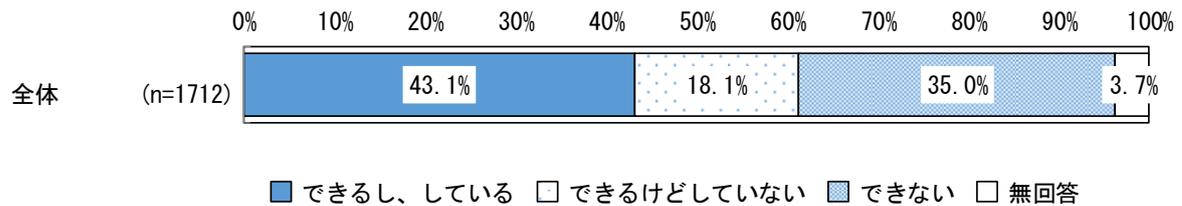
---

現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じているかにおいては、「ふつう」が53.5%と最も多く、次いで「やや苦しい」が26.1%、「大変苦しい」が9.8%となっています。



(2) からだを動かすことについて

問6 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(✓はひとつ)



**85歳以上では「できない」と答えた人がおよそ60%**  
**80～84歳では『していない』と答えた人がおよそ80%**

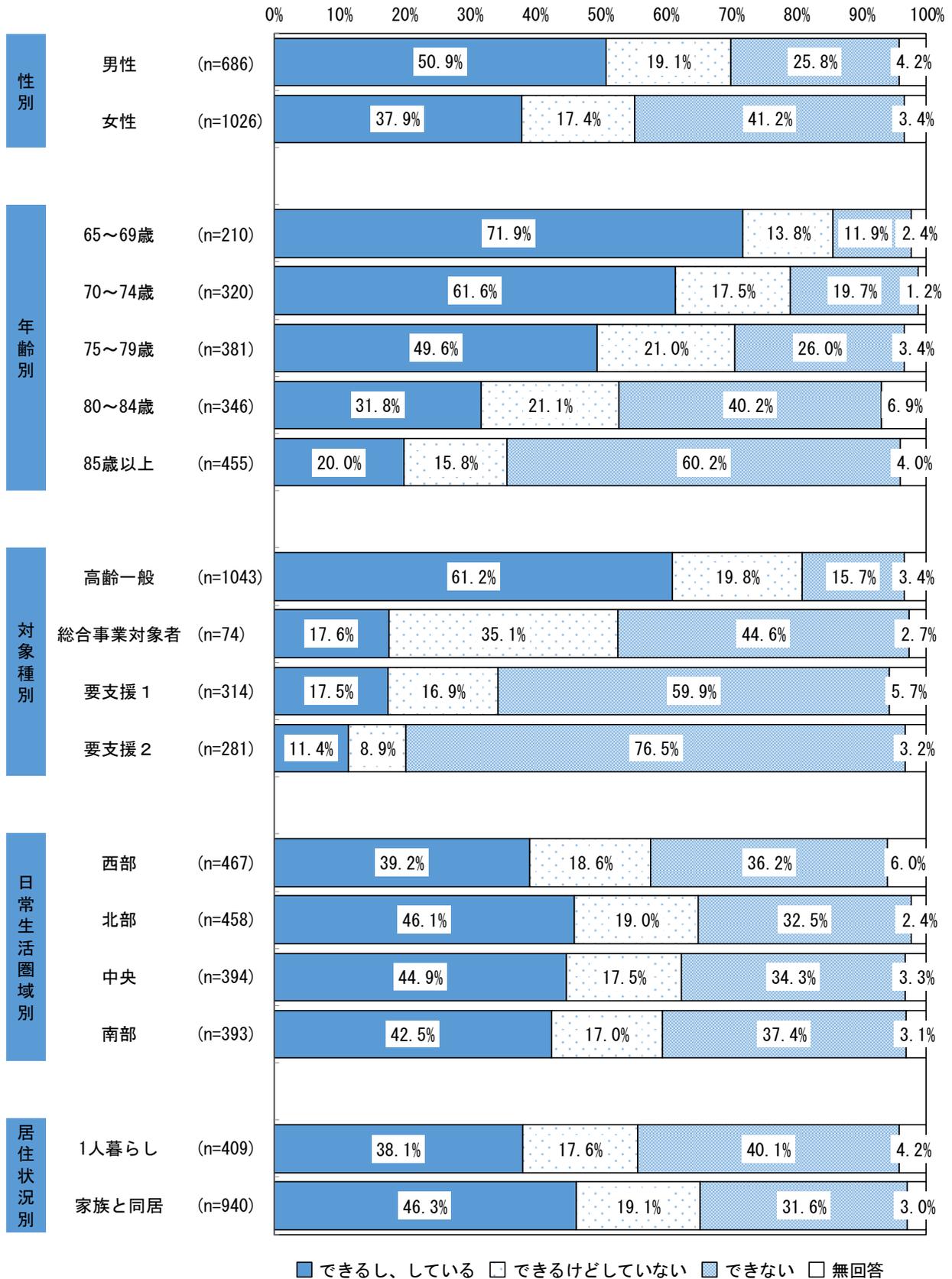
階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかにおいては、「できるし、している」が43.1%と最も多く、次いで「できない」が35.0%、「できるけどしていない」が18.1%となっています。「できるけどしていない」と「できない」を足した『していない』は53.1%となっています。

性別にみると、“女性”では、「できない」が41.2%と最も多くなっています。

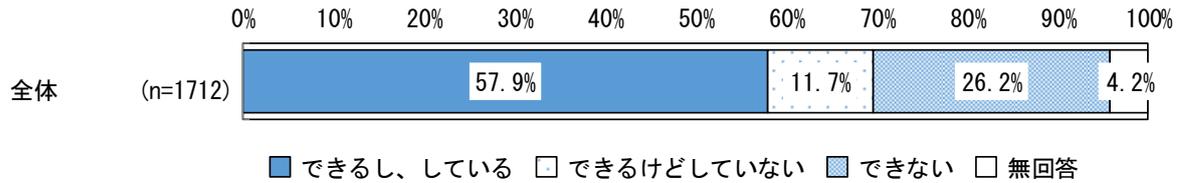
年齢別にみると、“80～84歳”、“85歳以上”では「できない」が最も多くなっています。

対象種別にみると、“総合事業対象者”、“要支援1”、“要支援2”では「できない」が最も多くなっています。

居住状況別にみると、“1人暮らし”では「できない」が40.1%と最も多くなっています。



問7 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(✓はひとつ)

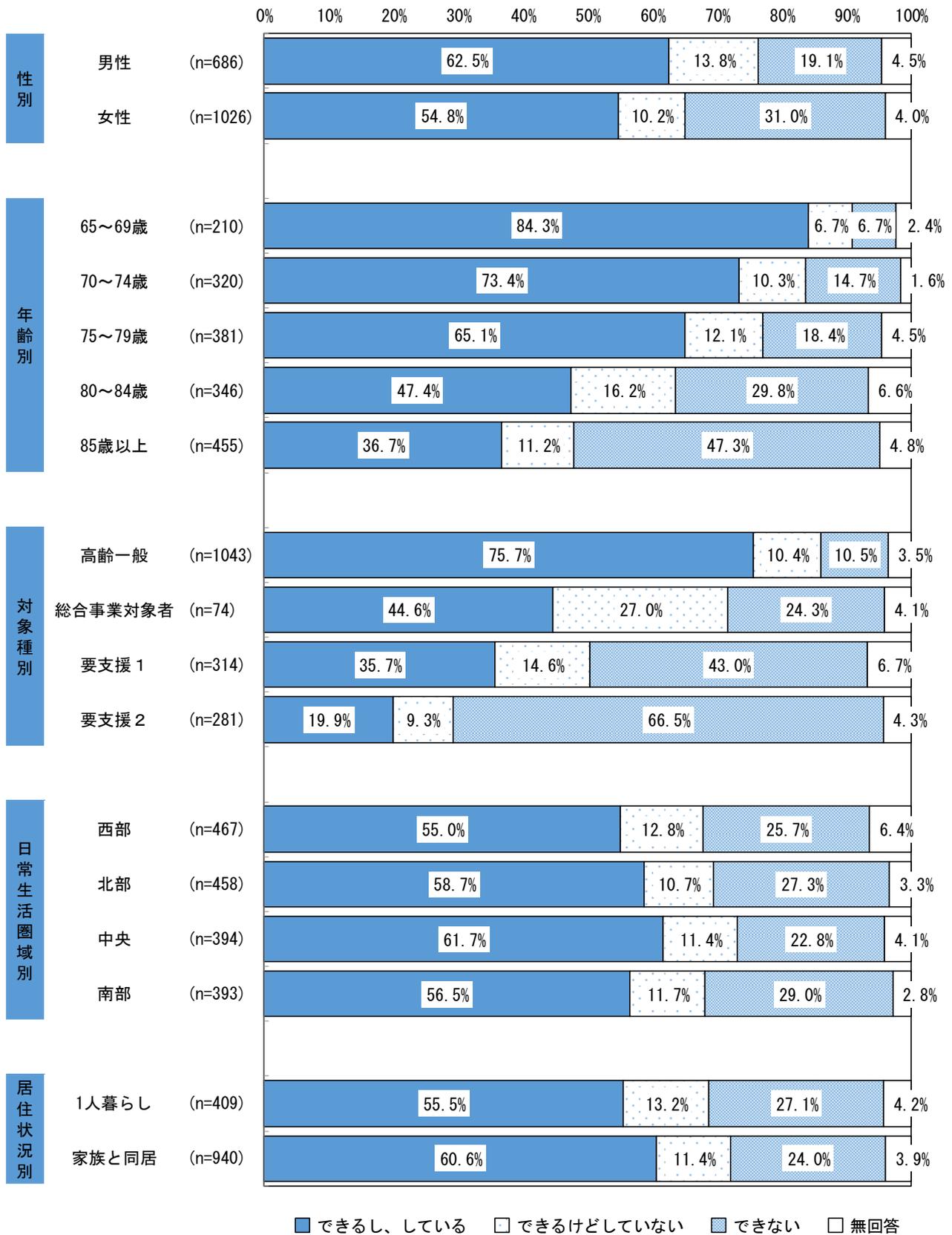


全体では「できるし、している」と答えた人がおよそ60%  
また、要支援2では「できない」と答えた人がおよそ70%

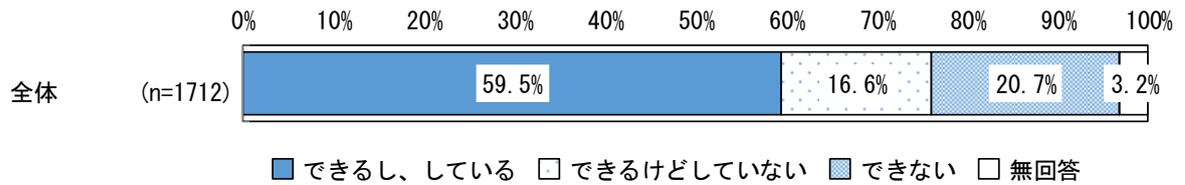
座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかにおいては、「できるし、している」が57.9%と最も多く、次いで「できない」が26.2%、「できるけどしていない」が11.7%となっています。

年齢別にみると、“85歳以上”では「できない」が47.3%と最も多くなっています。

対象種別にみると、“要支援1”、“要支援2”では「できない」が最も多くなっています。



問8 15分位続けて歩いていますか。(✓はひとつ)



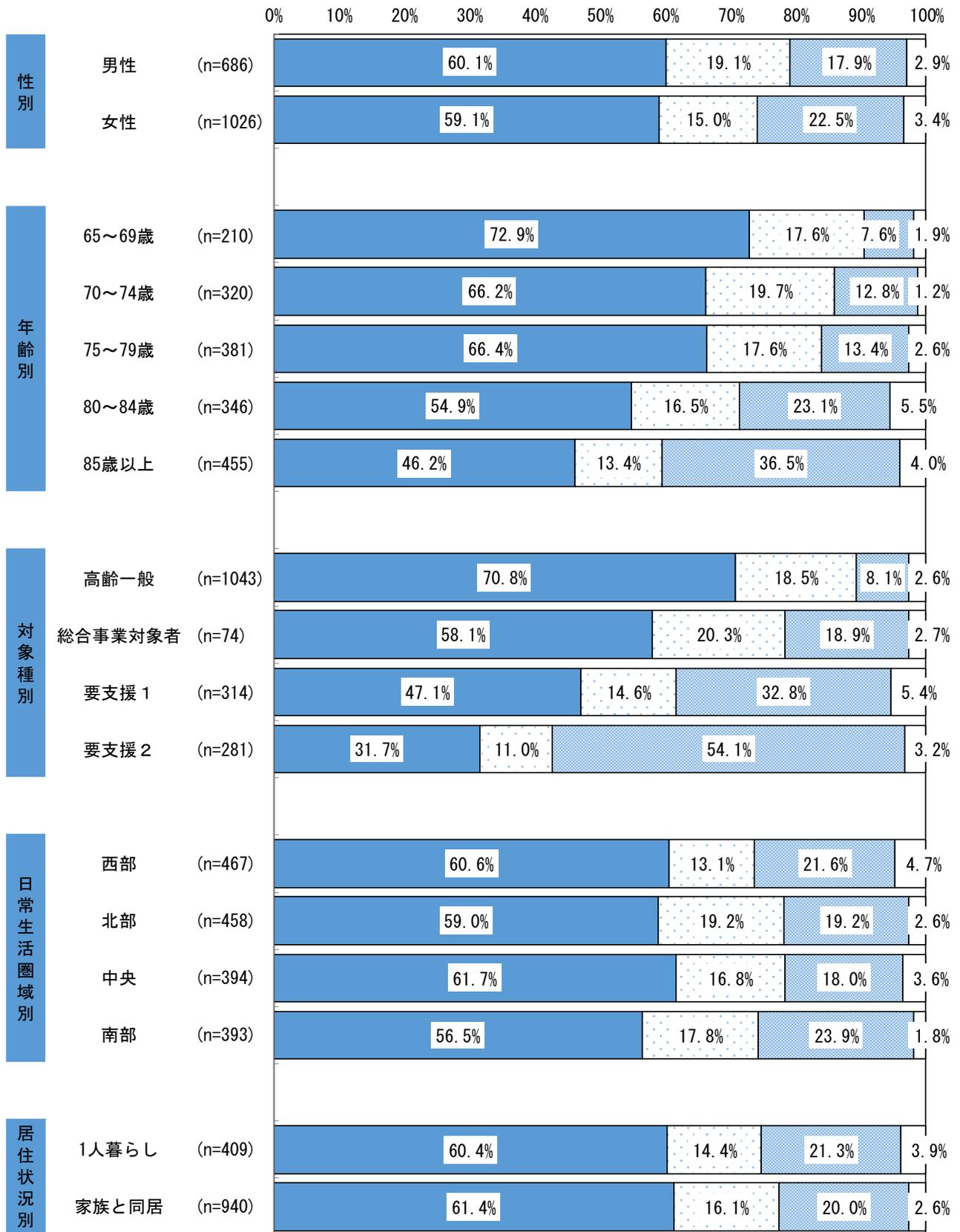

---

**要支援2では「できない」と答えた人がおよそ50%**

---

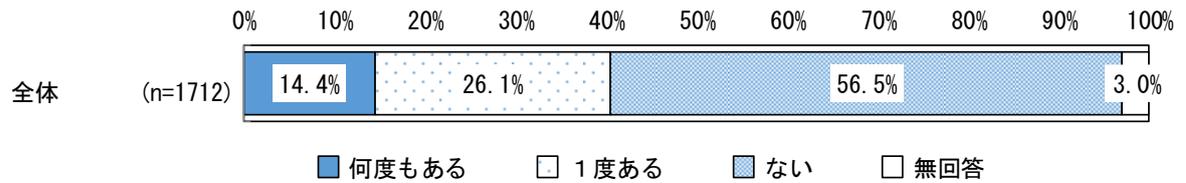
15分位続けて歩いているかにおいては、「できるし、している」が59.5%と最も多く、次いで「できない」が20.7%、「できるけどしていない」が16.6%となっています。

対象種別にみると、“要支援2”では「できない」が54.1%と最も多くなっています。



■ できるし、している □ できるけどしていない ▨ できない □ 無回答

問9 過去1年間に転んだ経験がありますか。(✓はひとつ)

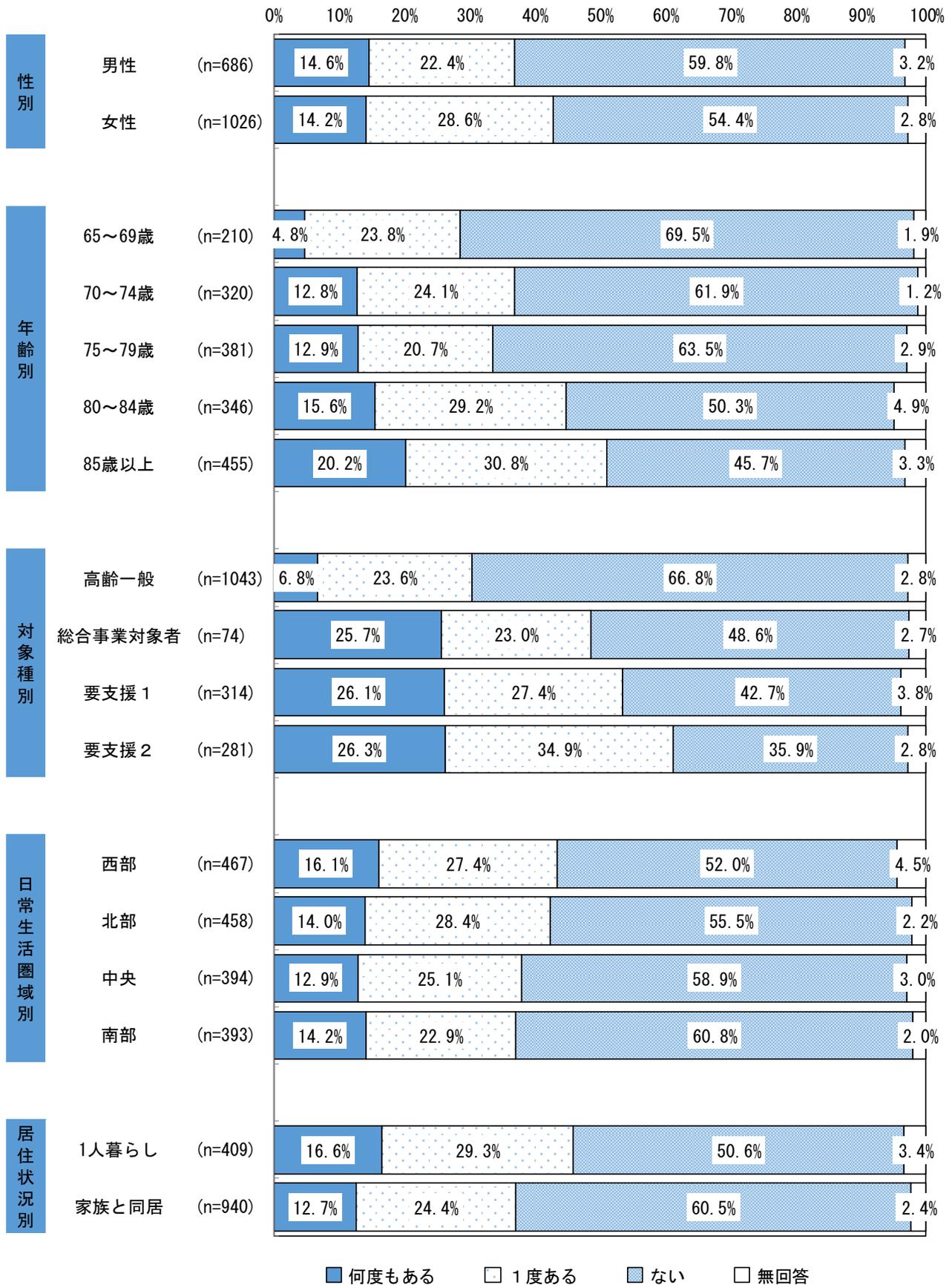



---

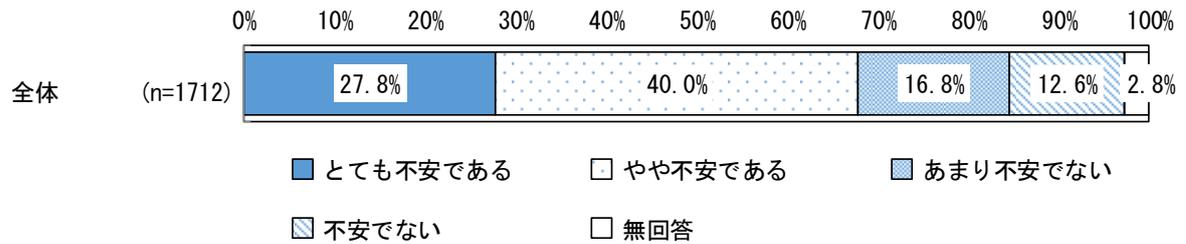
要支援2では『ある』と答えた人がおよそ60%

---

過去1年間の転倒経験の有無においては、「ない」が56.5%と最も多く、次いで「1度ある」が26.1%、「何度もある」が14.4%となっています。「何度もある」と「1度ある」を足した『ある』は40.5%となっています。



問 10 転倒に対する不安は大きいですか。(✓はひとつ)

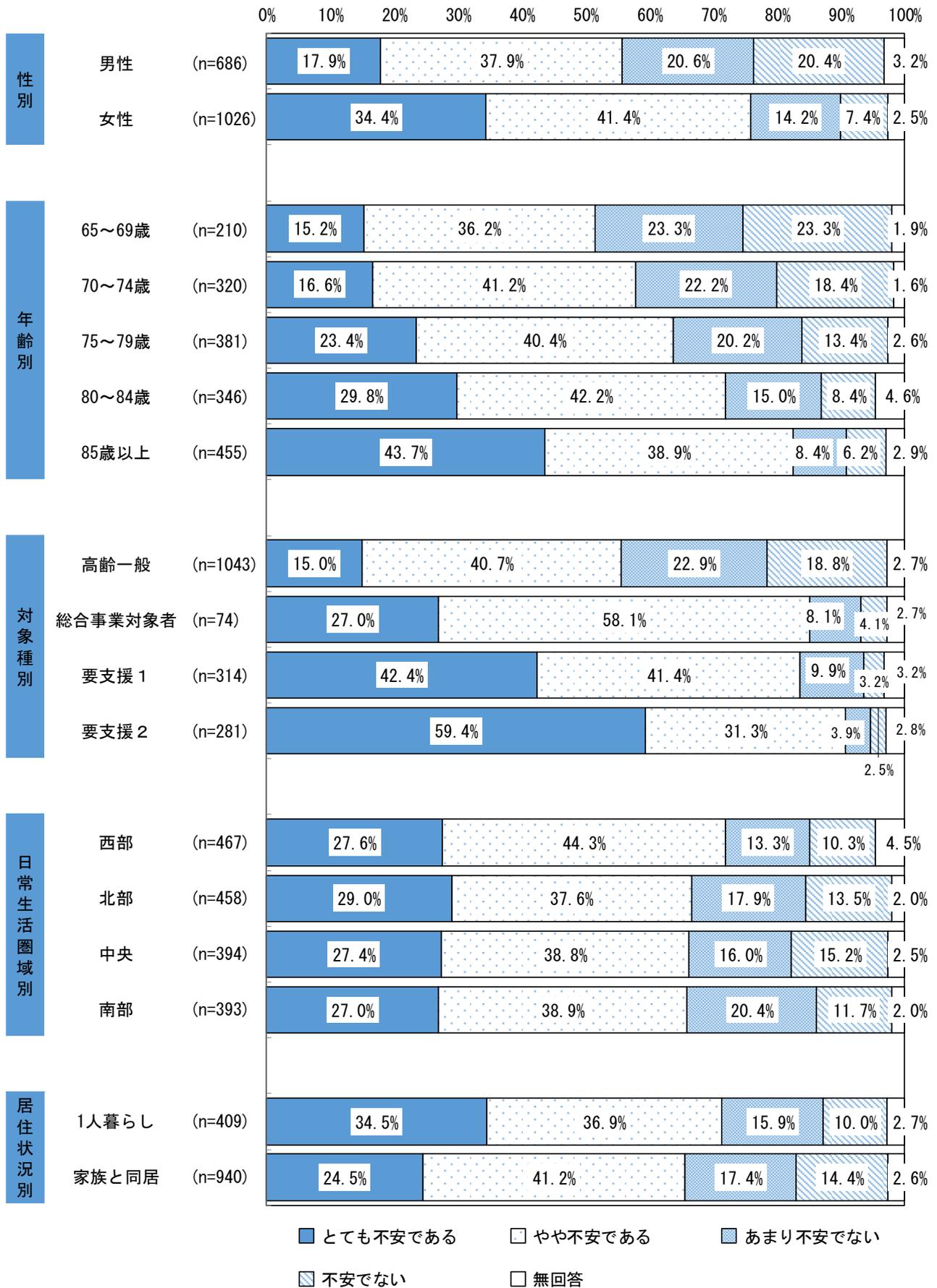


**全体では『不安である』と答えた人がおよそ70%  
総合事業対象者、要支援2では『不安である』と答えた人がおよそ90%**

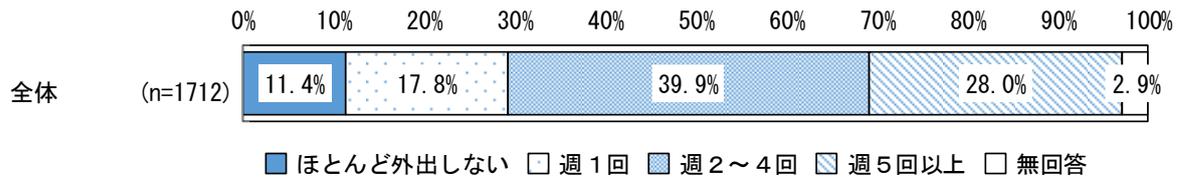
転倒に対する不安の有無においては、「やや不安である」が40.0%と最も多く、次いで「とても不安である」が27.8%、「あまり不安でない」が16.8%となっています。「とても不安である」と「やや不安である」を足した『不安である』は67.8%となっています。

年齢別にみると、“85歳以上”では「とても不安である」が43.7%と最も多くなっています。

対象種別にみると、“要支援1”、“要支援2”では「とても不安である」が最も多くなっています。



問 11 週に1回以上は外出していますか。(✓はひとつ)




---

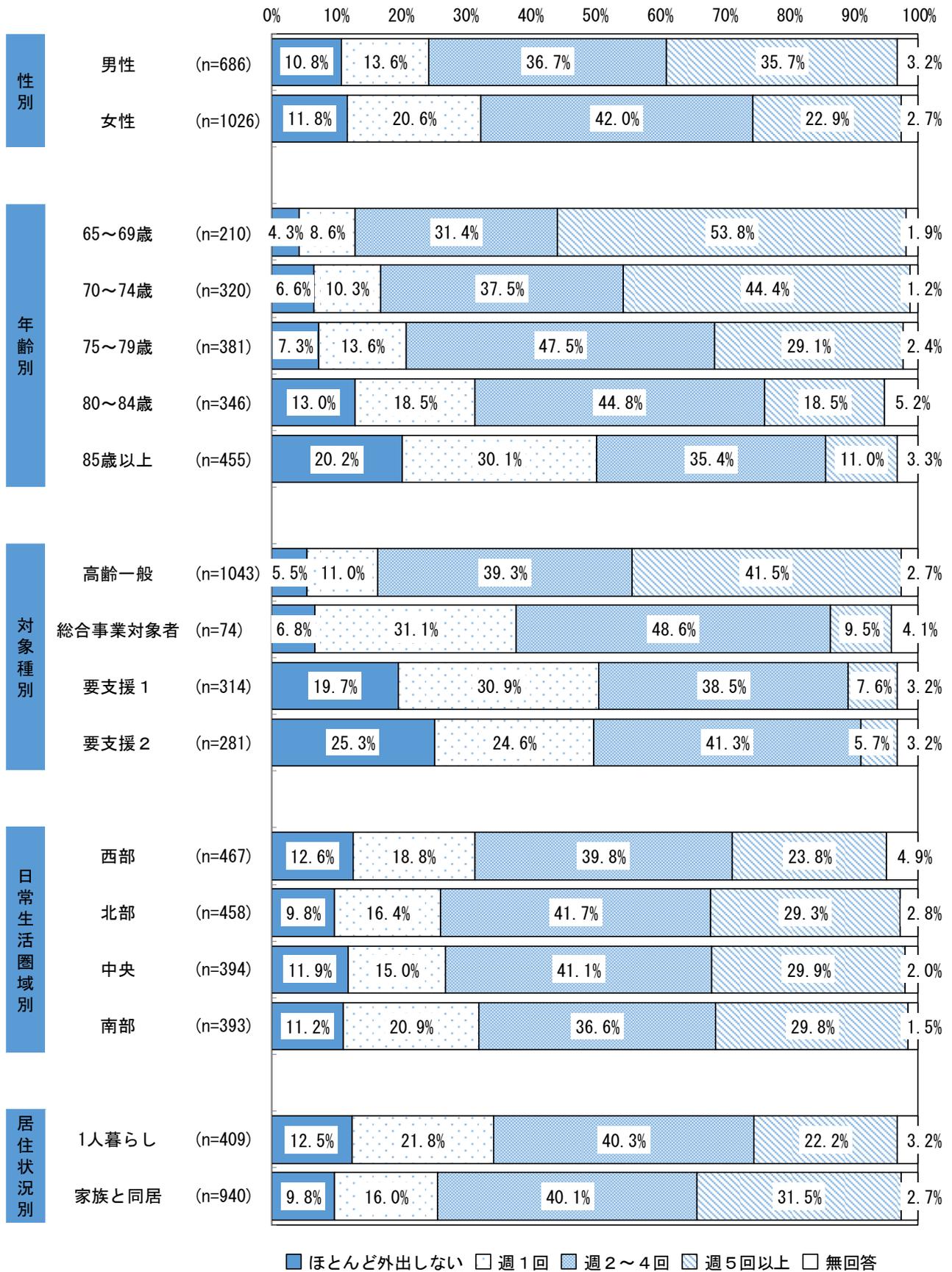
**要支援2では「ほとんど外出しない」と答えた人がおよそ30%**

---

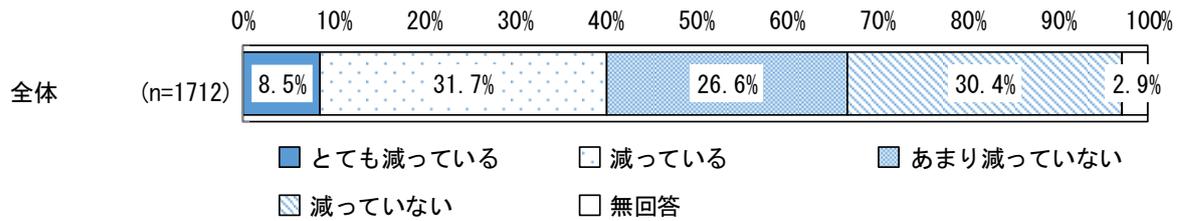
週に1回以上は外出しているかにおいては、「週2～4回」が39.9%と最も多く、次いで「週5回以上」が28.0%、「週1回」が17.8%となっています。

年齢別にみると、“65～69歳”、“70～74歳”では「週5回以上」が最も多くなっています。

対象種別にみると、“高齢一般”では「週5回以上」が41.5%と最も多くなっています。



問 12 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(✓はひとつ)



**年齢が高いほど『減っている』が多い  
要支援2では『減っている』と答えた人がおよそ70%**

昨年と比べて外出の回数が減っているかにおいては、「減っている」が31.7%と最も多く、次いで「減っていない」が30.4%、「あまり減っていない」が26.6%となっています。「減っていない」と「あまり減っていない」を足した『減っていない』は57.8%となっています。

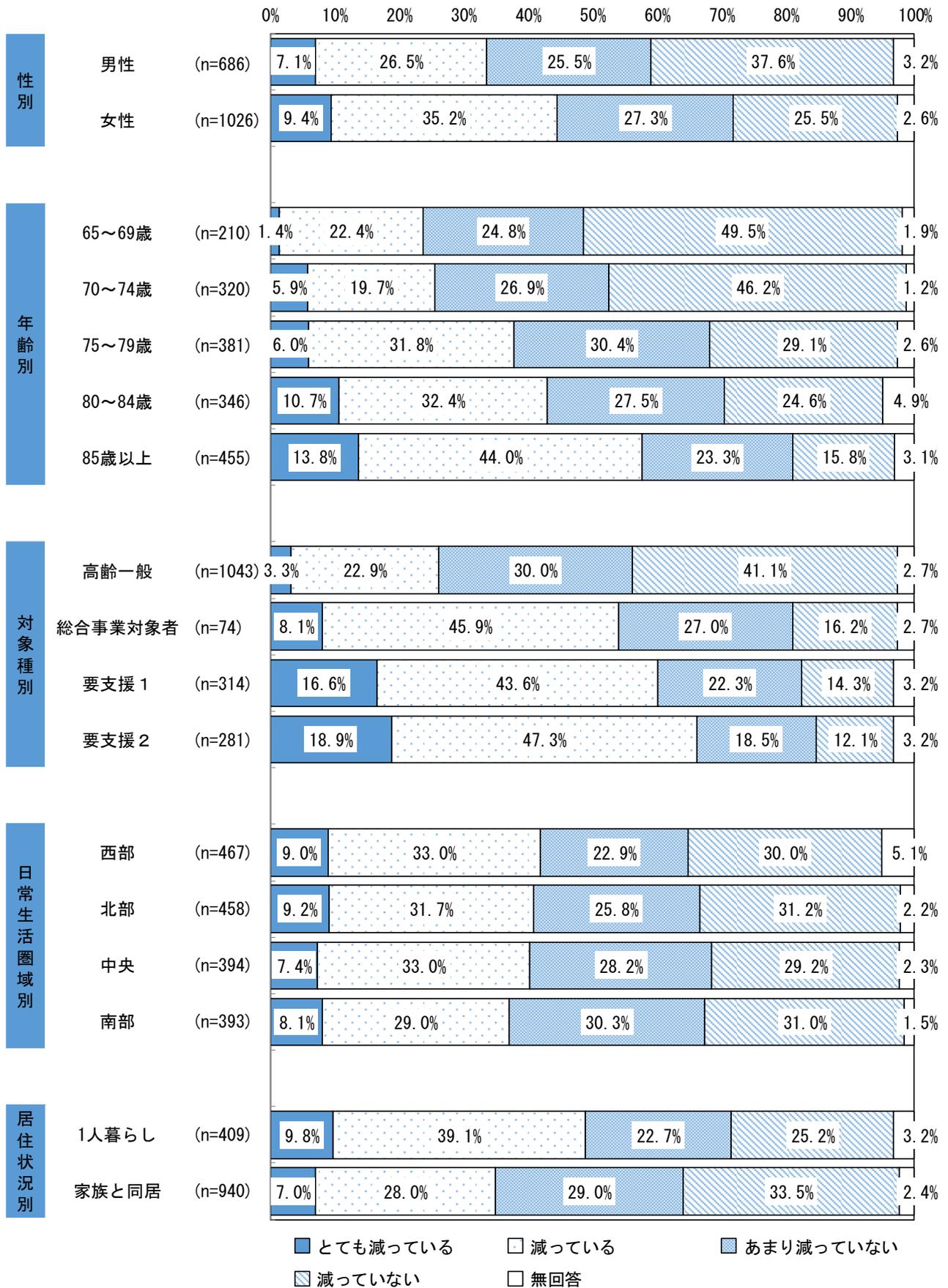
性別にみると、“男性”では、「減っていない」が37.6%と最も多くなっています。

年齢別にみると、“65～69歳”、“70～74歳”では「減っていない」が最も多くなっています。

対象種別にみると、“高齢一般”では「減っていない」が41.1%と最も多くなっています。

日常生活圏域別にみると、“南部”では、「減っていない」が31.0%と最も多くなっています。

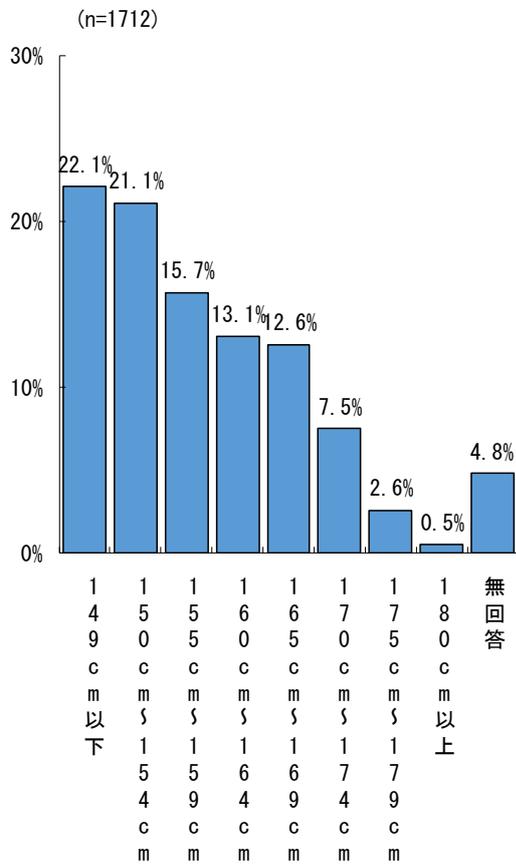
居住状況別にみると、“家族と同居”では「減っていない」が33.5%と最も多くなっています。



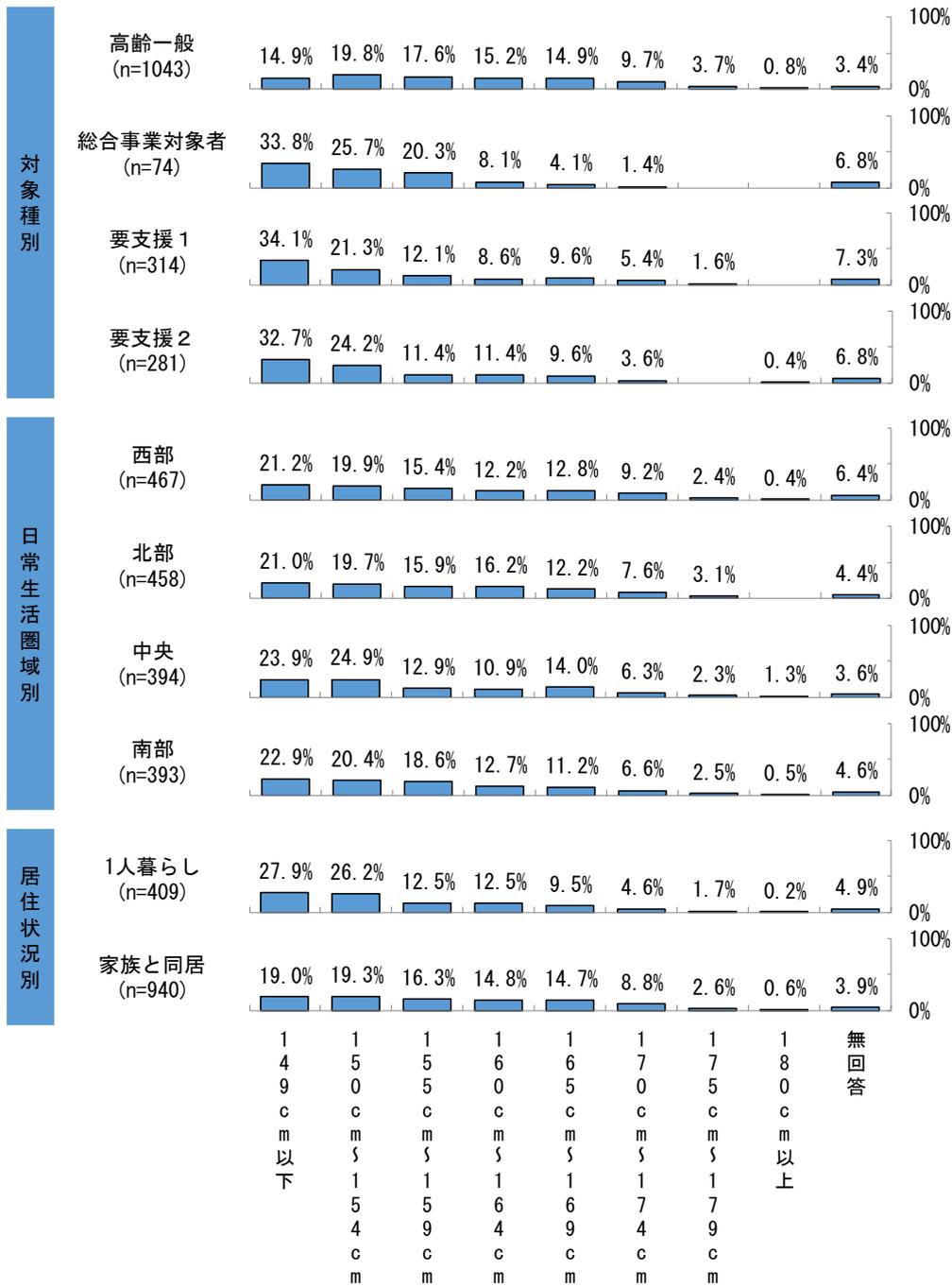
(3) 食べることについて

問 13 あなたの身長・体重をお教えてください。

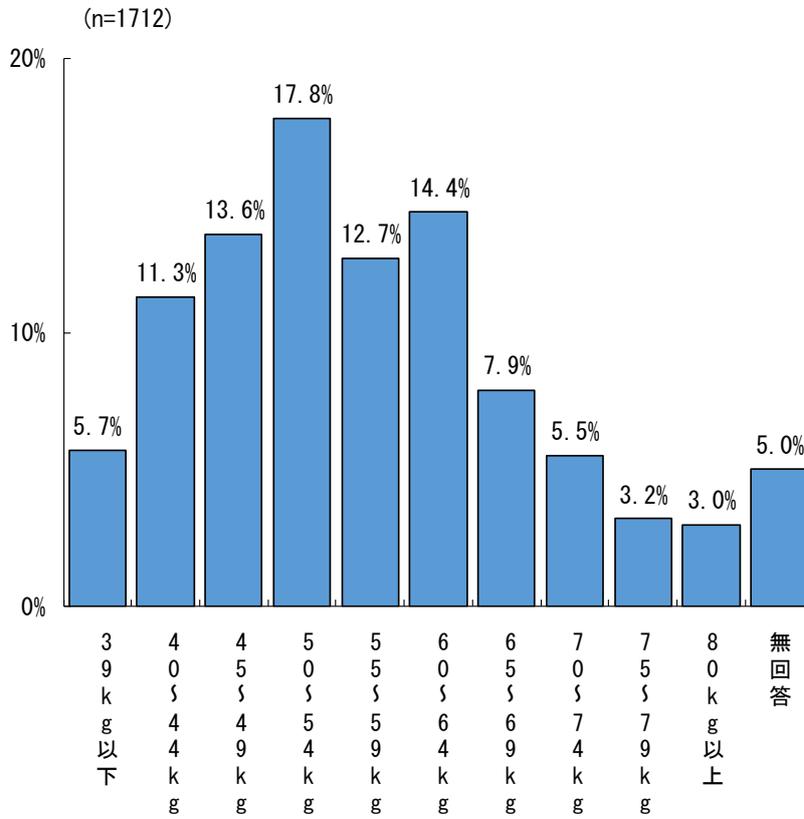
1. 身長



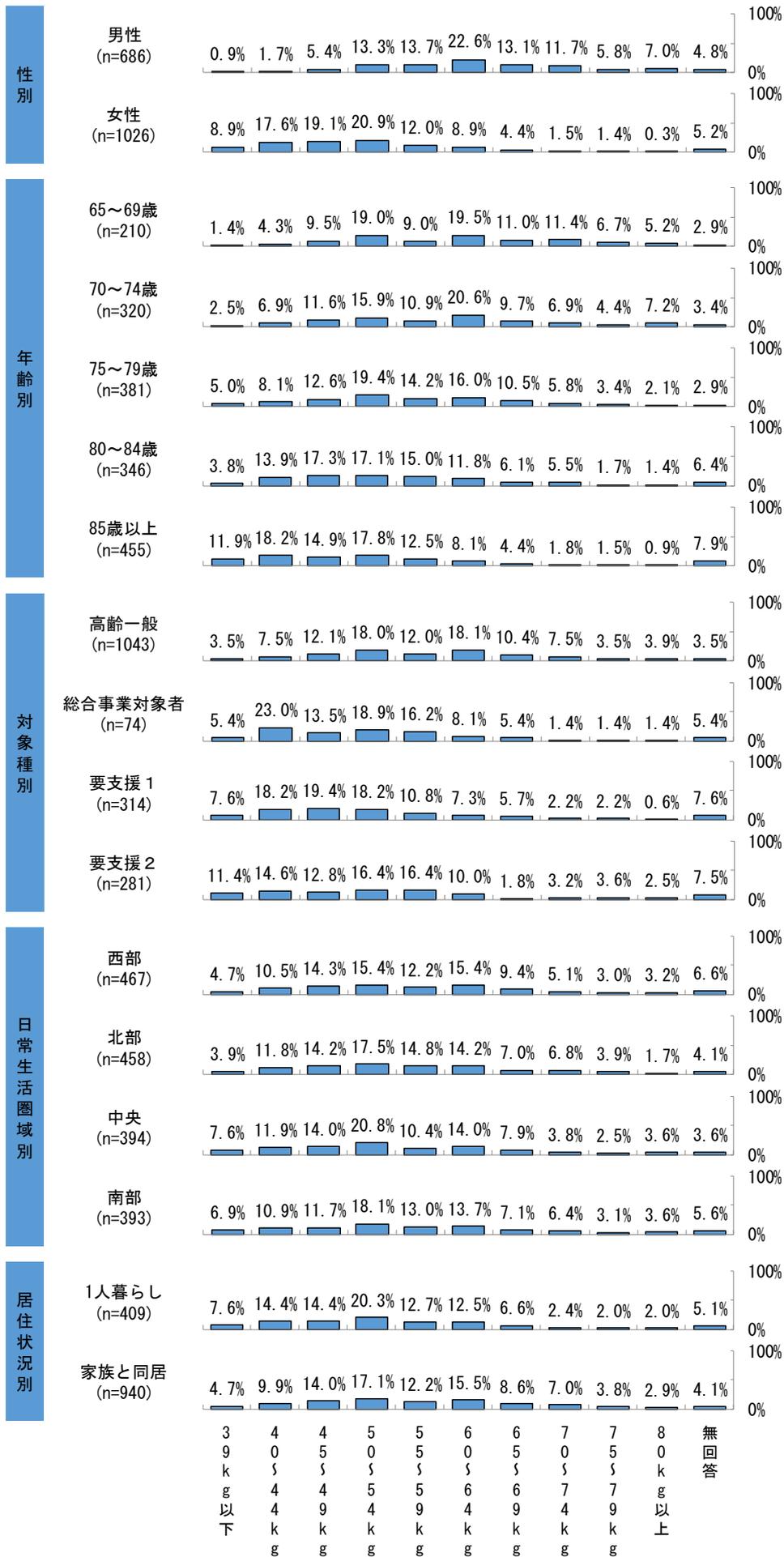
身長においては、「149cm以下」が22.1%と最も多く、次いで「150cm～154cm」が21.1%、「155cm～159cm」が15.7%となっています。



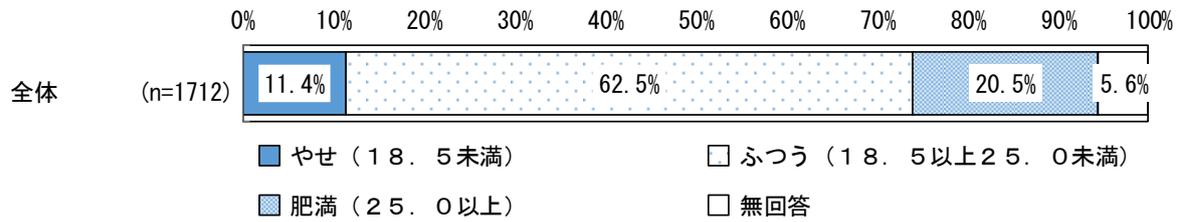
2. 体重



体重においては、「50～54kg」が17.8%と最も多く、次いで「60～64kg」が14.4%、「45～49kg」が13.6%となっています。

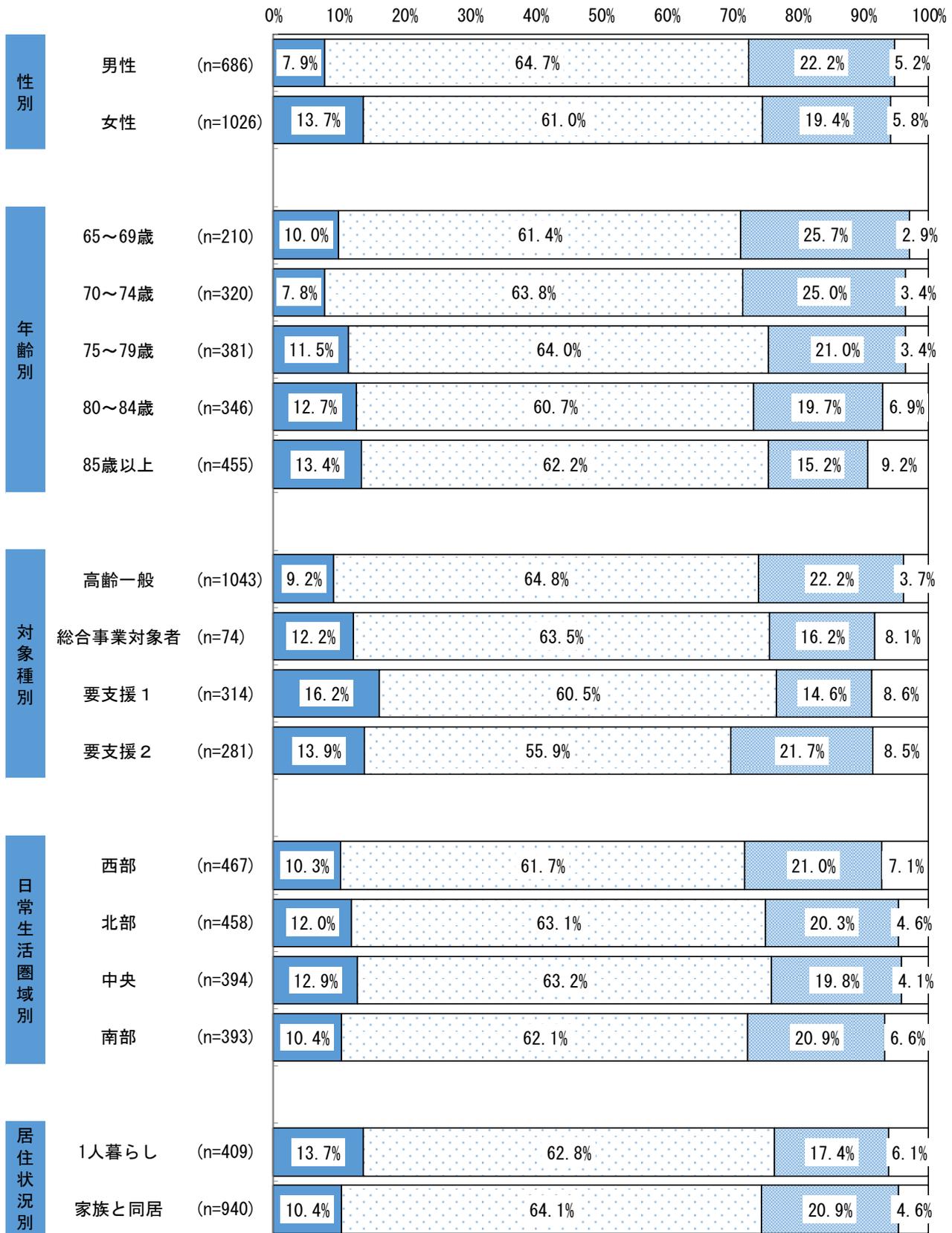


3. BMI



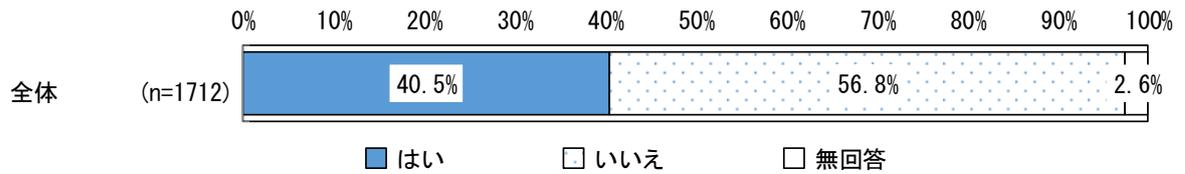
年齢が低いほど「肥満 (BMI25.0以上)」が多い  
 要支援1ではわずかに他の対象者より「やせ (18.5以下)」が多い

BMIにおいては、「ふつう (18.5以上25.0未満)」が62.5%と最も多く、次いで「肥満 (25.0以上)」が20.5%、「やせ (18.5未満)」が11.4%となっています。



- やせ (18.5未満)
- ふつう (18.5以上25.0未満)
- 肥満 (25.0以上)
- 無回答

問 14 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(✓はひとつ)




---

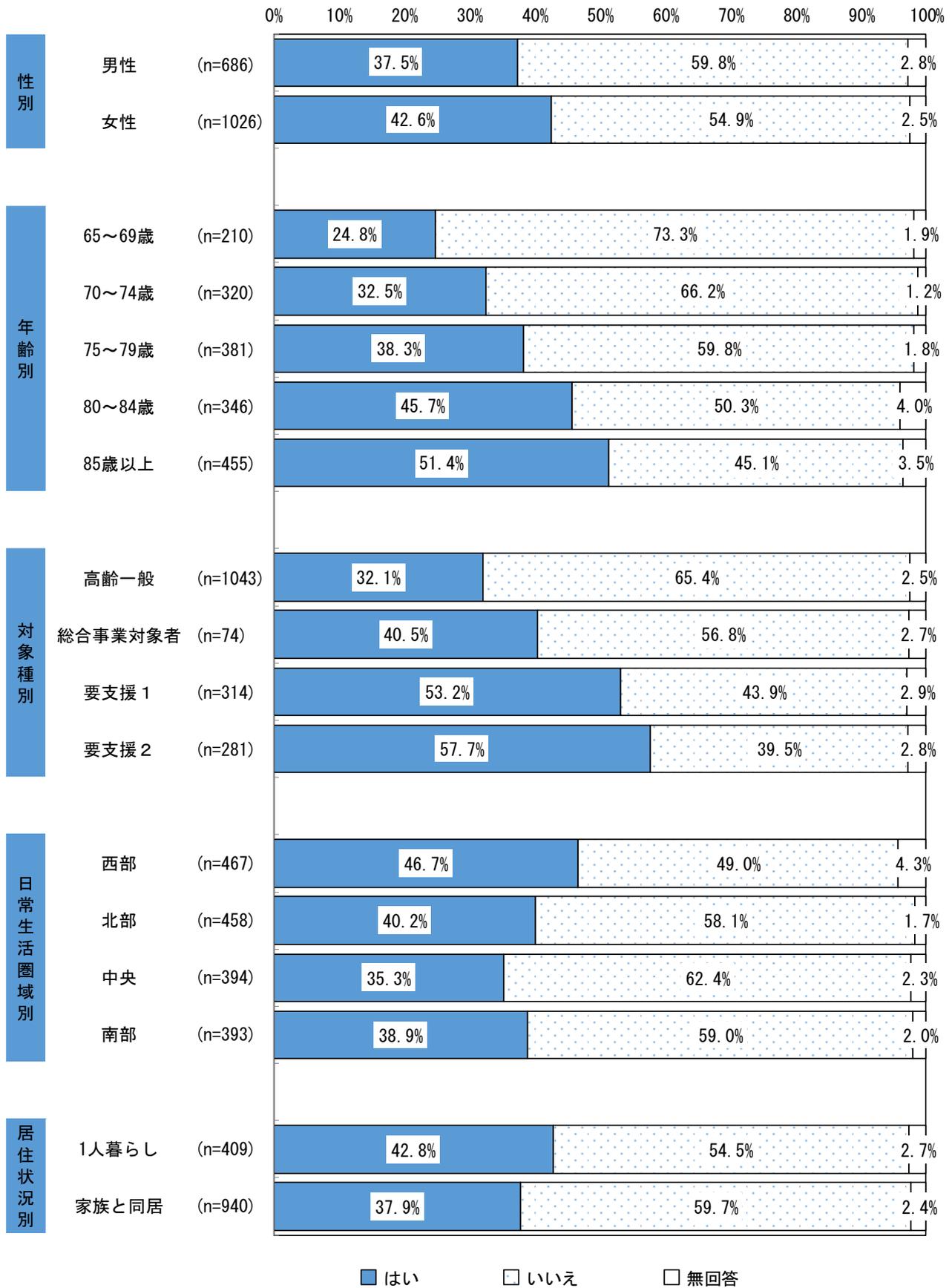
### 「はい」と答えた人がおよそ40%

---

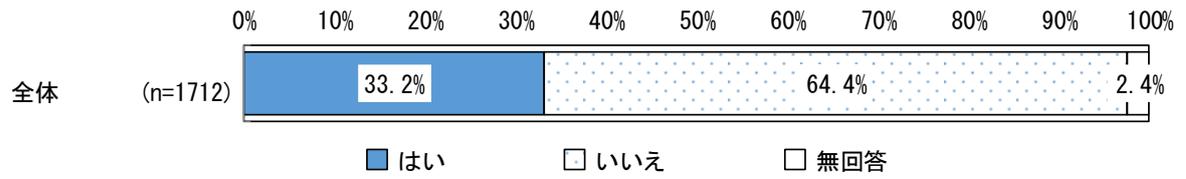
半年前に比べて固いものが食べにくくなっているかにおいては、「はい」が40.5%、「いいえ」が56.8%となっています。

年齢別にみると、“85歳以上”では「はい」が51.4%と最も多くなっています。

対象種別にみると、“要支援1”、“要支援2”では「はい」が最も多くなっています。



問 15 お茶や汁物等でむせることがありますか。(✓はひとつ)

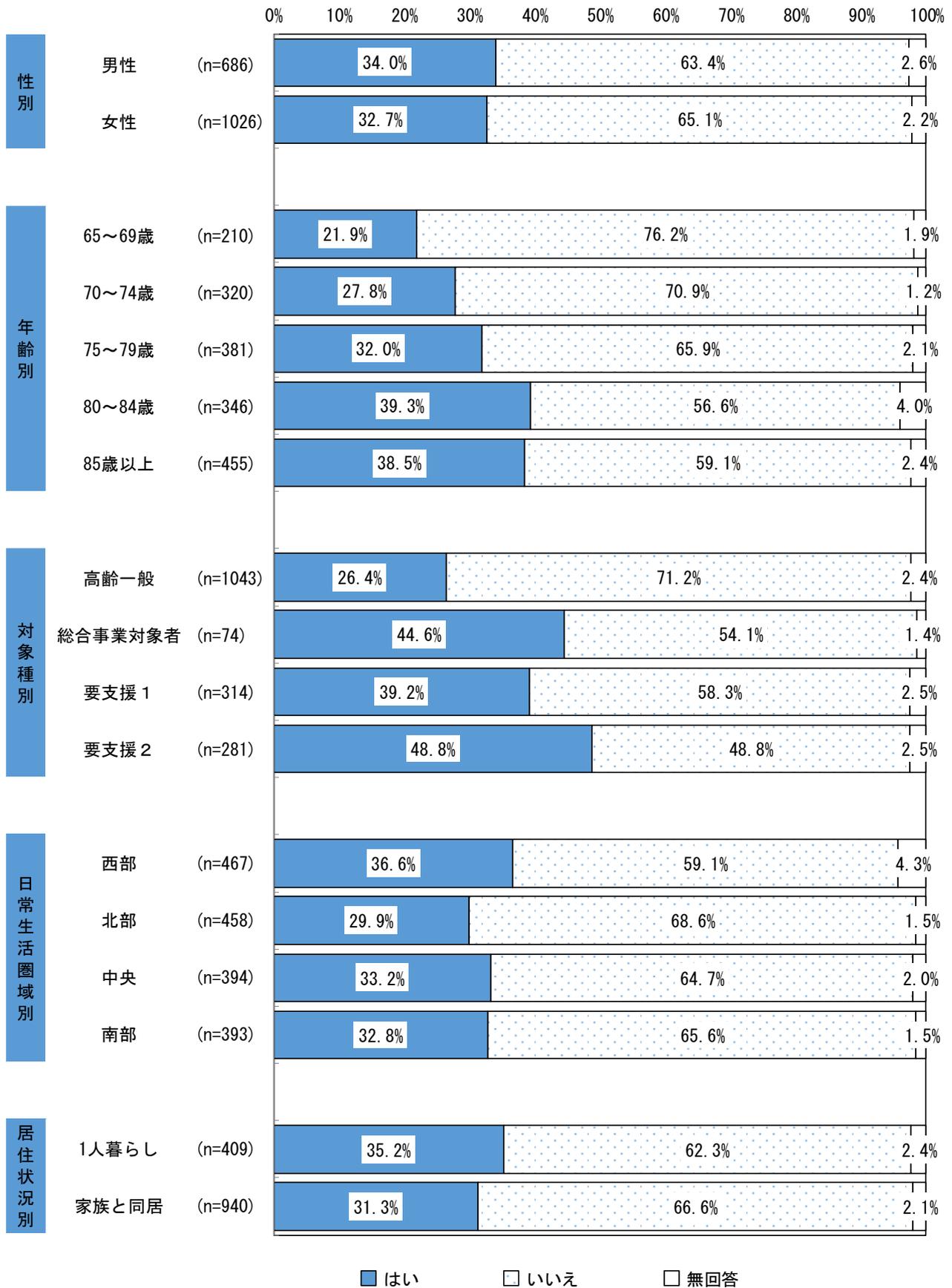



---

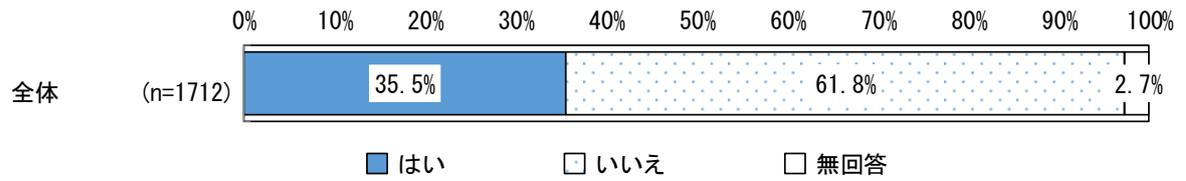
**「はい」と答えた人がおよそ30%**

---

お茶や汁物等でむせることがあるかにおいては、「はい」が33.2%、「いいえ」が64.4%となっています。



問 16 口の渇きが気になりますか。(✓はひとつ)



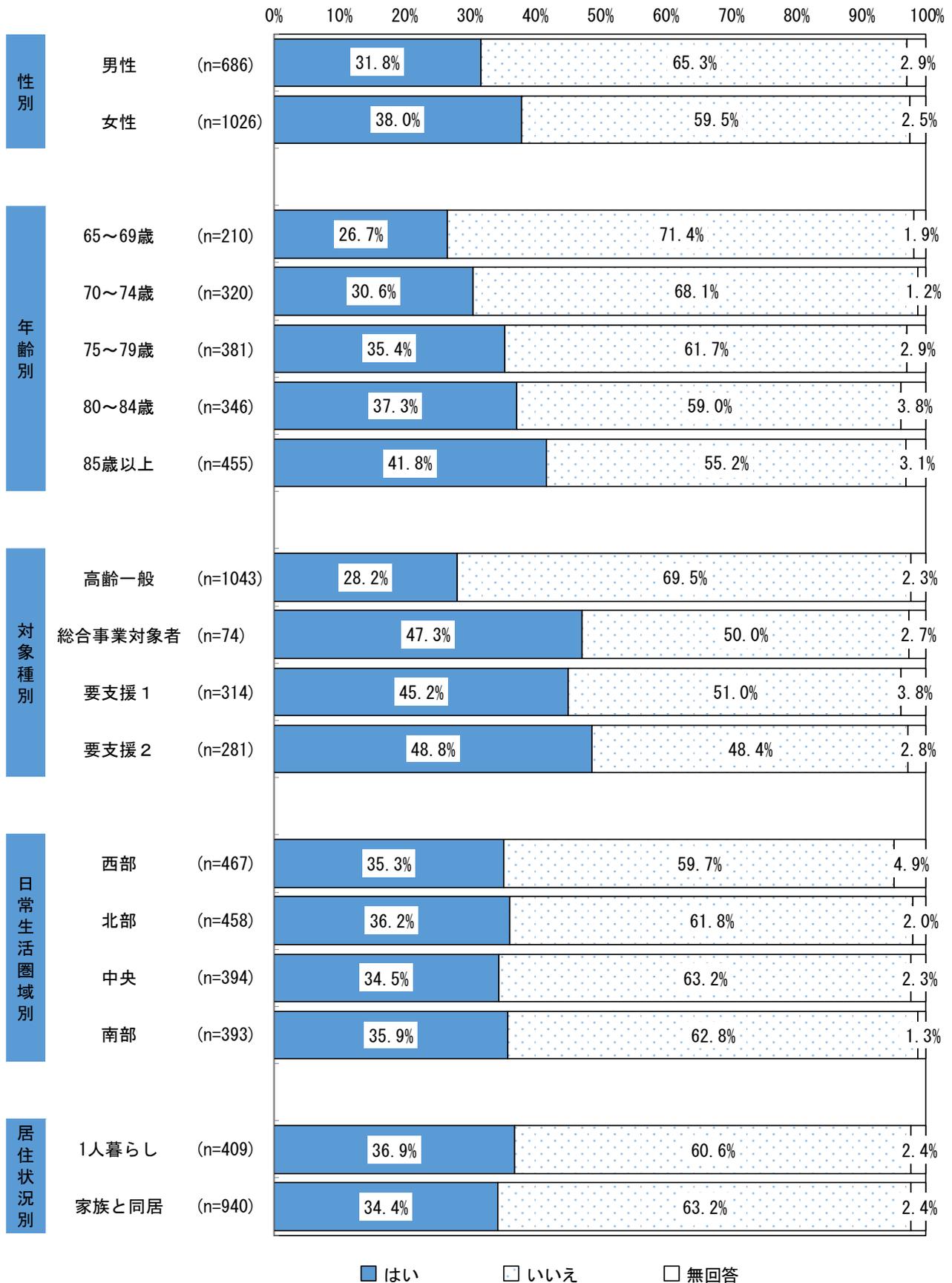

---

**「はい」と答えた人がおよそ40%**

---

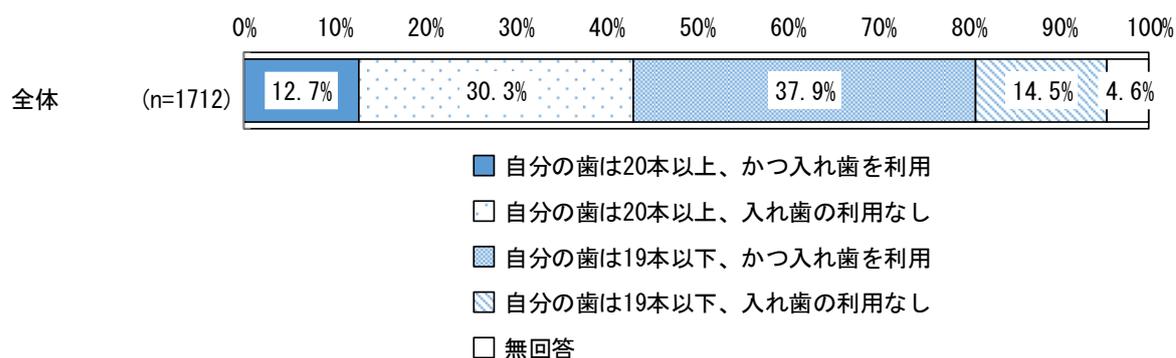
口の渇きが気になるかにおいては、「はい」が35.5%、「いいえ」が61.8%となっています。

対象種別にみると、“要支援2”では「はい」が48.8%と最も多くなっています。



問 17 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(✓はひとつ)

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です)

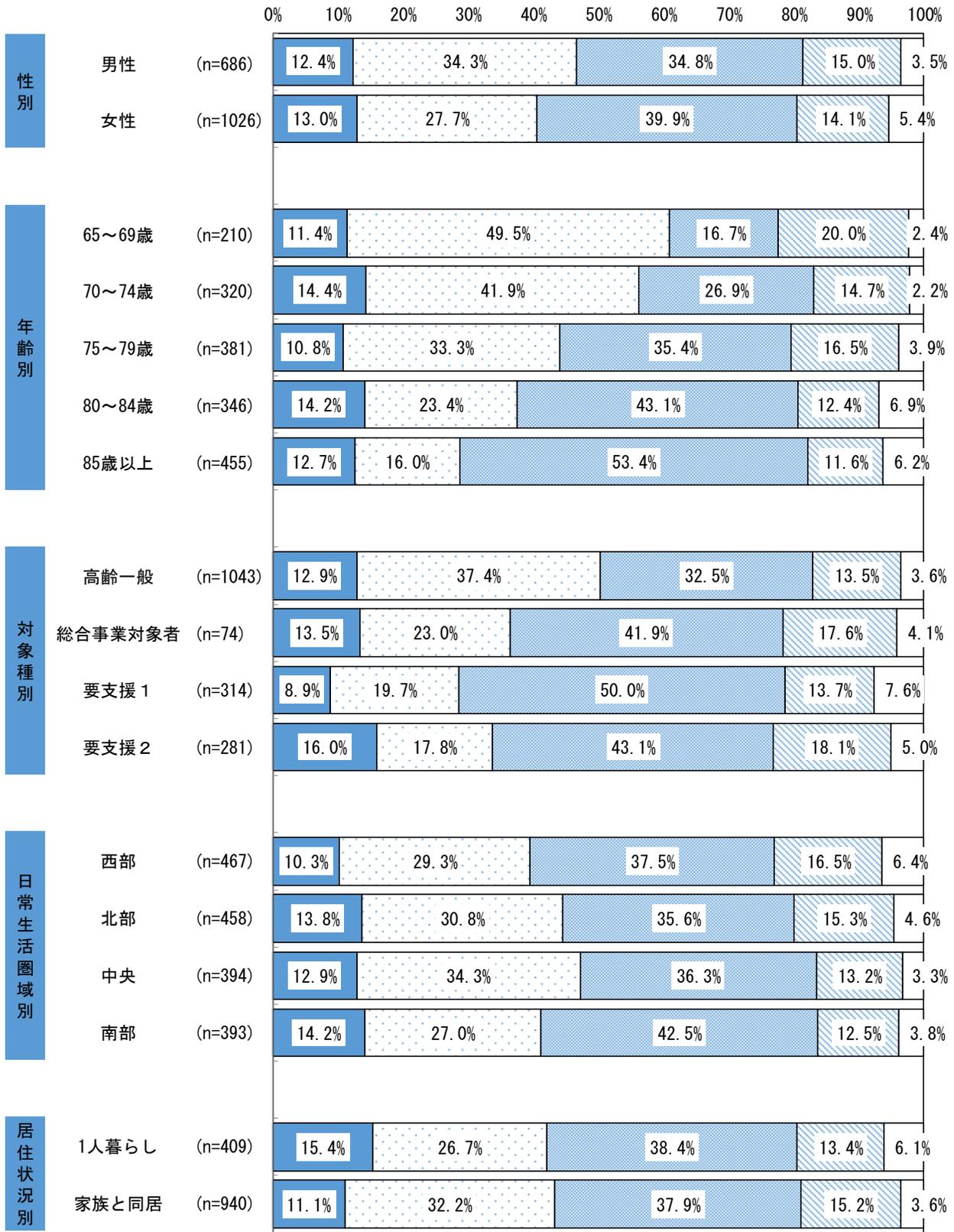


### 「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と答えた人がおよそ40%

歯の数と入れ歯の利用状況においては、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が37.9%と最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が30.3%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が14.5%となっています。

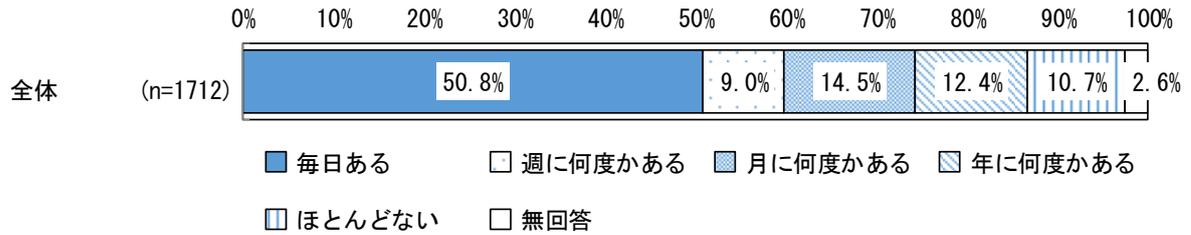
年齢別にみると、“65～69歳”、“70～74歳”では「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が最も多くなっています。

対象種別にみると、“高齢一般”では「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が37.4%と最も多くなっています。



- 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
- 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
- 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
- ▨ 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし
- 無回答

問 18 どなたかと食事をとる機会がありますか。(✓はひとつ)



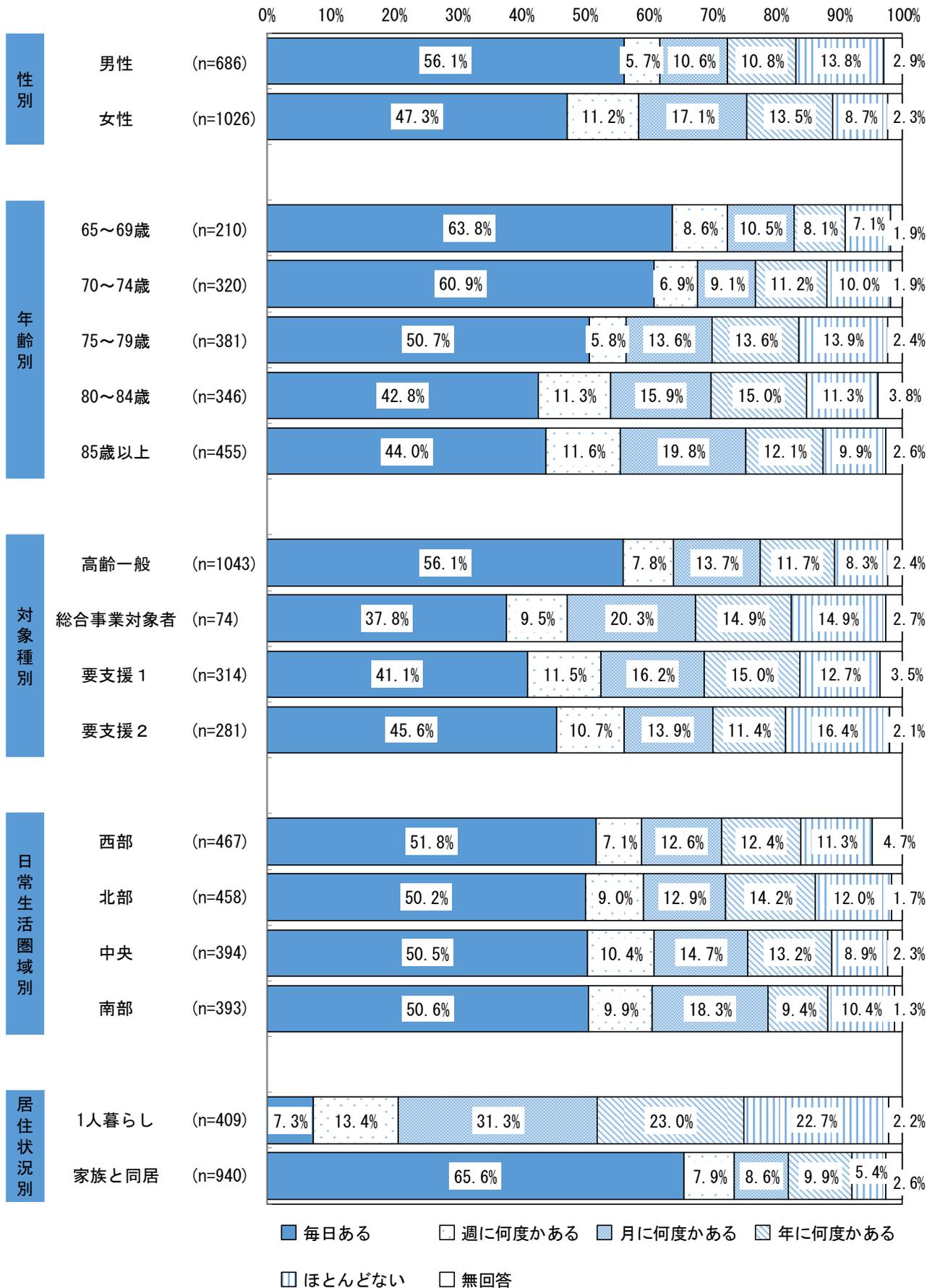

---

**1人暮らしでは「月に何度かある」と答えた人がおよそ30%**

---

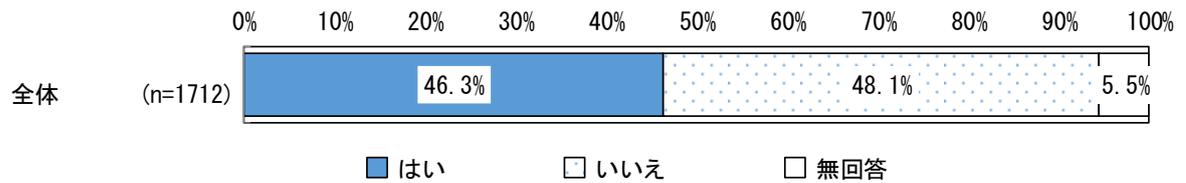
誰かと食事をとる機会においては、「毎日ある」が50.8%と最も多く、次いで「月に何度かある」が14.5%、「年に何度かある」が12.4%となっています。

居住状況別にみると、“1人暮らし”では「月に何度かある」が31.3%と最も多くなっています。



(4) 毎日の生活について

問 19 物忘れが多いと感じますか。(✓はひとつ)



「はい」、「いいえ」と答えた人がそれぞれおよそ50%

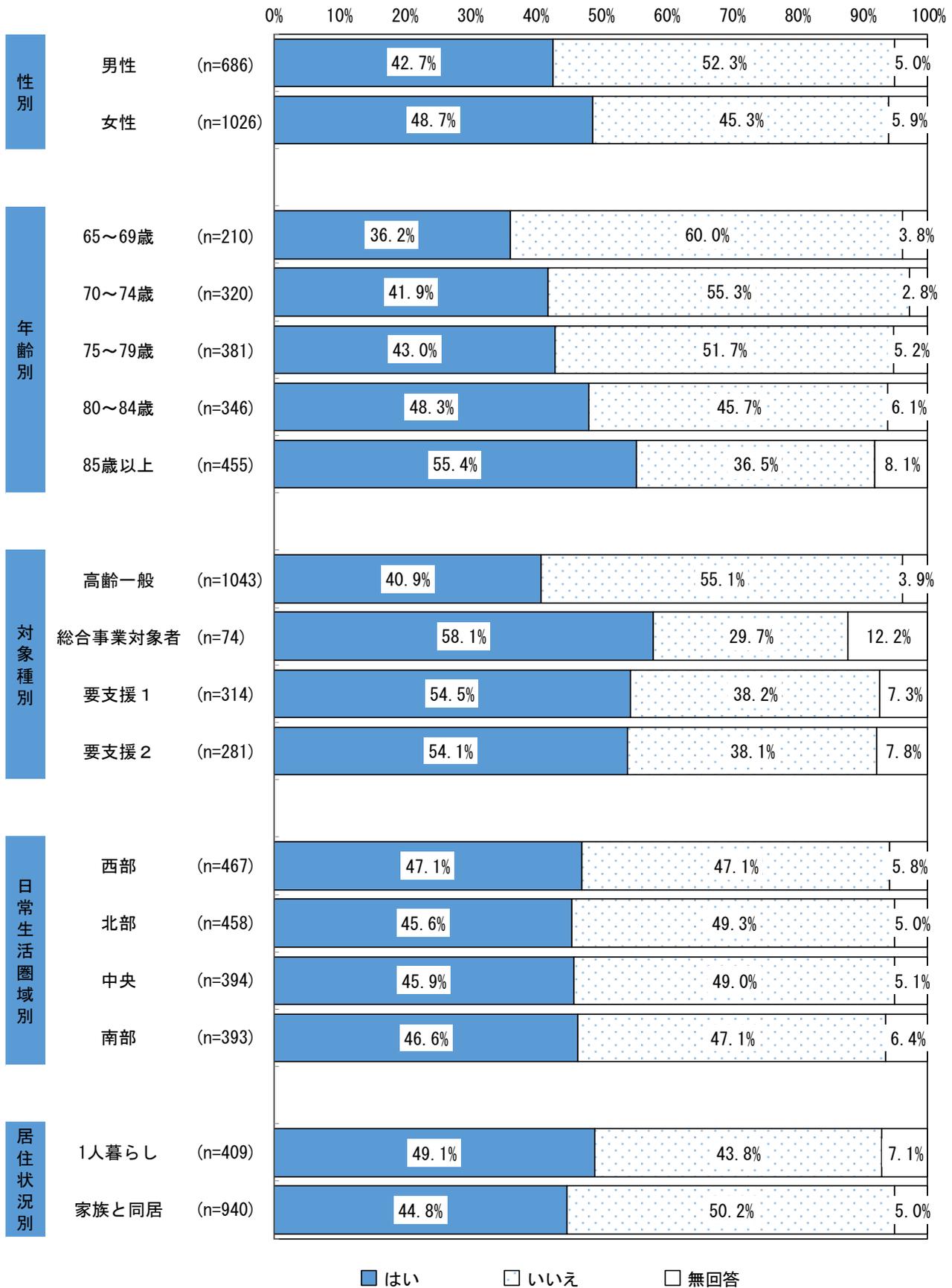
物忘れが多いと感じるかにおいては、「はい」が46.3%、「いいえ」が48.1%となっています。

性別にみると、“女性”では「はい」が48.7%と多くなっています。

年齢別にみると、“80～84歳”、“85歳以上”では「はい」が多くなっています。

対象種別にみると、“総合事業対象者”、“要支援1”、“要支援2”では「はい」が多くなっています。

居住状況別にみると、“1人暮らし”では「はい」が49.1%と多くなっています。



問 20 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可) (✓はひとつ)

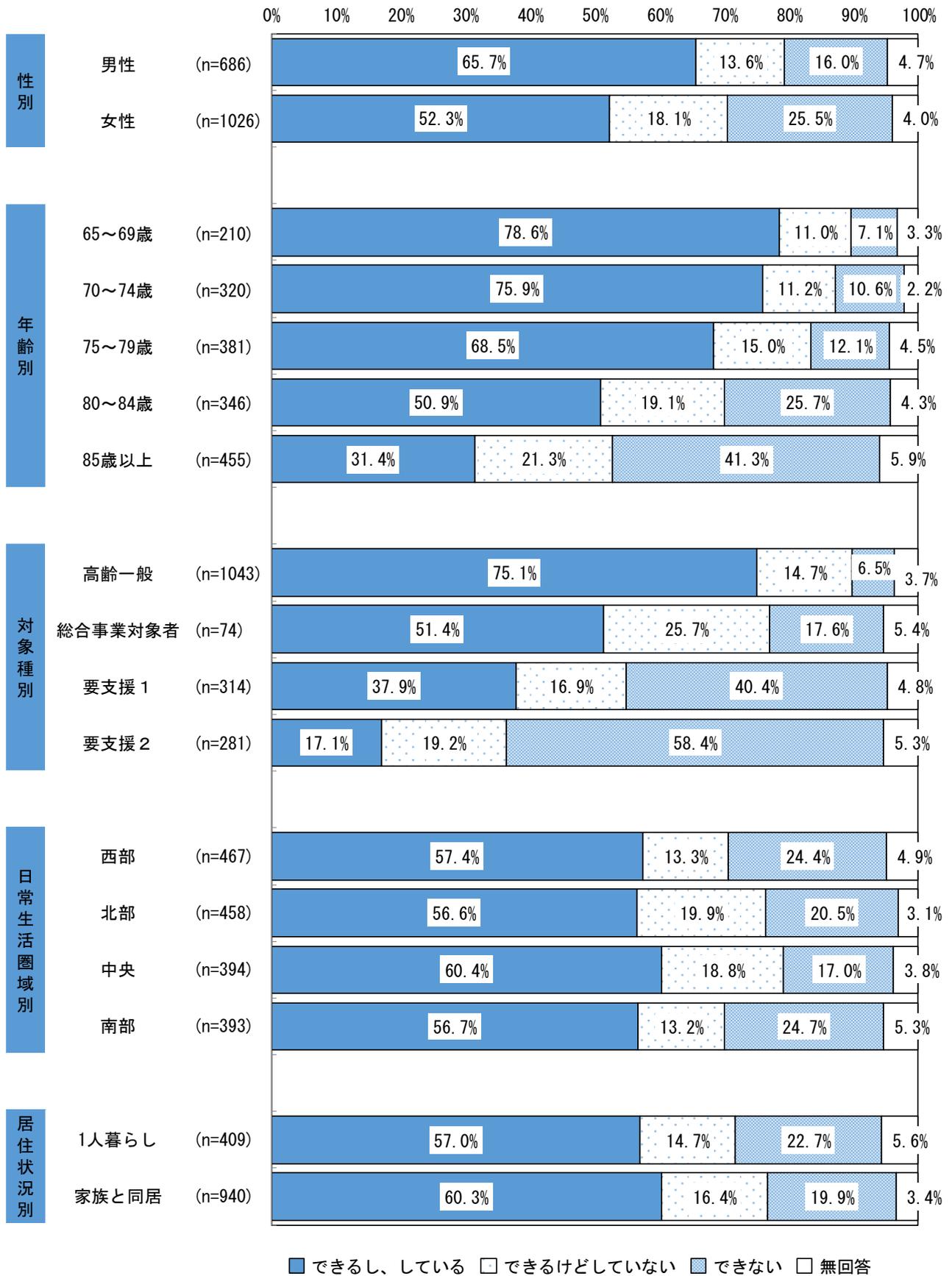


### 要支援2では「できない」と答えた人がおよそ60%

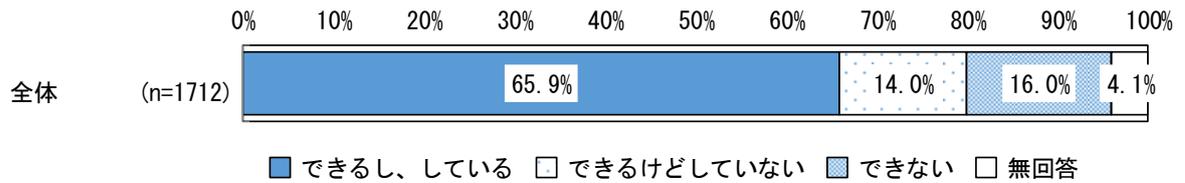
バスや電車を使って1人で外出しているかにおいては、「できるし、している」が57.7%と最も多く、次いで「できない」が21.7%、「できるけどしていない」が16.3%となっています。

年齢別にみると、“85歳以上”では「できない」が41.3%と最も多くなっています。

対象種別にみると、“要支援1”、“要支援2”では「できない」が最も多くなっています。



問 21 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(✓はひとつ)



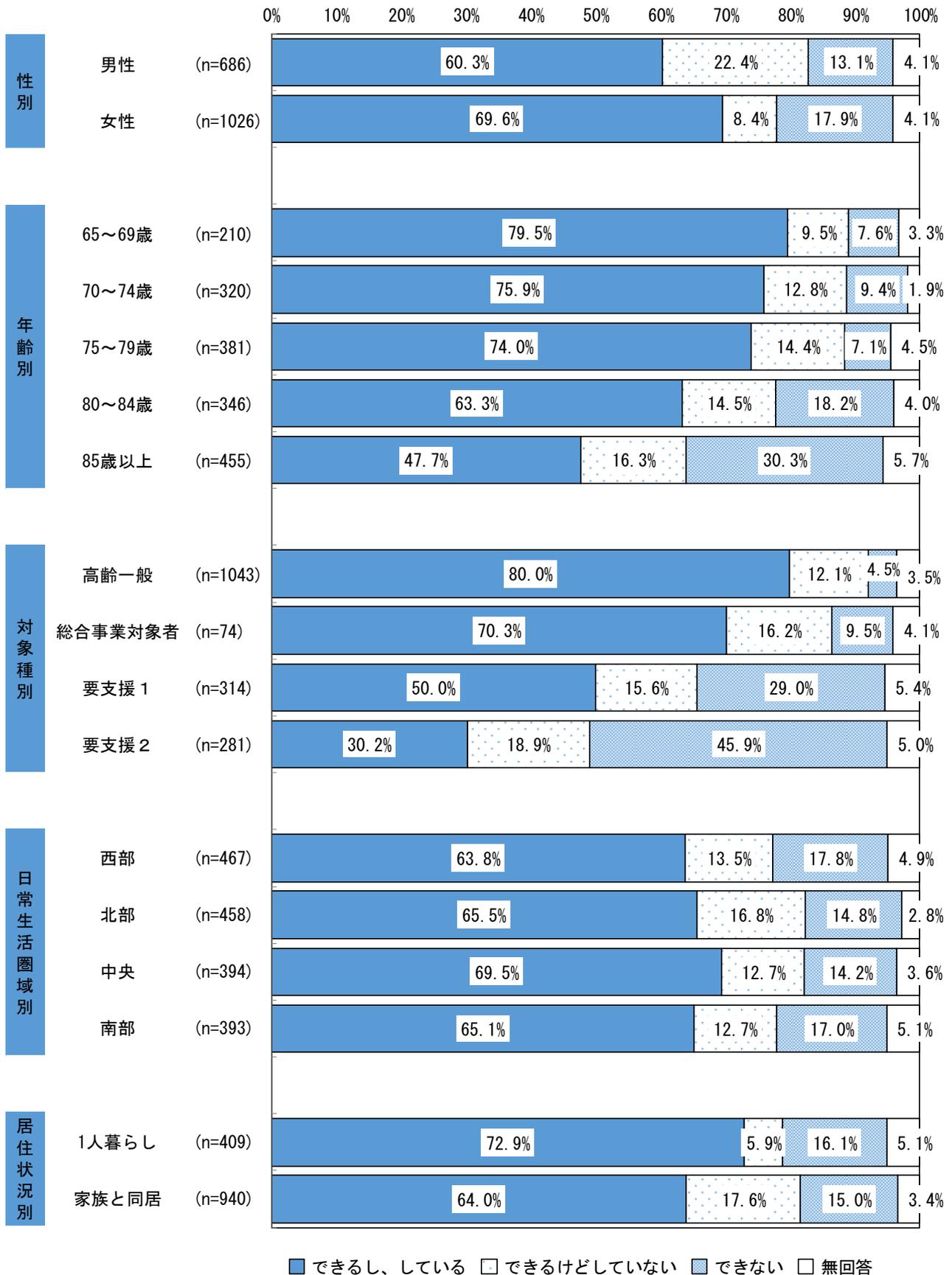

---

### 要支援2では「できない」と答えた人がおよそ50%

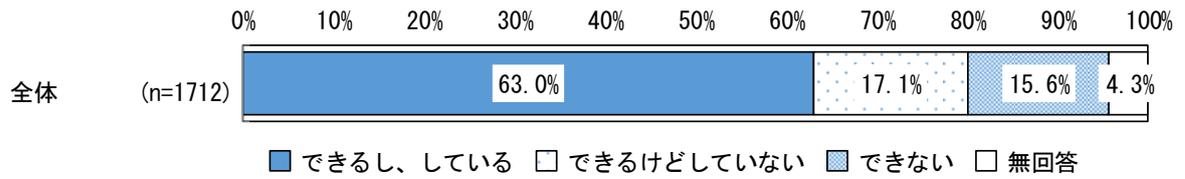
---

自分で食品・日用品の買物をしているかにおいては、「できるし、している」が65.9%と最も多く、次いで「できない」が16.0%、「できるけどしていない」が14.0%となっています。

対象種別にみると、“要支援2”では「できない」が45.9%と最も多くなっています。



問 22 自分で食事の用意をしていますか。(✓はひとつ)

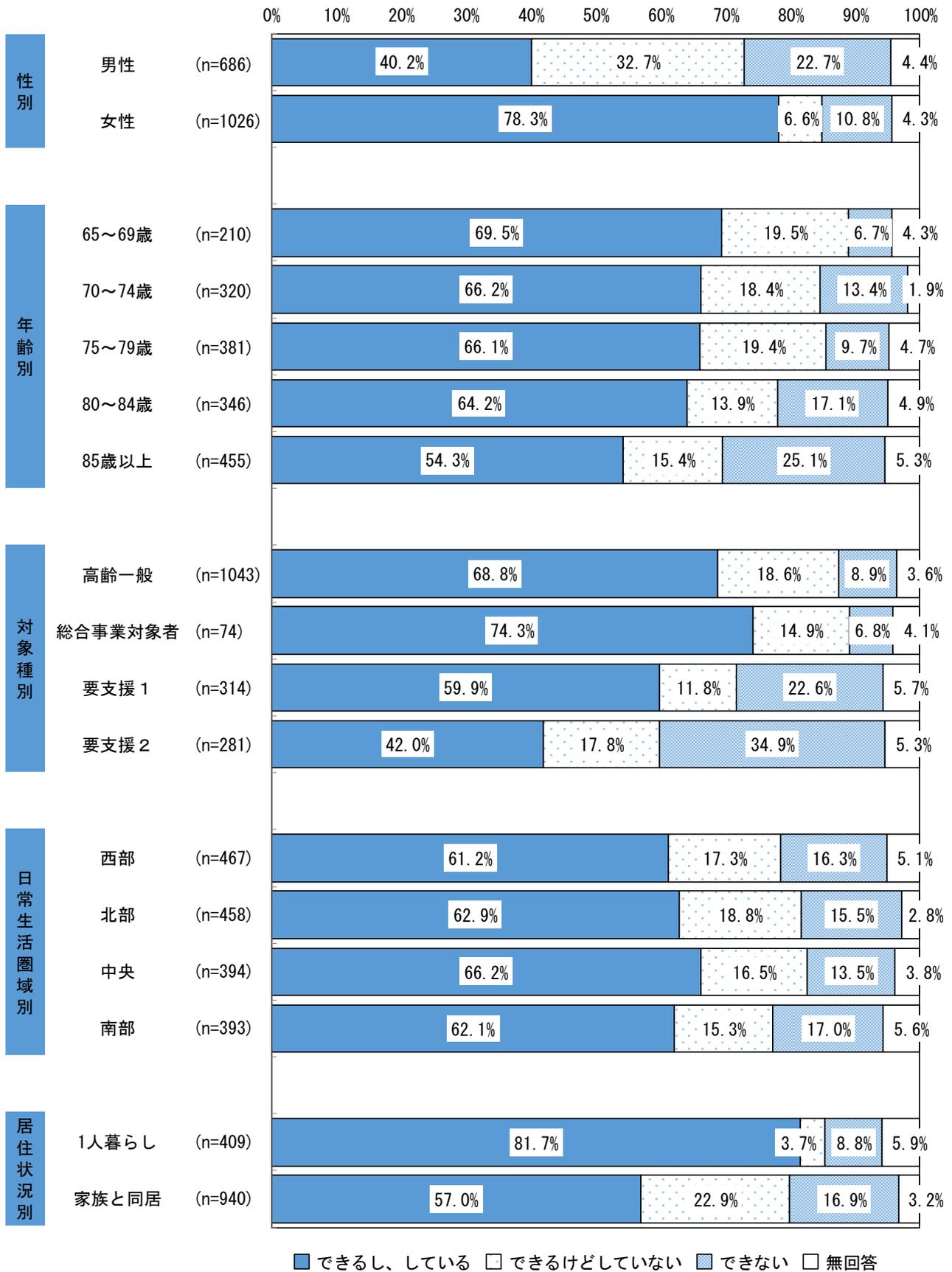



---

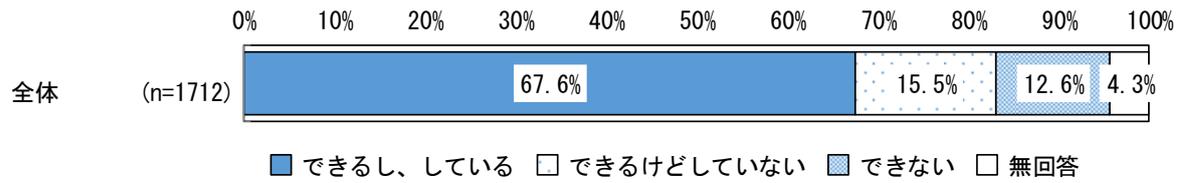
**要支援2では「できない」と答えた人がおよそ30%**

---

自分で食事の用意をしているかにおいては、「できるし、している」が63.0%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が17.1%、「できない」が15.6%となっています。



問 23 自分で請求書の支払いをしていますか。(✓はひとつ)

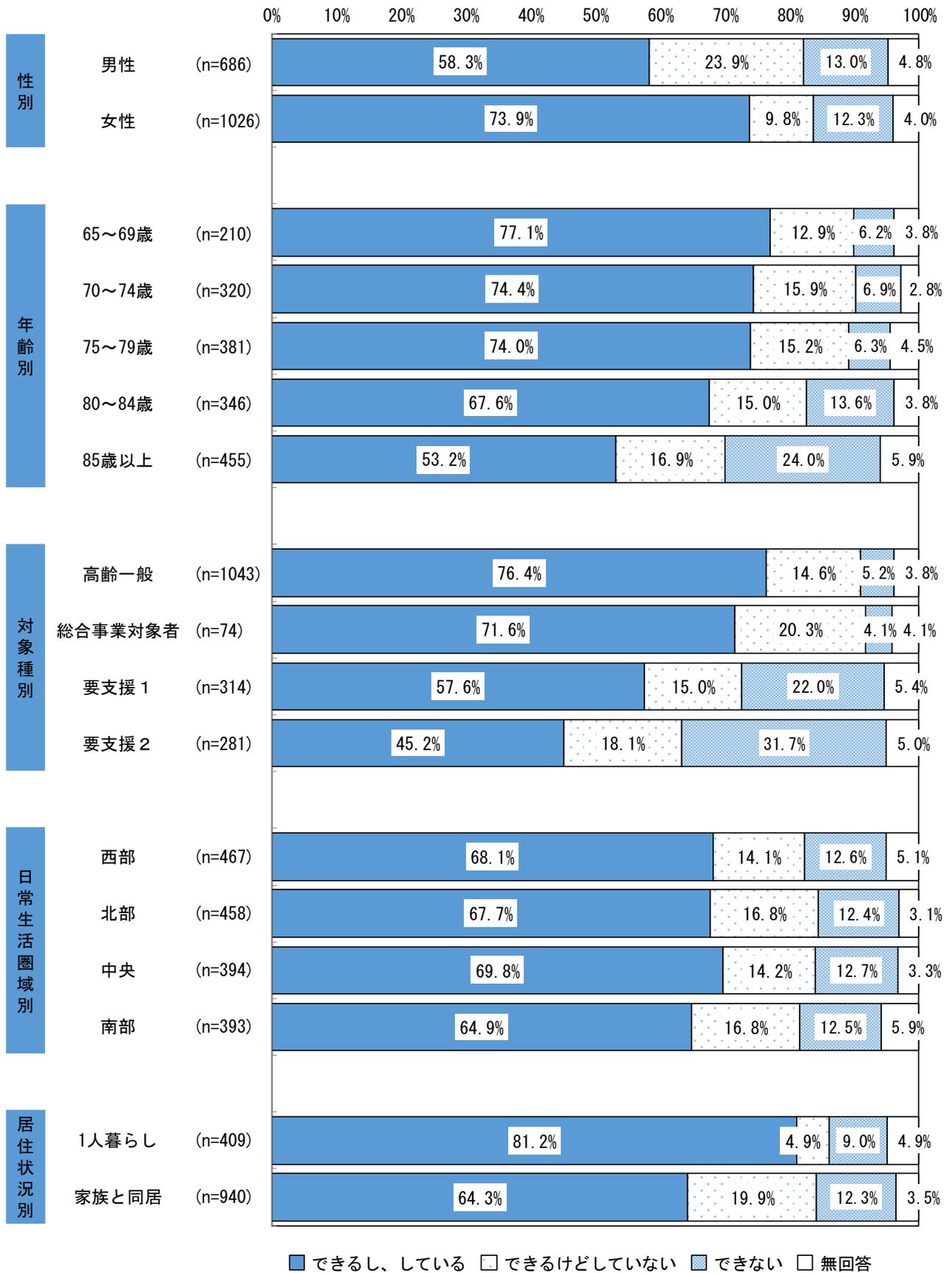



---

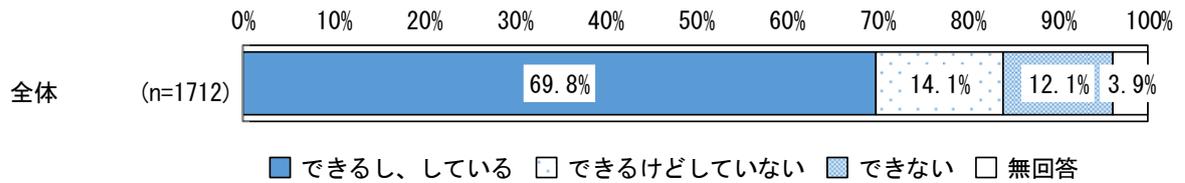
**要支援2では「できない」と答えた人がおよそ30%**

---

自分で請求書の支払いをしているかにおいては、全体にみると、「できるし、している」が67.6%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が15.5%、「できない」が12.6%となっています。



問 24 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(✓はひとつ)

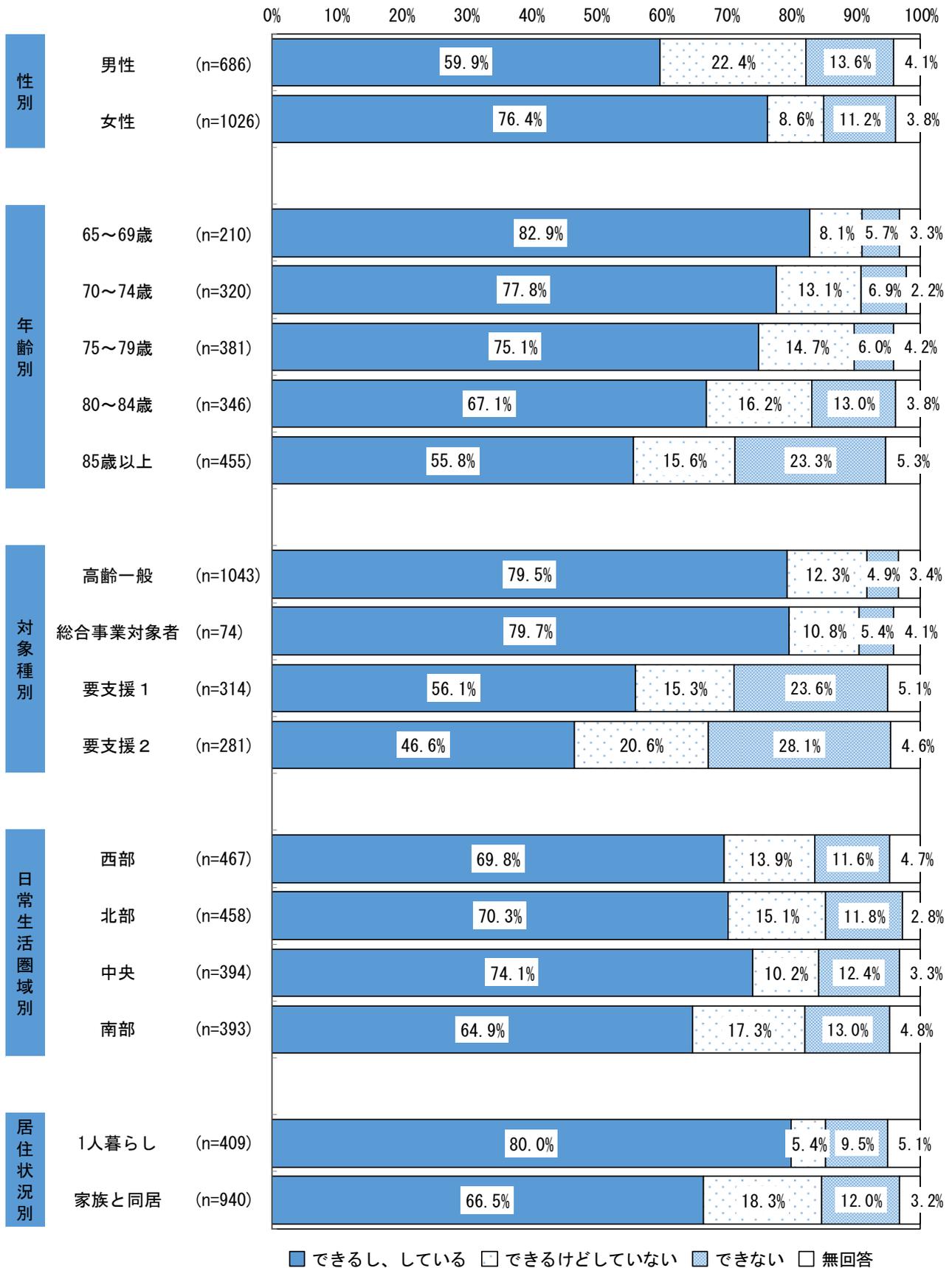



---

**要支援2では「できない」と答えた人がおよそ30%**

---

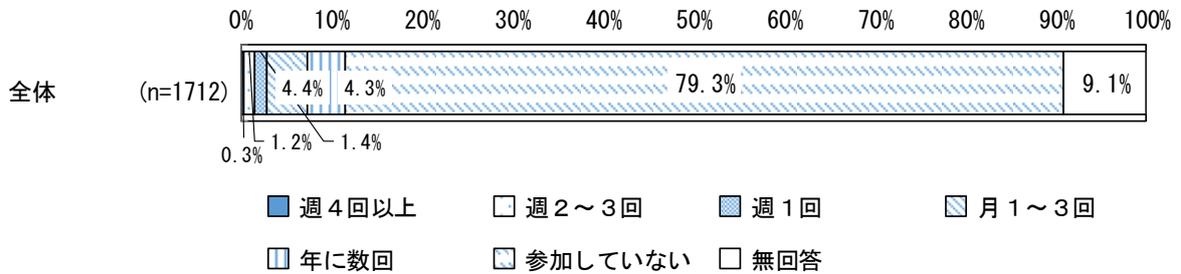
自分で預貯金の出し入れをしているかにおいては、「できるし、している」が69.8%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が14.1%、「できない」が12.1%となっています。



(5) 地域での活動について

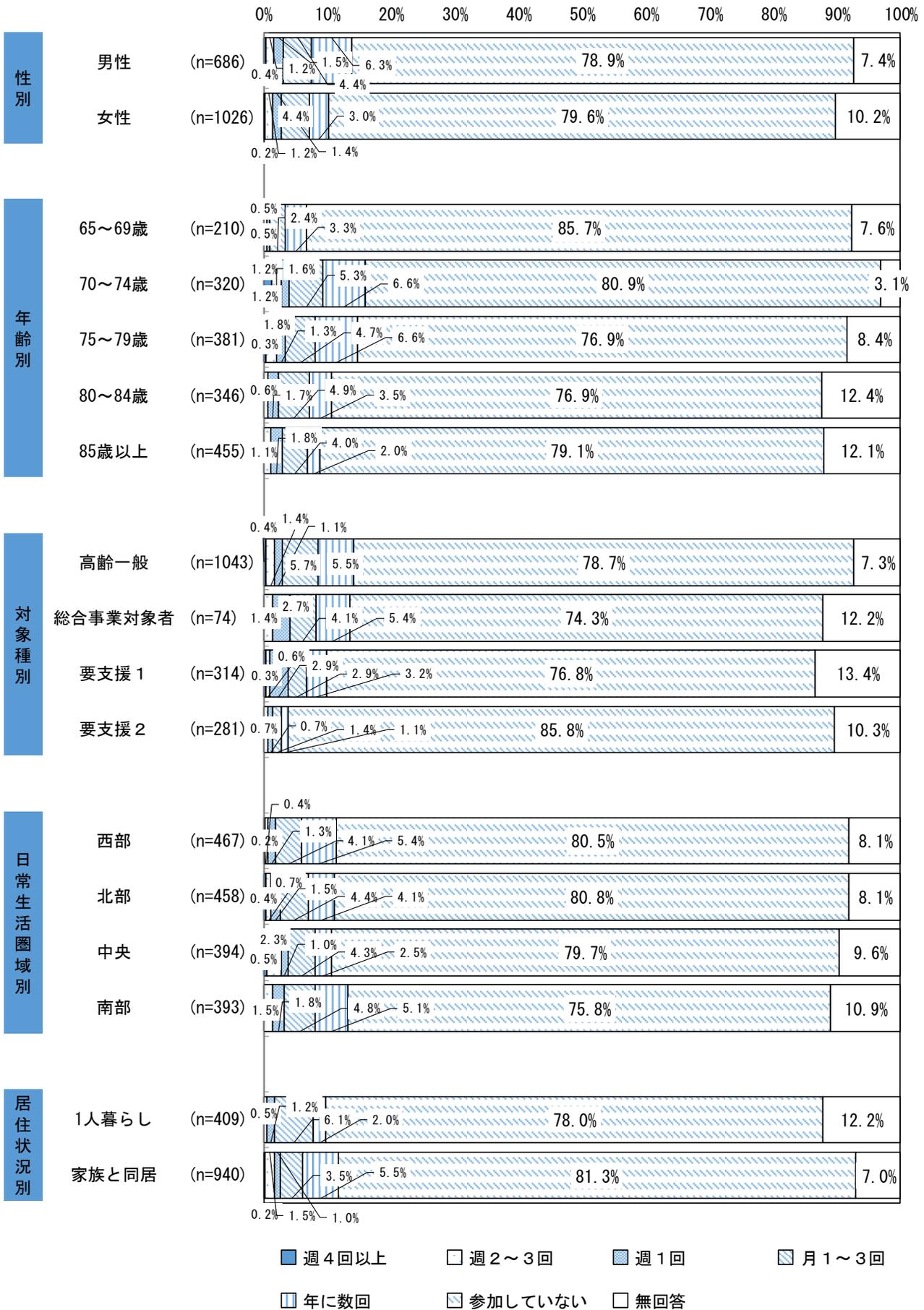
問 25 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。  
 ※① - ⑧それぞれに回答してください（✓はひとつずつ）

① ボランティアのグループ

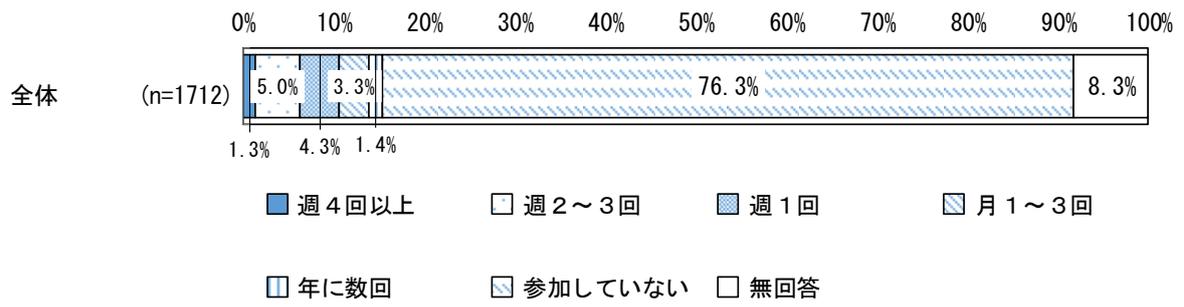


「参加していない」と答えた人がおよそ80%

ボランティアのグループにおいては、「参加していない」が79.3%と最も多く、次いで「月1~3回」が4.4%、「年に数回」が4.3%となっています。

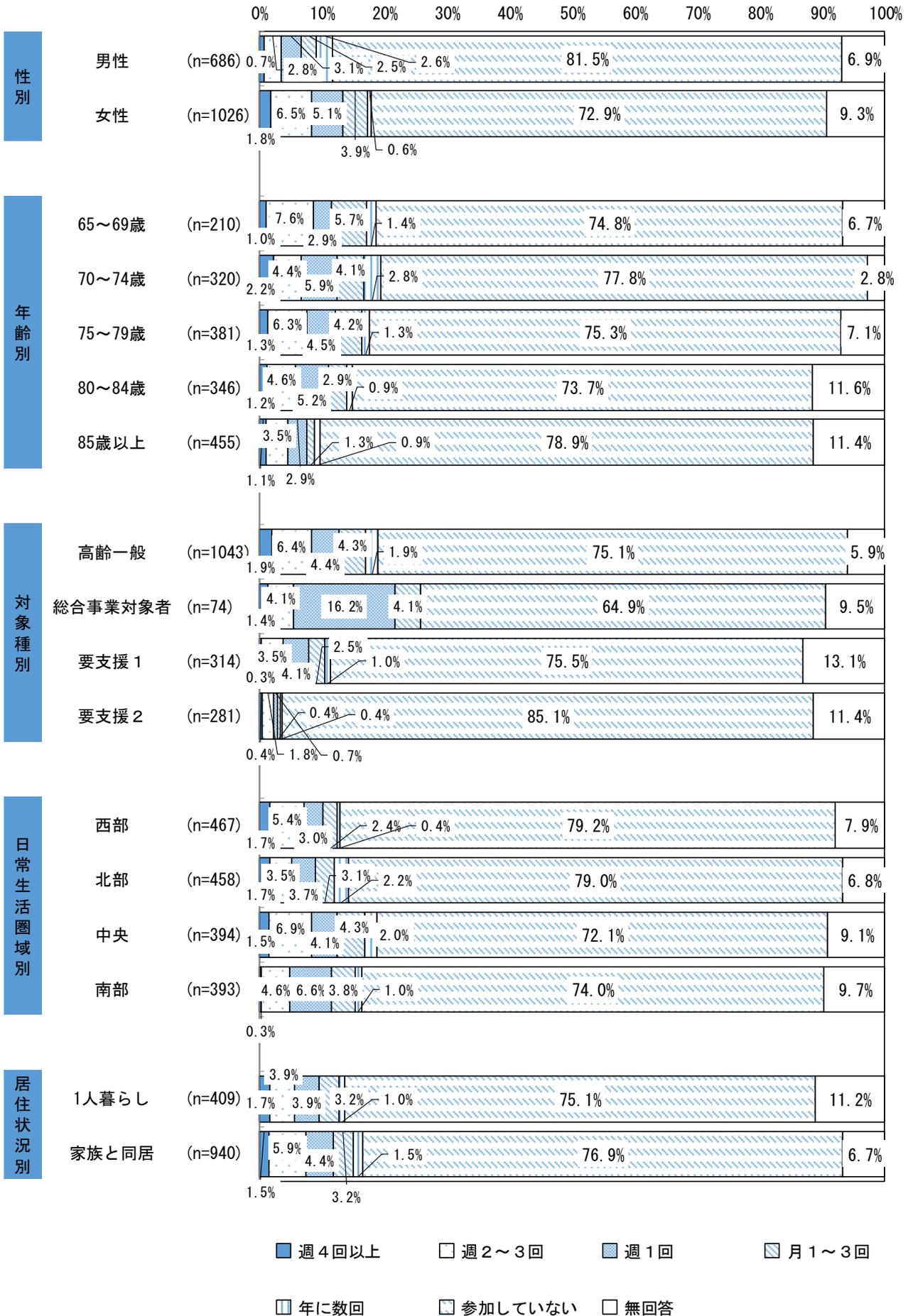


② スポーツ関係のグループやクラブ

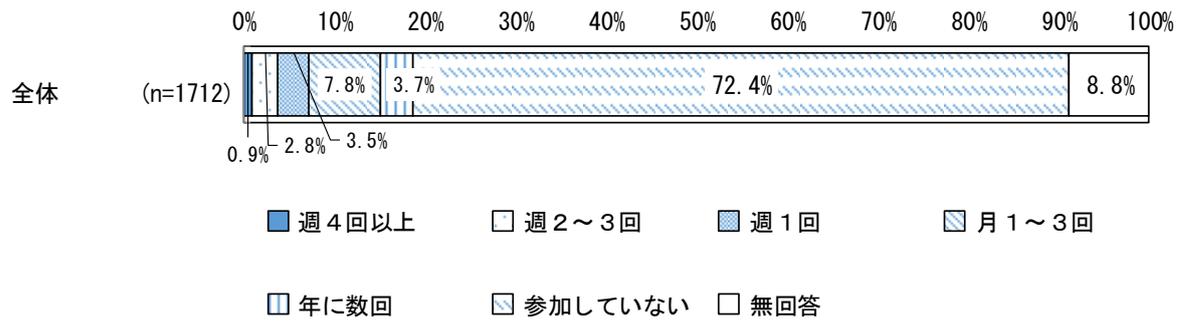


「参加していない」と答えた人がおよそ80%

スポーツ関係のグループやクラブにおいては、「参加していない」が76.3%と最も多く、次いで「週2~3回」が5.0%、「週1回」が4.3%となっています。

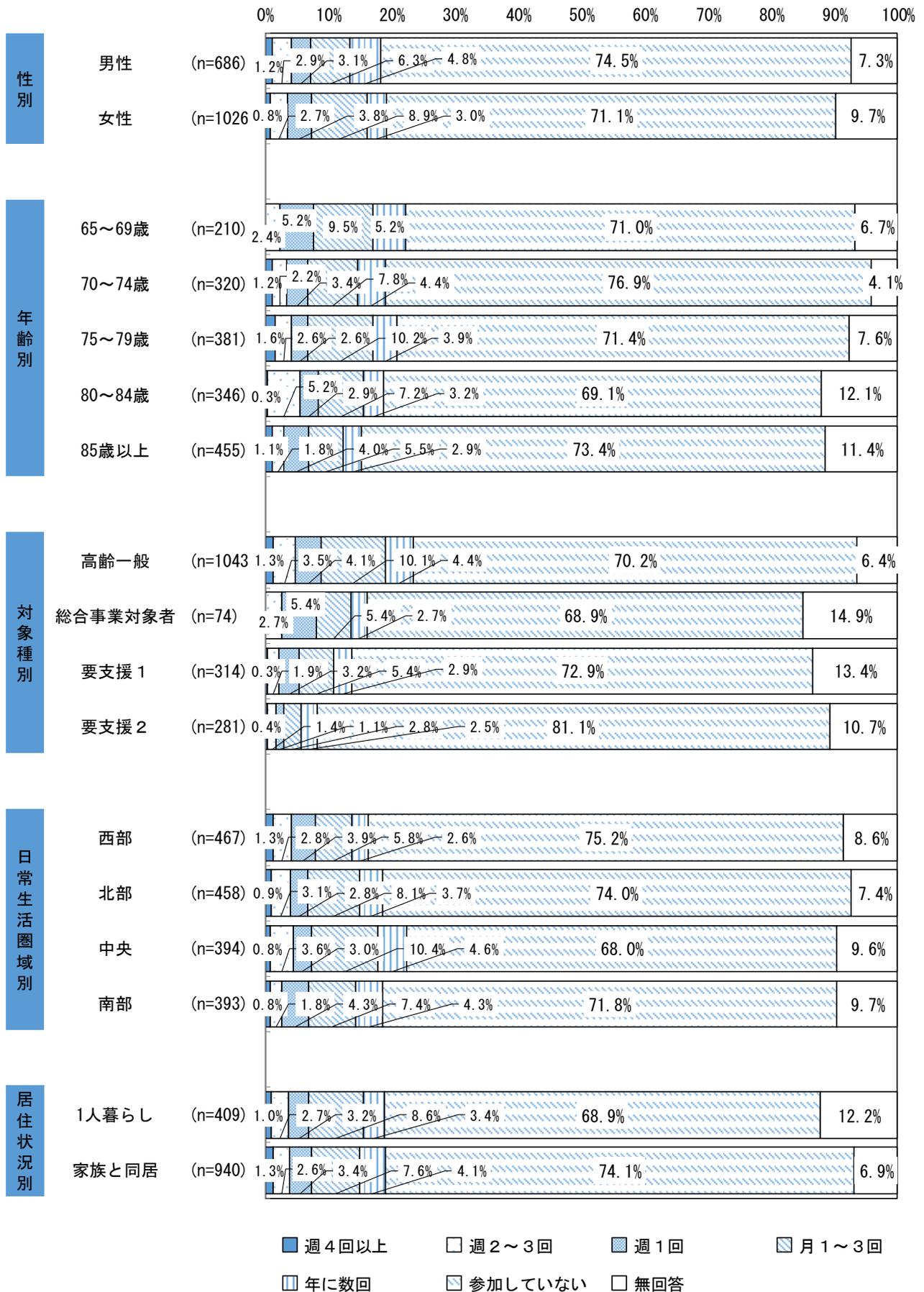


③趣味関係のグループ

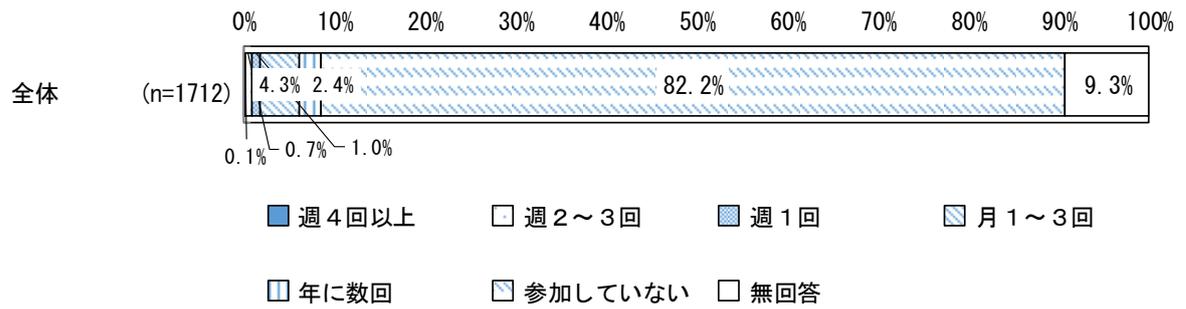


「参加していない」と答えた人がおよそ70%

趣味関係のグループにおいては、「参加していない」が72.4%と最も多く、次いで「月1~3回」が7.8%、「年に数回」が3.7%となっています。

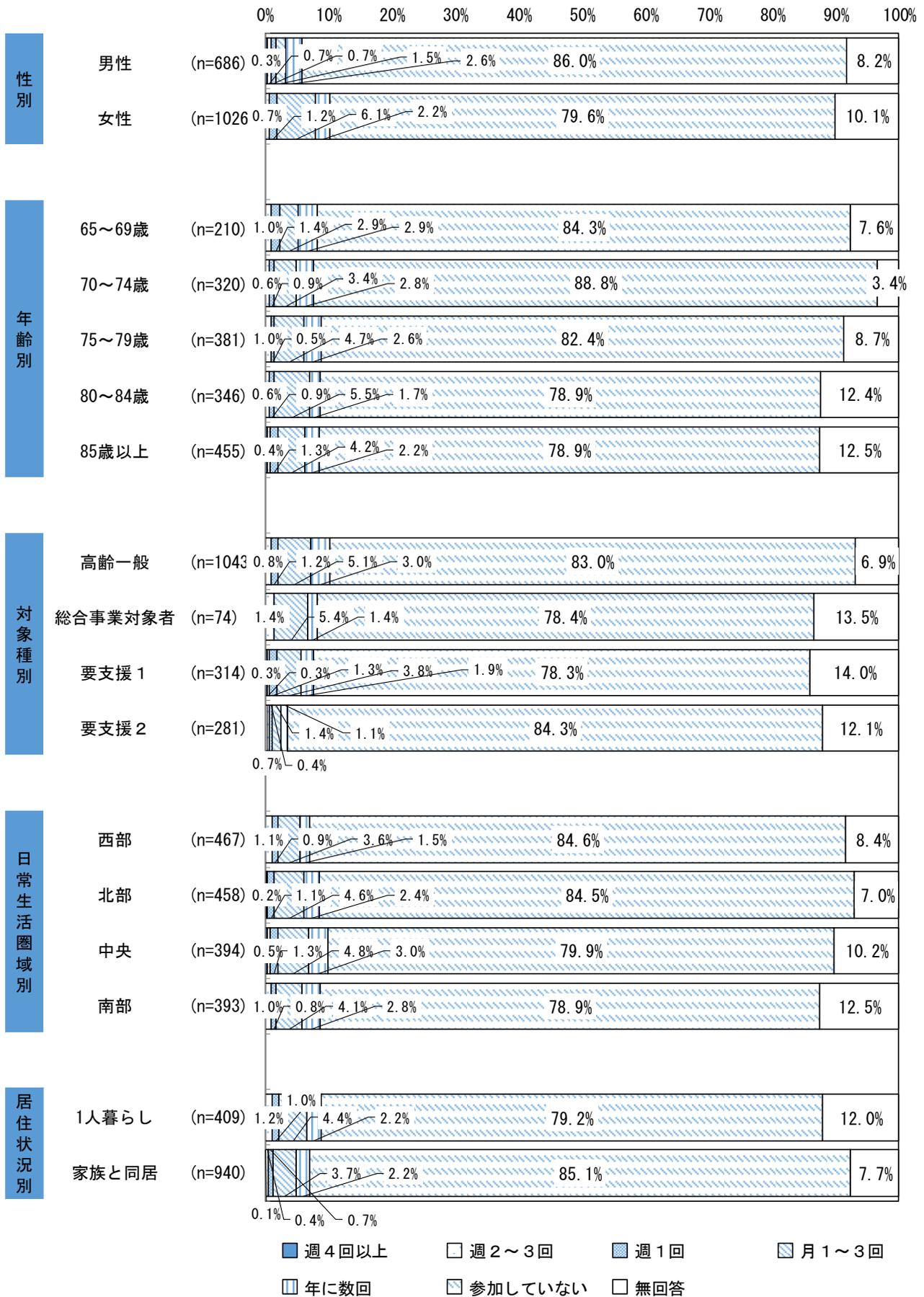


④学習・教養サークル

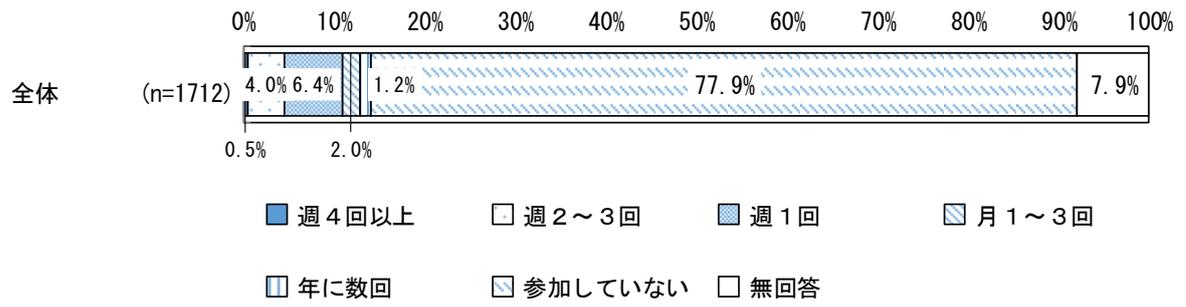


「参加していない」と答えた人がおよそ80%

学習・教養サークルにおいては、「参加していない」が82.2%と最も多く、次いで「月1~3回」が4.3%、「年に数回」が2.4%となっています。

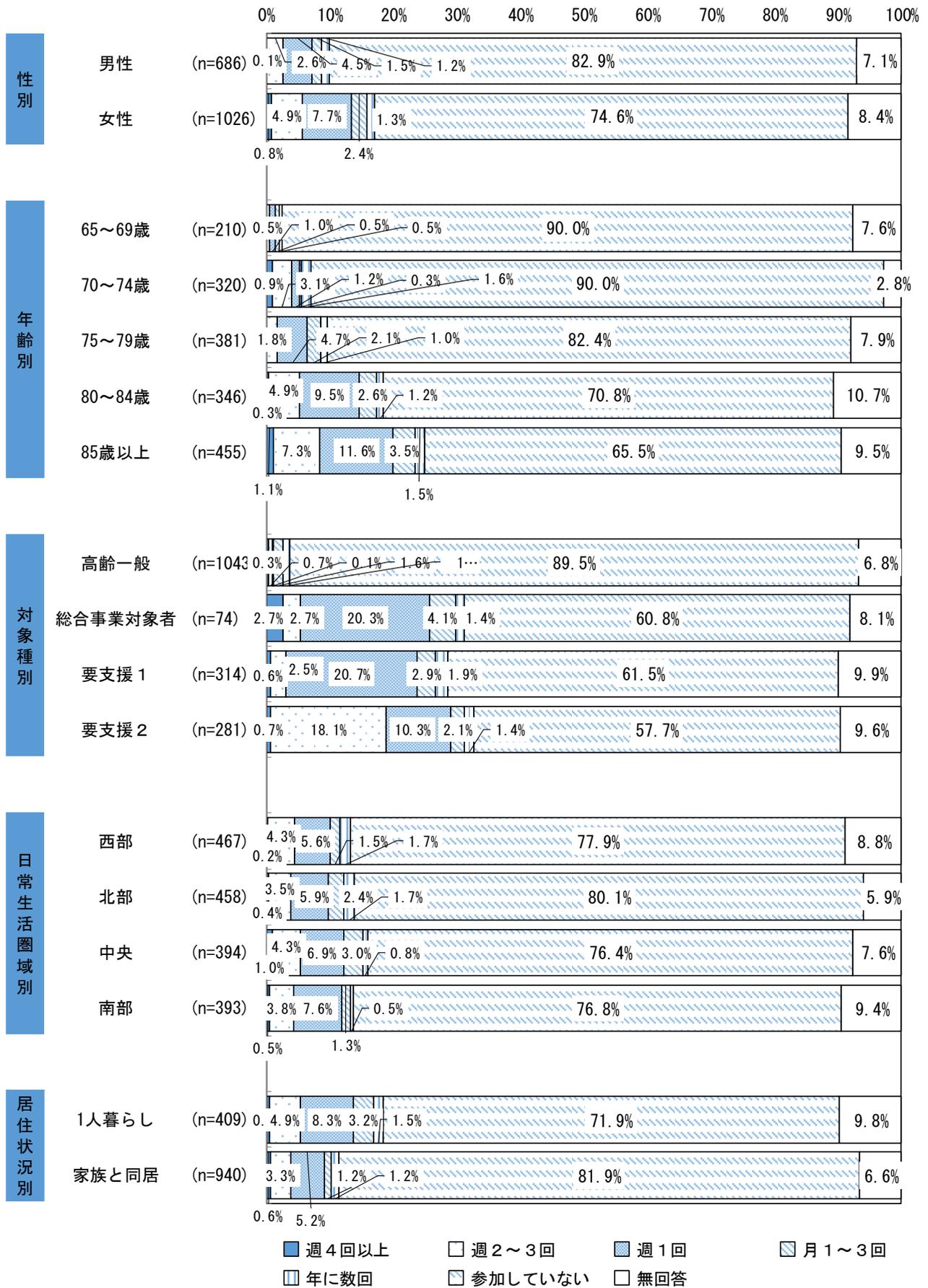


⑤高齢者サロンなど介護予防のための通いの場

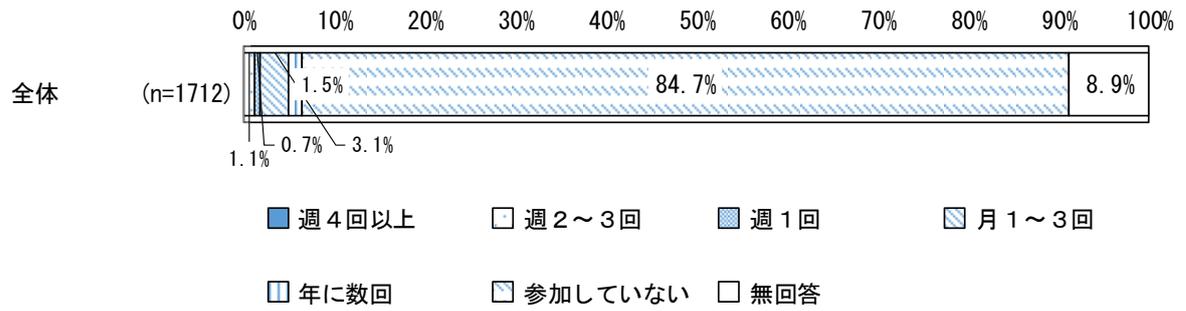


「参加していない」と答えた人がおよそ80%

高齢者サロンなど介護予防のための通いの場においては、「参加していない」が77.9%と最も多く、次いで「週1回」が6.4%、「週2~3回」が4.0%となっています。



⑥シニアクラブ・老人クラブ

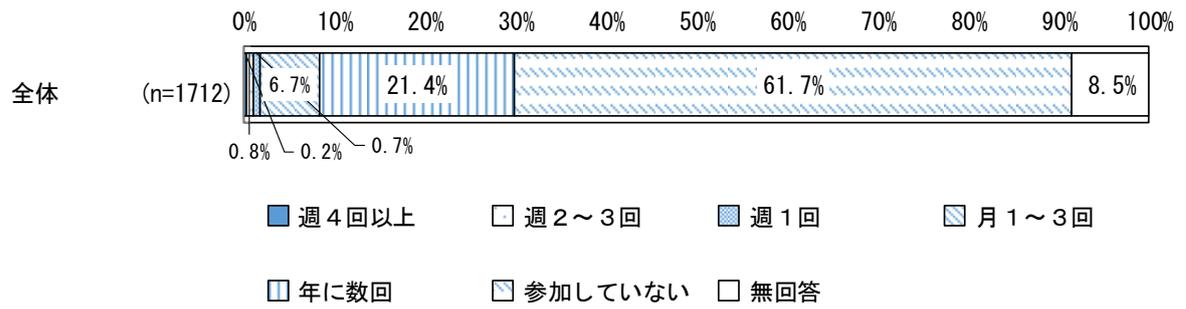


「参加していない」と答えた人がおよそ80%

シニアクラブ・老人クラブにおいては、「参加していない」が84.7%と最も多く、次いで「月1~3回」が3.1%、「年に数回」が1.5%となっています。

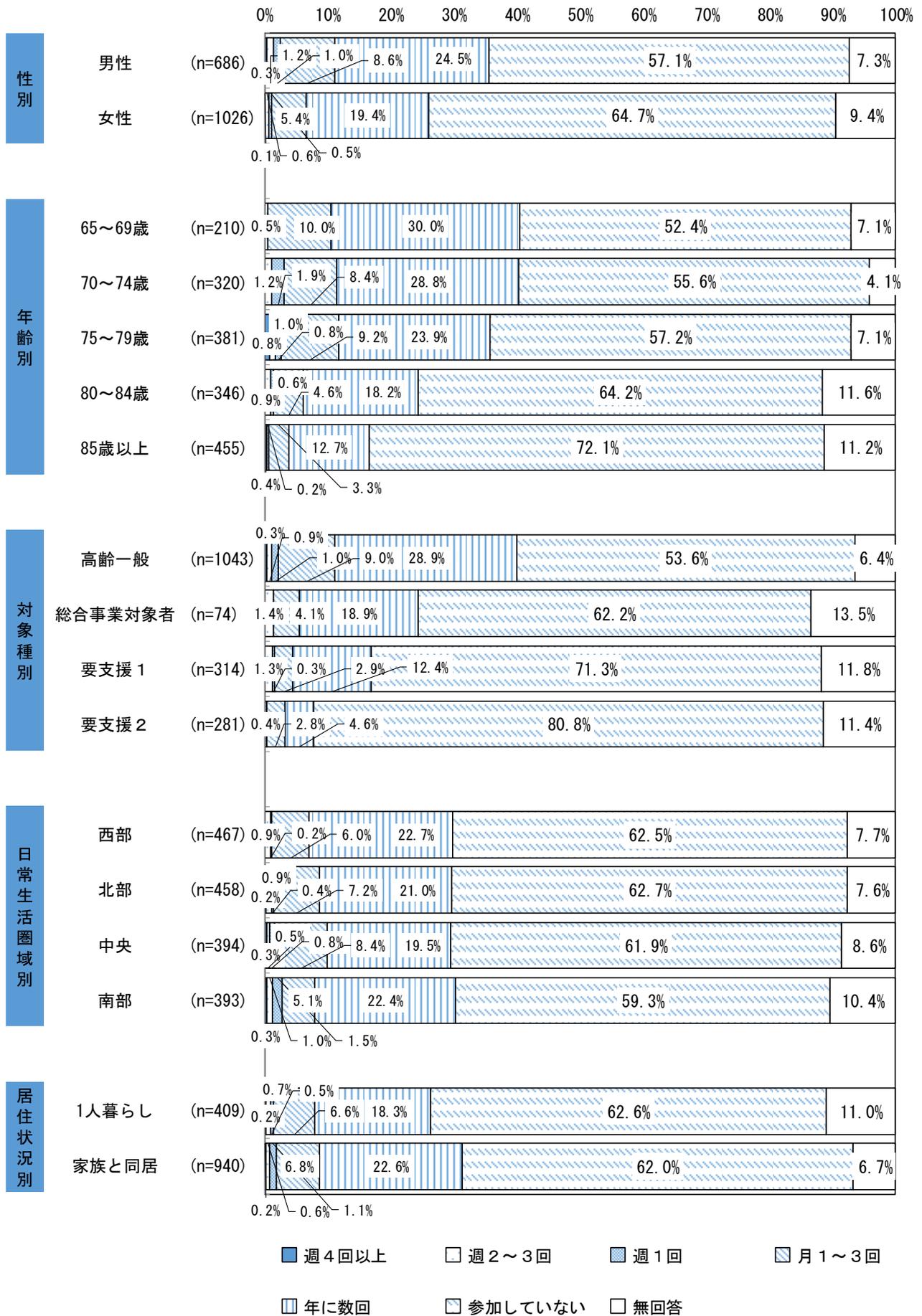


⑦町内会・自治会

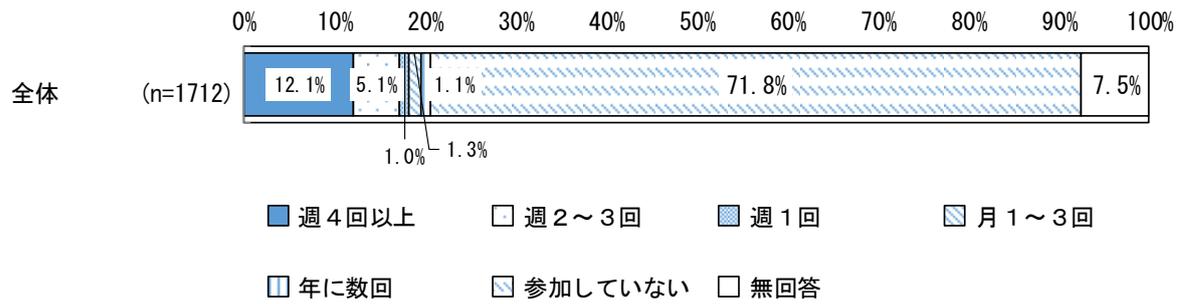


「参加していない」と答えた人がおよそ60%

町内会・自治会においては、「参加していない」が61.7%と最も多く、次いで「年に数回」が21.4%、「月1~3回」が6.7%となっています。

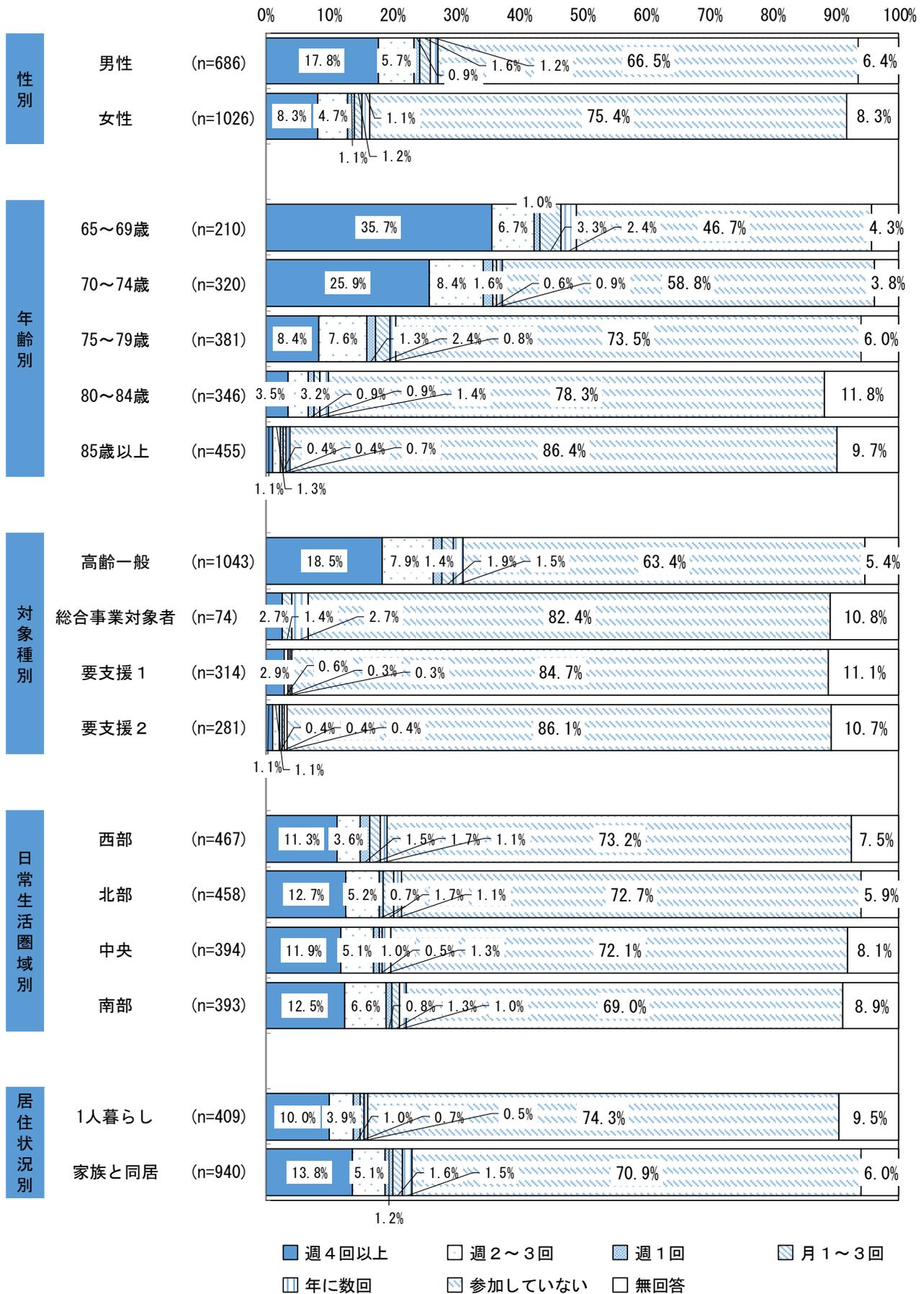


⑧収入のある仕事

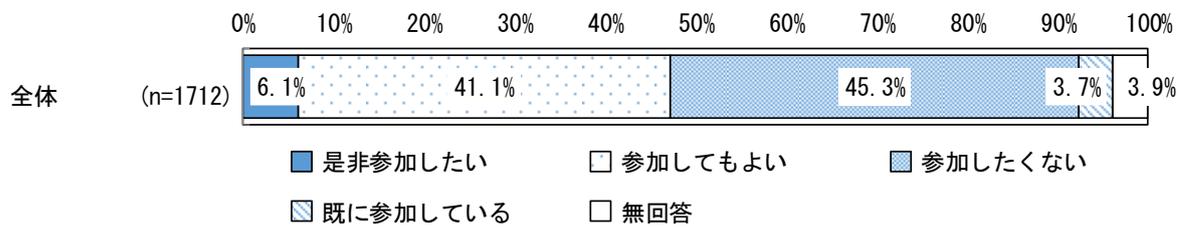


「参加していない」と答えた人がおよそ70%

収入のある仕事においては、「参加していない」が71.8%と最も多く、次いで「週4回以上」が12.1%、「週2～3回」が5.1%となっています。



問 26 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(✓はひとつ)




---

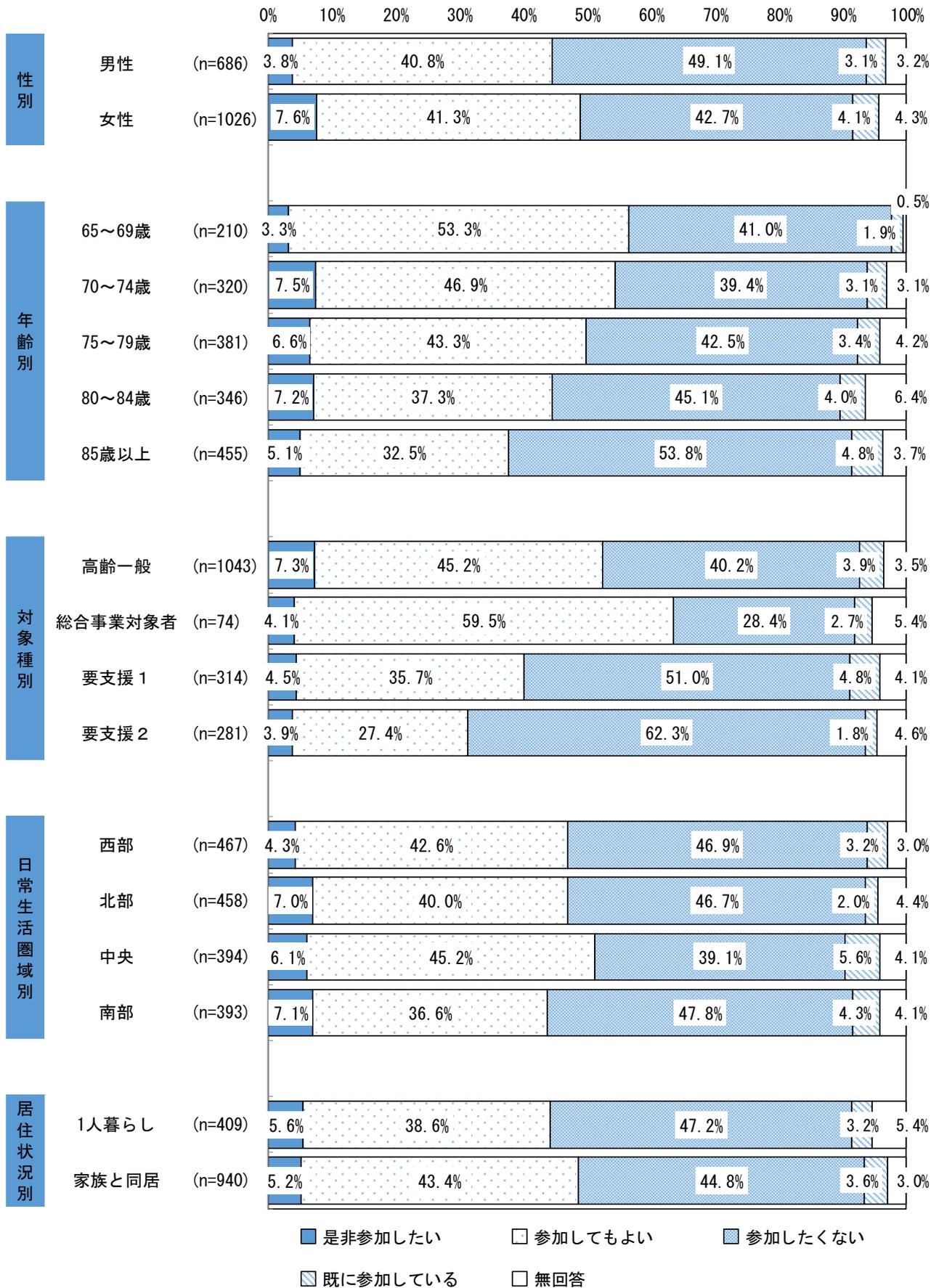
**85歳以上、要支援1、要支援2では  
「参加したくない」と答えた人が半数以上**

---

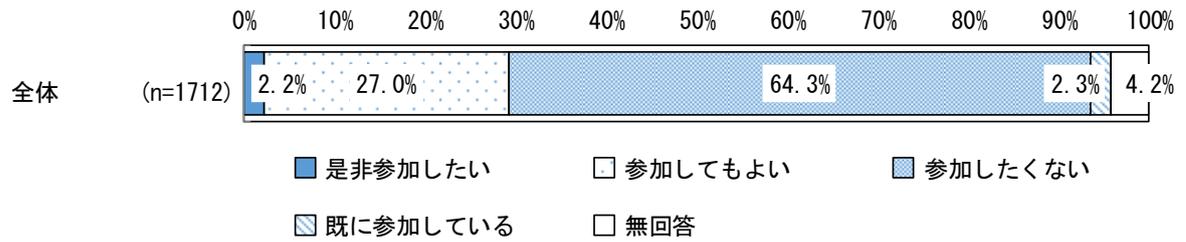
地域づくりの推進の活動に参加者としての参加意向においては、「参加したくない」が45.3%と最も多く、次いで「参加してもよい」が41.1%、「是非参加したい」が6.1%となっています。

年齢別にみると、“65～69歳”、“70～74歳”、“75～79歳”では「参加してもよい」が最も多くなっています。

対象種別にみると、“高齢一般”、“総合事業対象者”では「参加してもよい」が最も多くなっています。

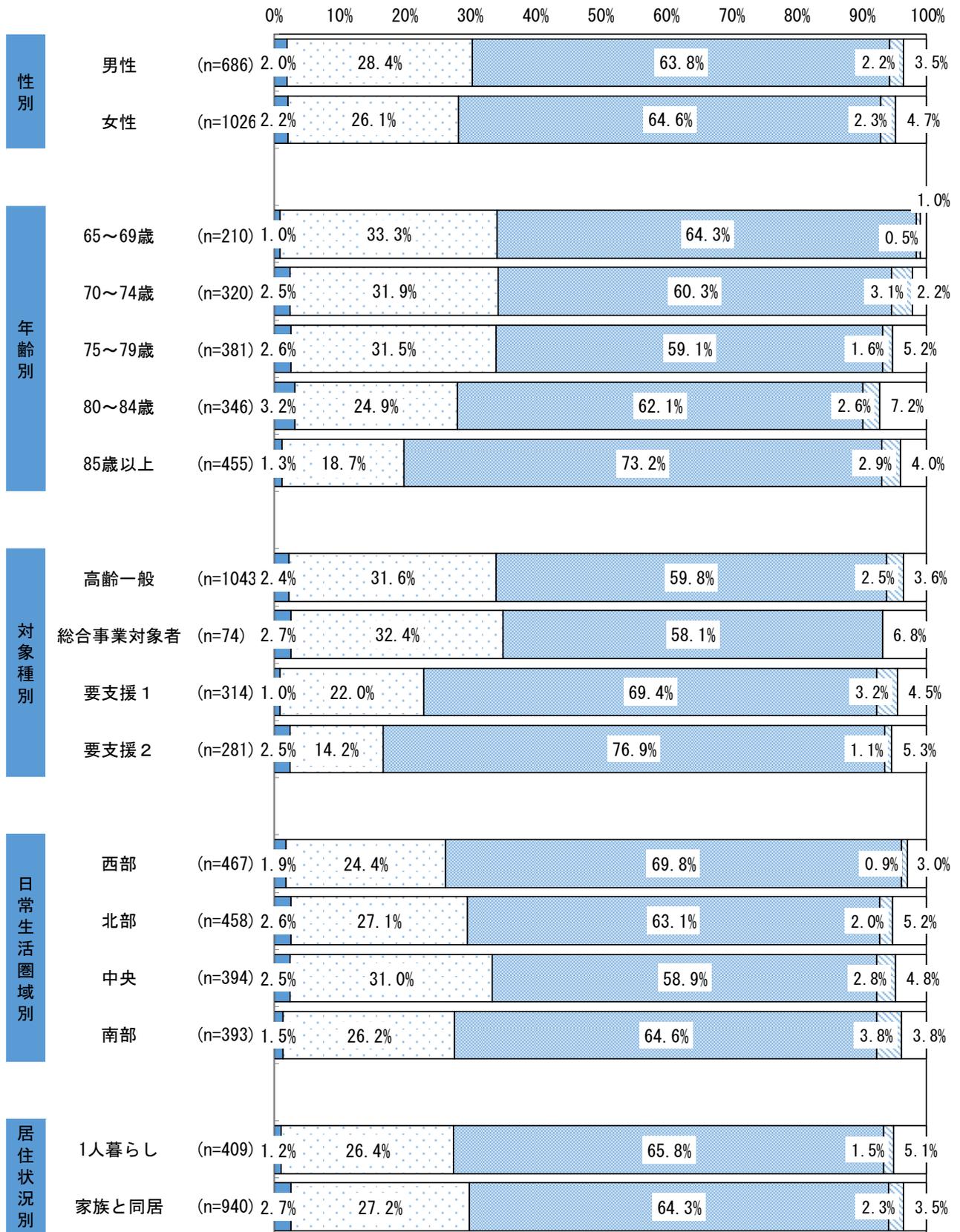


問 27 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（✓はひとつ）



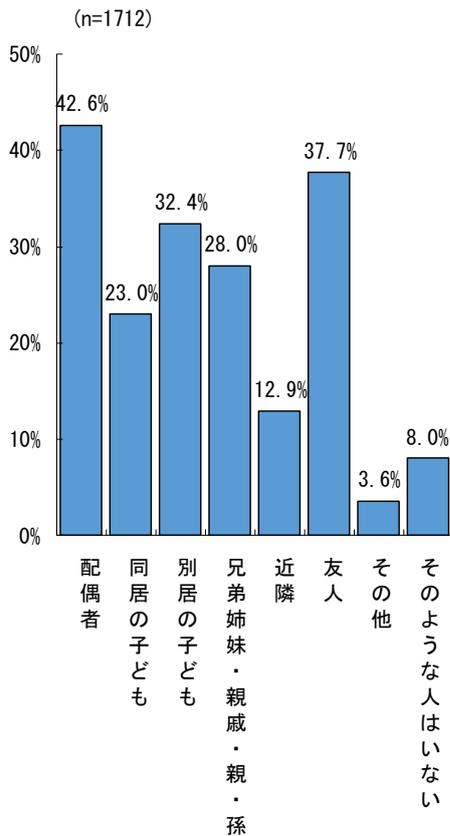
### 「参加したくない」と答えた人がおよそ60%

地域づくりの推進の活動に企画・運営役としての参加意向においては、「参加したくない」が64.3%と最も多く、次いで「参加してもよい」が27.0%、「既に参加している」が2.3%となっています。



## (6) あなたとまわりの人の「たすけあい」について

問 28 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（✓はいくつでも）



男性では「配偶者」と答えた人がおよそ60%  
女性では「友人」と答えた人がおよそ50%

心配事や愚痴を聞いてくれる人においては、「配偶者」が42.6%と最も多く、次いで「友人」が37.7%、「別居の子ども」が32.4%となっています。

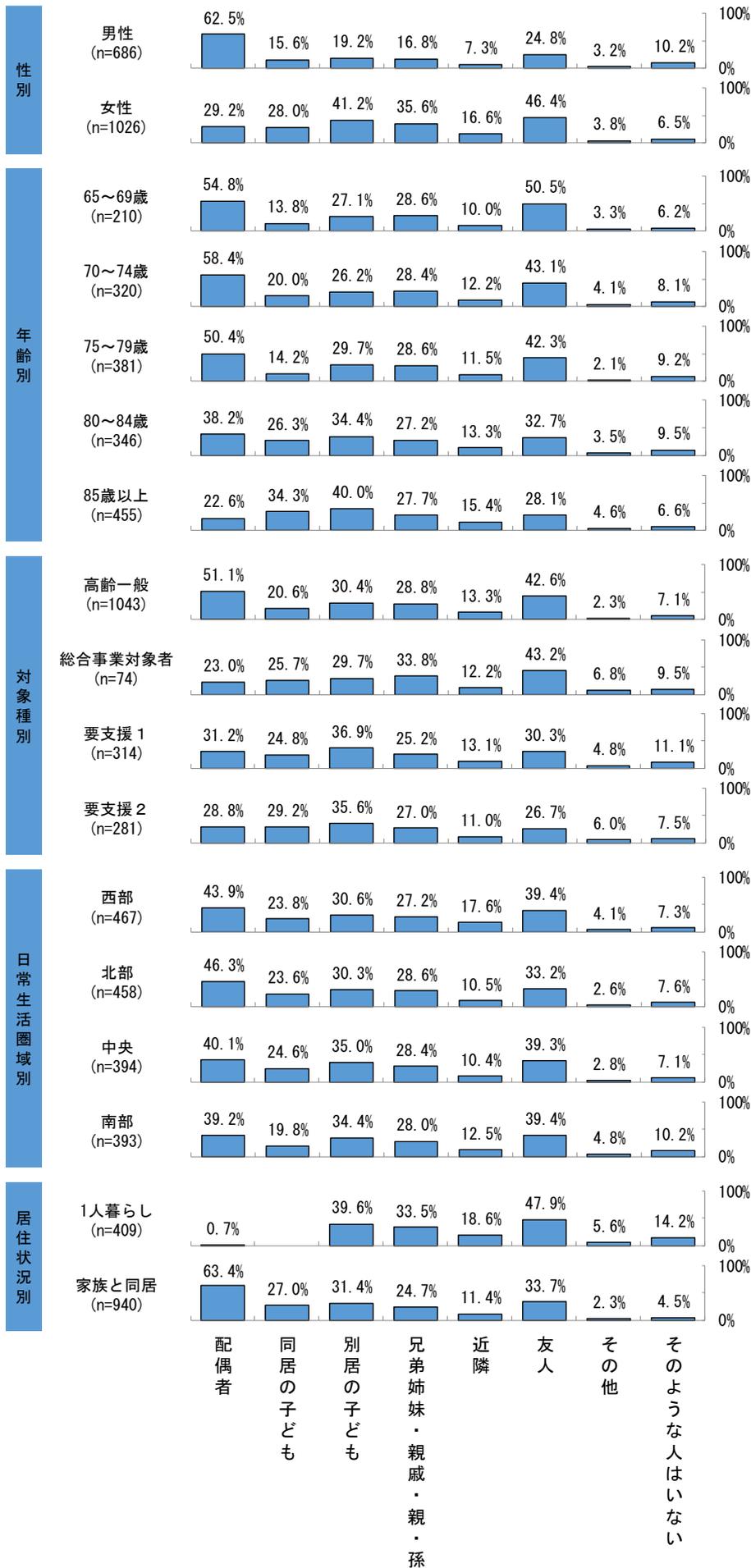
性別にみると、“女性”では「友人」が46.4%と最も多くなっています。

年齢別にみると、“85歳以上”では「別居の子ども」が40.0%と最も多くなっています。

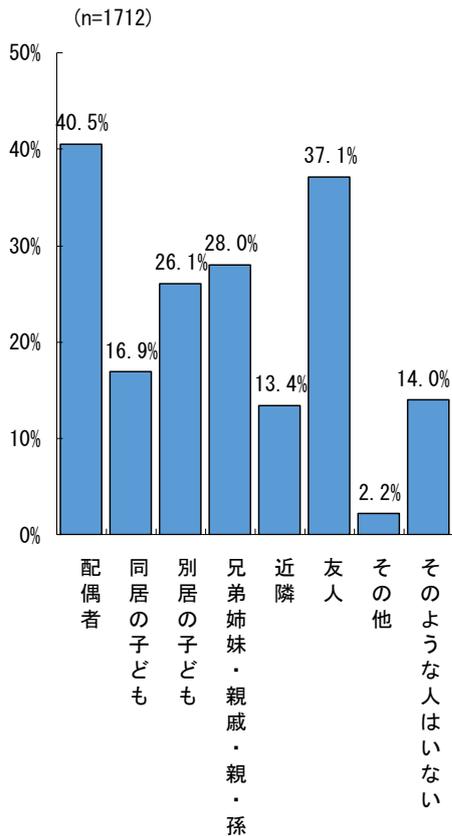
対象種別にみると、“総合事業対象者”では「友人」が34.5%と最も多くなっています。“要支援1”、“要支援2”では「別居の子ども」が最も多くなっています。

日常生活圏域別にみると、“南部”では「友人」が39.4%と最も多くなっています。

居住状況別にみると、“1人暮らし”では「友人」が47.9%と最も多くなっています。



問 29 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（✓はいくつでも）




---

男性では「配偶者」と答えた人がおよそ60%  
女性では「友人」と答えた人がおよそ50%

---

心配事や愚痴を聞いてあげる人においては、「配偶者」が40.5%と最も多く、次いで「友人」が37.1%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が28.0%となっています。

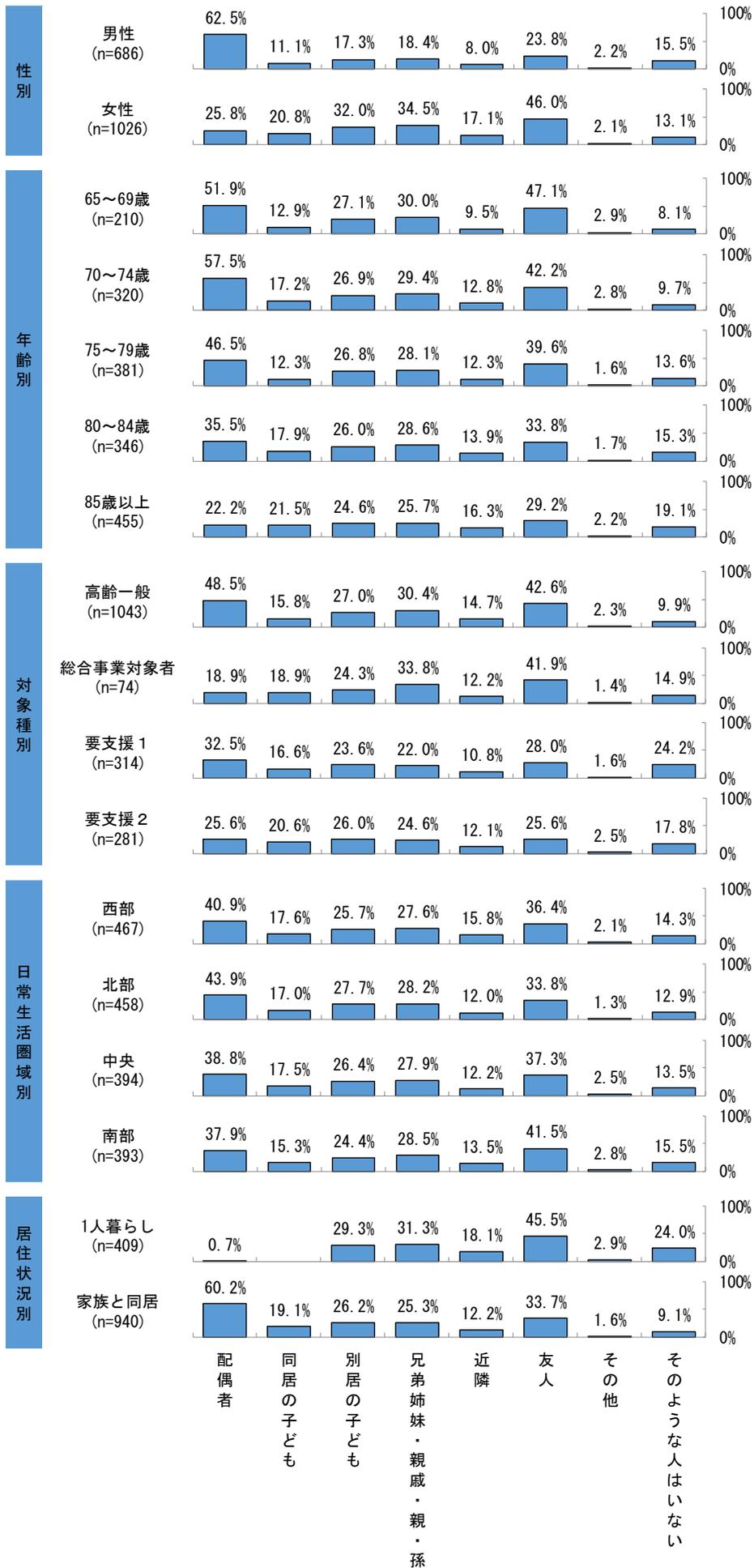
性別にみると、“女性”では「友人」が46.0%と最も多くなっています。

年齢別にみると、“85歳以上”では「友人」が29.2%と最も多くなっています。

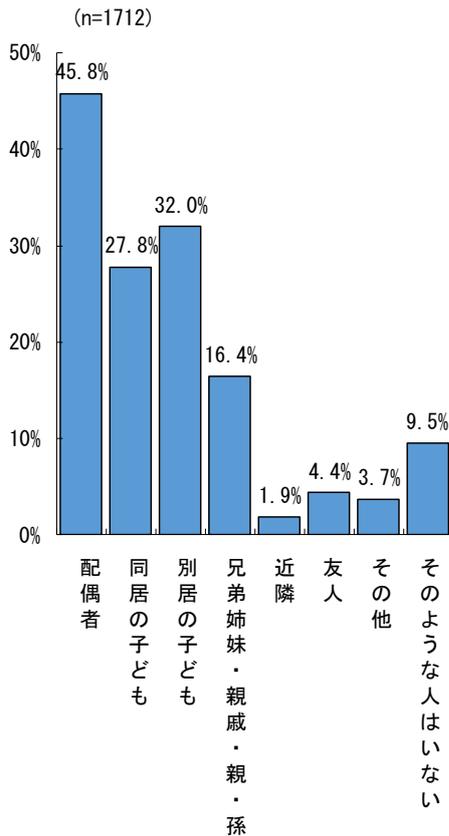
対象種別にみると、“総合事業対象者”では「友人」が41.9%と最も多くなっています。“要支援2”では「別居の子ども」が26.0%と最も多くなっています。

日常生活圏域別にみると、“南部”では「友人」が41.5%と最も多くなっています。

居住状況別にみると、“1人暮らし”では「友人」が45.5%と最も多くなっています。



問 30 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（✓はいくつでも）




---

**1人暮らしでは「別居の子ども」がおおよそ50%**

---

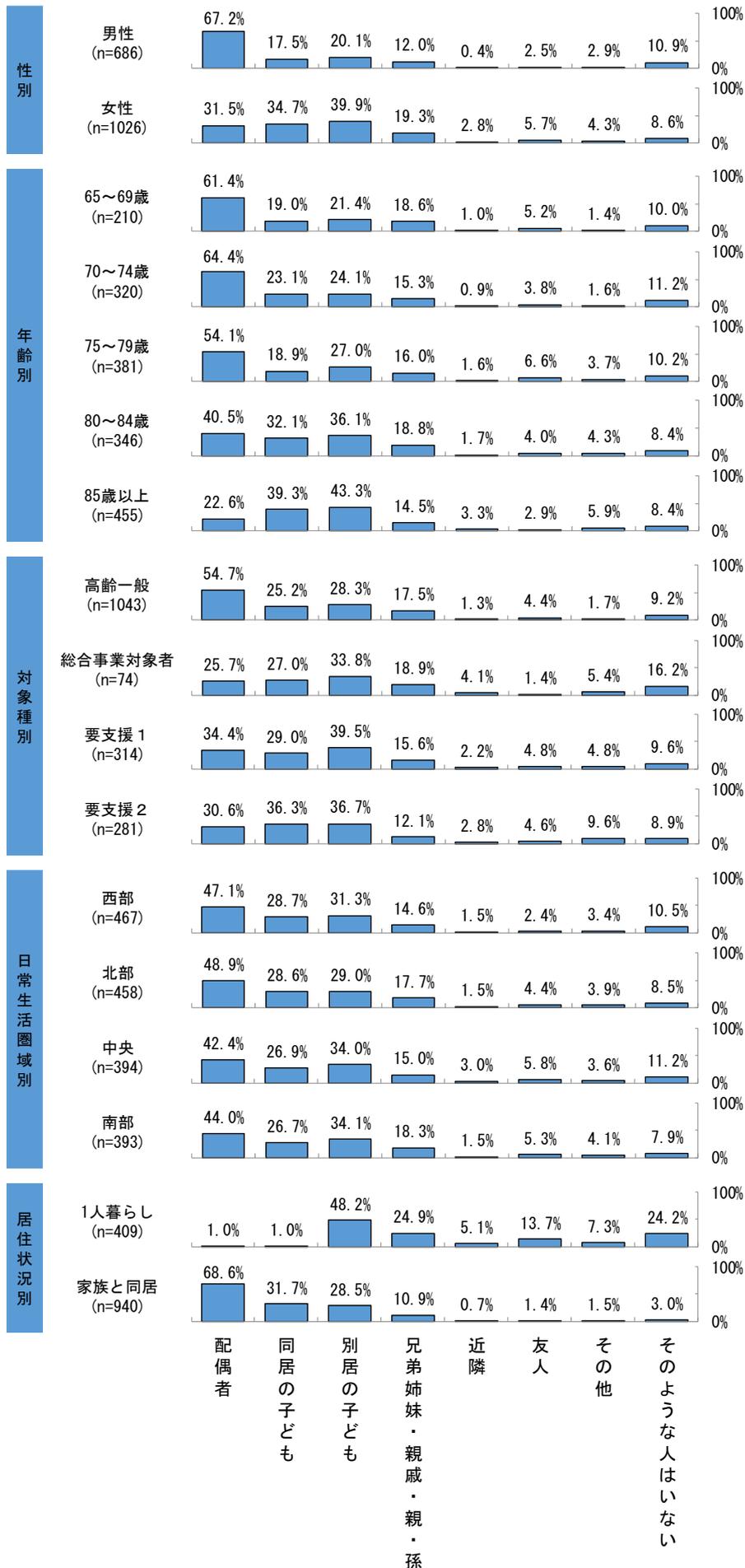
看病や世話をしてくれる人においては、「配偶者」が45.8%と最も多く、次いで「別居の子ども」が32.0%、「同居の子ども」が27.8%となっています。年齢別にみると、“85歳以上”では「別居の子ども」が39.3%と最も多くなっています。

性別にみると、“女性”では「別居の子ども」が39.9%と最も多くなっています。

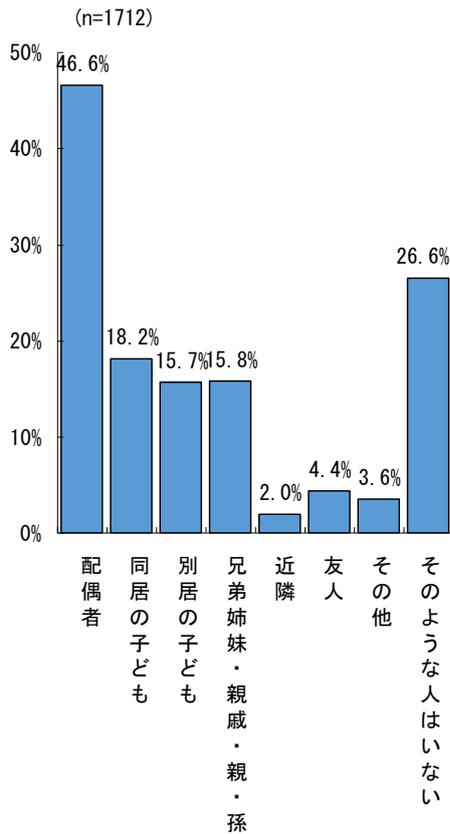
年齢別にみると、“85歳以上”では「別居の子ども」が43.3%と最も多くなっています。

対象種別にみると、“総合事業対象者”、“要支援1”、“要支援2”では「別居の子ども」が最も多くなっています。

居住状況別にみると、“1人暮らし”では「別居の子ども」が48.2%と最も多くなっています。



問 31 反対に、看病や世話をしあける人（✓はいくつでも）




---

**「配偶者」と答えた人が  
男性ではおよそ60%、女性ではおよそ40%**

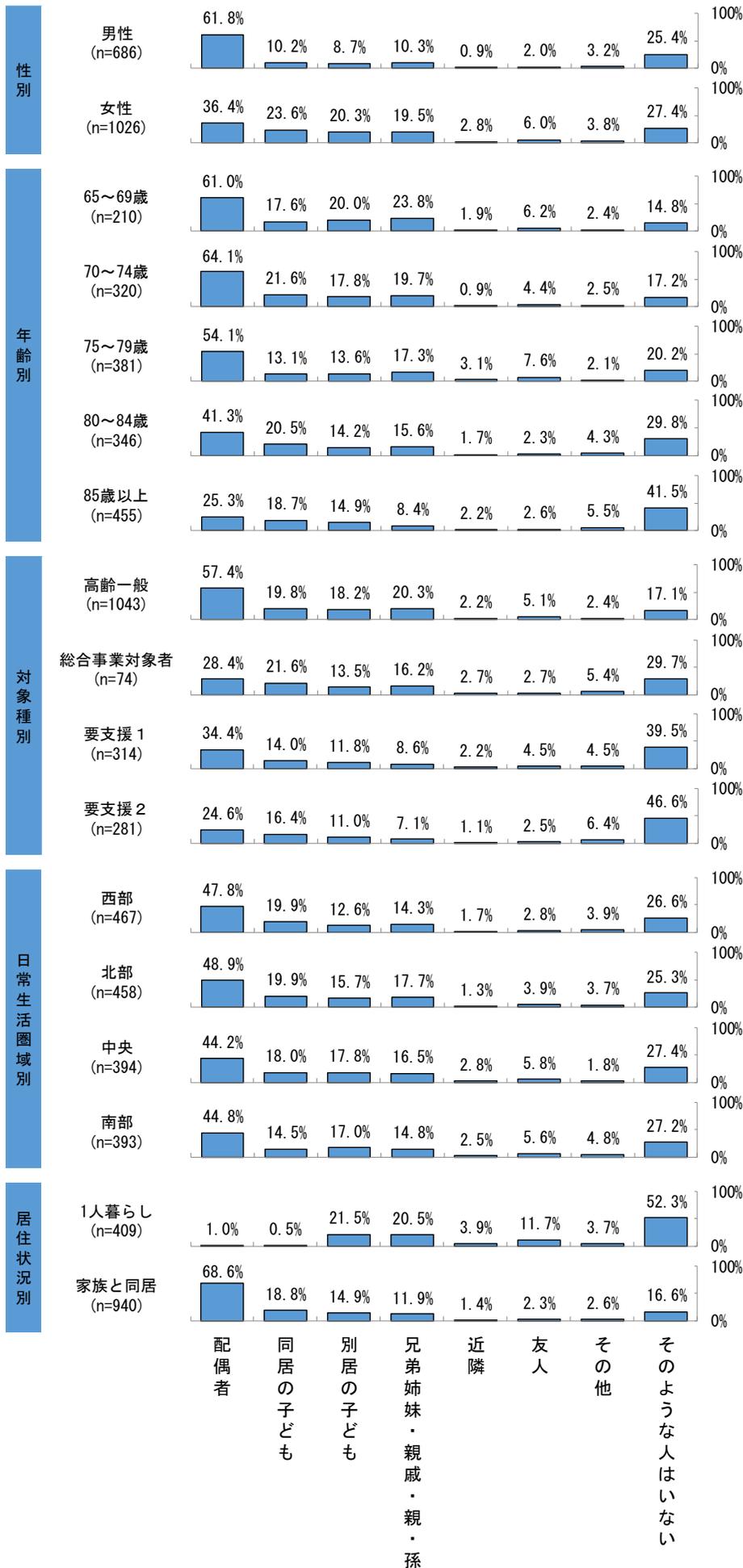
---

看病や世話をしあける人においては、「配偶者」が46.6%と最も多く、次いで「そのような人はいない」が26.6%、「同居の子ども」が18.2%となっています。

年齢別にみると、“85歳以上”では「そのような人はいない」が41.5%と最も多くなっています。

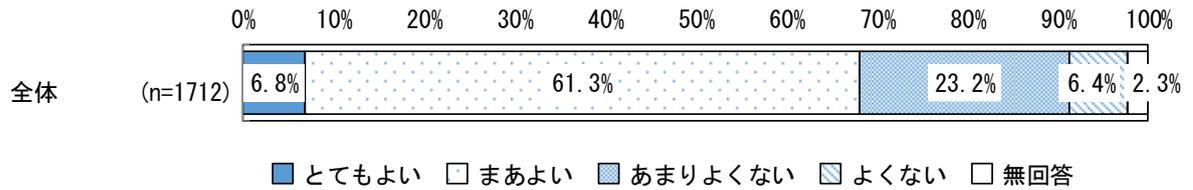
対象種別にみると、“総合事業対象者”、“要支援1”、“要支援2”では「そのような人はいない」が最も多くなっています。

居住状況別にみると、“1人暮らし”では「そのような人はいない」が52.3%と最も多くなっています。



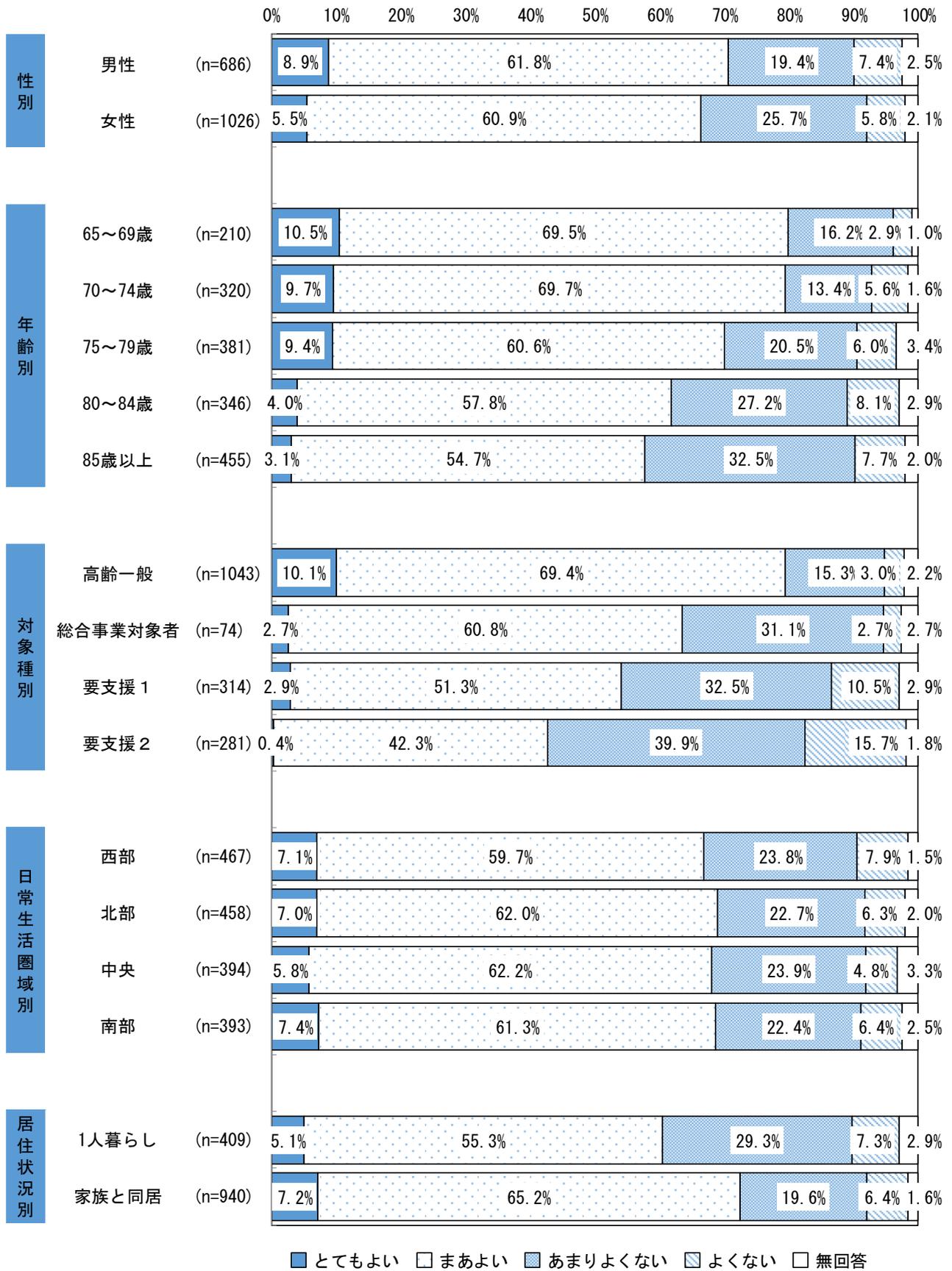
(7) 健康について

問 32 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(✓はひとつ)

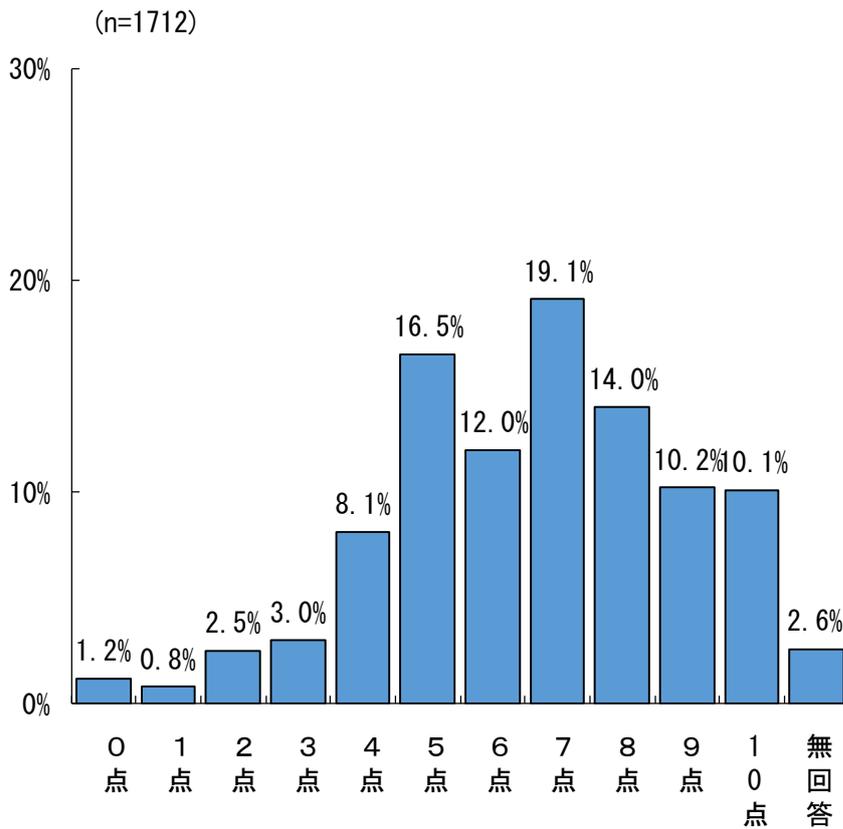


全体では『よい』と答えた人がおよそ70%  
 要支援2では『よくない』と答えた人がおよそ60%

現在の健康状態においては、「まあよい」が61.3%と最も多く、次いで「あまりよくない」が23.2%、「とてもよい」が6.8%となっています。



問 33 あなたは、現在どの程度幸せですか。(✓はひとつ)




---

**「7点」と答えた人がおよそ20%**

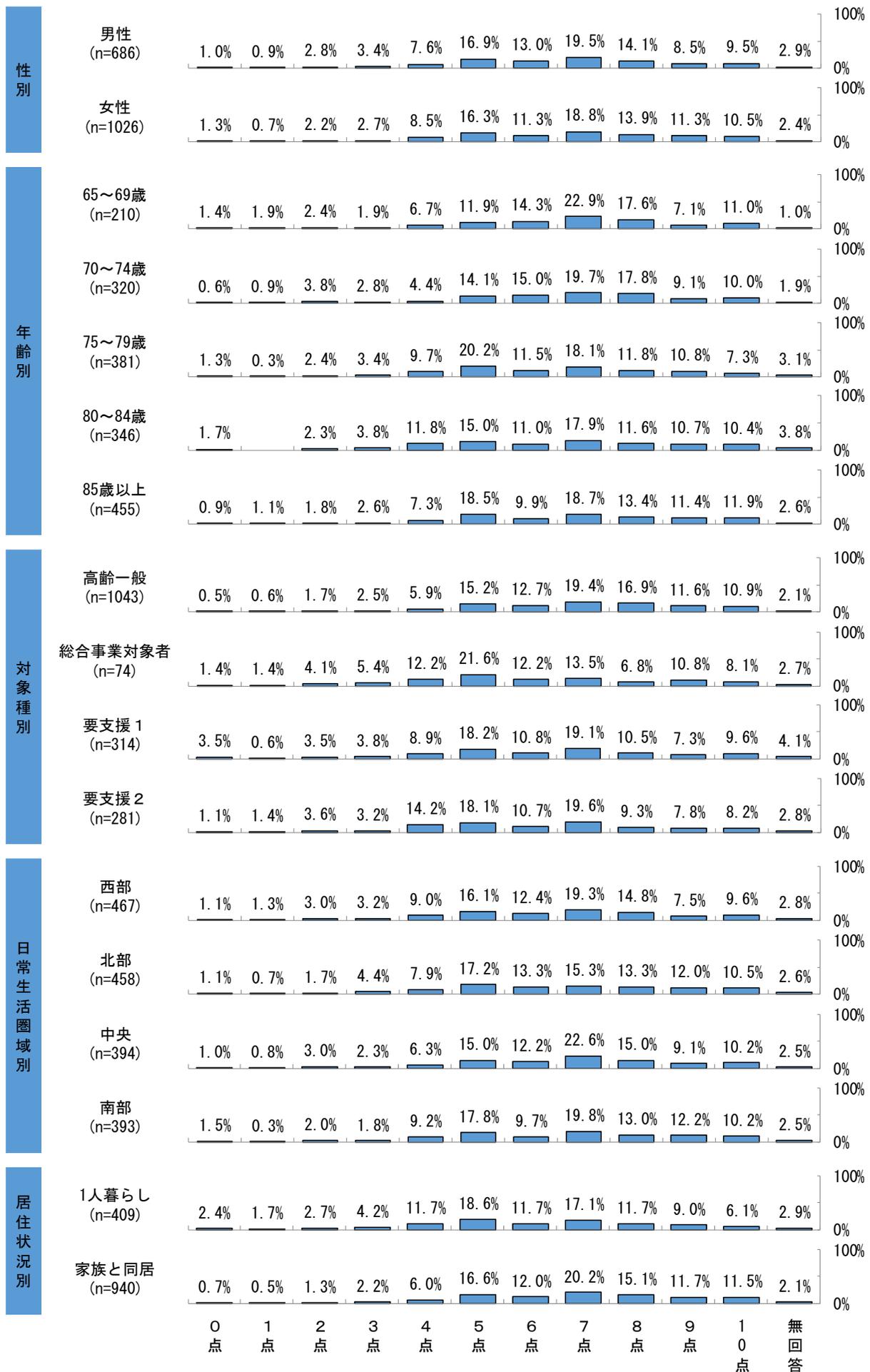
---

現在どの程度幸せかにおいては、「7点」が19.1%と最も多く、次いで「5点」が16.5%、「8点」が14.0%となっています。

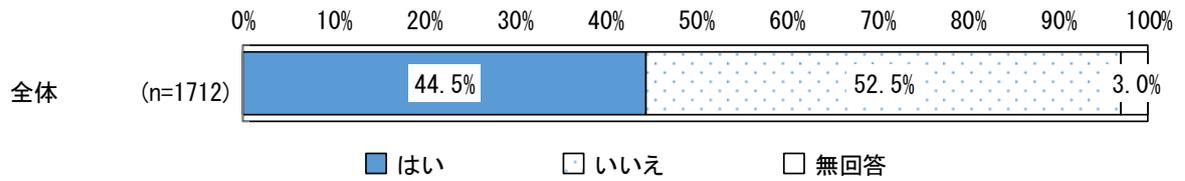
年齢別にみると、“75～79歳”では「5点」が20.2%と最も多くなっています。

対象種別にみると、“総合事業対象者”では「5点」が21.6%と最も多くなっています。

日常生活圏域別にみると、“北部”では「5点」が17.2%と最も多くなっています。



問 34 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。  
(✓はひとつ)




---

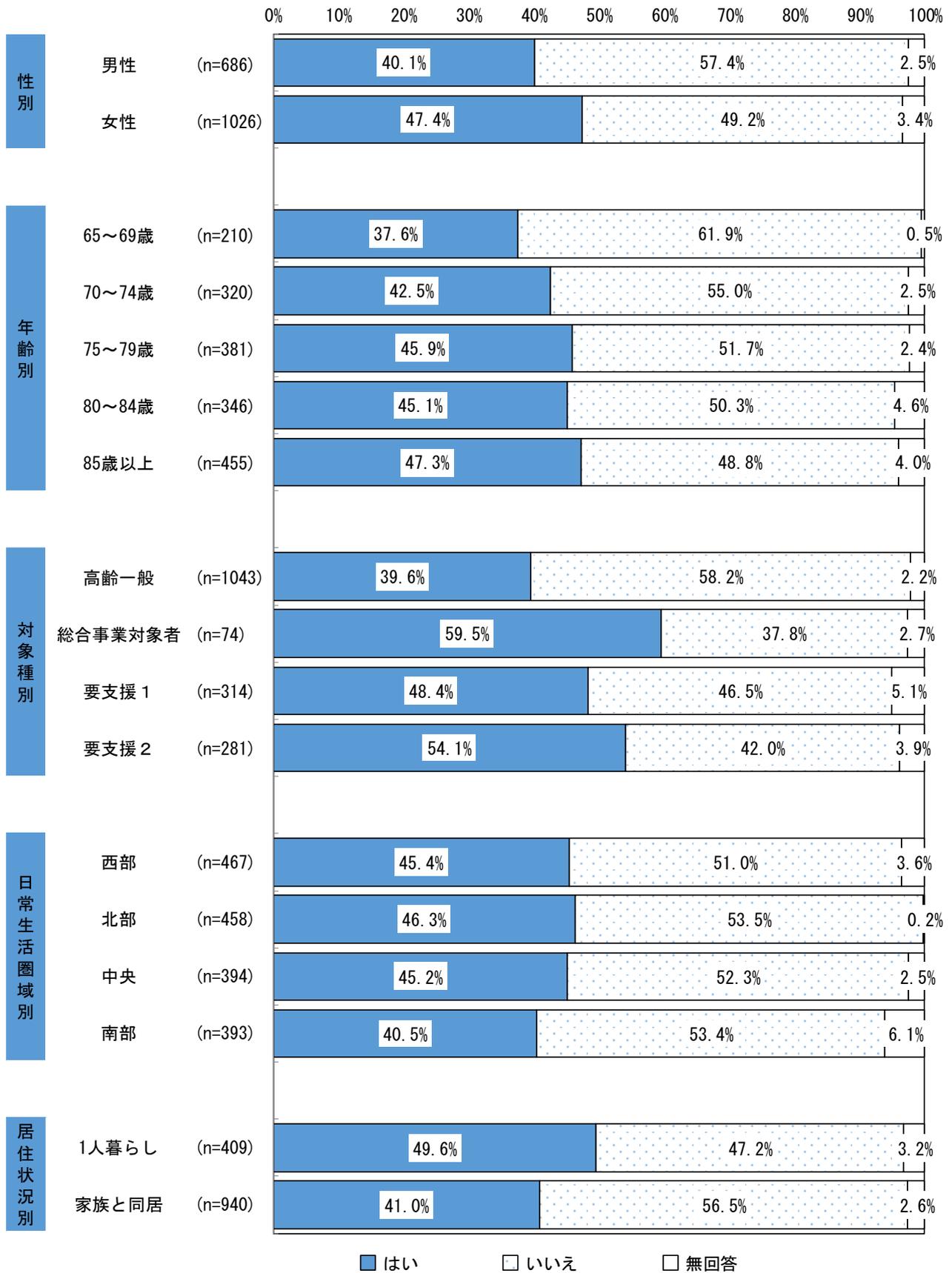
### 総合事業対象者では「はい」と答えた人がおよそ60%

---

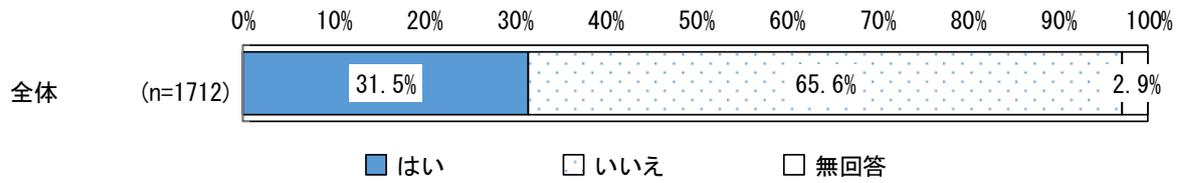
この1か月間、気分の沈みや、ゆううつな気持ちになったかにおいては、「はい」が44.5%、「いいえ」が52.5%となっています。

対象種別にみると、“総合事業対象者”、“要支援1”、“要支援2”では「はい」が最も多くなっています。

居住状況別にみると、“1人暮らし”では「はい」が49.6%と最も多くなっています。



問 35 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(✓はひとつ)

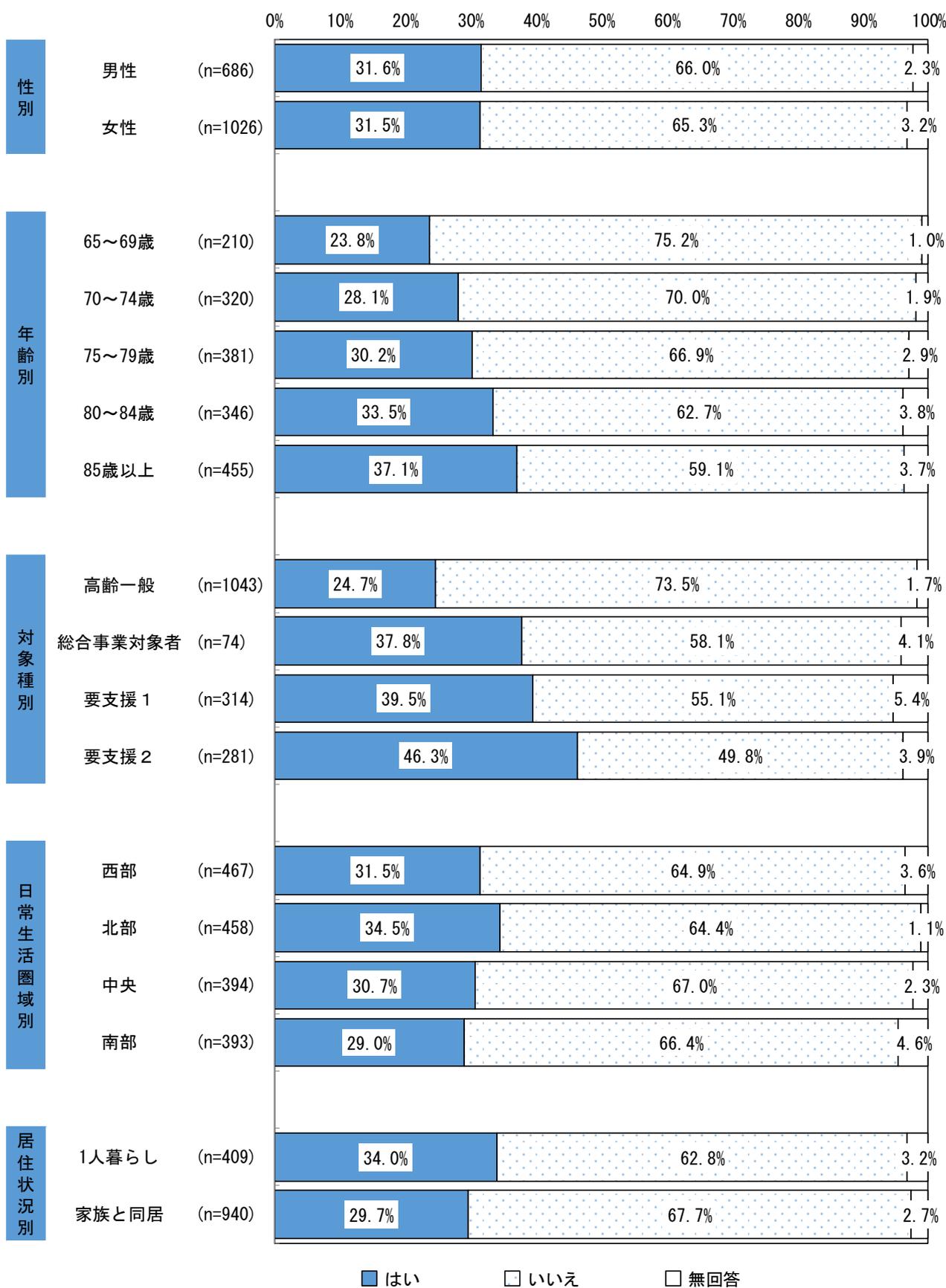



---

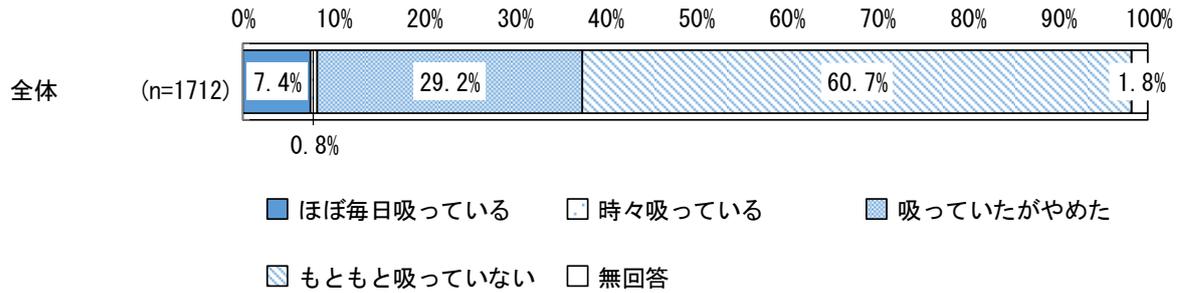
### 「はい」と答えた人がおよそ30%

---

この1か月間、物事に対して興味のなさ、心から楽しめないことがあったかにおいては、「はい」が31.5%、「いいえ」が65.6%となっています。



問 36 タバコは吸っていますか。(✓はひとつ)



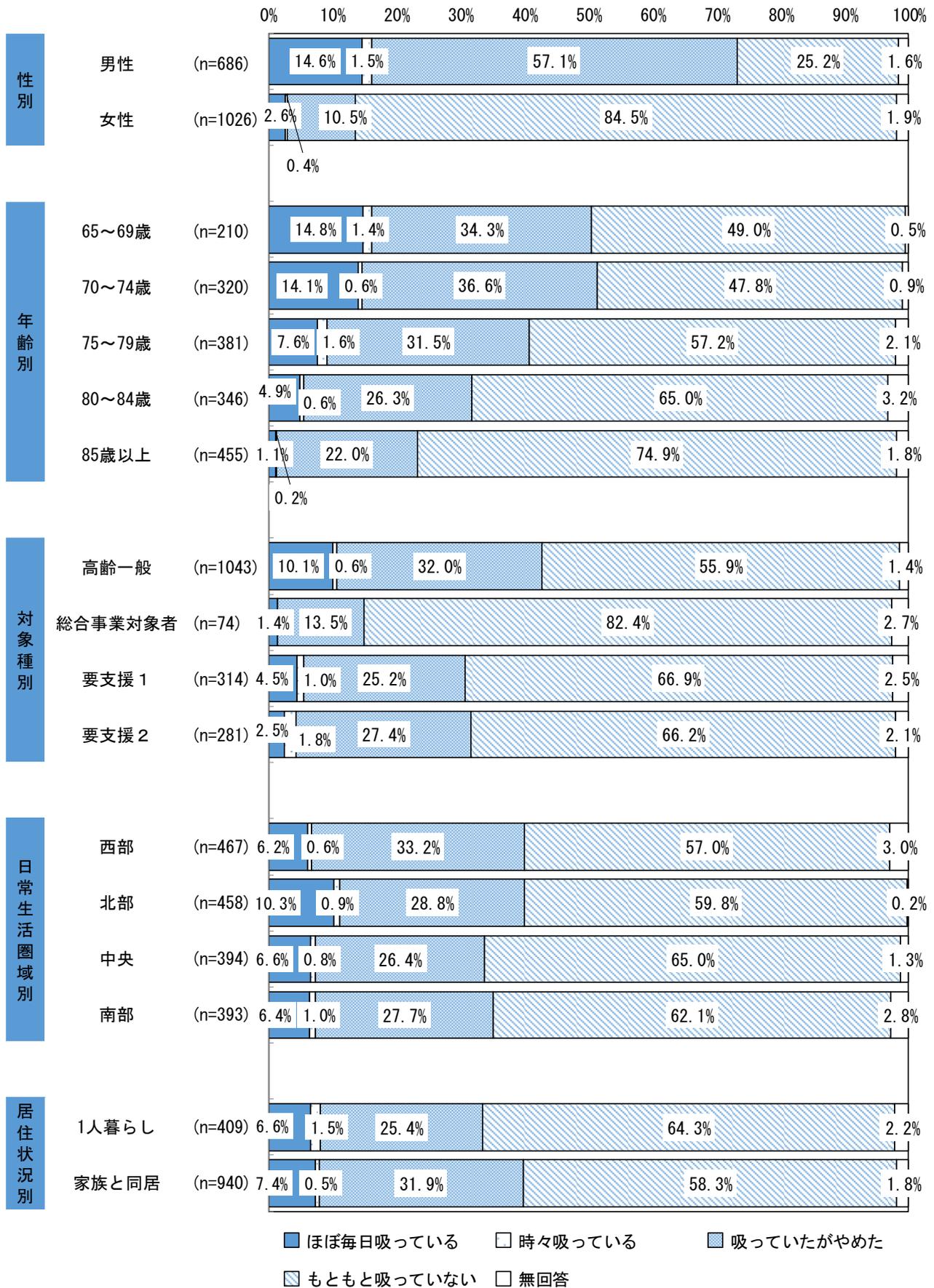

---

**男性では「吸っていたがやめた」と答えた人がおよそ60%**

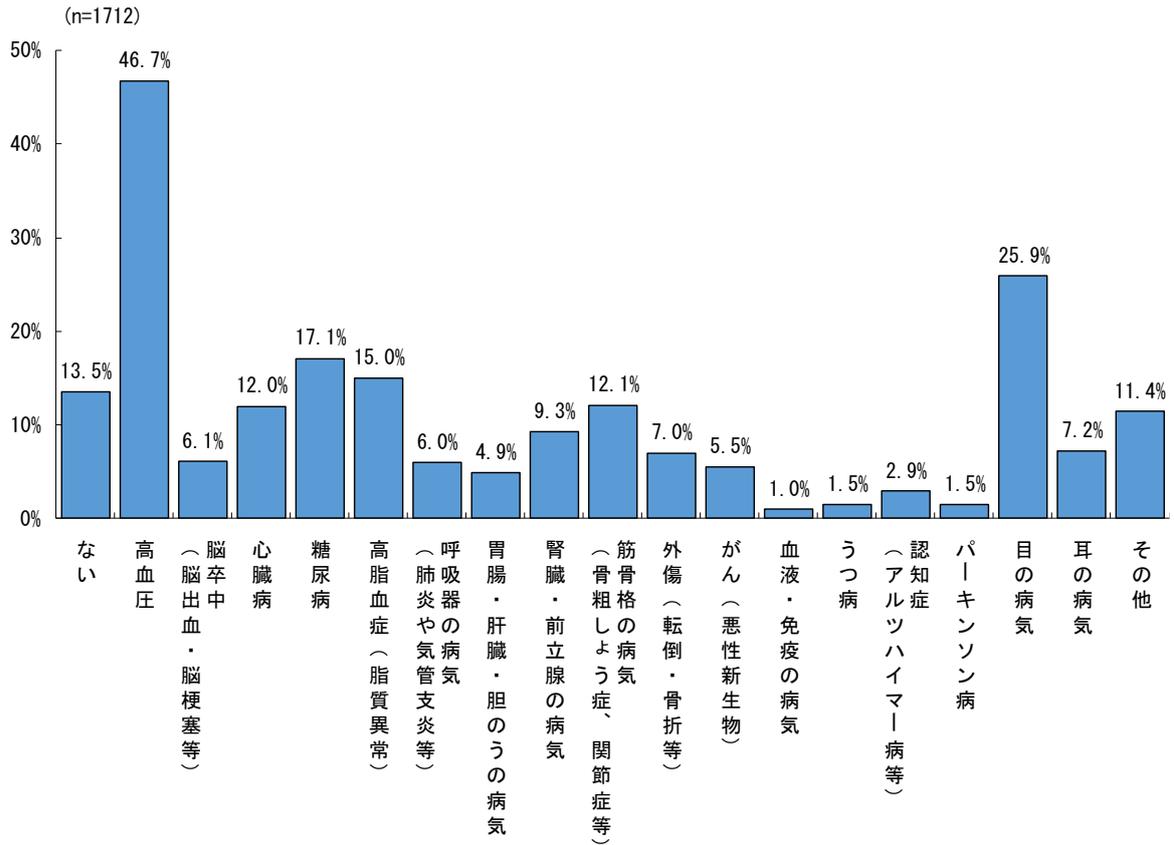
---

タバコの喫煙有無においては、「もともと吸っていない」が60.7%と最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が29.2%、「ほぼ毎日吸っている」が7.4%となっています。

性別にみると、“男性”では「吸っていたがやめた」が57.1%と最も多くなっています。



問 37 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(✓はいくつでも)

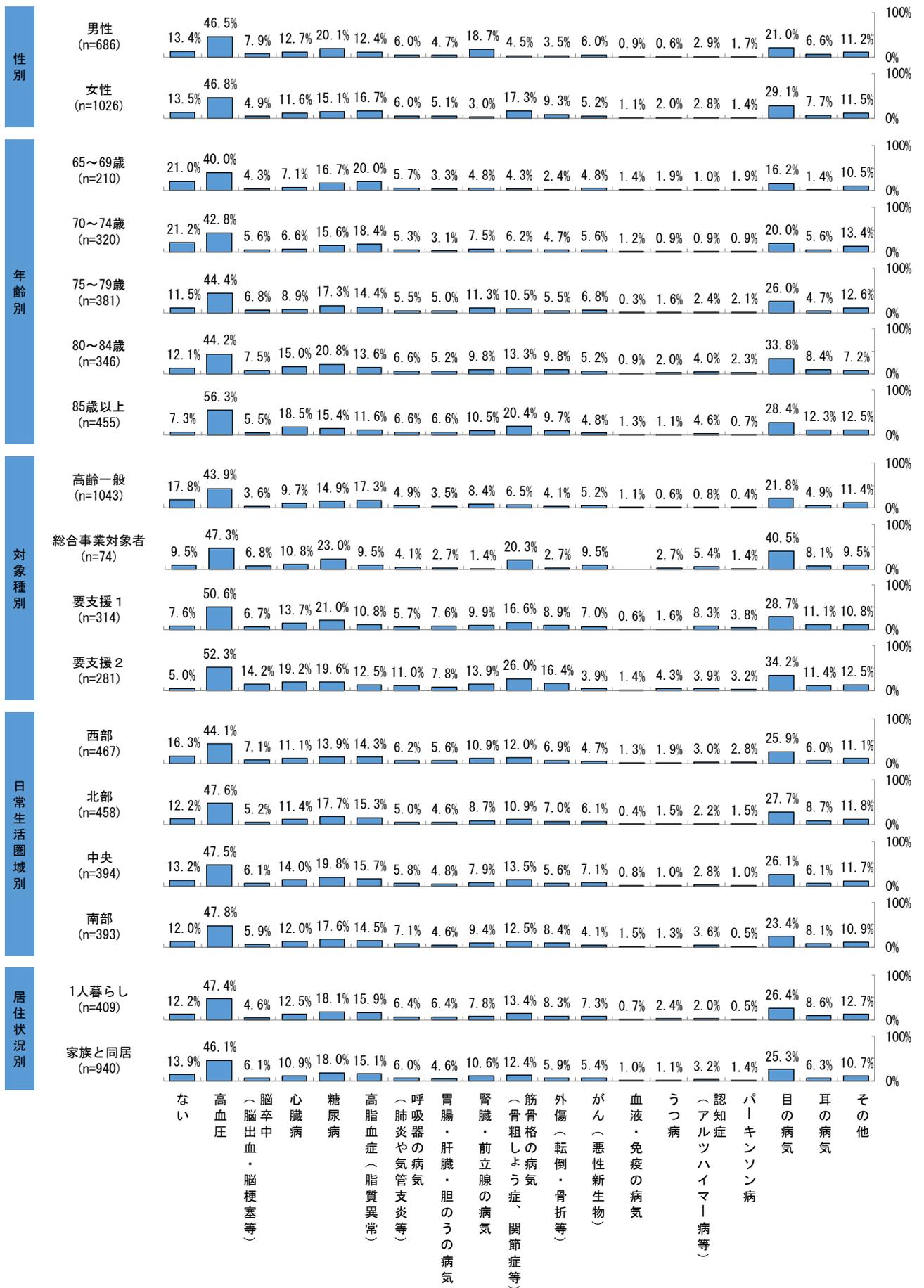



---

「高血圧」と答えた人がおよそ50%

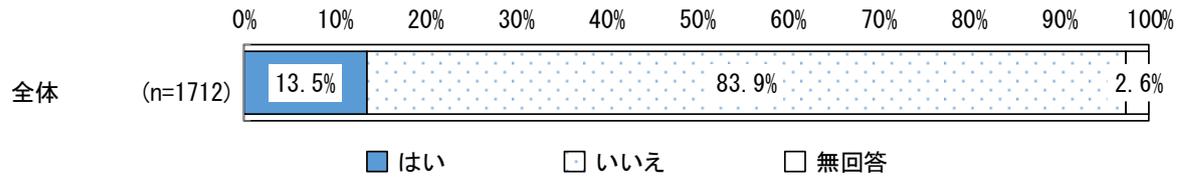
---

現在治療中、または後遺症のある病気においては、「高血圧」が46.7%と最も多く、次いで「目の病気」が25.9%、「糖尿病」が17.1%となっています。



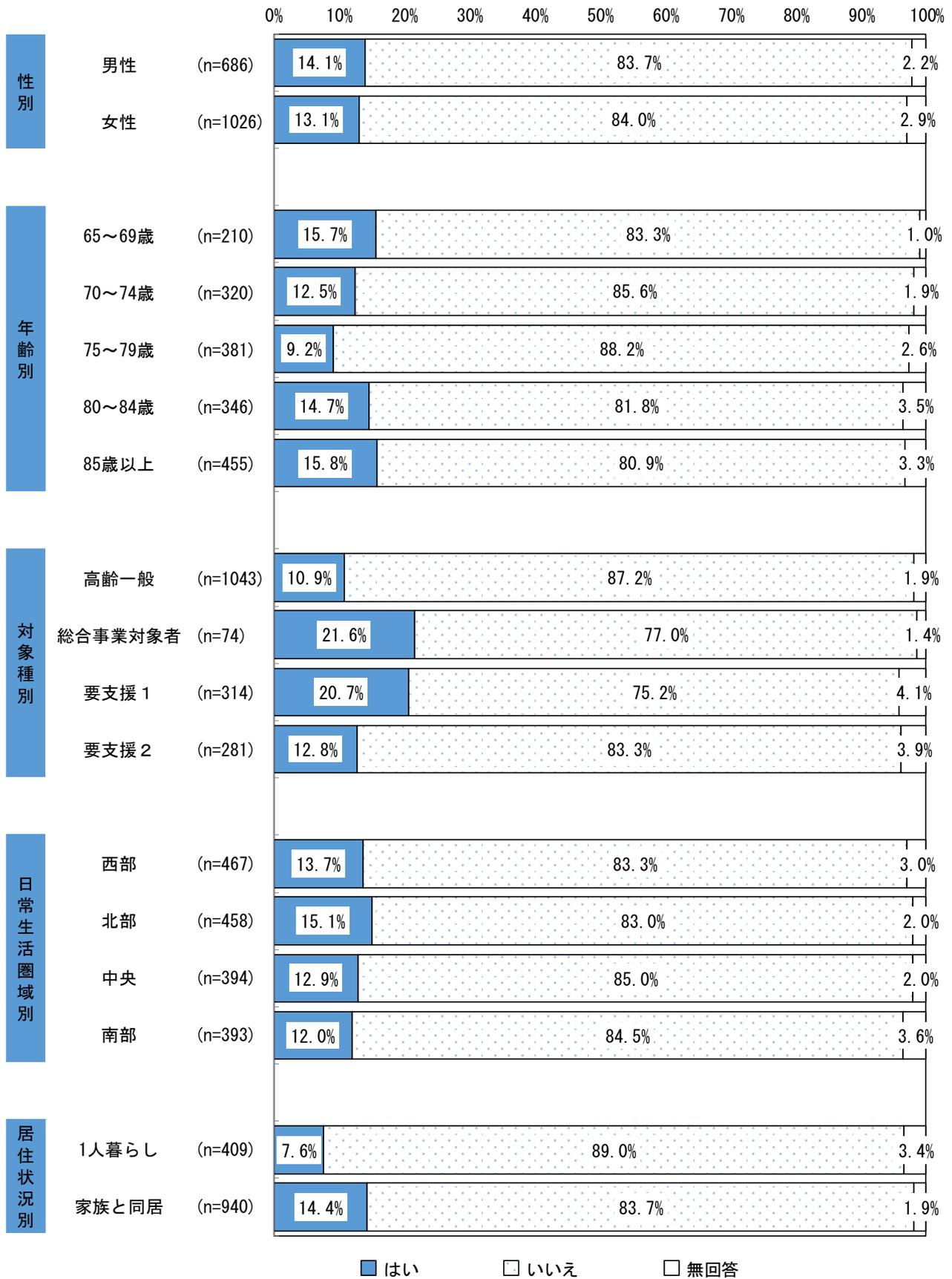
(8) 認知症にかかる相談窓口の把握について

問 38 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(✓はひとつ)

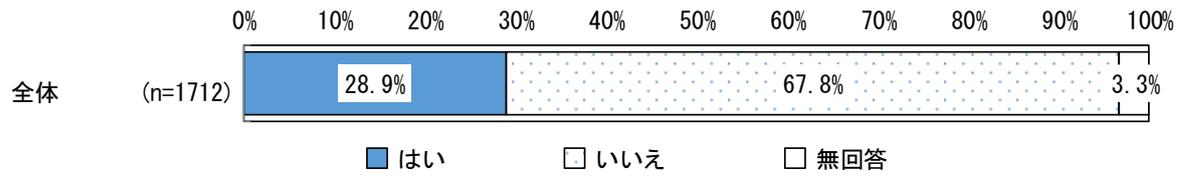


「いいえ」と答えた人がおよそ80%

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状があるにおいては、「はい」が13.5%、「いいえ」が83.9%となっています。



問 39 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(✓はひとつ)

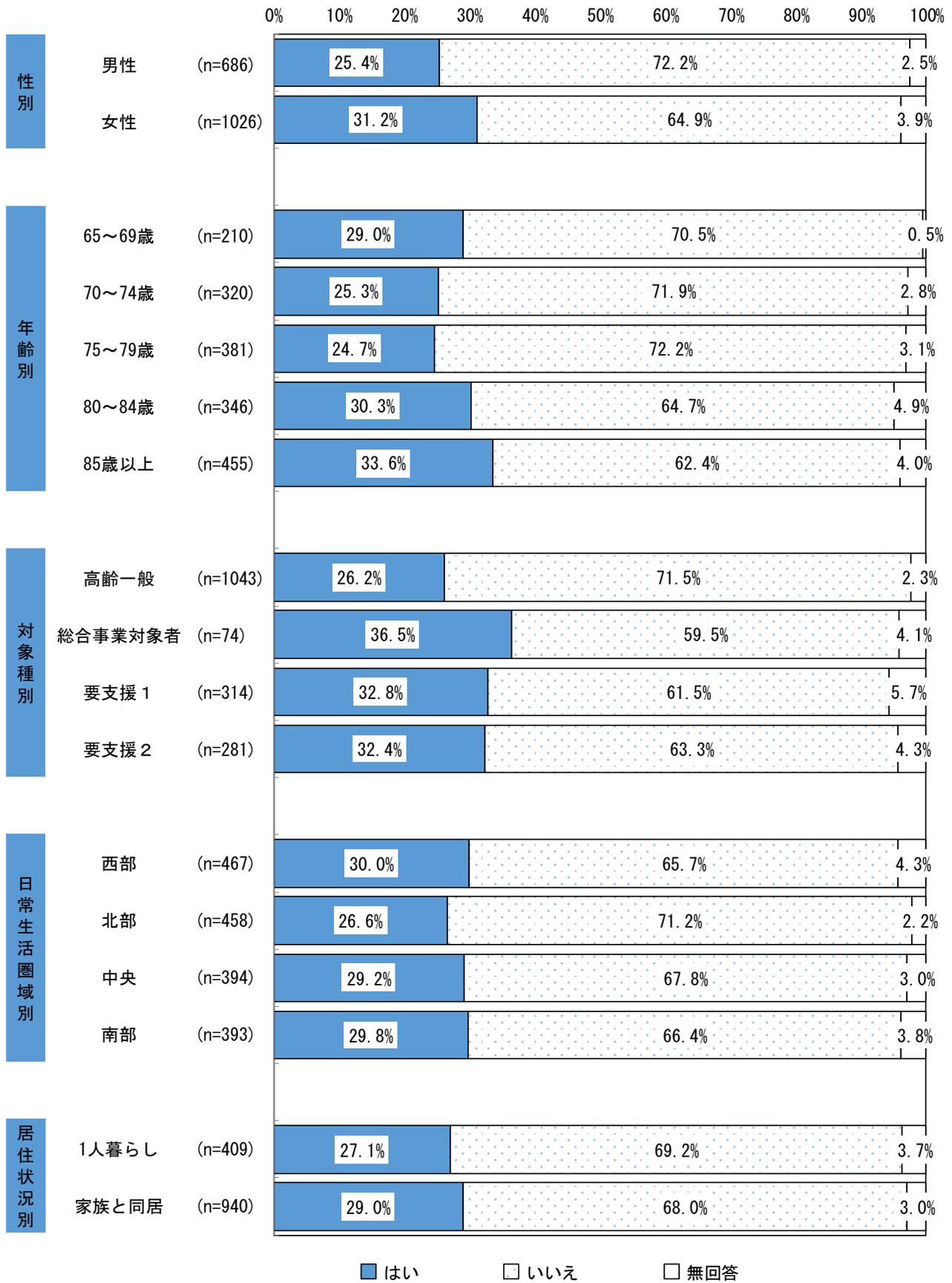



---

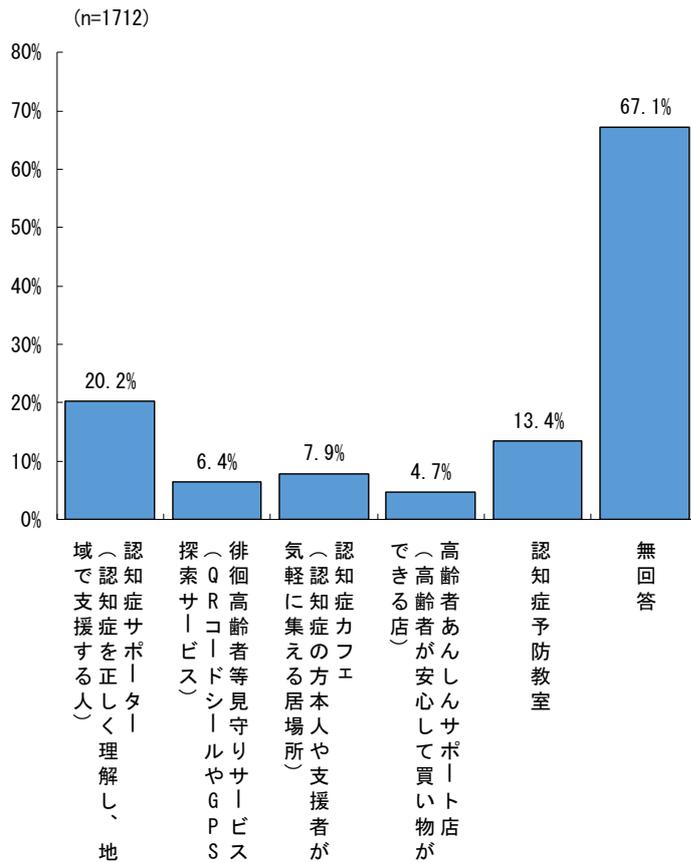
「いいえ」と答えた人がおよそ70%

---

認知症に関する相談窓口を知っているかにおいては、「はい」が28.9%、「いいえ」が67.8%となっています。



問 40 市や民間事業者が実施している、認知症の方々を支える以下のサービス等を知っていますか。(✓はいくつでも)

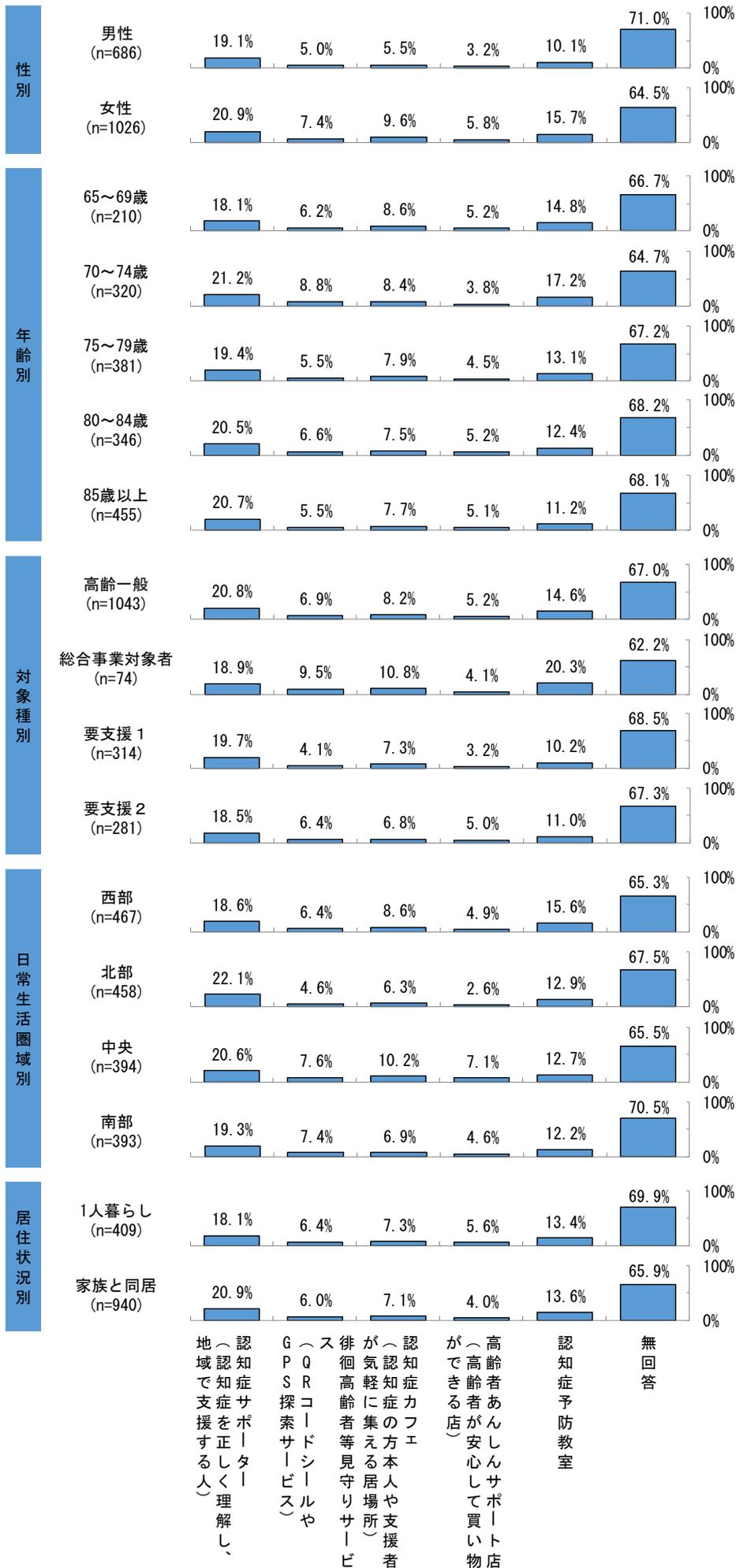



---

**「認知症サポーター（認知症を正しく理解し、地域で支援する人）」  
と答えた人がおよそ20%**

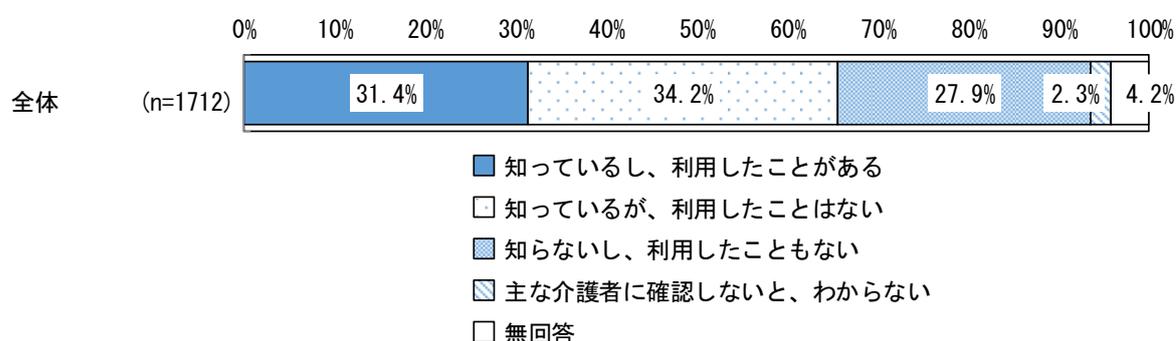
---

認知症の方々を支えるサービス等を知っているかにおいては、「認知症サポーター（認知症を正しく理解し、地域で支援する人）」が20.2%と最も多く、次いで「認知症予防教室」が13.4%、「認知症カフェ（認知症の方本人や支援者が気軽に集える居場所）」が7.9%となっています。



## (9) その他について

問 44 地域包括支援センターが、高齢者の生活全般の相談ができる場所であることを知っていますか。また、利用したことがありますか。(✓はひとつ)



### 男性では「知らないし、利用したこともない」と答えた人がおよそ40%

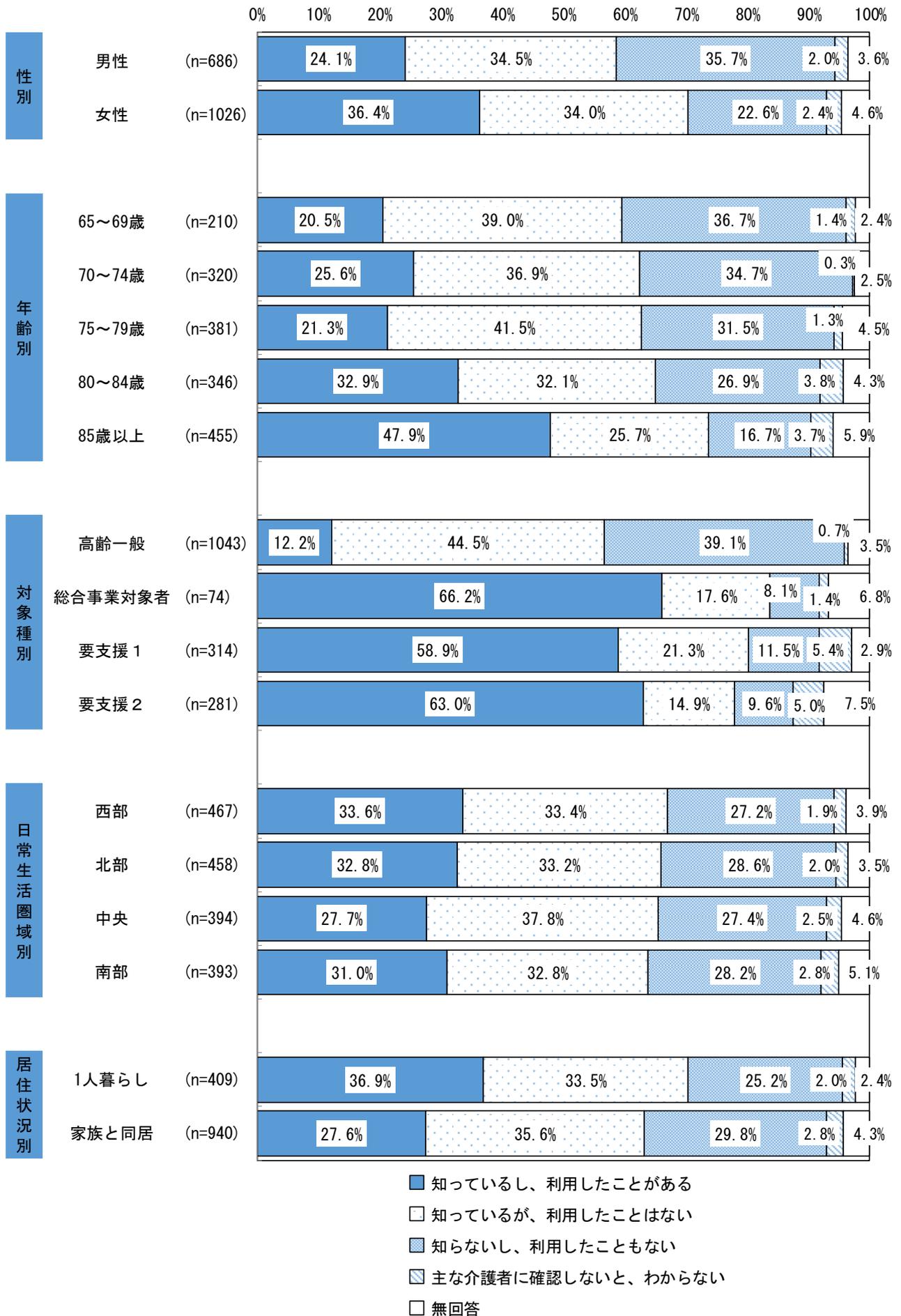
地域包括支援センターの役割を知っているか、また利用したことがあるかにおいては、「知っているが、利用したことはない」が34.2%と最も多く、次いで「知っているし、利用したことがある」が31.4%、「知らないし、利用したこともない」が27.9%となっています。

性別にみると、“男性”では「知らないし、利用したこともない」が35.7%と最も多くなっています。“女性”では「知っているし、利用したことがある」が36.4%と最も多くなっています。

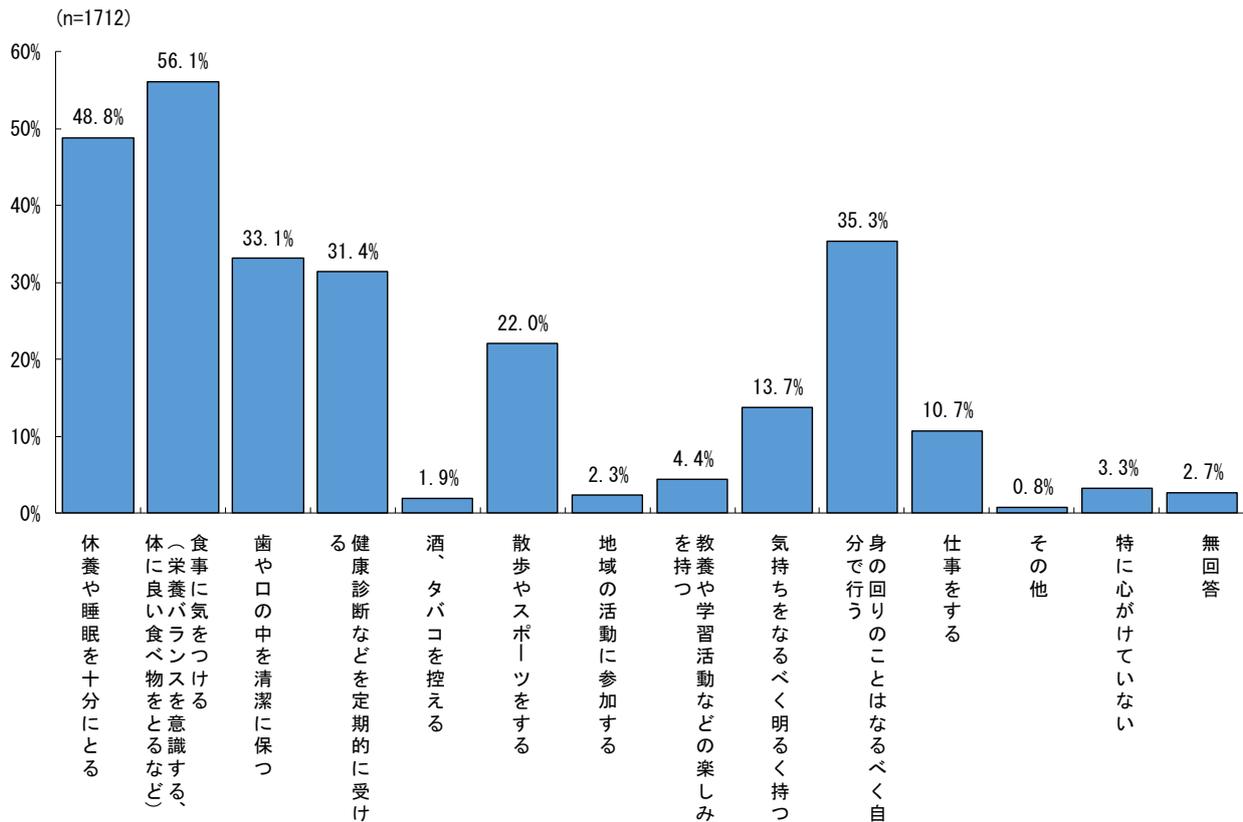
年齢別にみると、“80～84歳”、“85歳以上”では「知っているし、利用したことがある」が最も多くなっています。

対象種別にみると、“総合事業対象者”、“要支援1”、“要支援2”では「知っているし、利用したことがある」が最も多くなっています。

日常生活圏域別にみると、“西部”では「知っているし、利用したことがある」が36.9%と最も多くなっています。



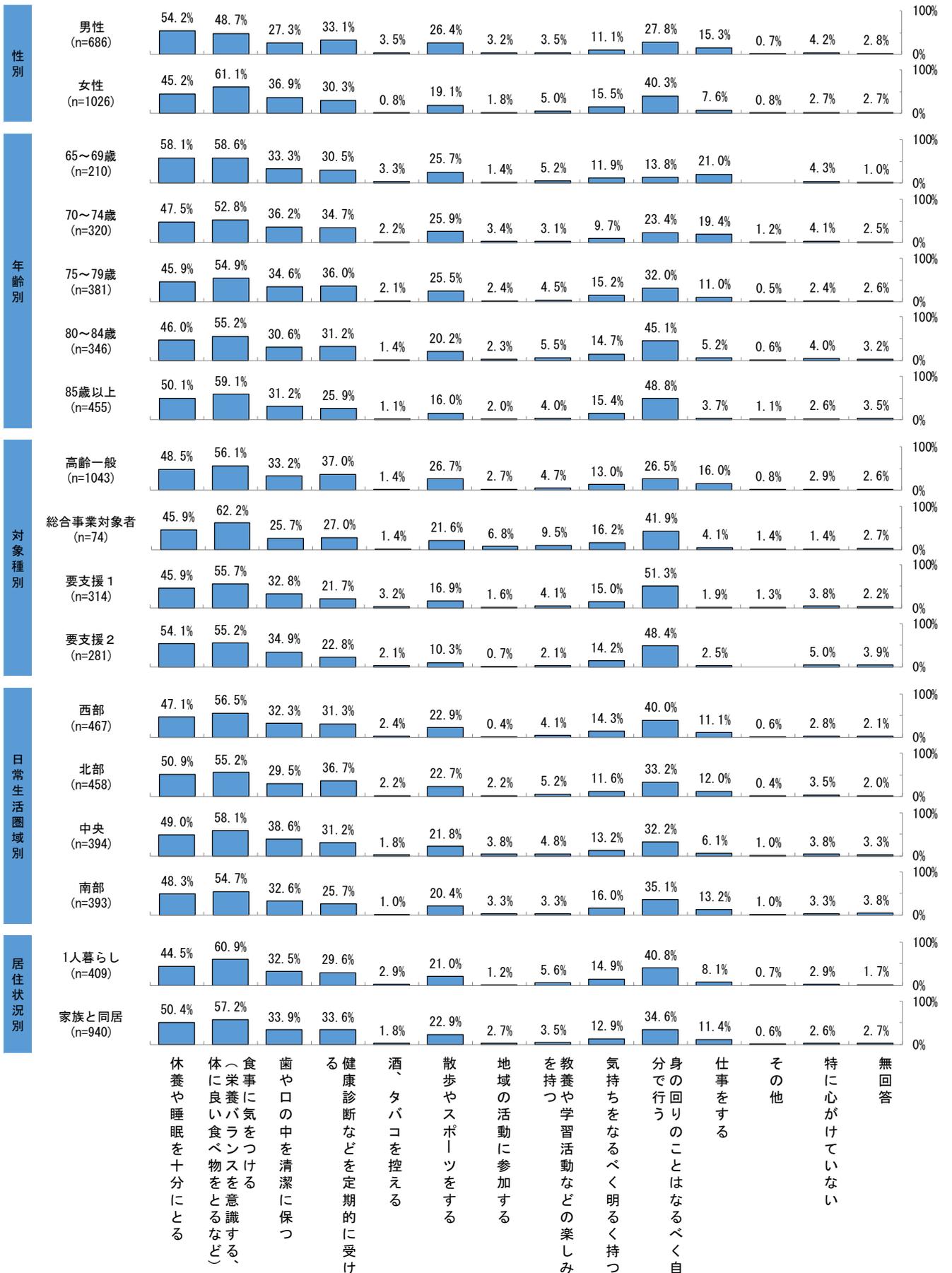
問 45 ご自分の健康のためにどんなことを心がけていますか。(✓は3つまで)



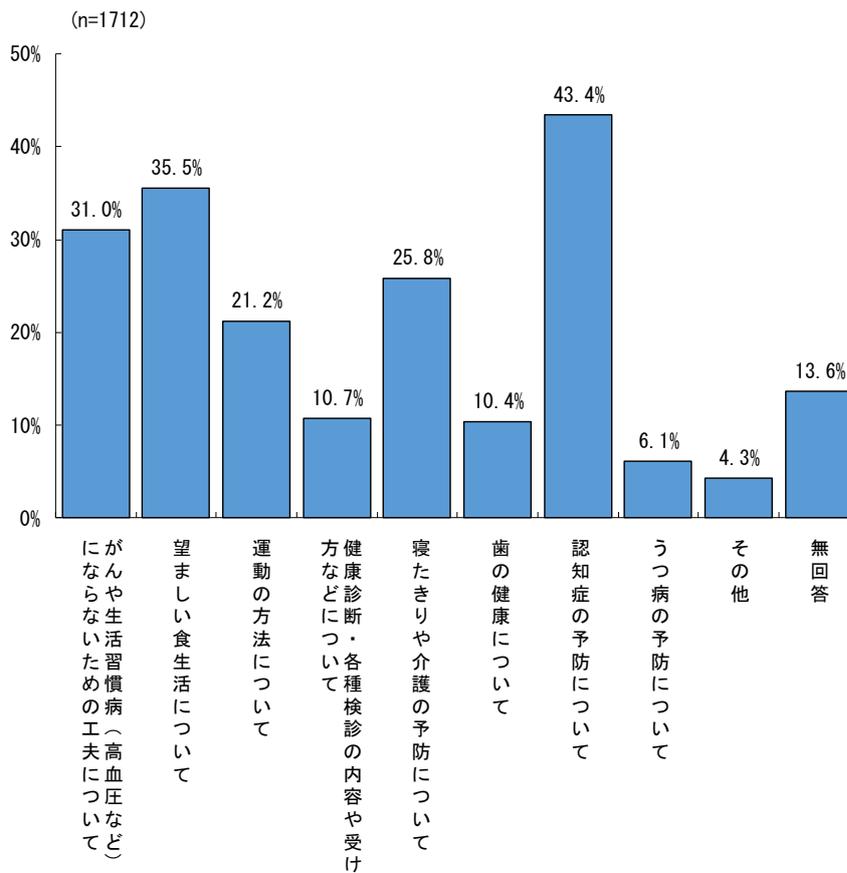
「食事に気をつける（栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど）」と答えた人がおよそ60%

健康のために心がけていることにおいては、「食事に気をつける（栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど）」が56.1%と最も多く、次いで「休養や睡眠を十分にとる」が48.8%、「身の回りのことはなるべく自分で行う」が35.3%となっています。

性別にみると、“男性”では「休養や睡眠を十分にとる」が54.2%と最も多くなっています。



問 46 健康についてどのようなことが知りたいですか。(✓は3つまで)

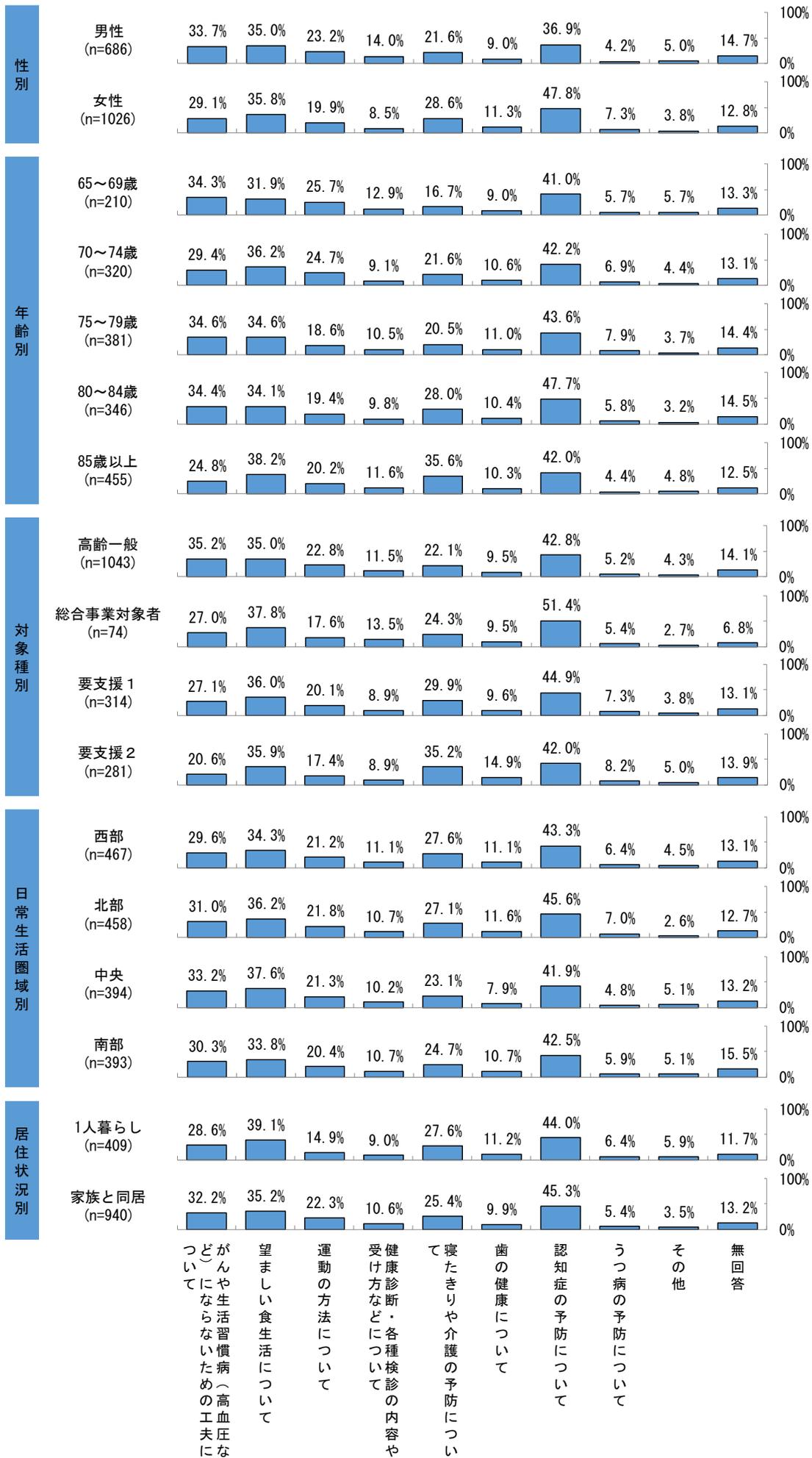



---

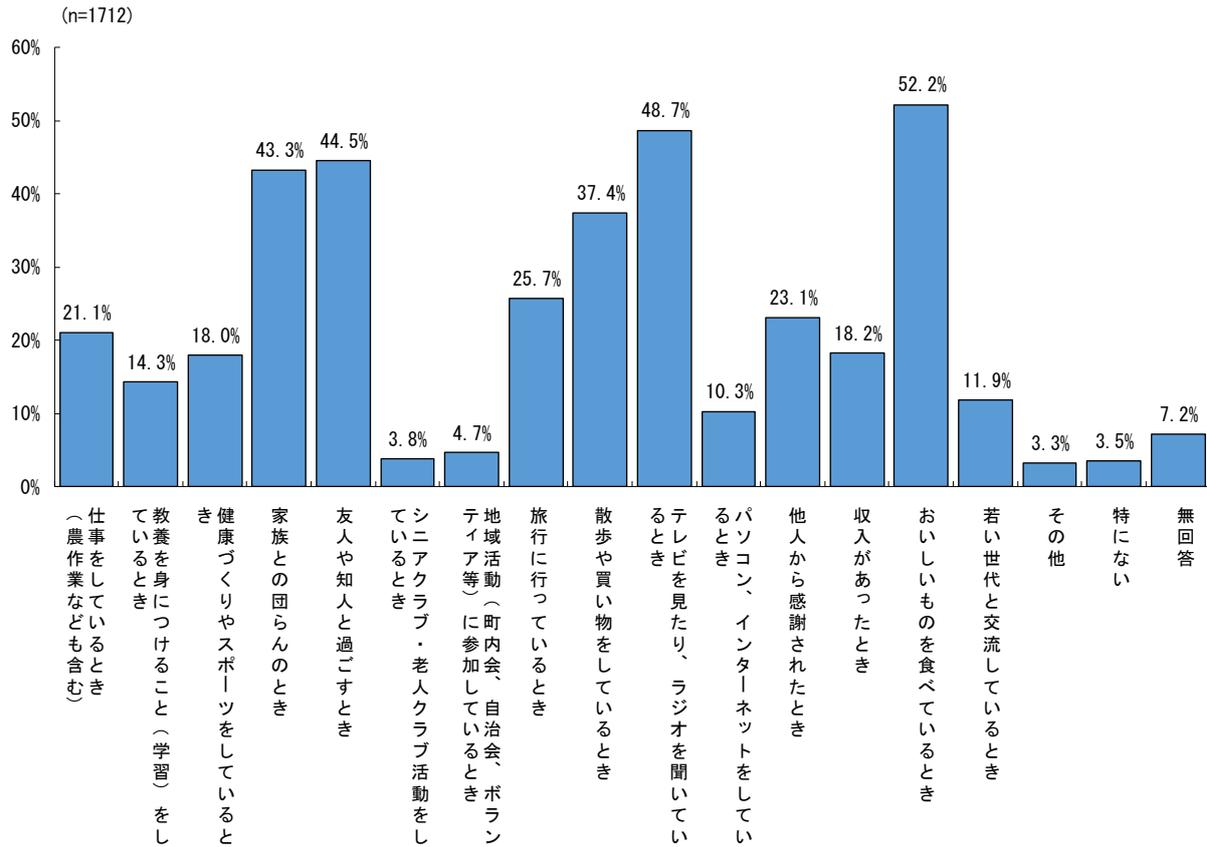
「認知症の予防について」と答えた人がおよそ40%

---

健康について知りたいことにおいては、「認知症の予防について」が43.4%と最も多く、次いで「望ましい食生活について」が35.5%、「がんや生活習慣病（高血圧など）にならないための工夫について」が31.0%となっています。



問 47 生きがい（喜びや楽しみ）を感じるのどのような時ですか。（✓はいくつでも）



「おいしいものを食べているとき」、  
「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」と答えた人がおよそ50%

どのようなときに生きがいを感じるかにおいては、「おいしいものを食べているとき」が52.2%と最も多く、次いで「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」が48.7%、「友人や知人と過ごすとき」が44.5%となっています。

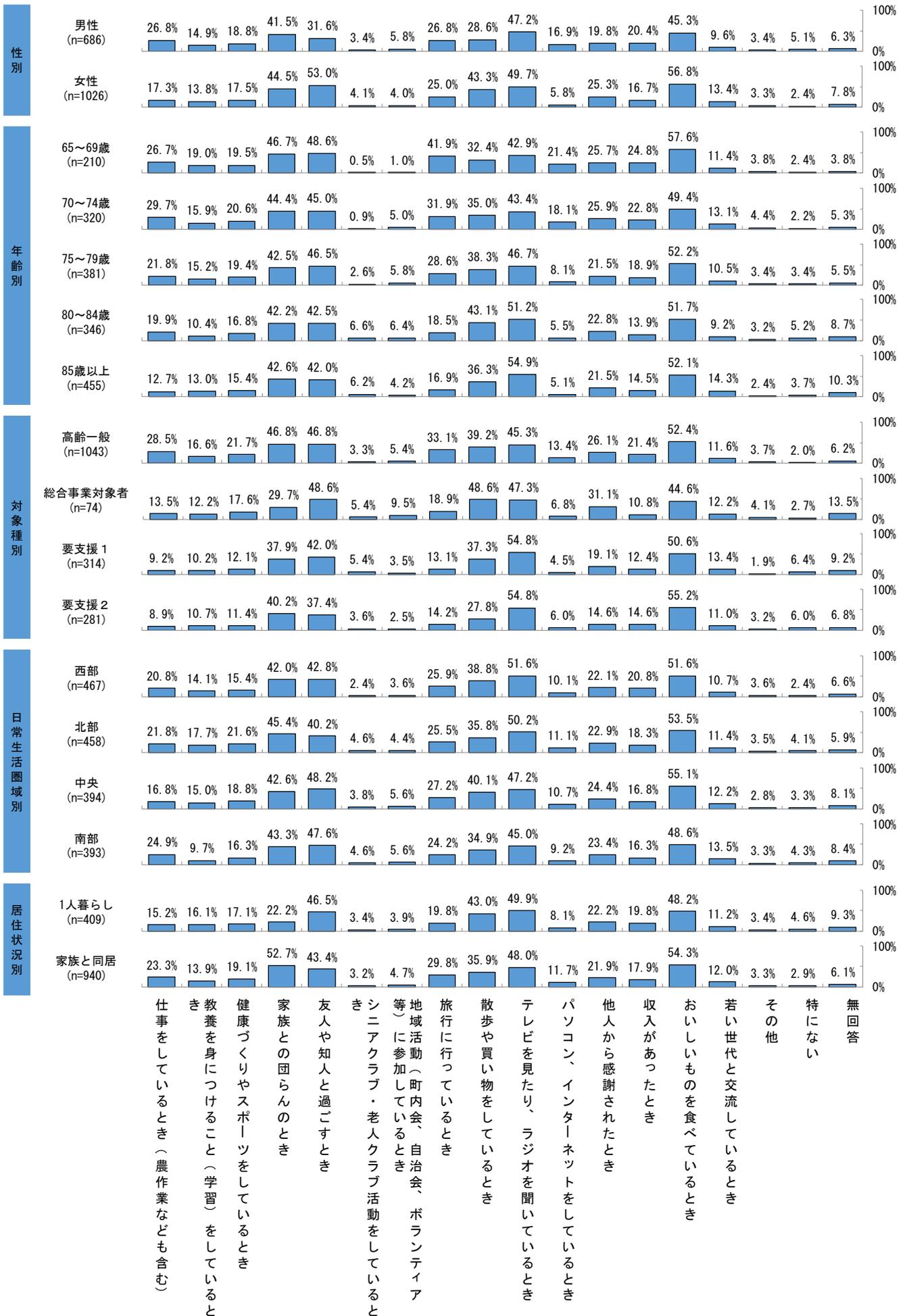
性別にみると、“男性”では「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」が47.2%と最も多くなっています。

年齢別にみると、“85歳以上”では「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」が54.9%と最も多くなっています。

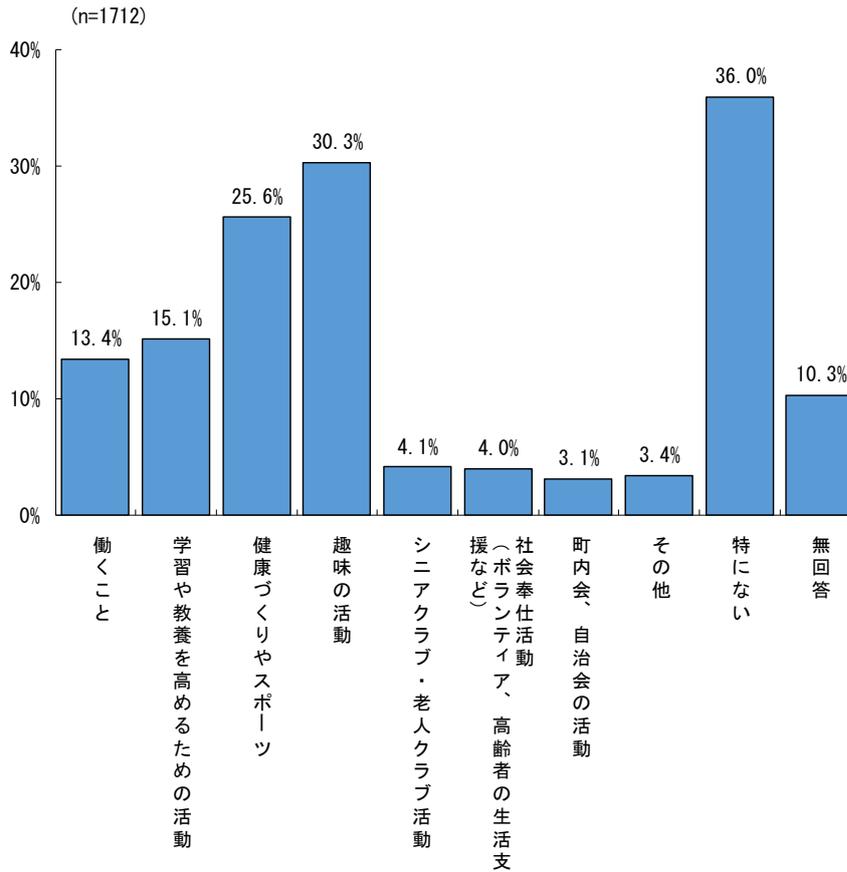
対象種別にみると、“総合事業対象者”では「友人や知人と過ごすとき」、「散歩や買い物をしているとき」が48.6%と最も多くなっています。“要支援1”では「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」が54.8%と最も多くなっています。

日常生活圏域別にみると、“西部”では「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」、「おいしいものを食べているとき」が51.6%と最も多くなっています。

居住状況別にみると、“1人暮らし”では「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」が49.9%と最も多くなっています。

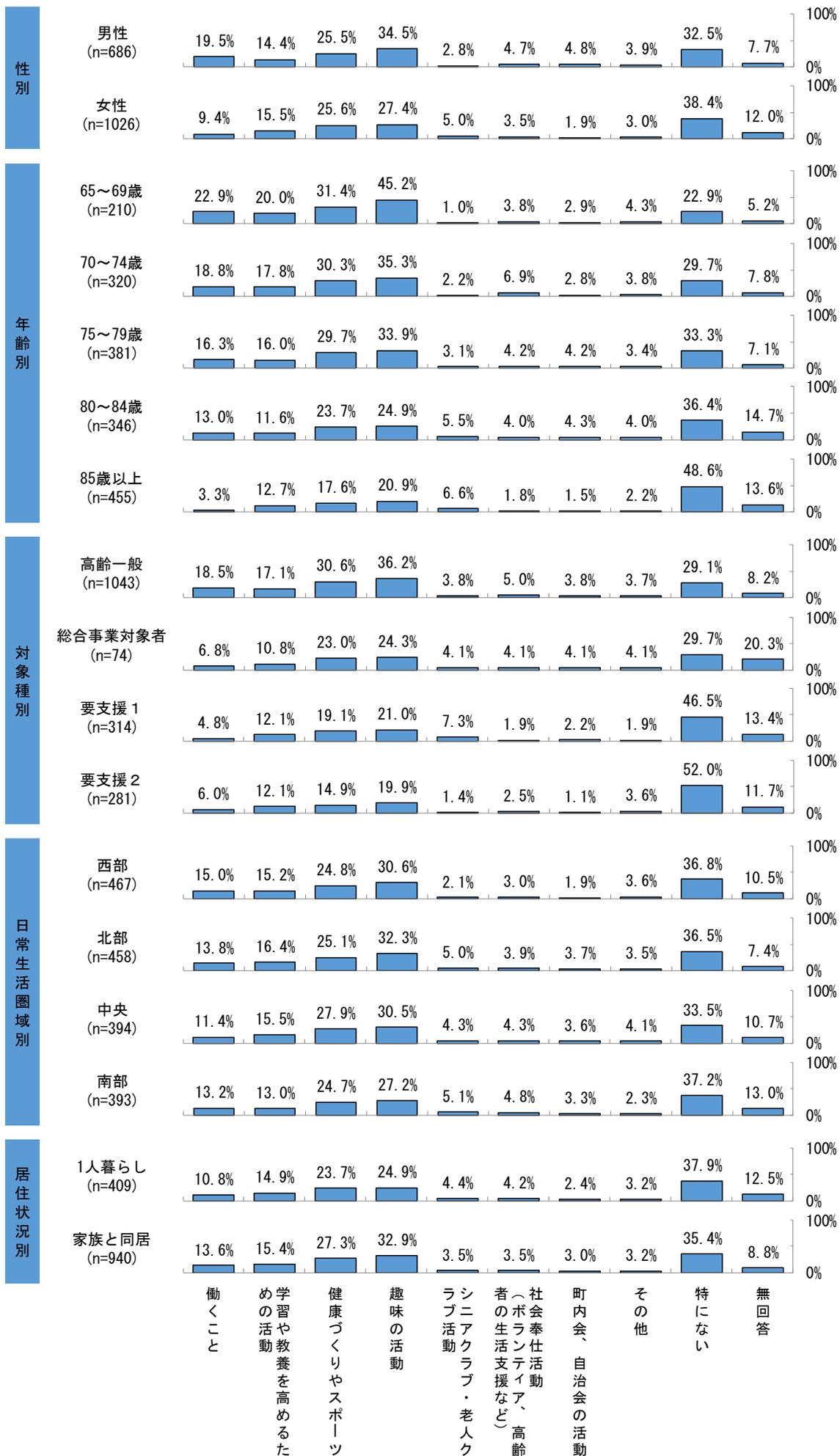


問 48 今後やってみたいと思うものは何ですか。(✓はいくつでも)

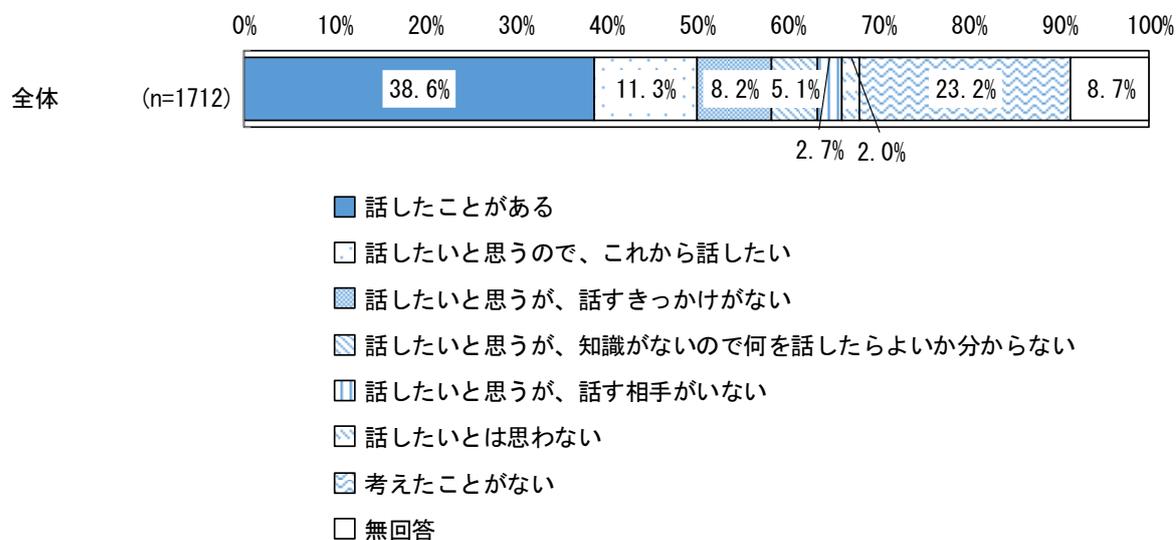


### 「趣味の活動」、「健康づくりやスポーツ」と答えた人がおよそ30%

今後やってみたいと思うものにおいては、「趣味の活動」が30.3%と最も多く、次いで「健康づくりやスポーツ」が25.6%、「学習や教養を高めるための活動」が15.1%などとなっています。また、「特にない」が36.0%となっています。



問 49 病気やけがをしたときに、どのような治療や生活をしたいか、ご家庭や医療・介護従事者（例：医師や看護師、ケアマネージャー等）と話したことはありますか？  
 （✓はひとつ）

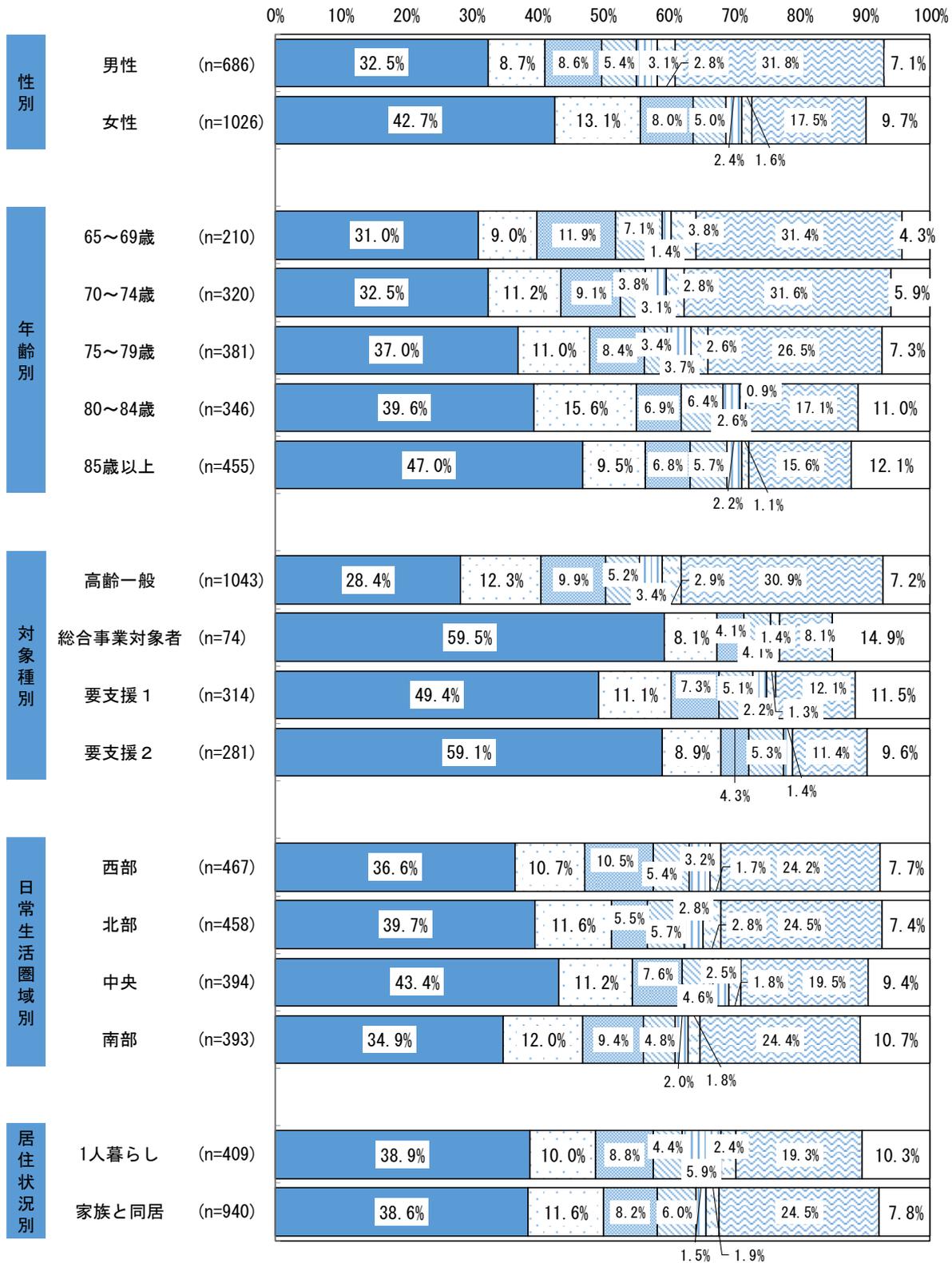


### 「話したことがある」と答えた人がおよそ40%

病気やけがをしたときに、どのような治療や生活をしたいか、ご家庭や医療・介護従事者と話したことはあるかにおいては、「話したことがある」が38.6%と最も多く、次いで「考えたことがない」が23.2%、「話したいと思うので、これから話したい」が11.3%となっています。

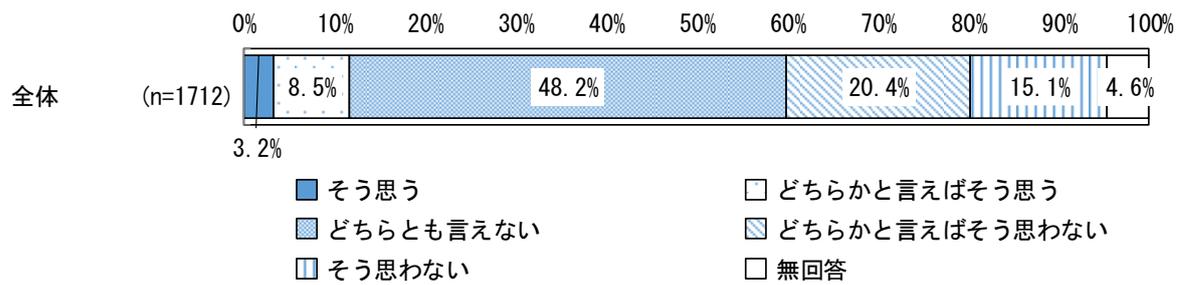
年齢別にみると、“65～69歳”では「考えたことがない」が31.4%と最も多くなっています。

対象種別にみると、“高齢一般”では「考えたことがない」が30.9%と最も多くなっています。



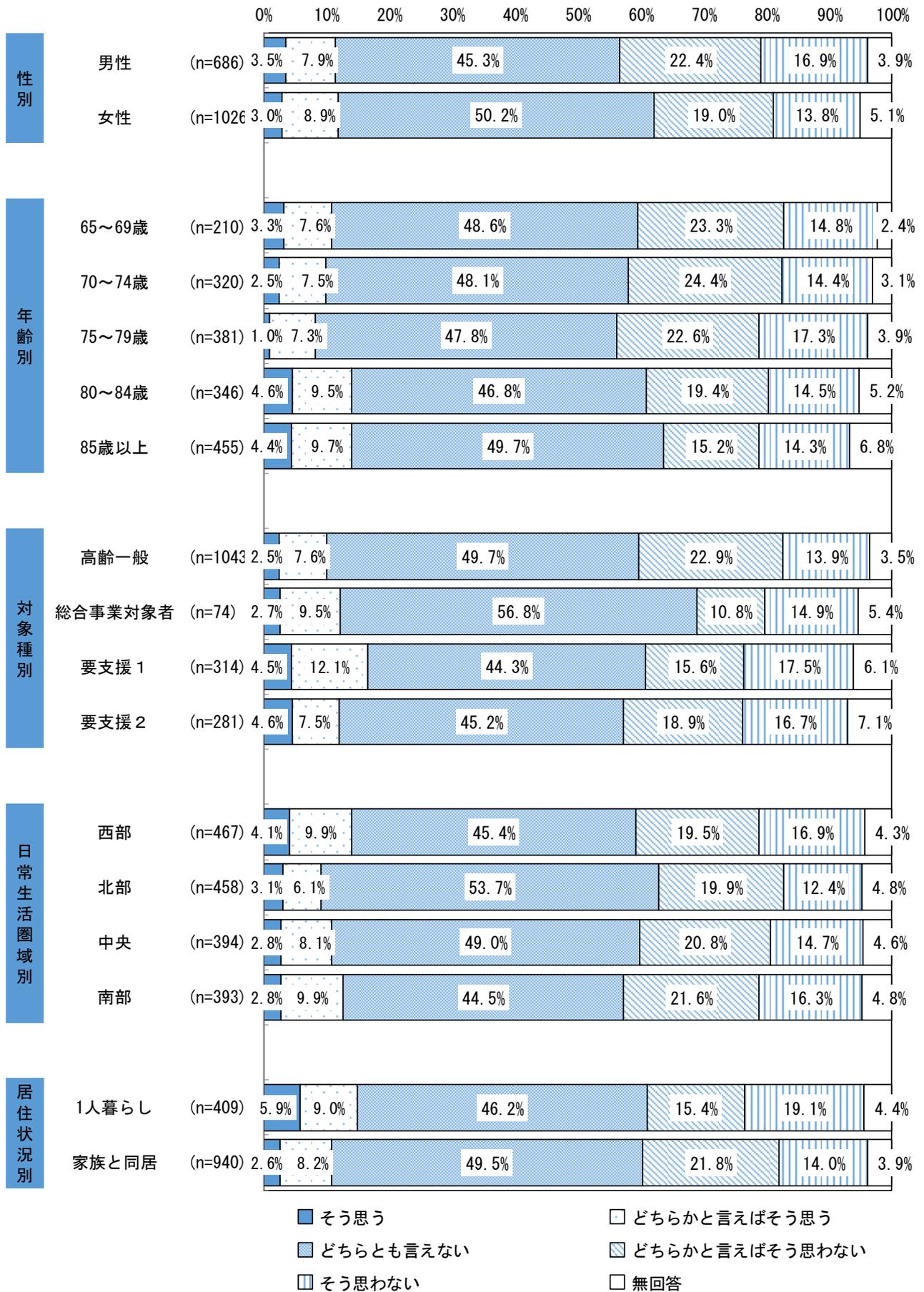
- 話したことがある
- 話したいと思うので、これから話したい
- 話したいと思うが、話すきっかけがない
- 話したいと思うが、知識がないので何を話したらよいか分からない
- 話したいと思うが、話す相手がいない
- 話したいとは思わない
- 考えたことがない
- 無回答

問 50 あなたは今の社会で認知症の人が自分らしく暮らしていると思いますか。(✓はひとつ)



「どちらとも言えない」と答えた人がおよそ50%  
『思わない』と答えた人がおよそ40%

今の社会で認知症の人が自分らしく暮らしていると思うかにおいては、「どちらとも言えない」が48.2%と最も多く、次いで「どちらかと言えばそう思わない」が20.4%、「そう思わない」が15.1%となっています。



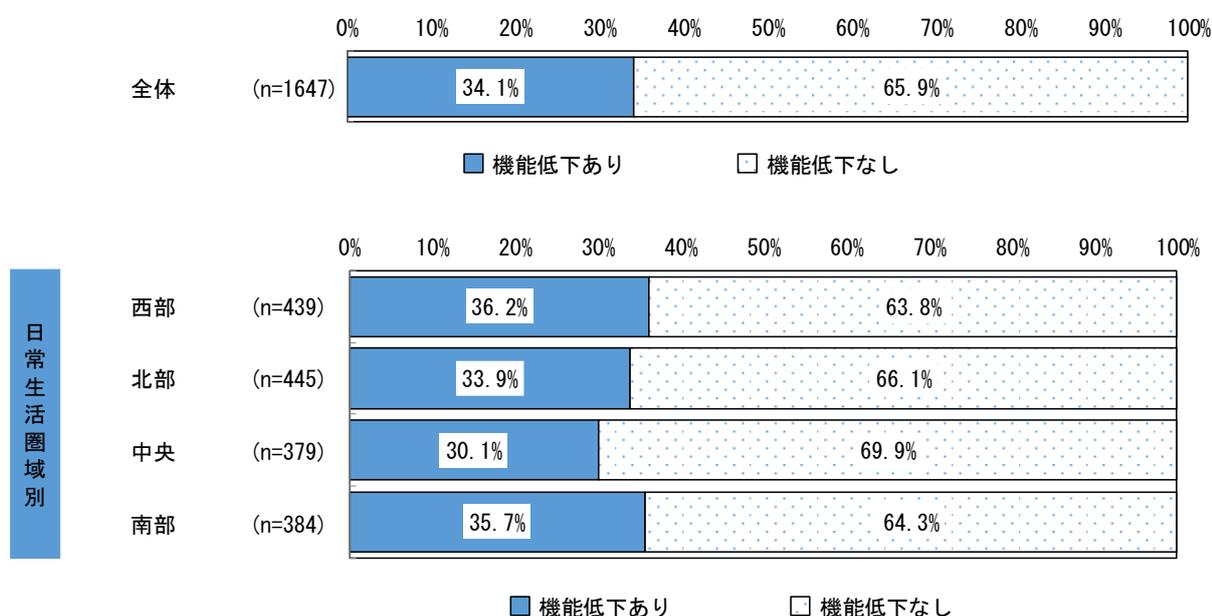
## (10) 日常生活圏域ごとの高齢者の身体機能の状況の分析

本市が実施した実態調査のうち、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査では高齢者の心身の状況等のリスクを分析するための調査項目が設定されています。ここでは、日常生活圏域別にその結果を示します。

### 1 運動器機能の低下

以下の5つの設問のうち、3問以上で該当する選択肢を回答した場合、運動器機能が低下している高齢者と判定しました。

設問番号	設問内容	選択肢
問6	階段を手すりや壁を伝わらずに昇れるか	3 できない
問7	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか	3 できない
問8	15分くらい続けて歩いているか	3 できない
問9	転倒経験	1 何度もある 2 1度ある
問10	転倒に対する不安	1 とても不安である 2 やや不安である



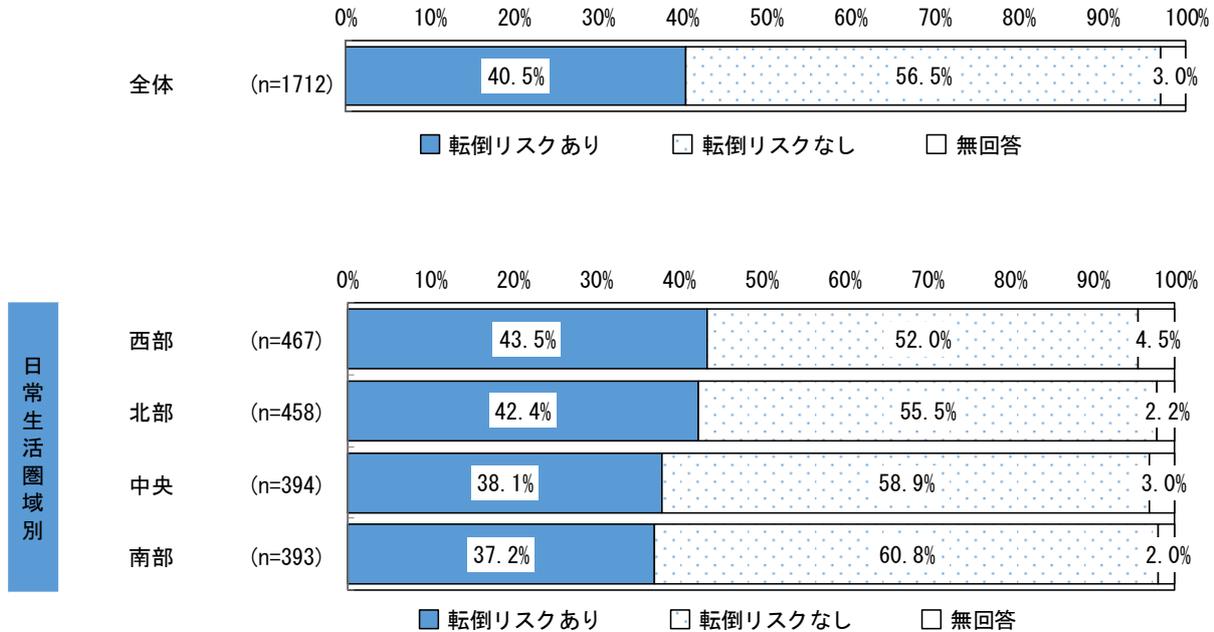
### 「機能低下あり」の人がおよそ30%

運動器機能の低下においては、「機能低下あり」が34.1%、「機能低下なし」が65.9%となっています。

## 2 転倒リスク

以下の設問で該当する選択肢を回答した場合、転倒リスクのある高齢者と判定しました。

設問番号	設問内容	選択肢
問9	転倒経験	1 何度もある 2 1度ある



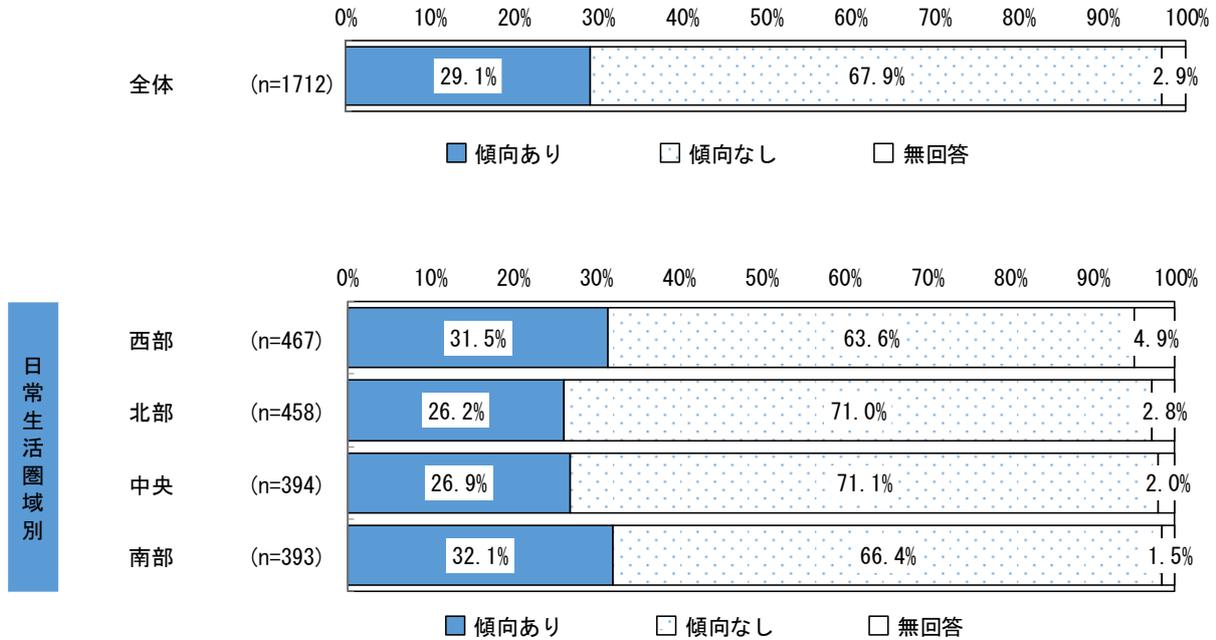
### 「転倒リスクあり」の人がおよそ40%

転倒リスクにおいては、「転倒リスクあり」が40.5%、「転倒リスクなし」が56.5%となっています。

### 3 閉じこもり傾向

以下の設問で該当する選択肢を回答した場合、閉じこもり傾向にある高齢者と判定しました。

設問番号	設問内容	選択肢
問11	外出頻度	1 ほとんど外出しない 2 週1回



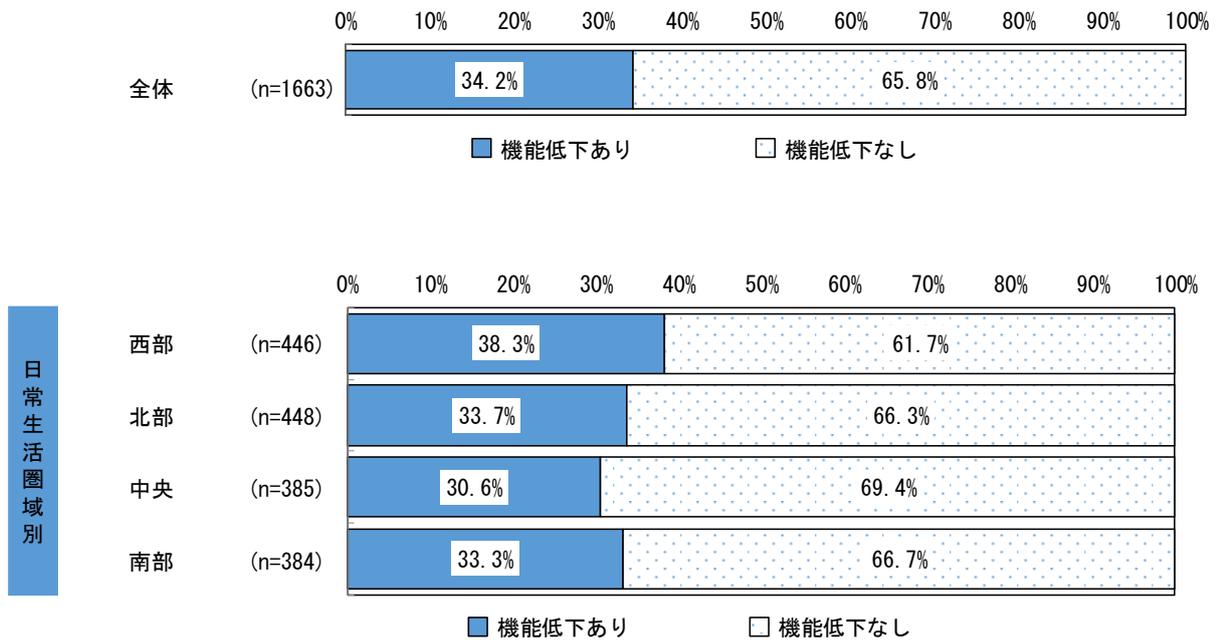
#### 「傾向あり」の人がおよそ30%

閉じこもり傾向においては、「傾向あり」が29.1%、「傾向なし」が67.9%となっています。

#### 4 口腔機能の低下

以下の3問のうち、2問以上で該当する選択肢を回答した場合、口腔機能が低下している高齢者と判定しました。

設問番号	設問内容	選択肢
問14	固いものを食べにくくなったか	1 はい
問15	お茶や汁物等でむせることの有無	1 はい
問16	口の渇きが気になるか	1 はい



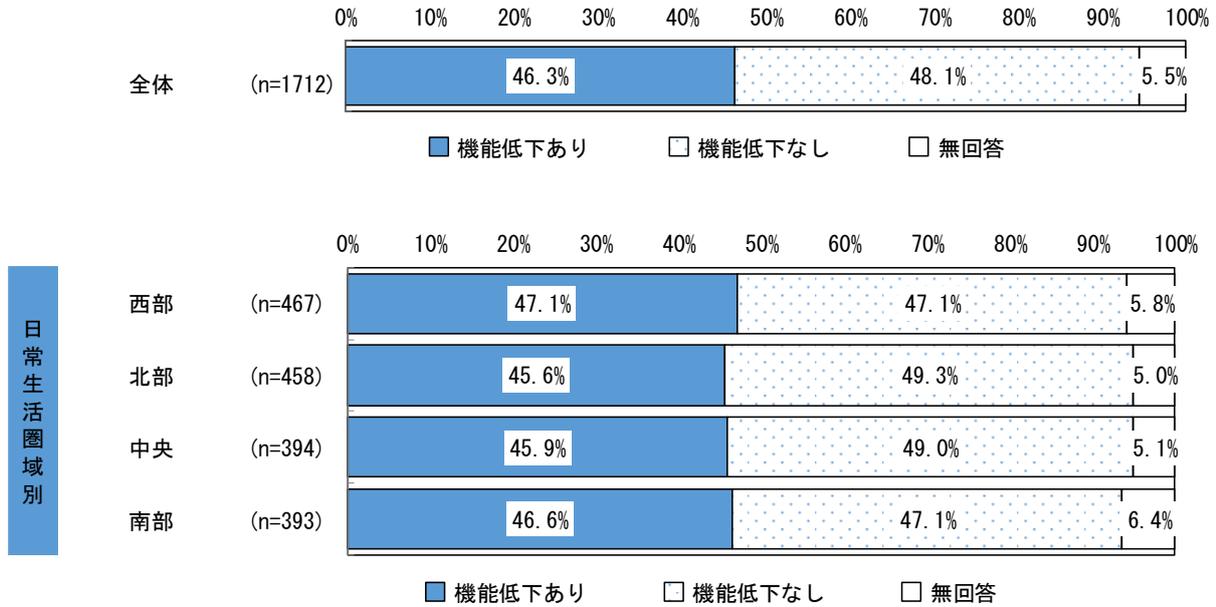
### 「機能低下あり」の人がおよそ30%

口腔機能の低下においては、「機能低下あり」が34.2%、「機能低下なし」が65.8%となっています。

## 5 認知機能の低下

以下の設問で該当する選択肢を回答した場合、認知機能が低下している高齢者と判定しました。

設問番号	設問内容	選択肢
問19	物忘れが多いと感じるか	1 はい



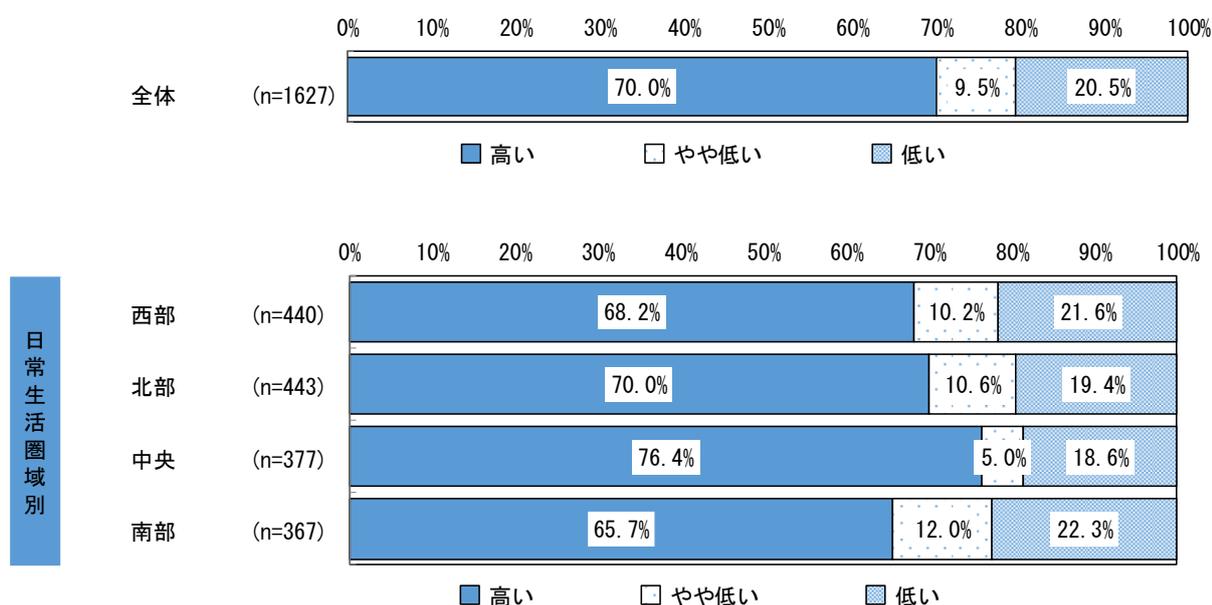
### 「機能低下あり」の人がおよそ50%

認知機能の低下においては、「機能低下あり」が46.3%、「機能低下なし」が48.1%となっています。

## 6 IADL<sup>2</sup>の状況

以下の5問で、選択肢1「できるし、している」または選択肢2「できるけどしていない」を選択した場合を1点、選択肢3「できない」を選択した場合を0点として、5問の合計点を算出します。合計点が5点の場合をIADLが「高い」、4点の場合をIADLが「やや低い」、3点以下の場合をIADLが「低い」と判定しました。

設問番号	設問内容	選択肢	点数
問20	バスや電車で1人で外出しているか	1 できるし、している	1点
		2 できるけどしていない	
		3 できない	
問21	食品・日用品の買物をしているか	1 できるし、している	1点
		2 できるけどしていない	
		3 できない	
問22	自分で食事の用意をしているか	1 できるし、している	1点
		2 できるけどしていない	
		3 できない	
問23	請求書の支払いをしているか	1 できるし、している	1点
		2 できるけどしていない	
		3 できない	
問24	預貯金の出し入れをしているか	1 できるし、している	1点
		2 できるけどしていない	
		3 できない	



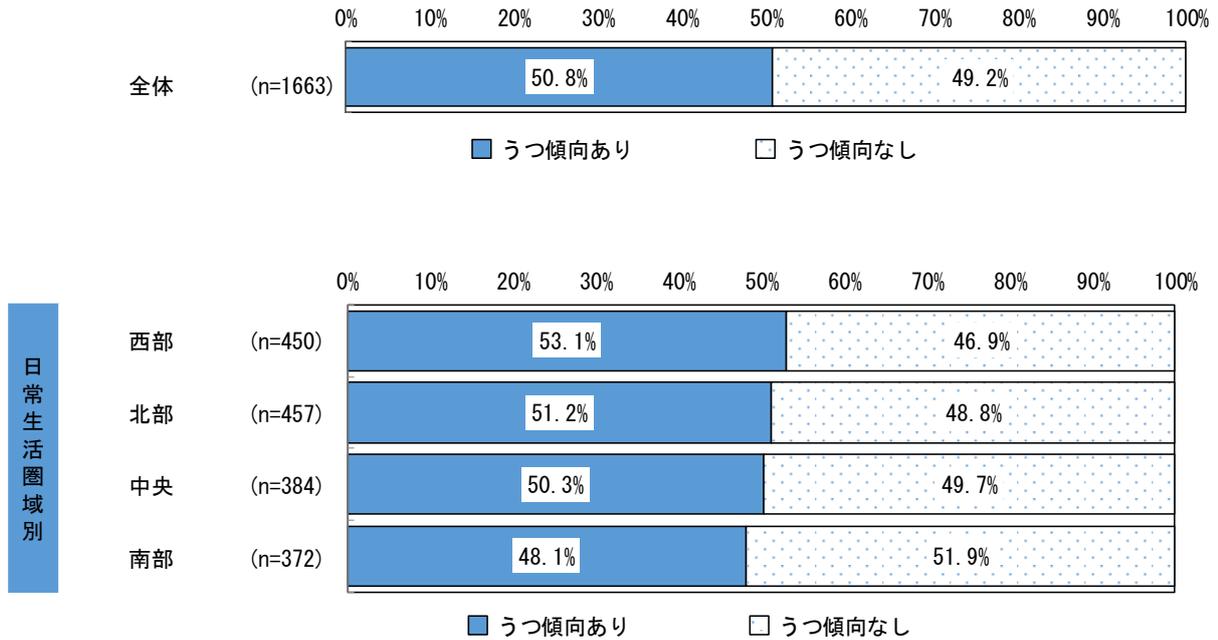
IADLの状況においては、「高い」が70.0%、「やや低い」が9.5%、「低い」が20.5%となっています。

<sup>2</sup>IADL (instrumental activities of dairy living scale) : 具体的には食事の準備、買い物、掃除、洗濯などの家事、金銭管理、交通機関の利用、服薬管理、電話の使用、書類を書く、趣味や余暇活動などです。

## 7 うつ傾向

以下の2問のうち、いずれかの設問で該当する選択肢を回答した場合、うつ傾向がある高齢者と判定しました。

設問番号	設問内容	選択肢
問34	気分が沈んだり、ゆううつになることがあるか	1 はい
問35	どうしても物事に興味がわかなくなったか	1 はい



うつ傾向においては、「うつ傾向あり」が50.8%、「うつ傾向なし」が49.2%となっています。

日常生活圏域別にみると、“西部”、“北部”、“中央”では、「うつ傾向あり」が多くなっています。

**調査結果**  
**【在宅介護実態調査】**

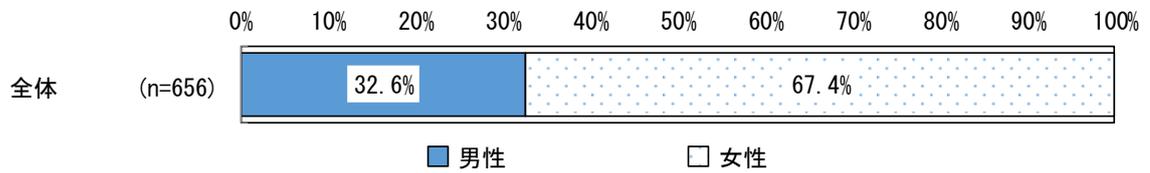


## Ⅲ. 調査結果【在宅介護実態調査】

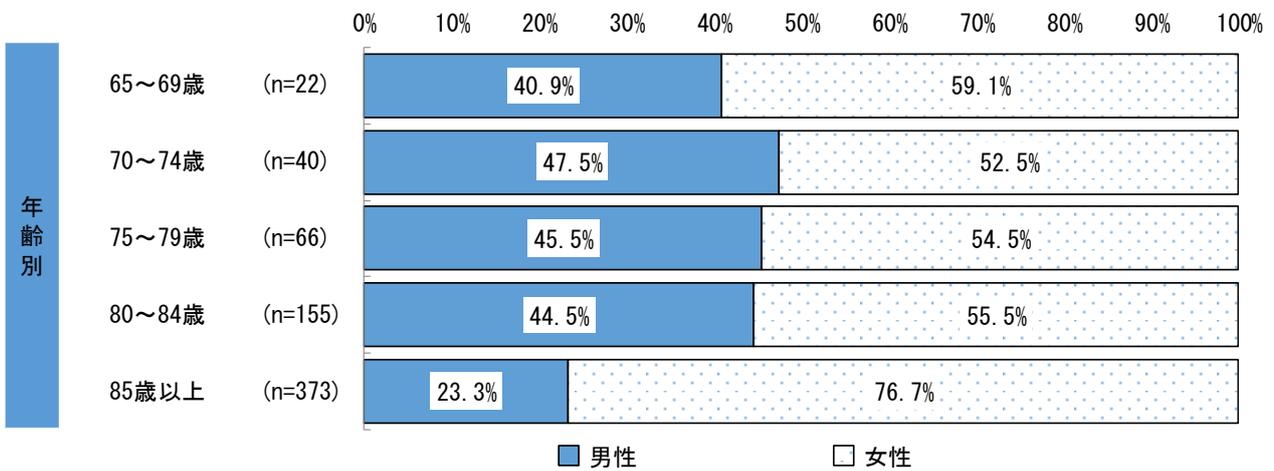
A票 調査対象者様ご本人について、お伺いします。

### (1) あなたのご家族や生活について

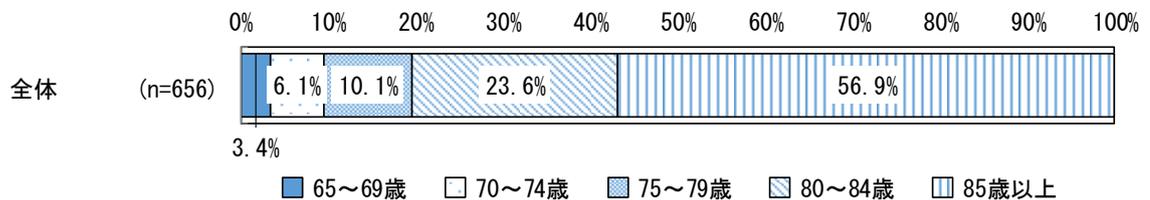
#### F 1 調査対象者の性別



性別においては、「男性」が32.6%、「女性」が67.4%となっています。

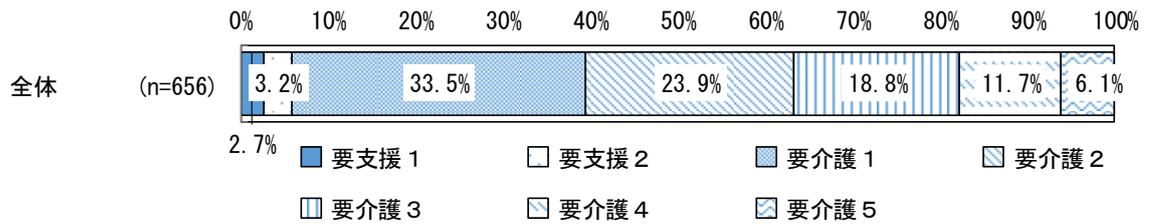


#### F 2 調査対象者の年齢

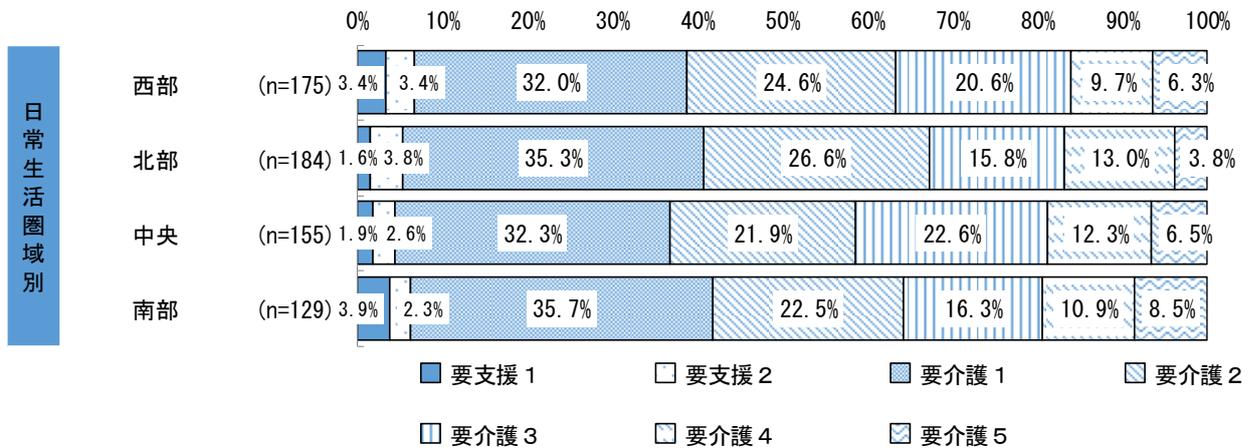


年齢においては、「85歳以上」が56.9%と最も多く、次いで「80~84歳」が23.6%、「75~79歳」が10.1%となっています。

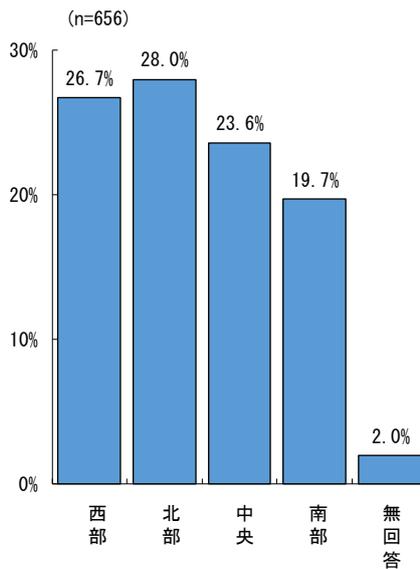
F 3 調査対象者の要介護度



要介護度においては、「要介護 1」が33.5%と最も多く、次いで「要介護 2」が23.9%、「要介護 3」が18.8%となっています。



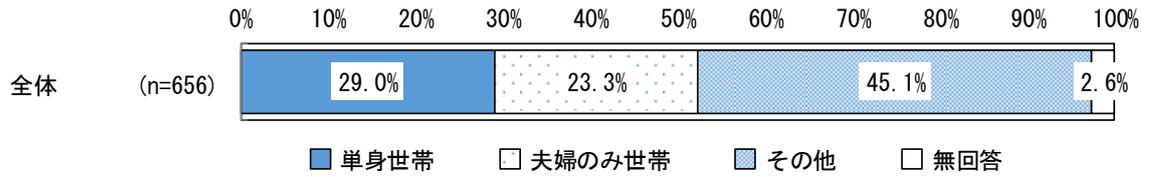
F 4 居住地区・日常生活圏



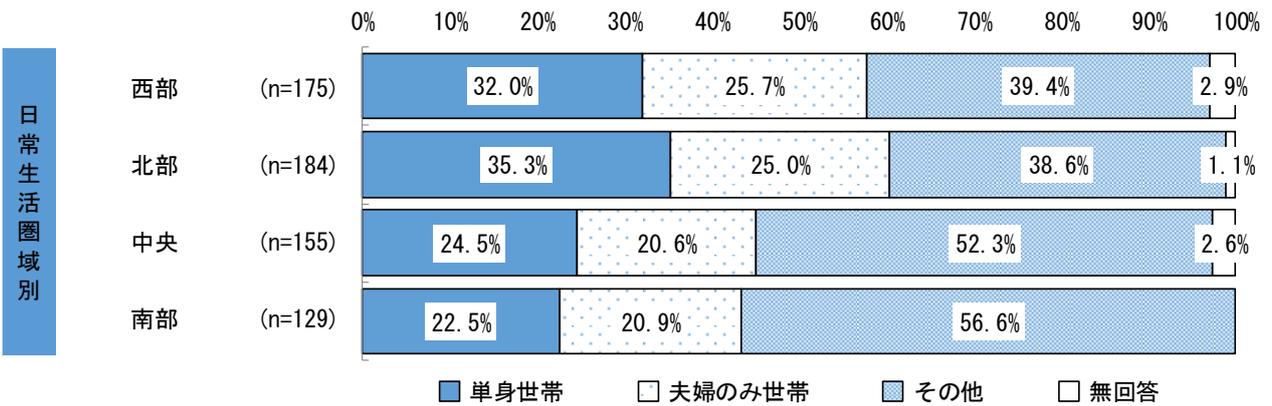
圏域名	居住地区名
西部	片浜・愛鷹・原・今沢・浮島
北部	金岡・大岡・門池
中央	第一・第二・第四・第五
南部	第三・静浦・内浦・大平・西浦・戸田

日常生活圏においては、「北部」が28.0%と最も多く、次いで「西部」が26.7%、「中央」が23.6%となっています。

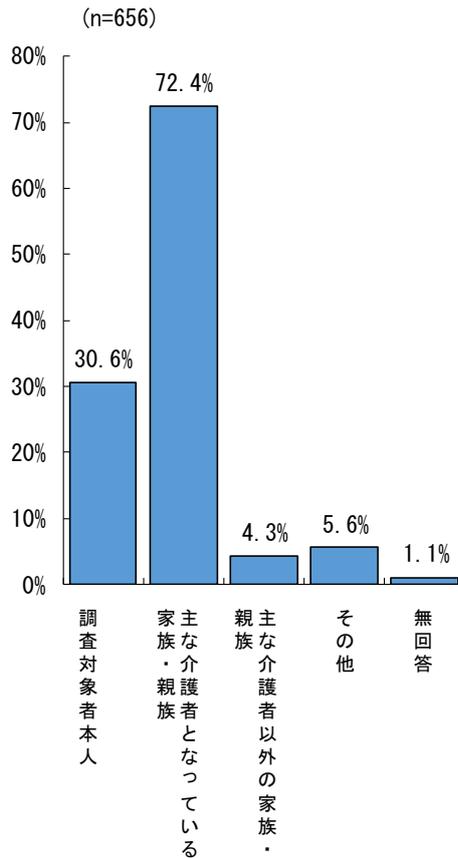
F 5 居住状況



居住状況においては、「単身世帯」が29.0%と最も多く、次いで「夫婦のみ世帯」が23.3%となっています。



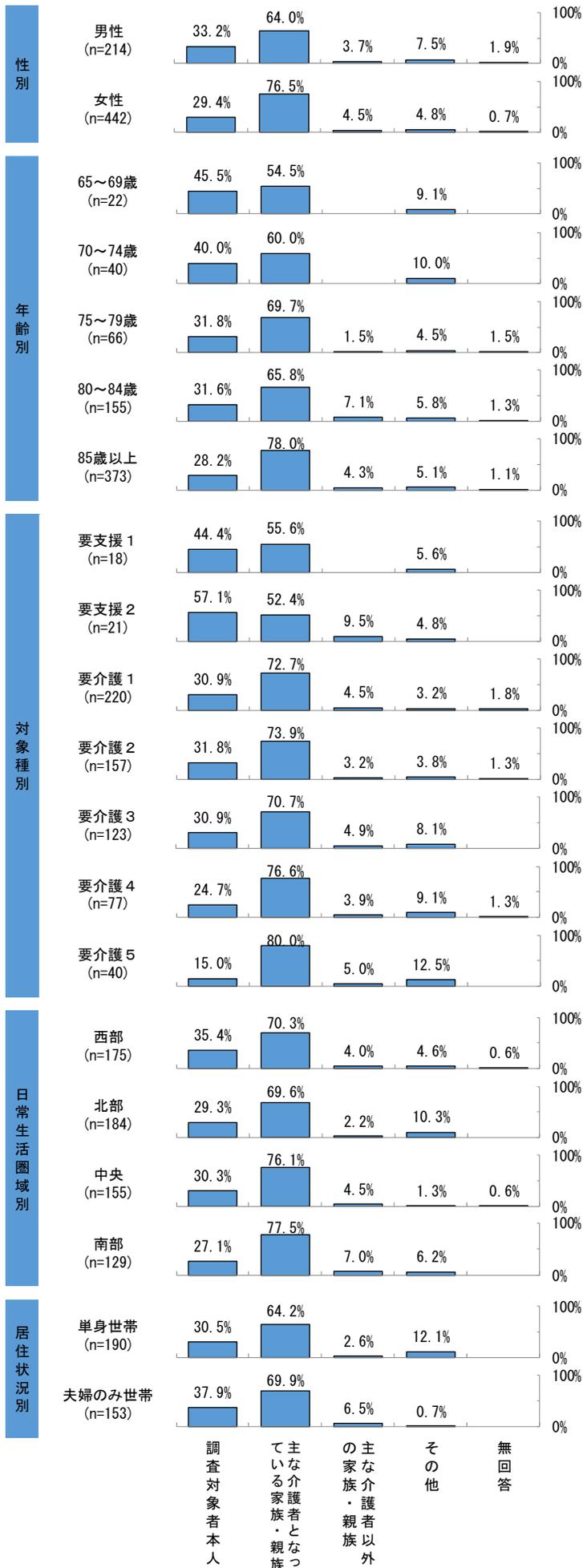
問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(✓はいくつでも)



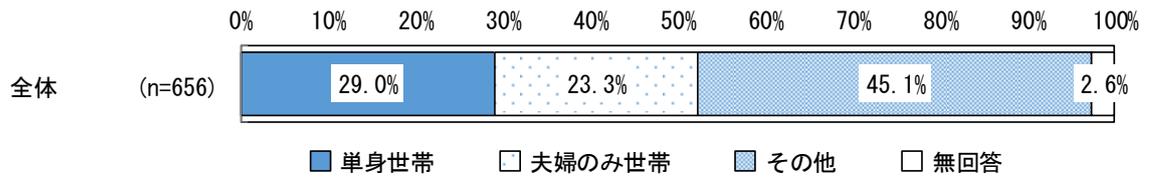
### 「主な介護者となっている家族・親族」と答えた人がおよそ70%

調査票の回答者においては、「主な介護者となっている家族・親族」が72.4%と最も多く、次いで「調査対象者本人」が30.6%、「主な介護者以外の家族・親族」が4.3%となっています。

要介護度別にみると、“要支援2”では「調査対象者本人」が57.1%と最も多くなっています。



問2 世帯類型について、ご回答ください。(✓はひとつ)




---

**「単身世帯」と答えた人がおよそ30%**

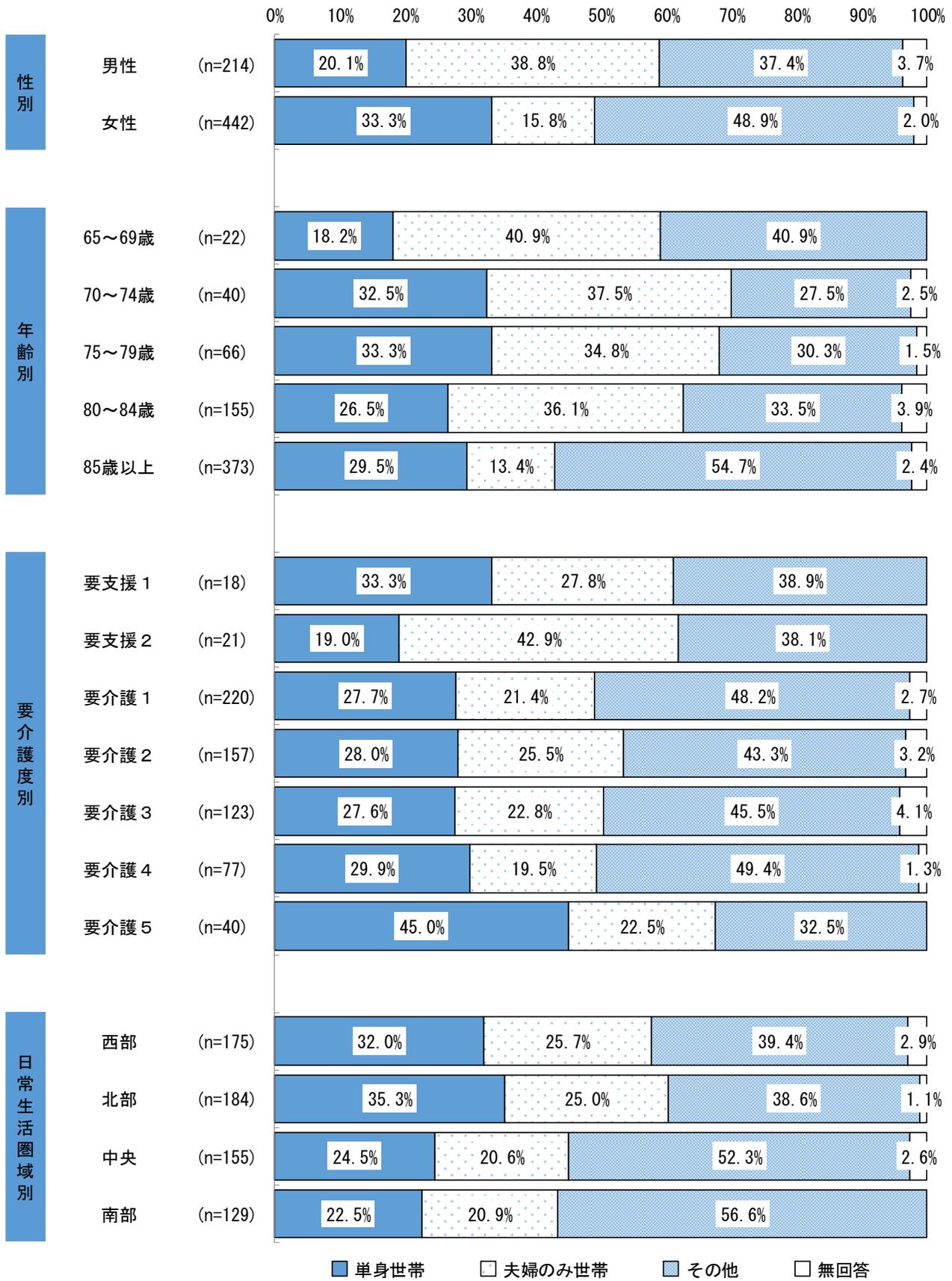
---

世帯類型においては、「単身世帯」が29.0%、「夫婦のみ世帯」が23.3%、「その他」が45.1%となっています。

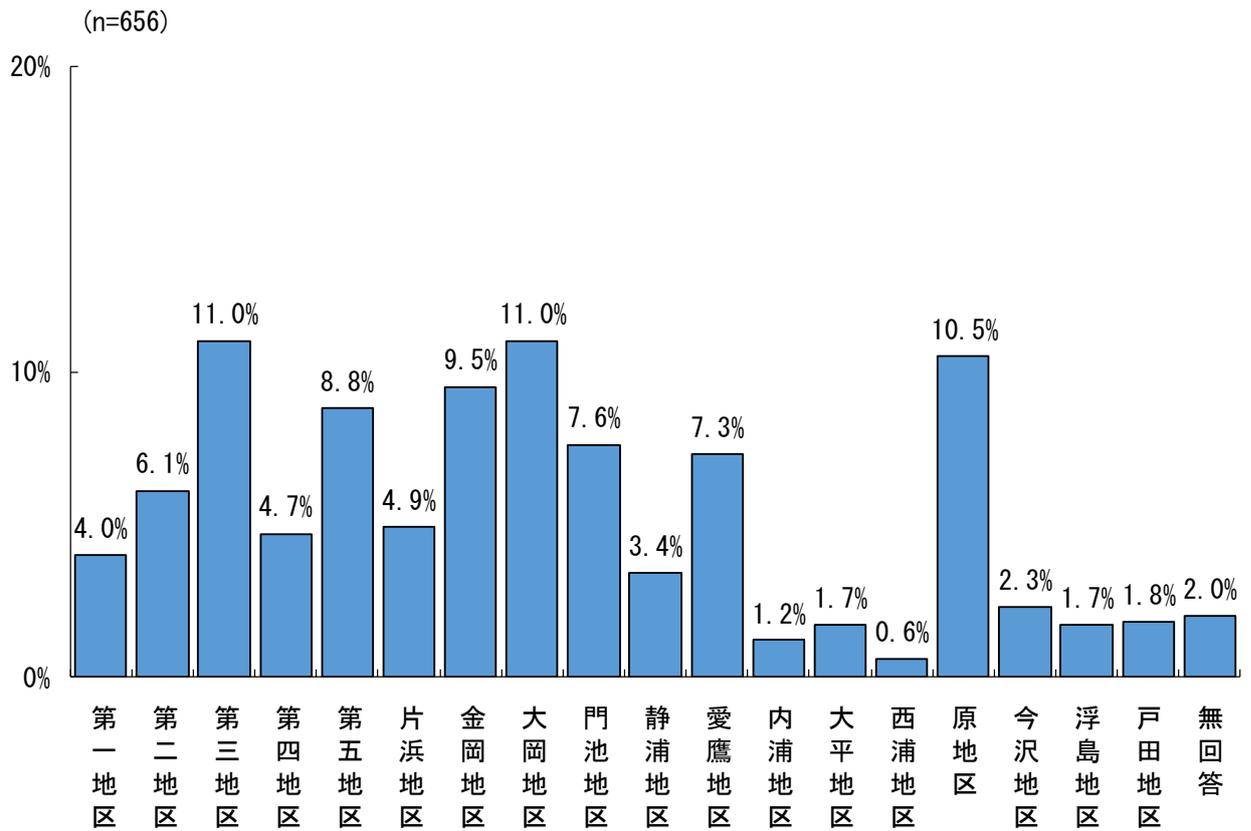
性別にみると、“男性”では「夫婦のみ世帯」が38.8%と最も多くなっています。

年齢別にみると、“65～69歳”、“70～74歳”、“75～79歳”、“80～84歳”では「夫婦のみ世帯」が最も多くなっています。

要介護度別にみると、“要支援2”では「夫婦のみ世帯」が42.9%と最も多くなっています。



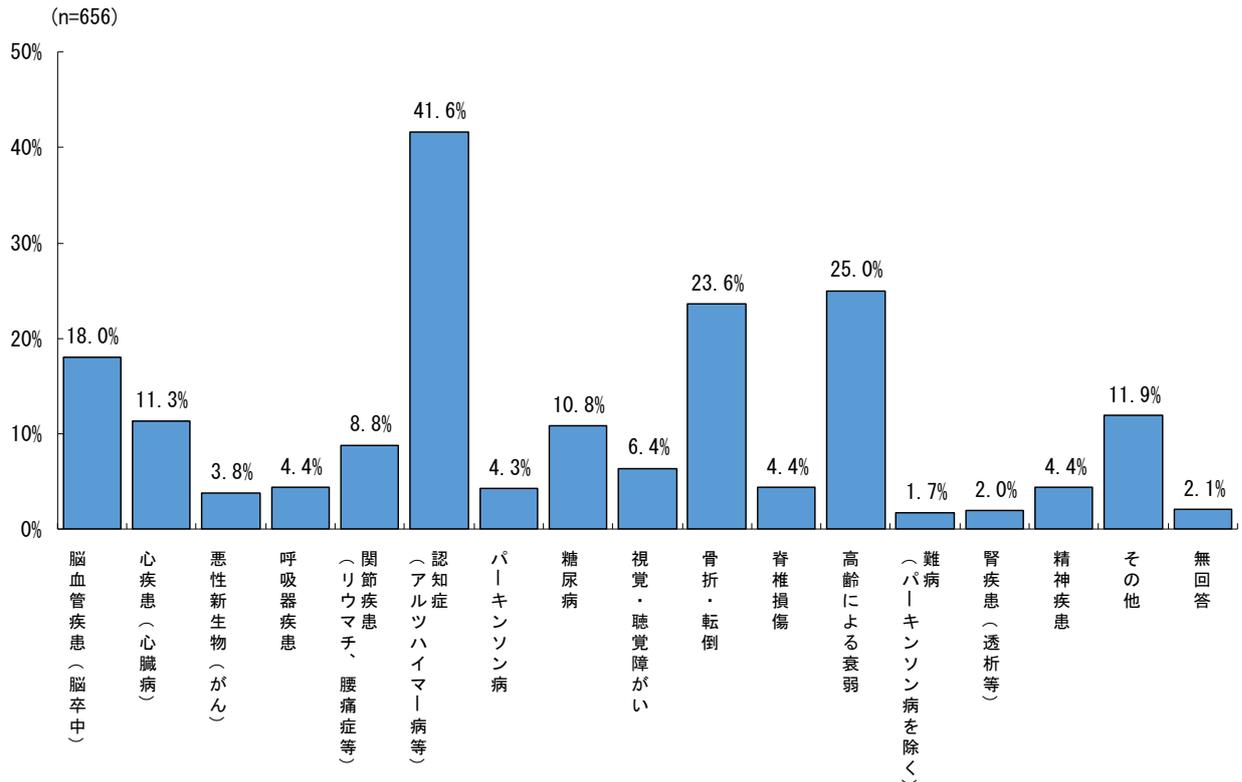
問3 ご本人の住所地の地区を教えてください。(✓はひとつ)



居住地区においては、「第三地区」、「大岡地区」が11.0%と最も多く、次いで「原地区」が10.5%、「金岡地区」が9.5%となっています。



問7 介護・介助が必要となった主な原因は何ですか。(✓はいくつでも)



「認知症（アルツハイマー病等）」と答えた人がおよそ40%

介護・介助が必要になった原因においては、「認知症（アルツハイマー病等）」が41.6%と最も多く、次いで「高齢による衰弱」が25.0%、「骨折・転倒」が23.6%となっています。

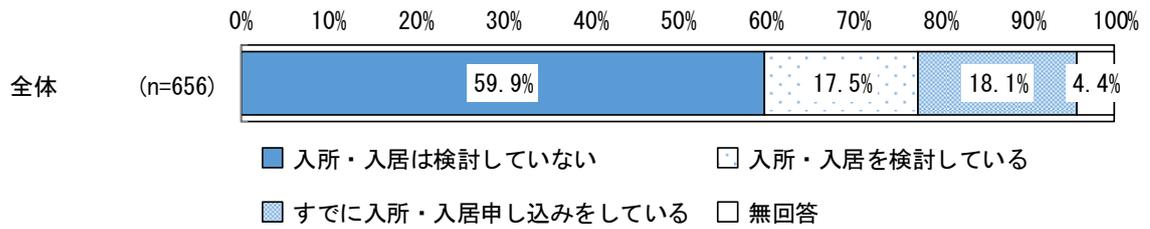
年齢別にみると、「65～69歳」、「75～79歳」では「脳血管疾患（脳卒中）」が最も多くなっています。

要介護度別にみると、「要支援2」では「骨折・転倒」が33.3%と最も多くなっています。また、「要介護5」では「脳血管疾患（脳卒中）」が45.0%と最も多くなっています。



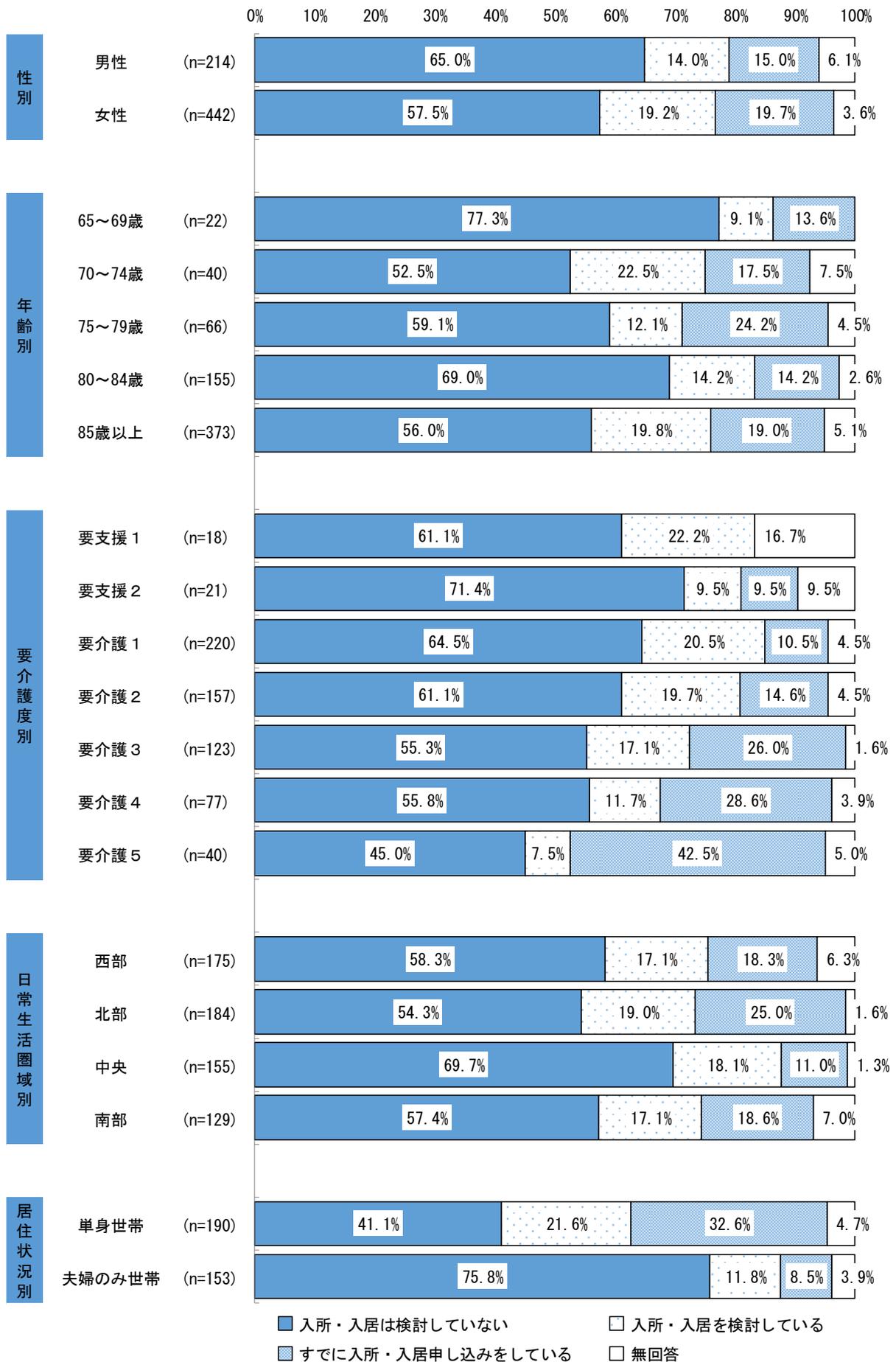
(2) 介護・介助の状況について

問8 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(✓はひとつ)

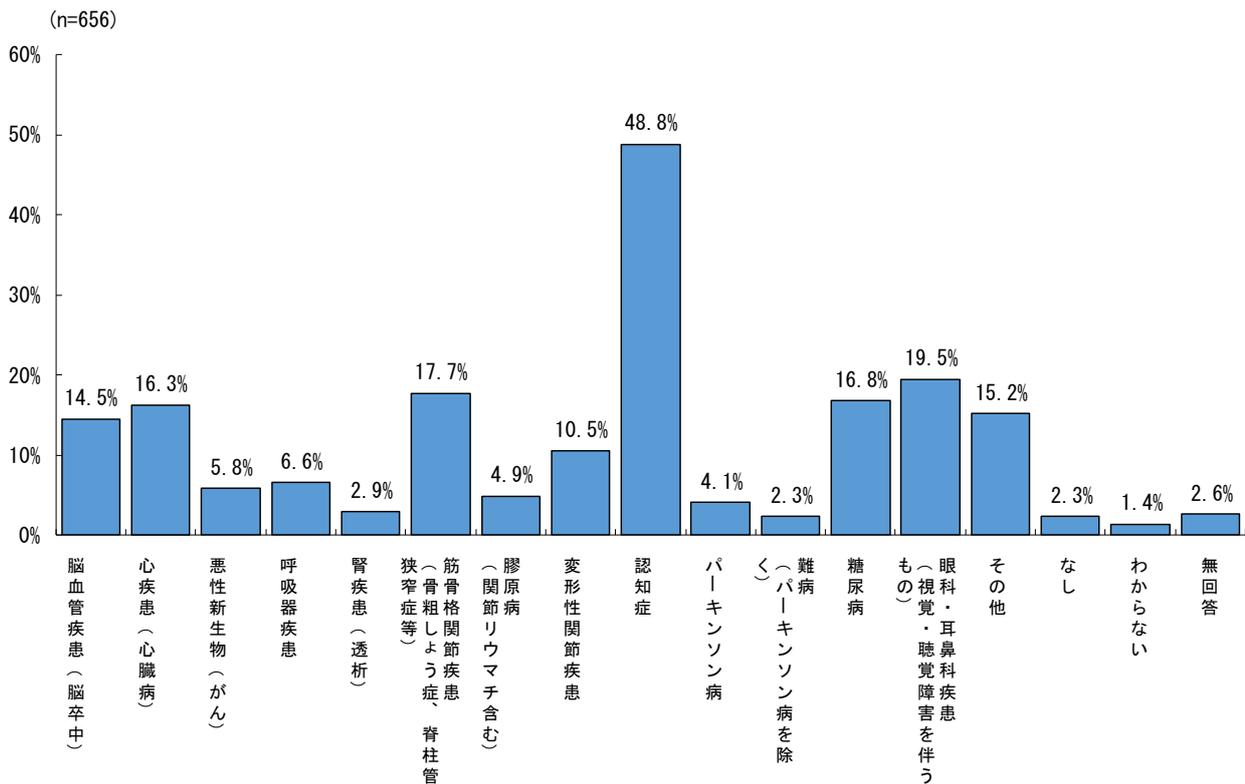


全体では「入所・入居は検討していない」と答えた人がおよそ60%  
 要介護5では「すでに入所・入居申し込みをしている」と  
 答えた人がおよそ40%

現時点の施設等への入所・入居状況においては、「入所・入居は検討していない」が59.9%と最も多く、次いで「すでに入所・入居申し込みをしている」が18.1%、「入所・入居を検討している」が17.5%となっています。



問9 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。  
（✓はいくつでも）

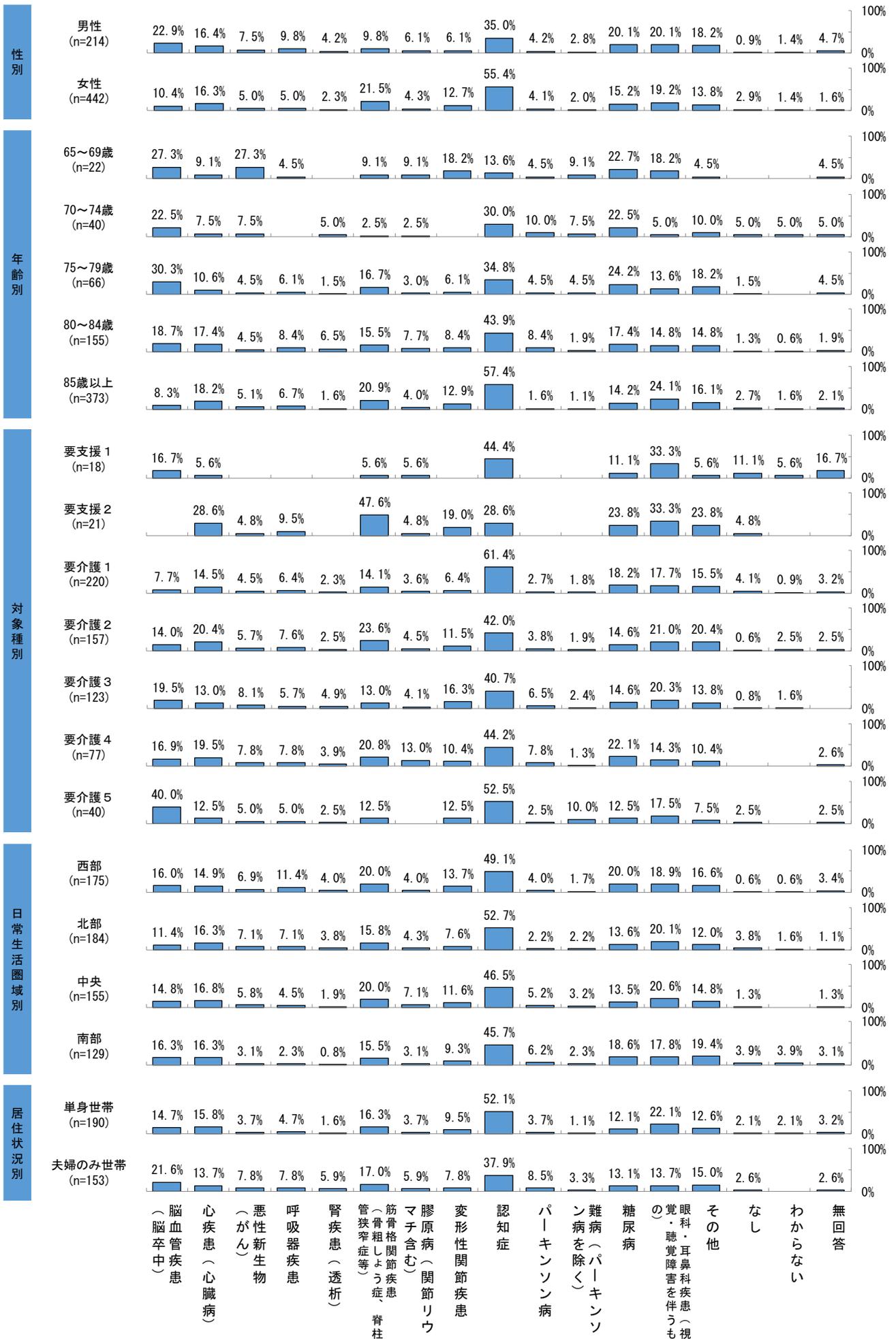


**全体では「認知症」と答えた人がおよそ50%  
要支援2では「筋骨格関節疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」と  
答えた人がおよそ50%**

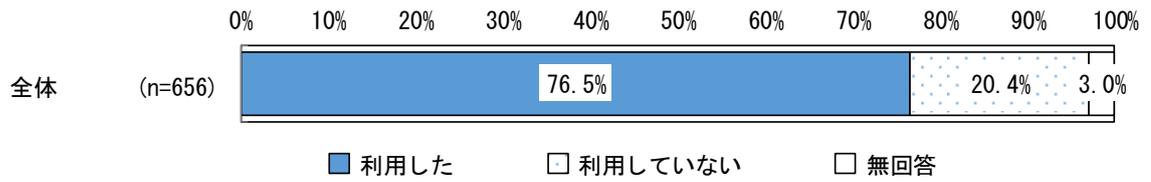
ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病においては、「認知症」が48.8%と最も多く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が19.5%、「筋骨格関節疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が17.7%となっています。

年齢別にみると、“65～69歳”では「脳血管疾患（脳卒中）」、「悪性新生物（がん）」が27.3%と最も多くなっています。

要介護度別にみると、“要支援2”では「筋骨格関節疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が47.6%と最も多くなっています。



問 10 令和4年11月の1か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか。（✓はひとつ）

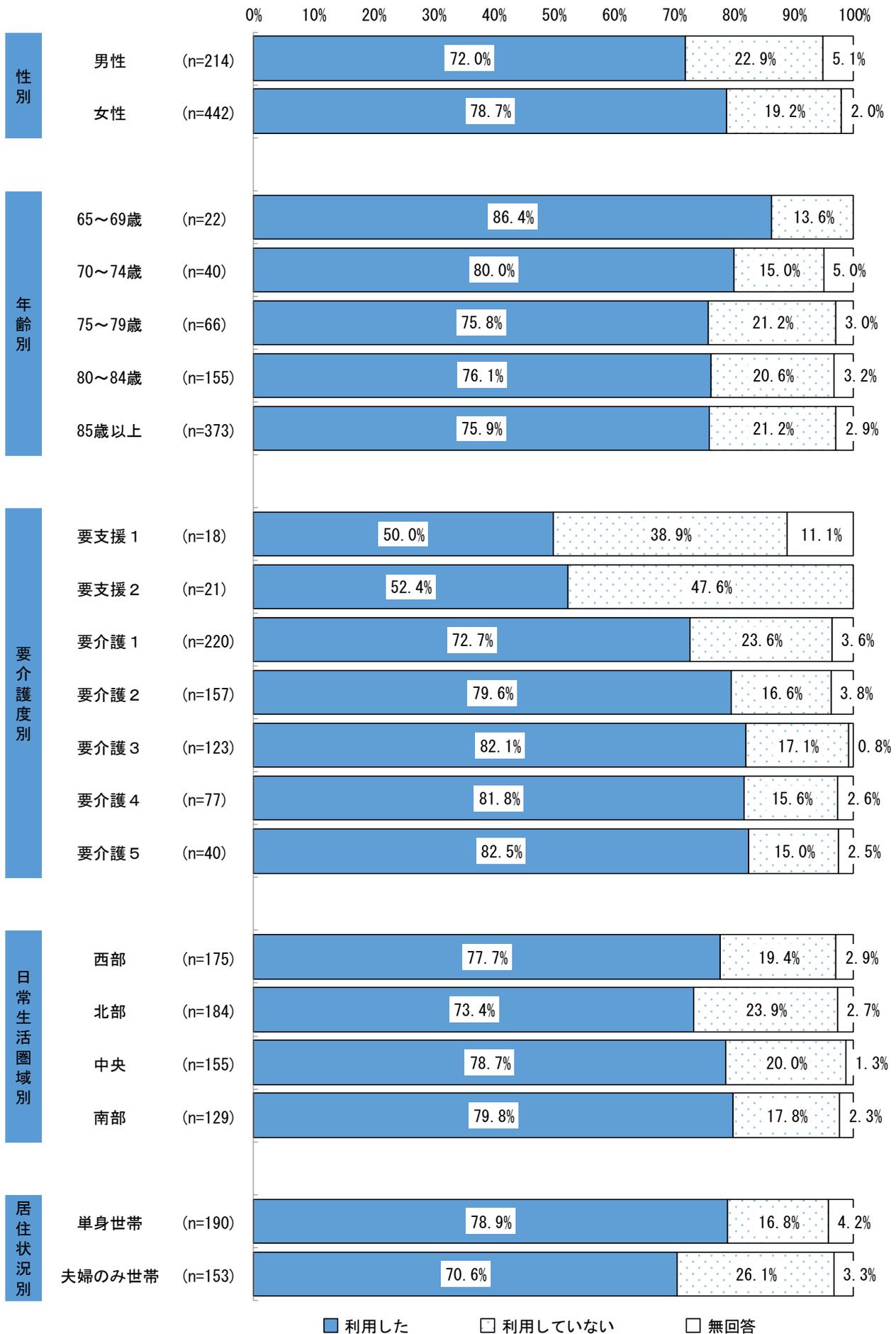



---

**要支援2では「利用していない」と答えた人がおよそ50%**

---

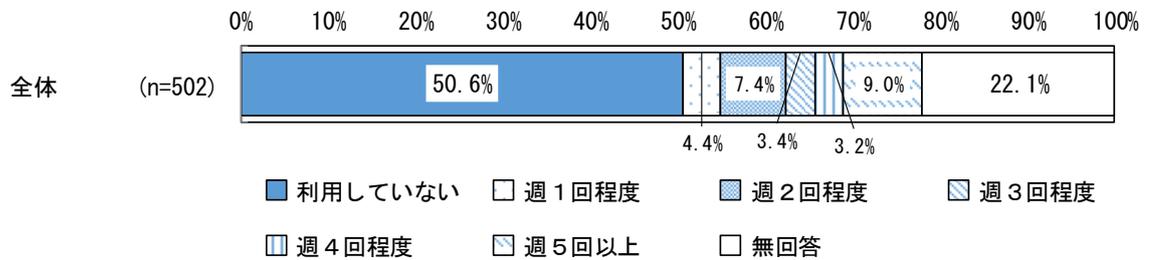
1か月間の介護保険サービス利用有無においては、「利用した」が76.5%、「利用していない」が20.4%となっています。



問 11 問 10 で「1.」と回答した方にお伺いします。

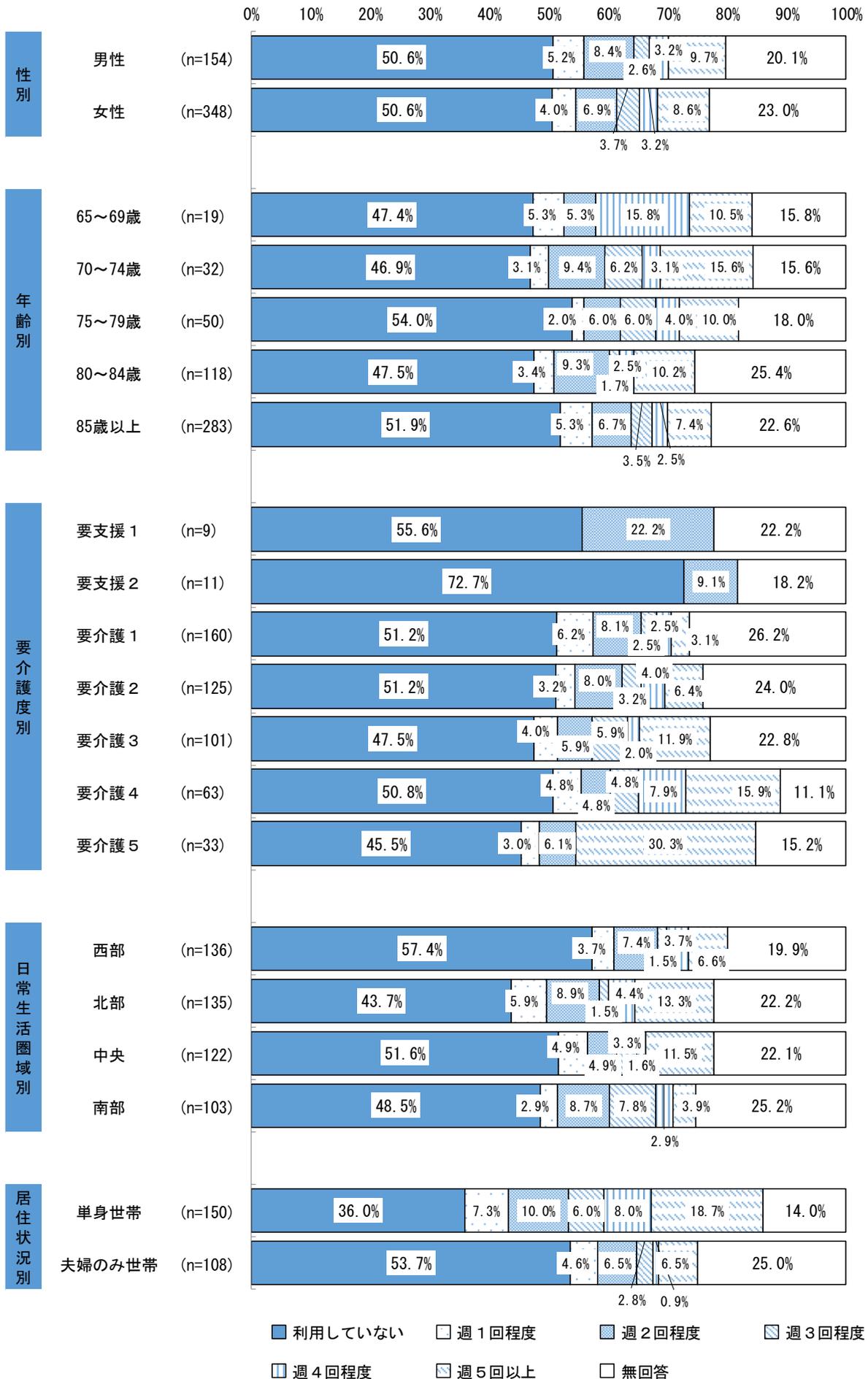
以下の介護保険サービスについて、令和4年11月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「1. 利用していない」を選択してください。（それぞれに○はひとつ）

A. 訪問介護（ホームヘルパーサービス）

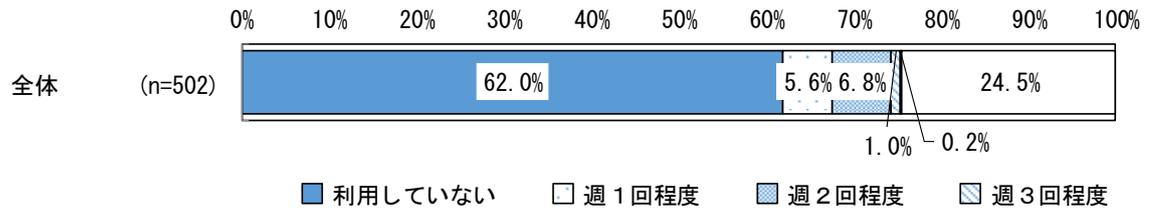


要支援2では「利用していない」と答えた人がおよそ70%  
要介護5では「週5回以上」と答えた人がおよそ30%

訪問介護（ホームヘルプサービス）においては、「利用していない」が50.6%と最も多く、次いで「週5回以上」が9.0%、「週2回程度」が7.4%となっています。



**B. 訪問入浴介護**

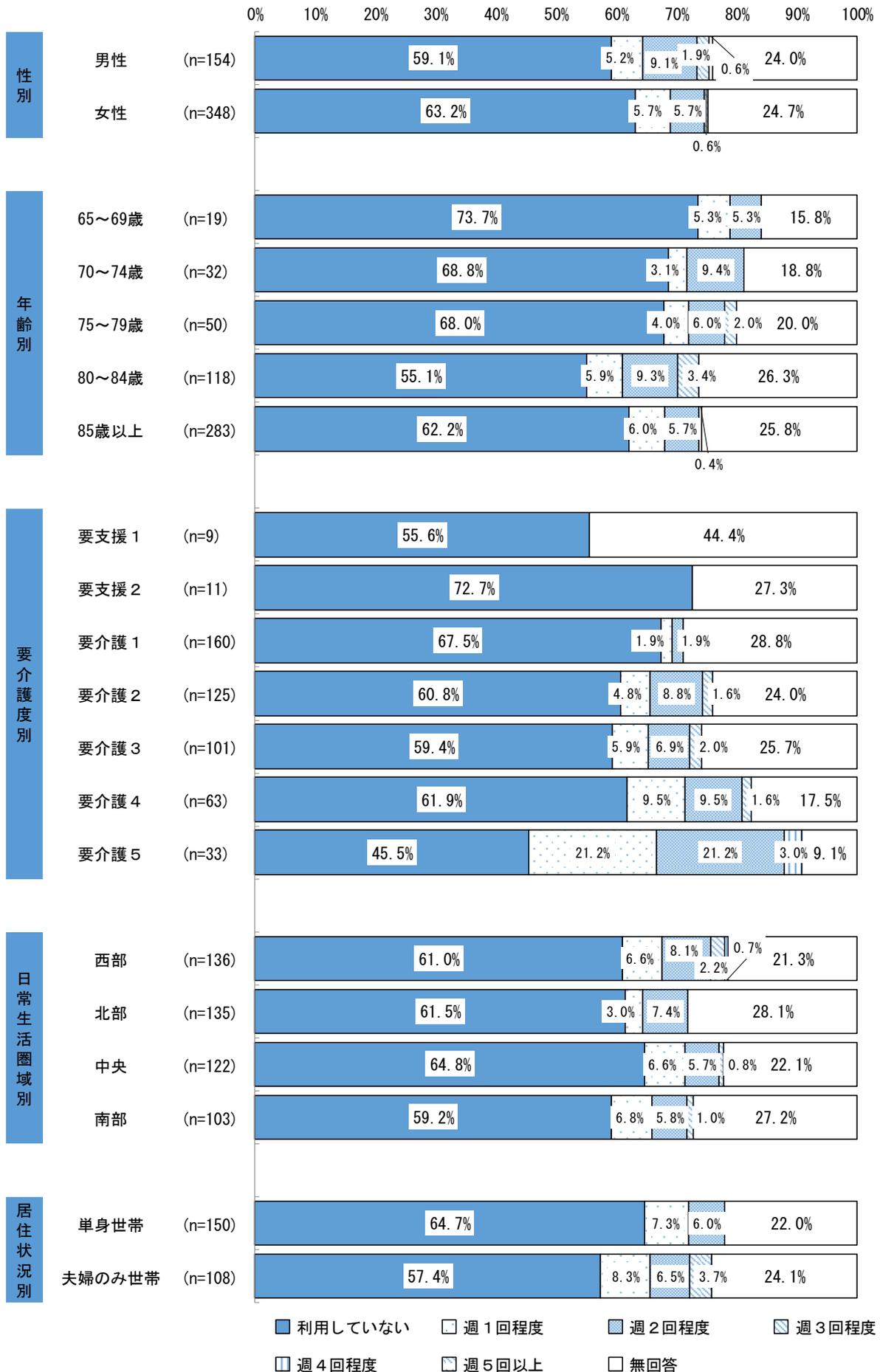



---

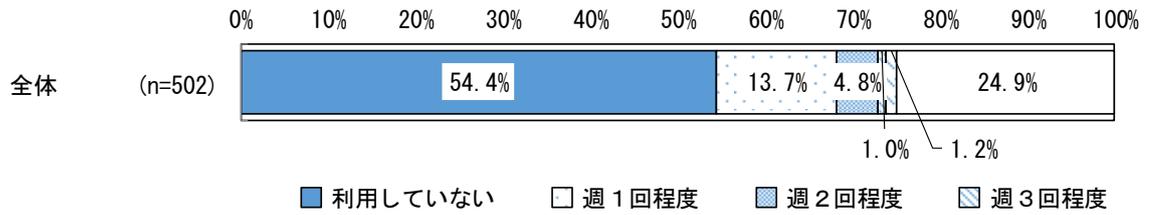
**要支援2、要介護1では「利用していない」と答えた人がおよそ70%**

---

訪問入浴介護においては、「利用していない」が62.0%と最も多く、次いで「週2回程度」が6.8%、「週1回程度」が5.6%となっています。



**C. 訪問看護**

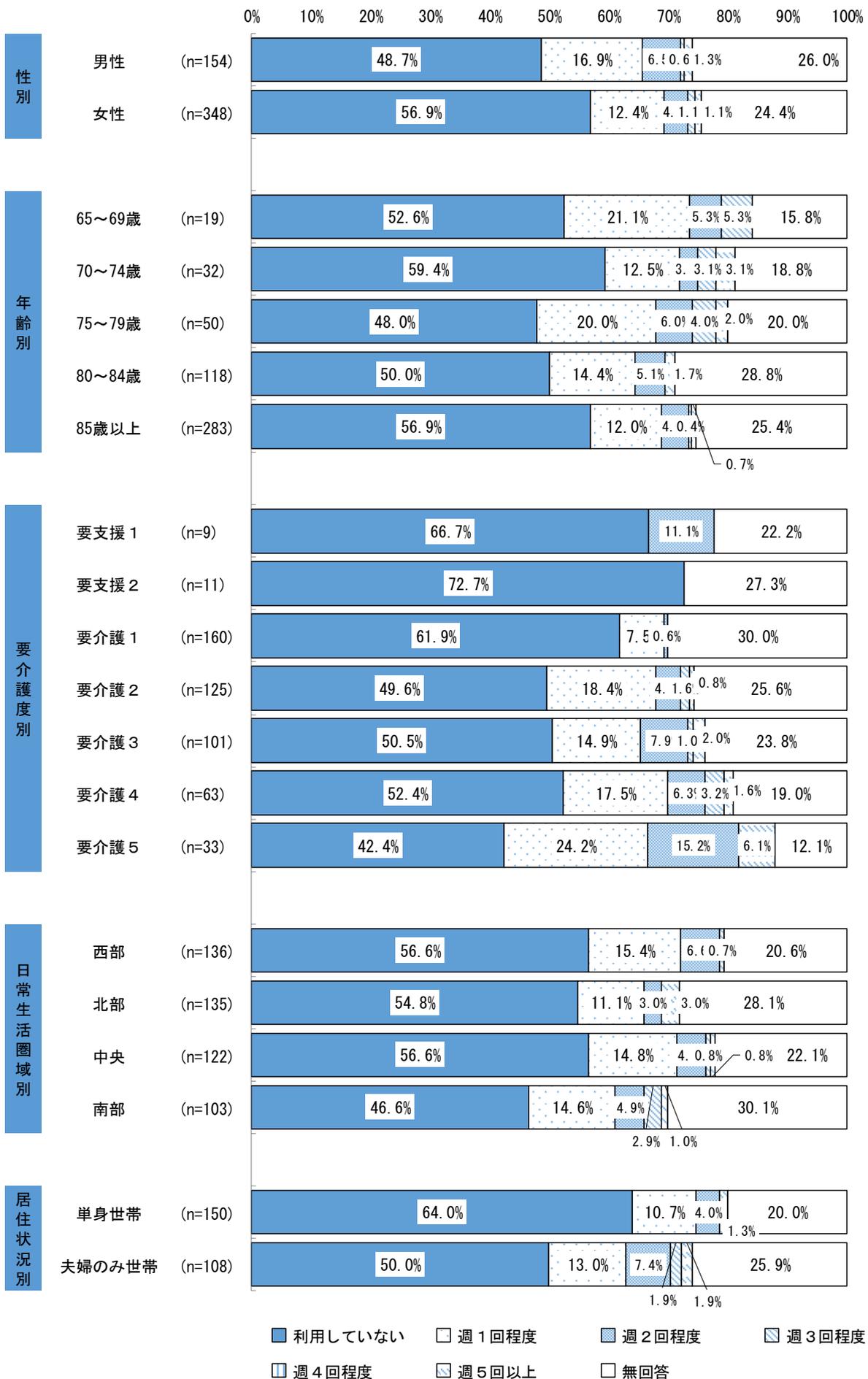



---

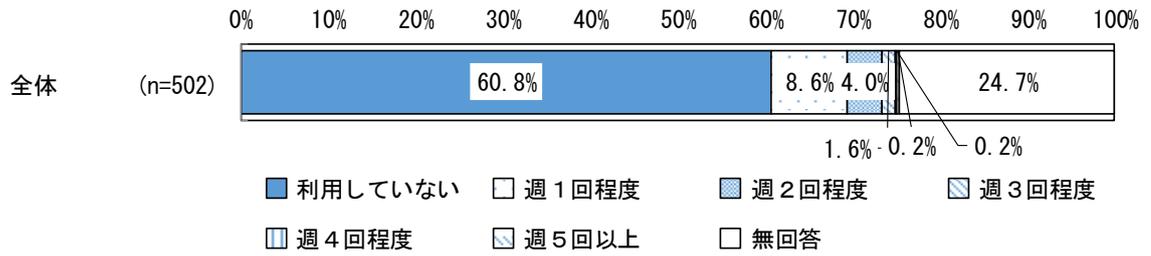
**要支援 1、要支援 2 では「利用していない」と答えた人がおよそ70%**

---

訪問看護においては、「利用していない」が54.4%と最も多く、次いで「週 1 回程度」が13.7%、「週 2 回程度」が4.8%となっています。

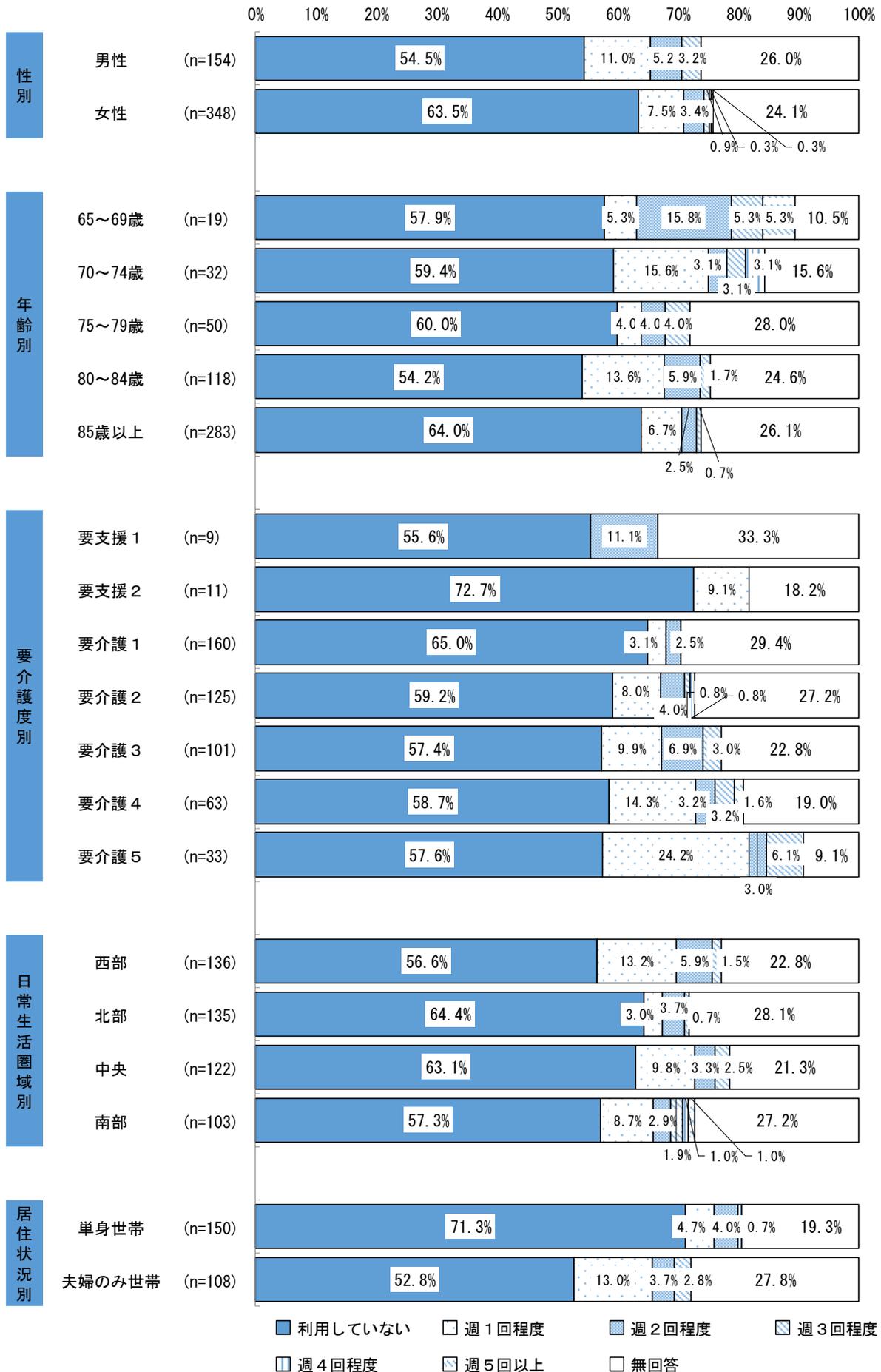


D. 訪問リハビリテーション

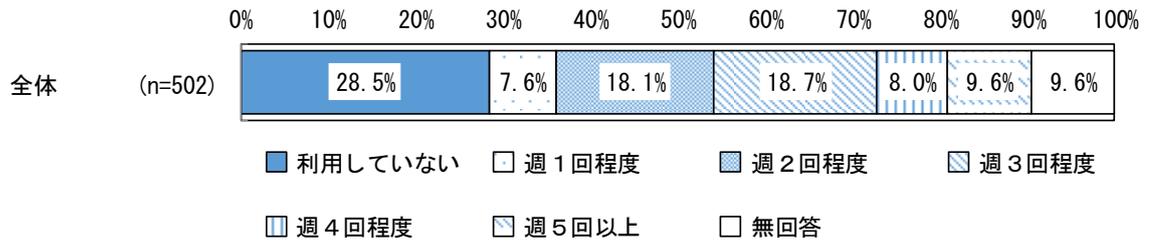


要支援2、要介護1では「利用していない」と答えた人がおよそ70%  
 単身世帯では「利用していない」と答えた人がおよそ70%

訪問リハビリテーションにおいては、「利用していない」が60.8%と最も多く、次いで「週1回程度」が8.6%、「週2回程度」が4.0%となっています。



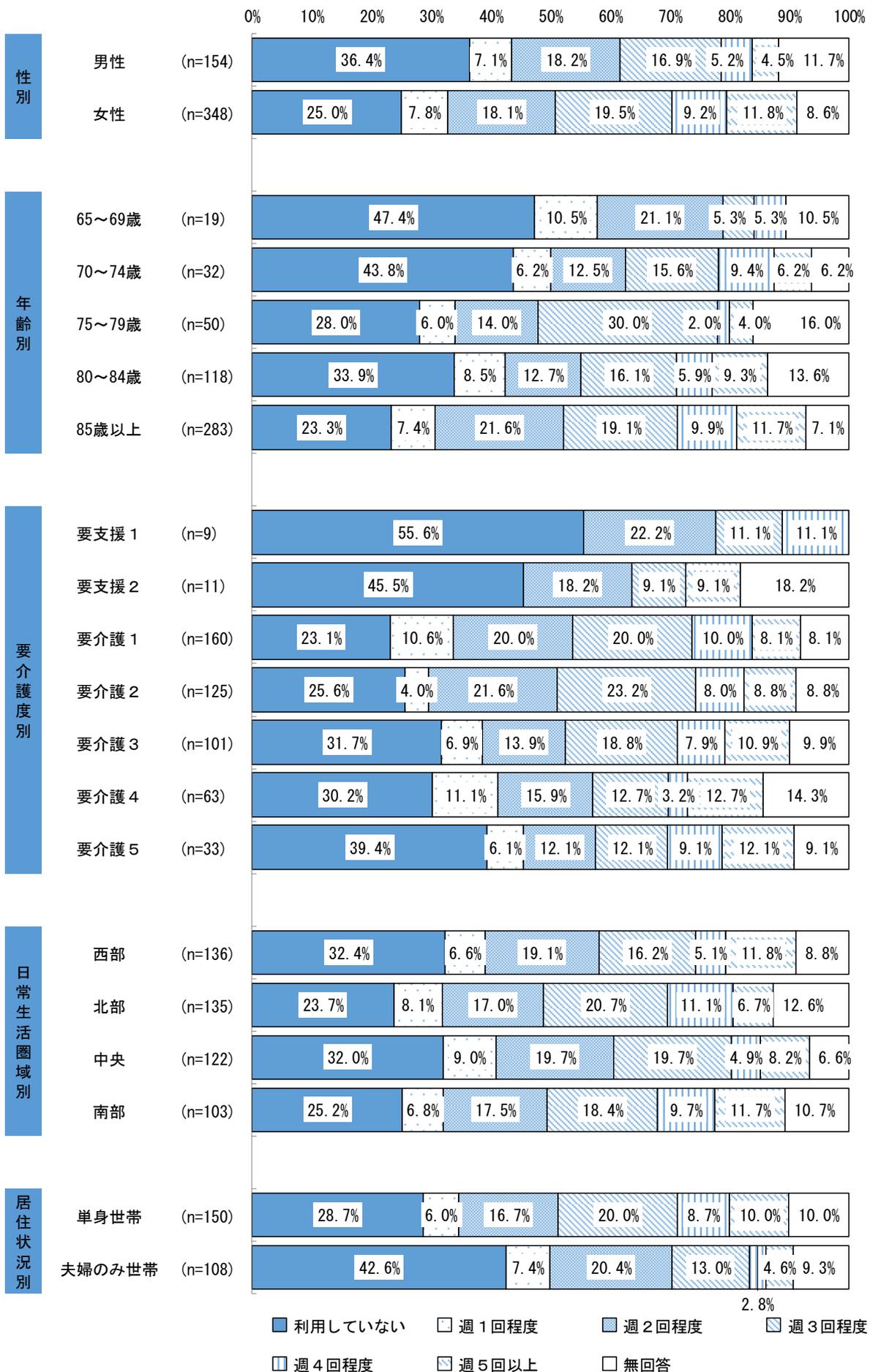
**E. 通所介護（デイサービス）**



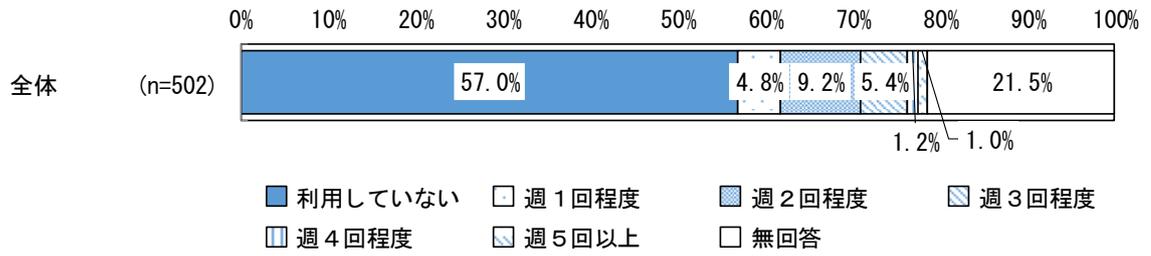
**「利用していない」と答えた人がおよそ30%**

通所介護（デイサービス）においては、「利用していない」が28.5%と最も多く、次いで「週3回程度」が18.7%、「週2回程度」が18.1%となっています。

年齢別にみると、“75～79歳”では「週3回程度」が30.0%と最も多くなっています。

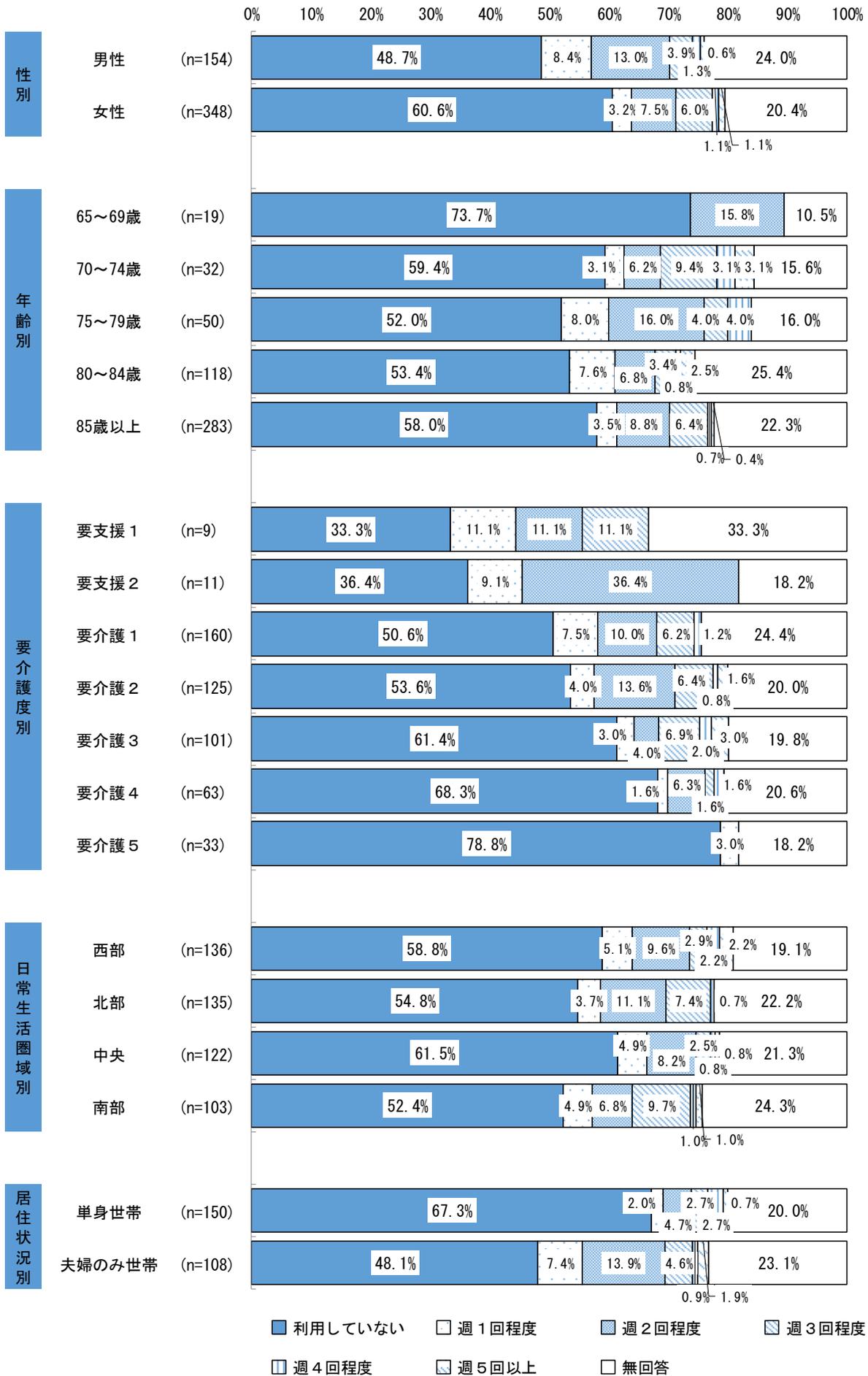


F. 通所リハビリテーション（デイケア）

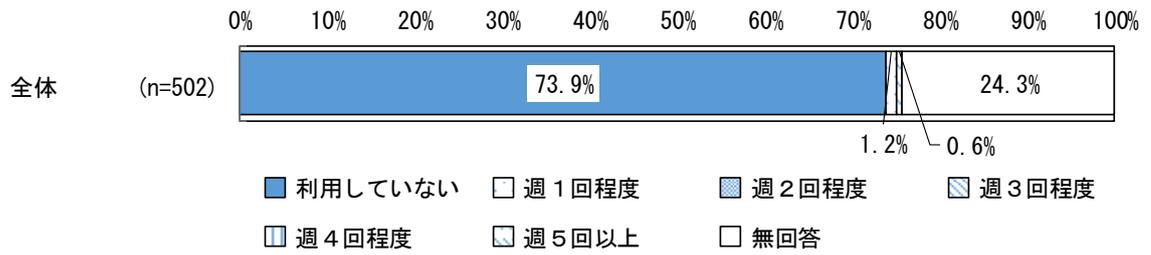


要介護度が高くなるほど「利用していない」と答えた人が多い  
 要支援2では「週2回程度」と答えた人がおよそ40%

通所リハビリテーション（デイケア）においては、「利用していない」が57.0%と最も多く、次いで「週2回程度」が9.2%、「週3回程度」が5.4%となっています。

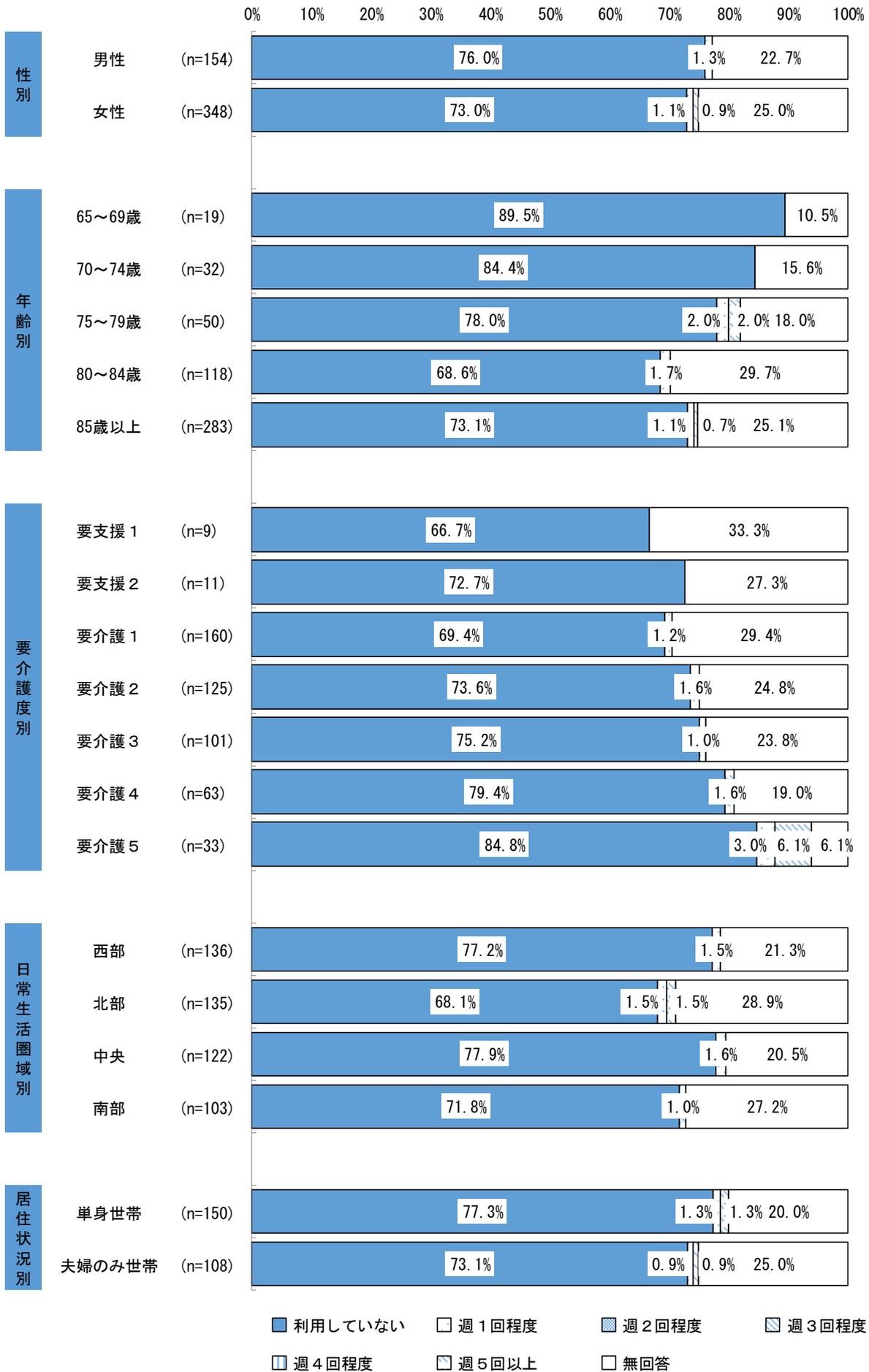


G. 夜間対応型訪問介護（※訪問のあった回数を回答）

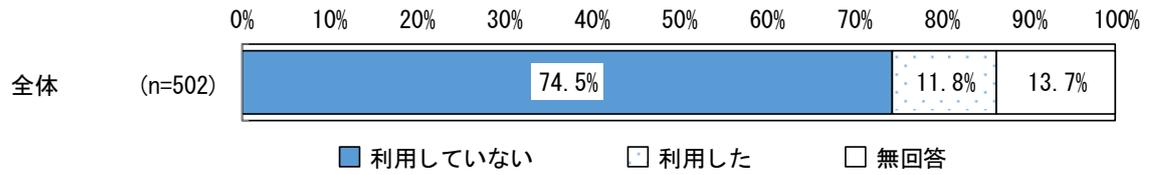


「利用していない」と答えた人がおよそ70%

夜間対応型訪問介護においては、「利用していない」が73.9%と最も多く、次いで「週1回程度」が1.2%、「週5回以上」が0.6%となっています。

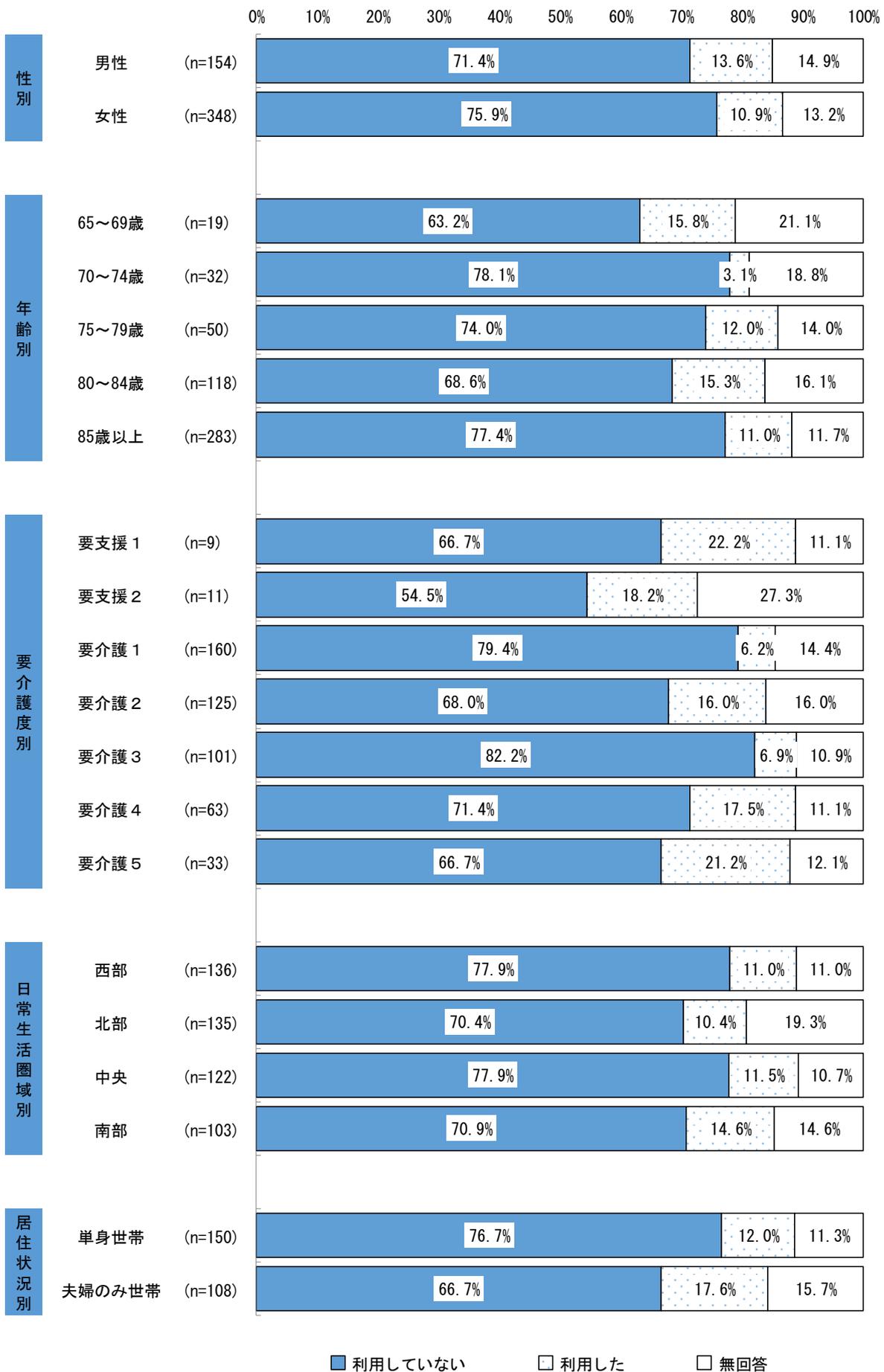


H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

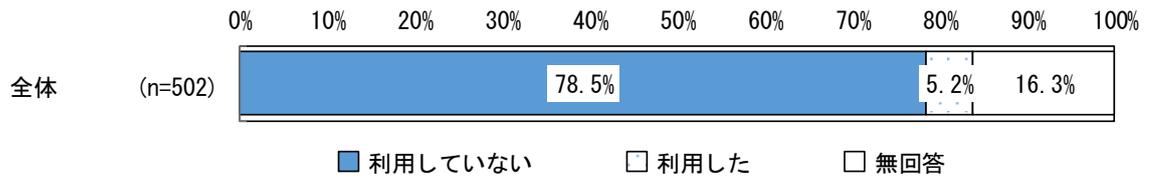


「利用していない」と答えた人がおよそ70%

定期巡回・随時対応型訪問介護看護においては、「利用していない」が74.5%、「利用した」が11.8%となっています。

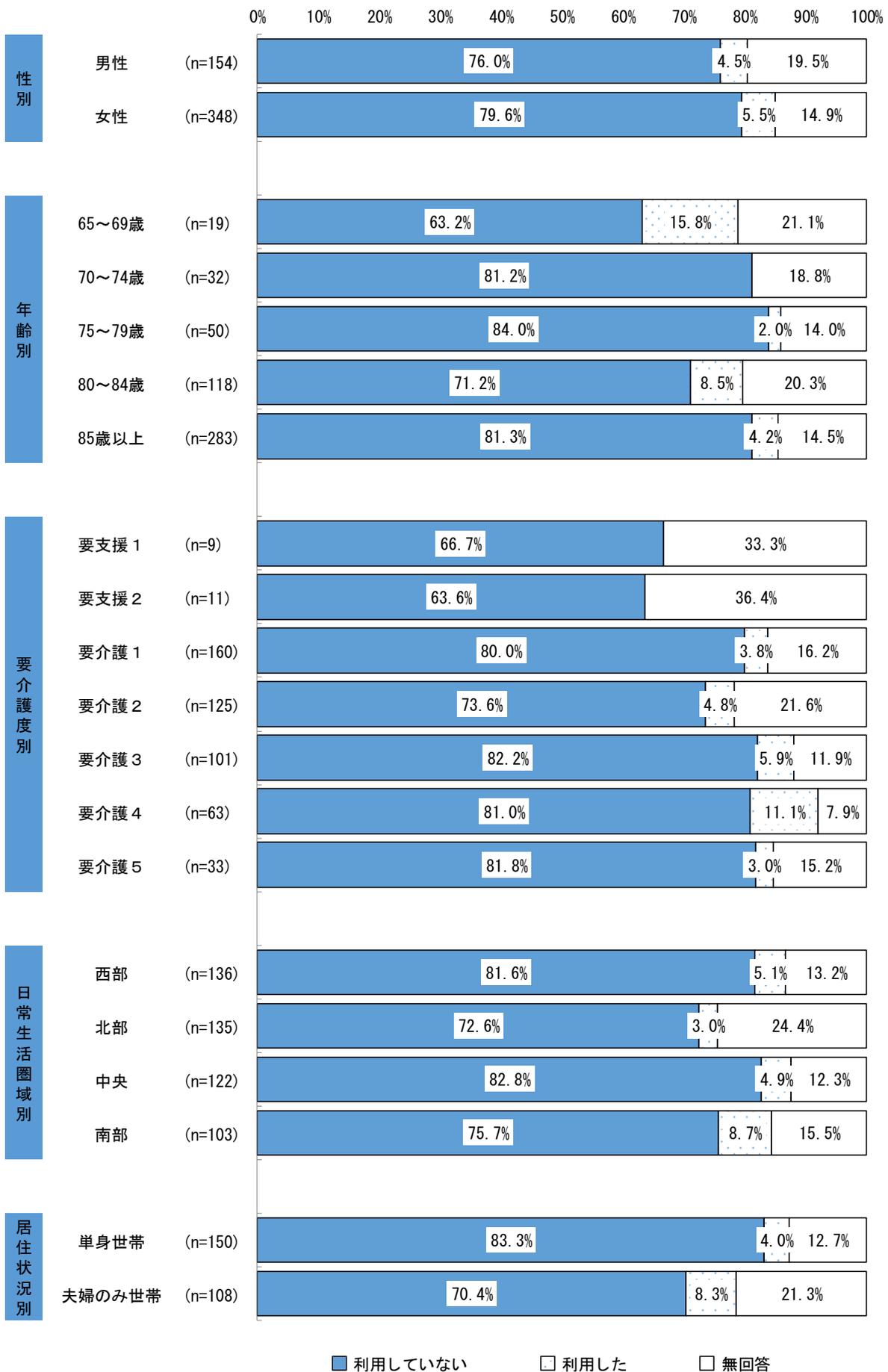


I. 小規模多機能型居宅介護

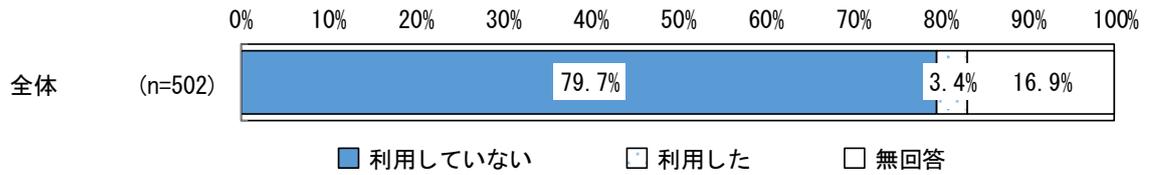


「利用していない」と答えた人がおよそ80%

小規模多機能型居宅介護においては、「利用していない」が78.5%、「利用した」が5.2%となっています。



J. 看護小規模多機能型居宅介護

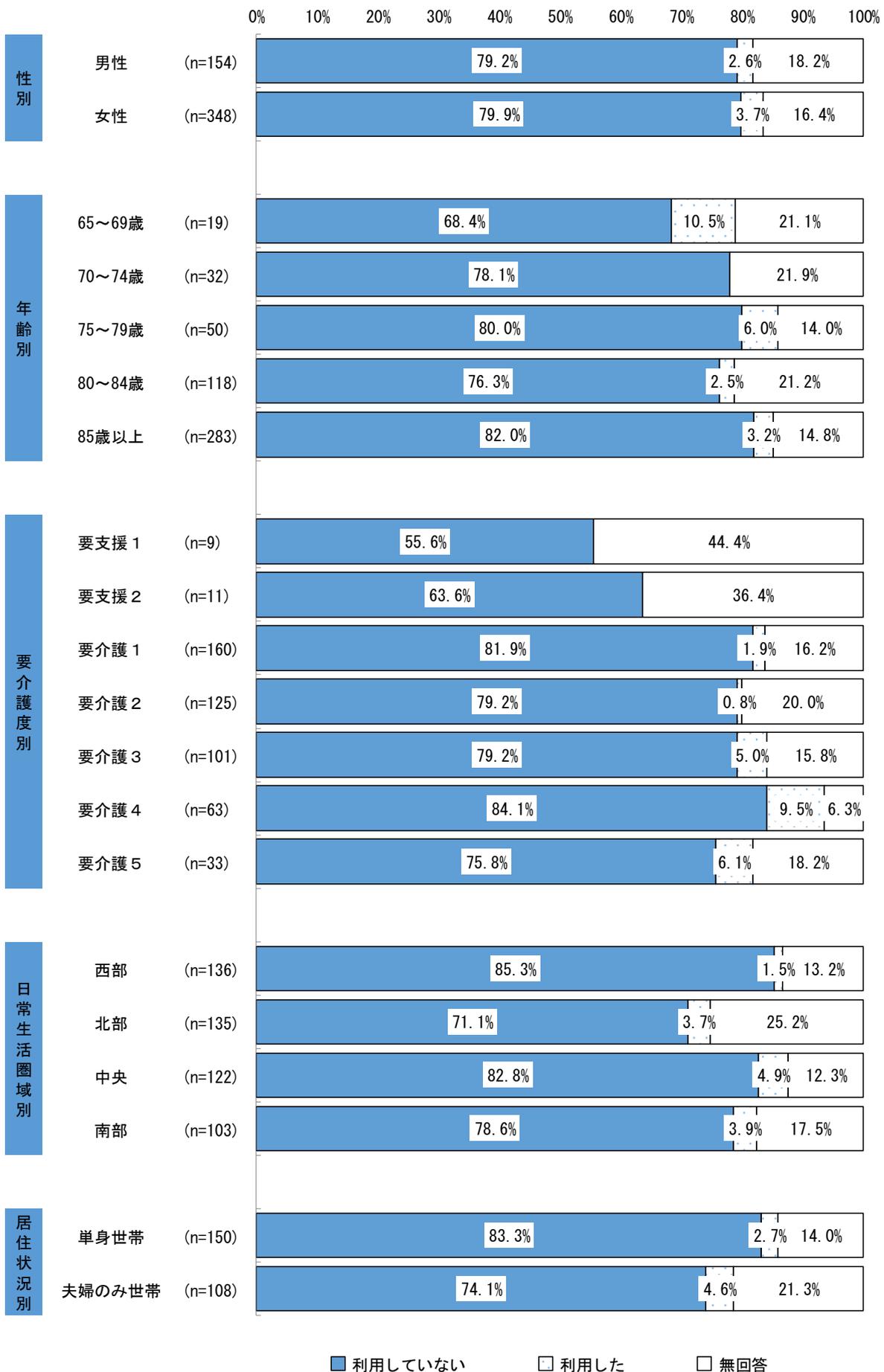



---

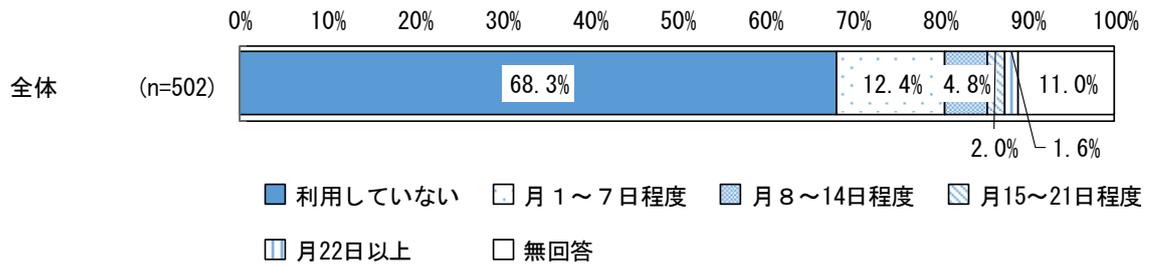
西部では「利用していない」と答えた人がおよそ90%

---

看護小規模多機能型居宅介護においては、「利用していない」が79.7%、「利用した」が3.4%となっています。

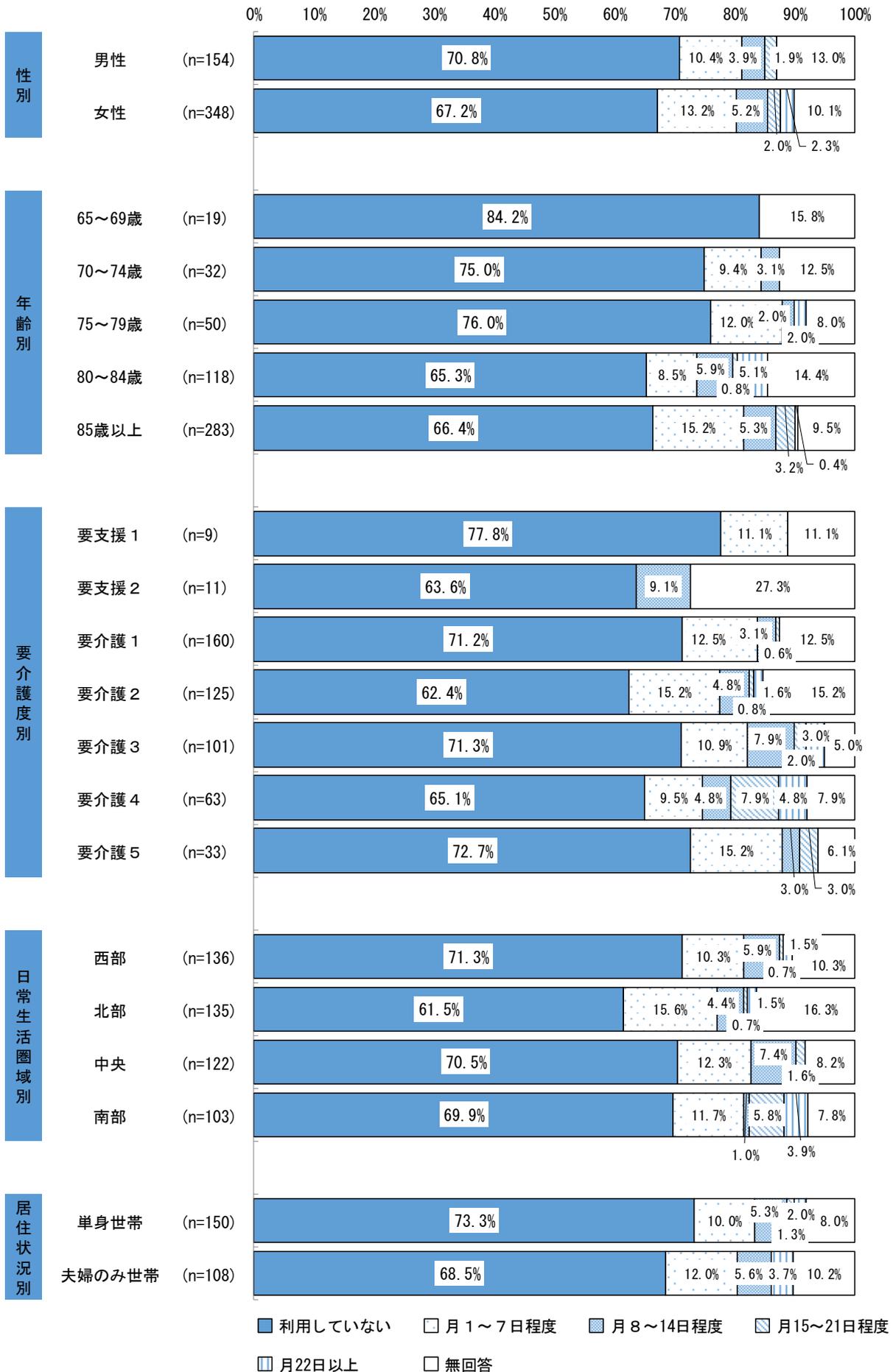


**K. ショートステイ**

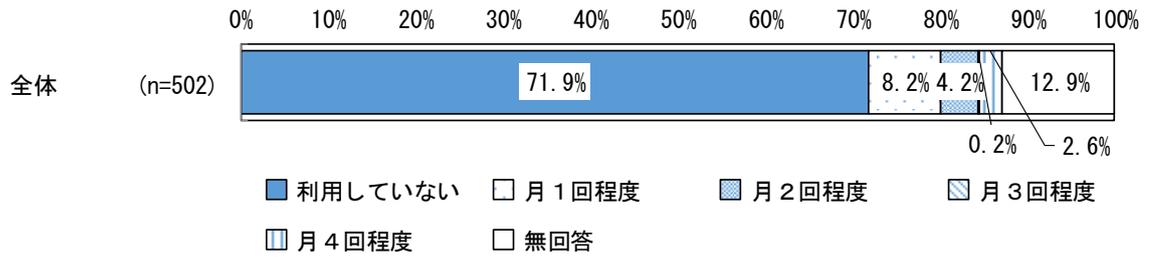


**「利用していない」と答えた人がおよそ70%  
65～69歳では「利用していない」と答えた人がおよそ80%**

ショートステイにおいては、「利用していない」が68.3%と最も多く、次いで「月1～7日程度」が12.4%、「月8～14日程度」が4.8%となっています。



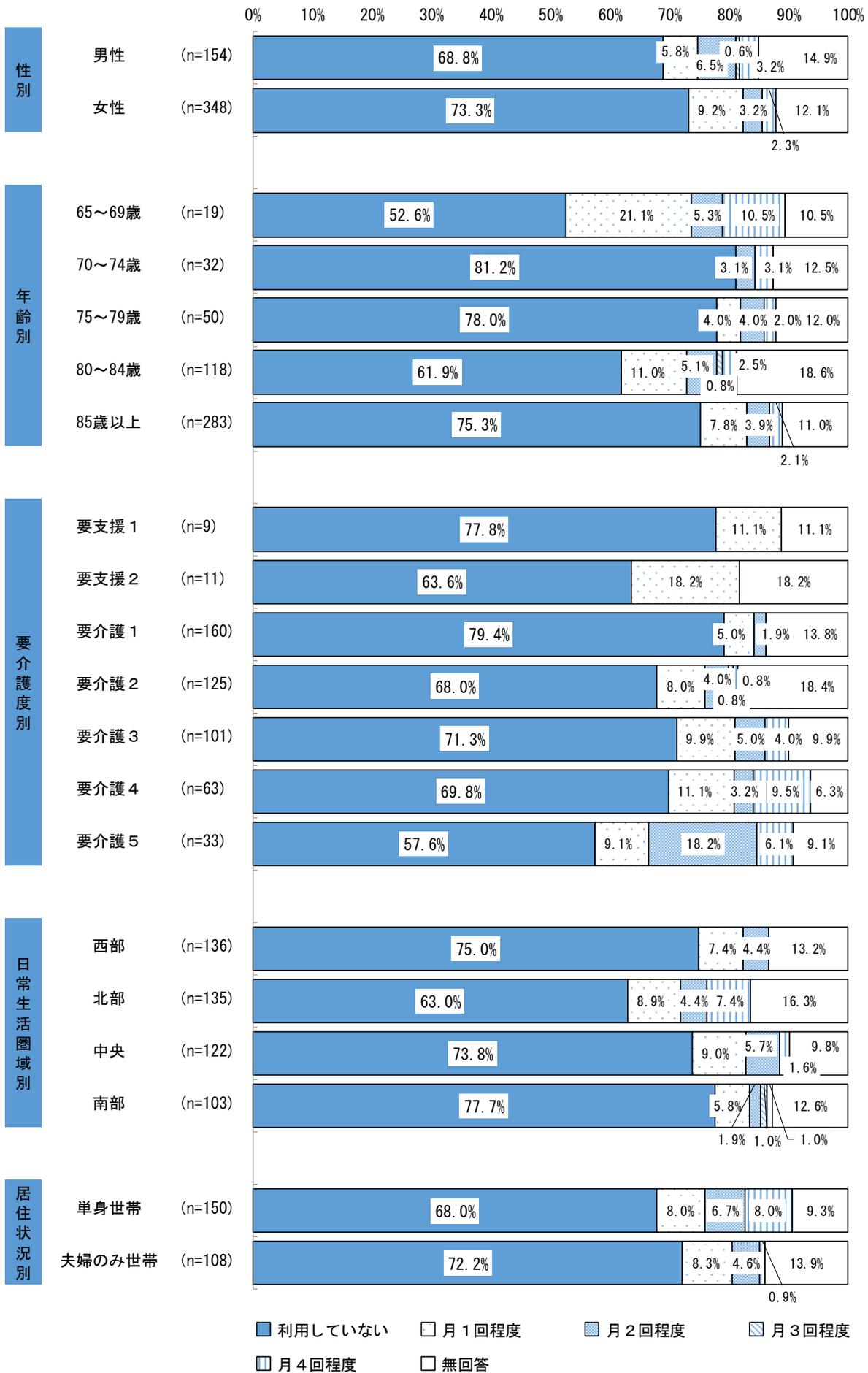
**L. 居宅療養管理指導**



「利用していない」と答えた人がおよそ70%

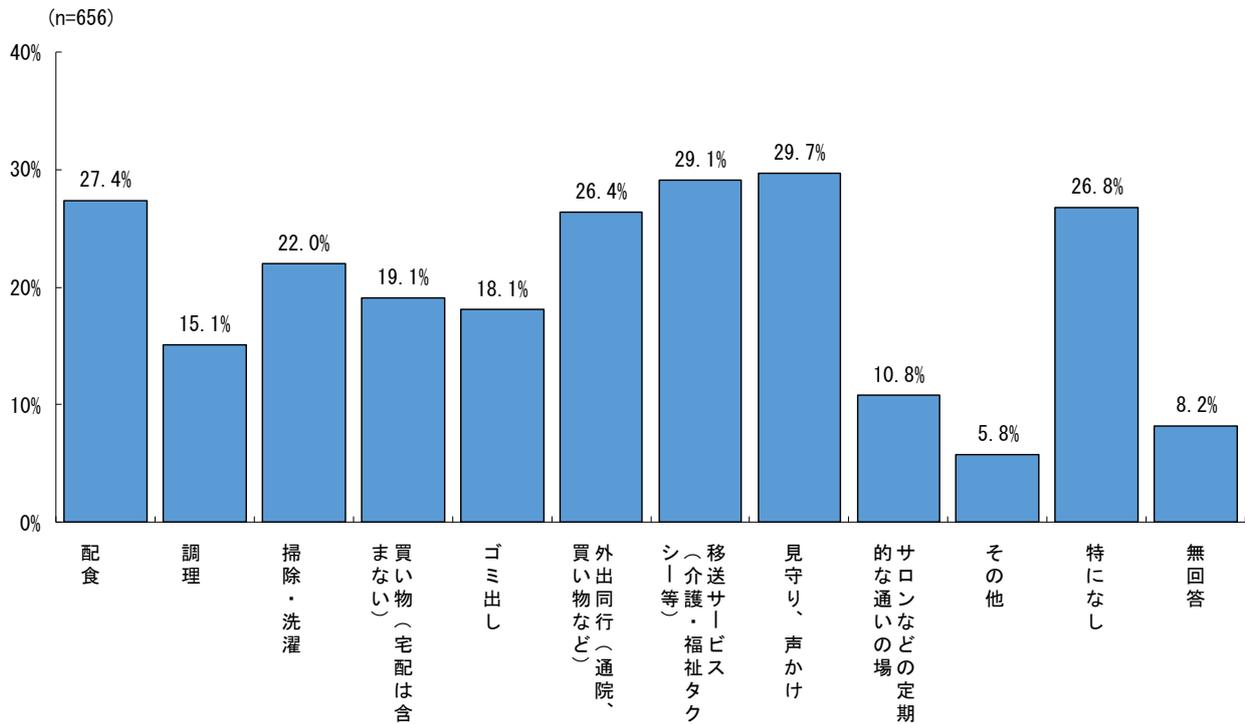
65～69歳では他の年代より「利用していない」と答えた人が少ない

居宅療養管理指導においては、「利用していない」が71.9%と最も多く、次いで「月1回程度」が8.2%、「月2回程度」が4.2%となっています。



(3) 在宅生活について

問 12 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（✓はいくつでも）



**要支援1では「外出同行（通院、買い物など）」と答えた人がおよそ40%  
単身世帯では「配食」と答えた人がおよそ40%**

今後、在宅生活で必要と感じる支援・サービスにおいては、「見守り、声かけ」が29.7%と最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が29.1%、「配食」が27.4%となっています。

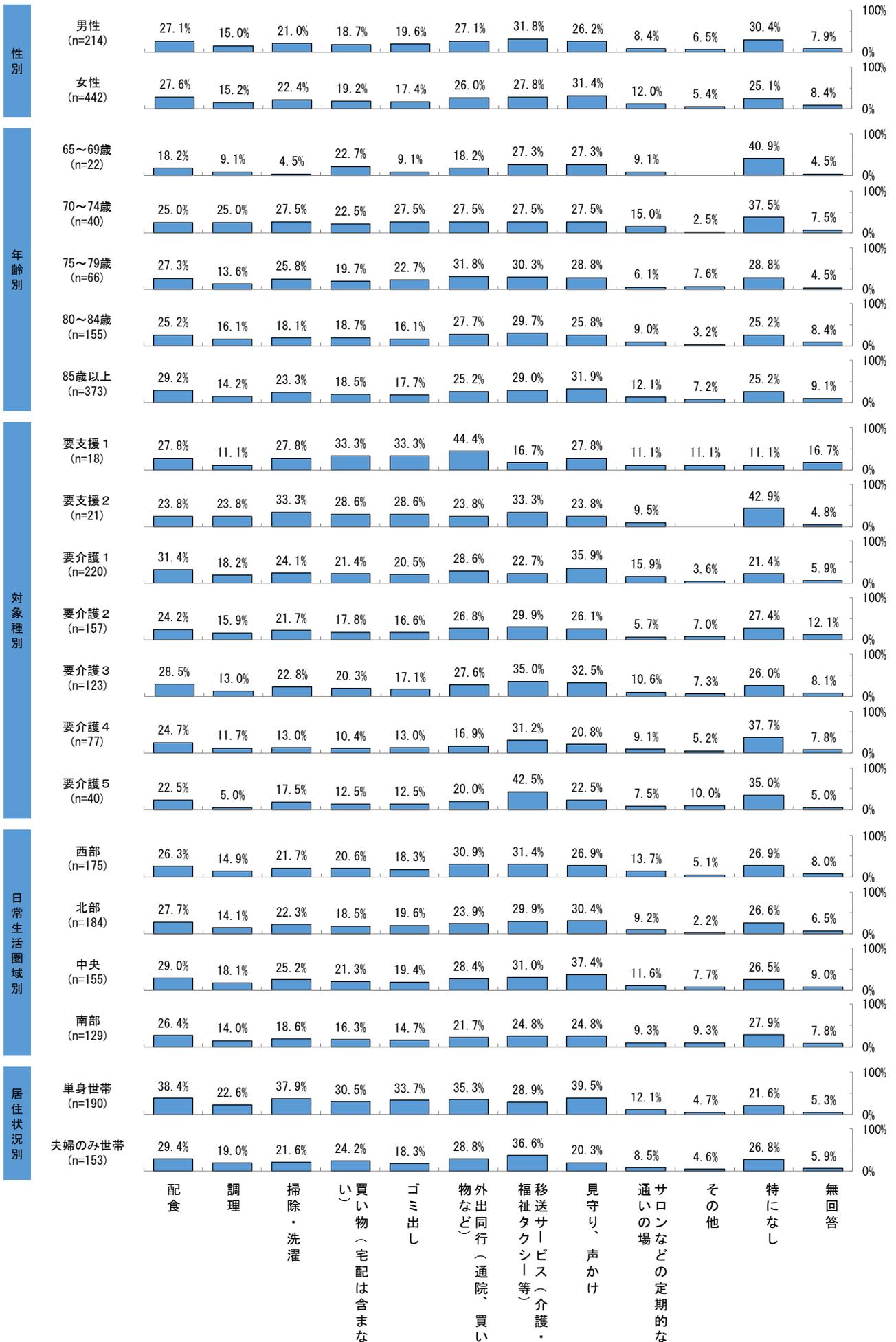
性別にみると、“男性”では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が31.8%と最も多くなっています。

年齢別にみると、“65～69歳”、“80～84歳”では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が最も多くなっています。また、“75～79歳”では「外出同行（通院、買い物など）」が31.8%と最も多くなっています。

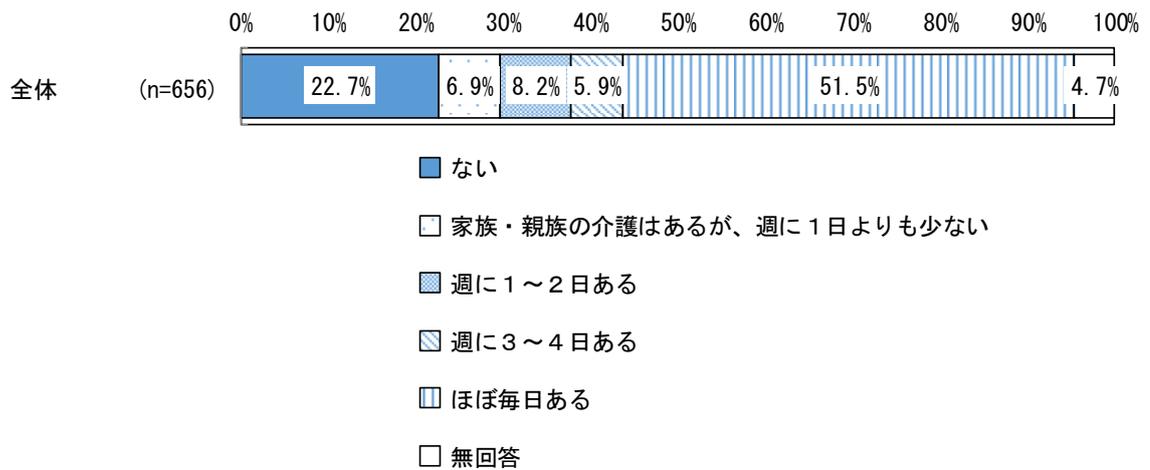
要介護度別にみると、“要支援1”では「外出同行（通院、買い物など）」が44.4%と最も多くなっています。また、“要介護2”、“要介護3”、“要介護4”、“要介護5”では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が最も多くなっています。

日常生活圏域別にみると、“西部”では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が31.4%と最も多くなっています。また、“南部”では「配食」が26.4%と最も多くなっています。

居住状況別にみると、“夫婦のみ世帯”では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が36.6%と最も多くなっています。



問 13 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。  
 (同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (✓はひとつ)




---

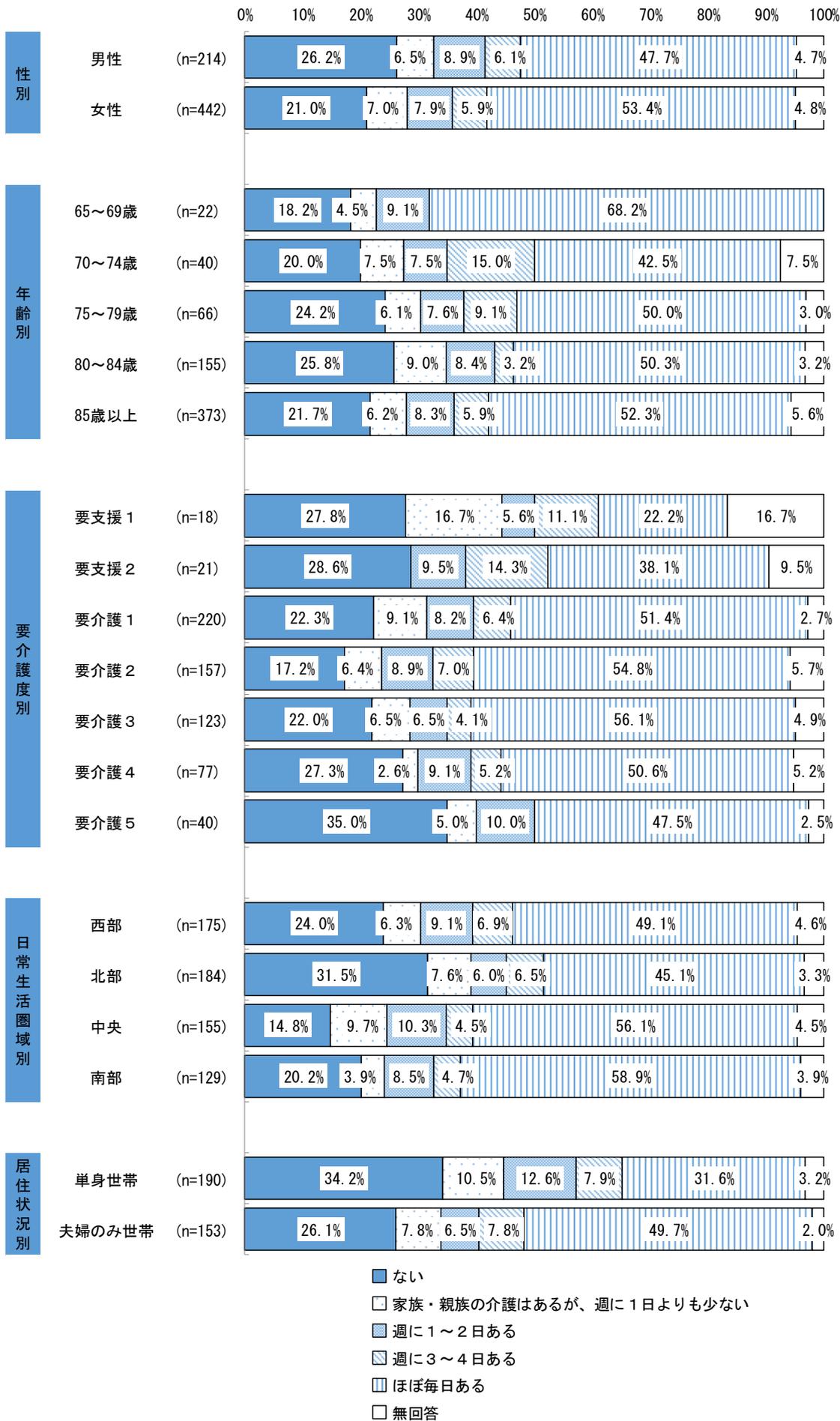
### 単身世帯では「ない」と答えた人がおよそ30%

---

家族・親族からの介護日数においては、「ほぼ毎日ある」が51.5%と最も多く、次いで「ない」が22.7%、「週に1～2日ある」が8.2%となっています。

要介護度別にみると、“要支援1”では「ない」が27.8%と最も多くなっています。

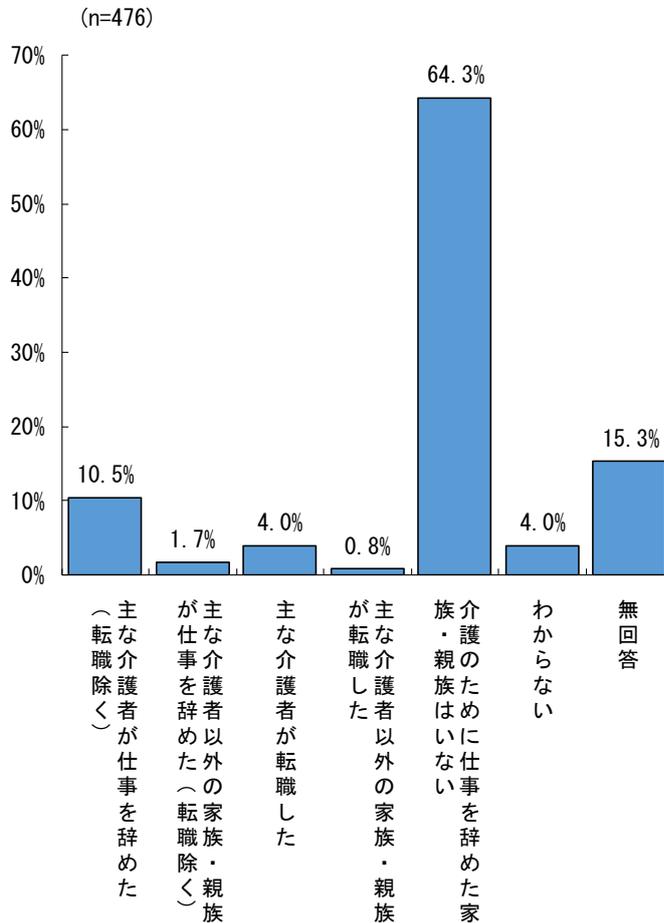
居住状況別にみると、“単身世帯”では「ない」が34.2%と最も多くなっています。



## B票 主な介護者の方について、お伺いします。

### (1) 主な介護者の状況について

問1 ご家族やご親族の中で、ご本人様（認定調査対象者様）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（✓はいいくつでも）

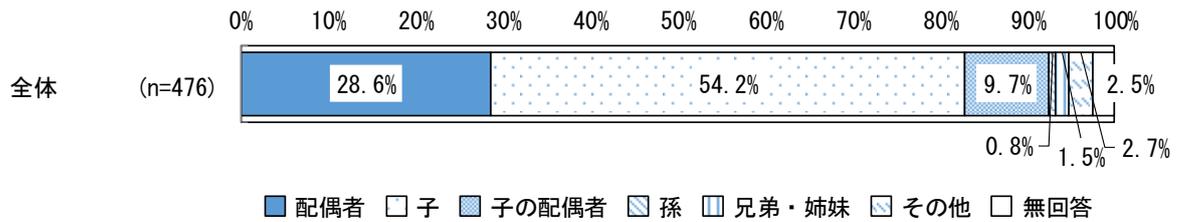


「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」と答えた人がおよそ10%  
 要支援2、要介護3では「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」  
 と答えた人がおよそ20%

介護を行っている家族・親族の就業状況においては、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が64.3%と最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が10.5%、「主な介護者が転職した」、「わからない」が4.0%となっています。



問2 主な介護者の方は、どなたですか。(✓はひとつ)



男性では「配偶者」と答えた人がおよそ60%  
女性では「子」と答えた人がおよそ60%

主な介護者においては、「子」が54.2%と最も多く、次いで「配偶者」が28.6%、「子の配偶者」が9.7%となっています。

性別にみると、“男性”では「配偶者」が57.4%と最も多くなっています。

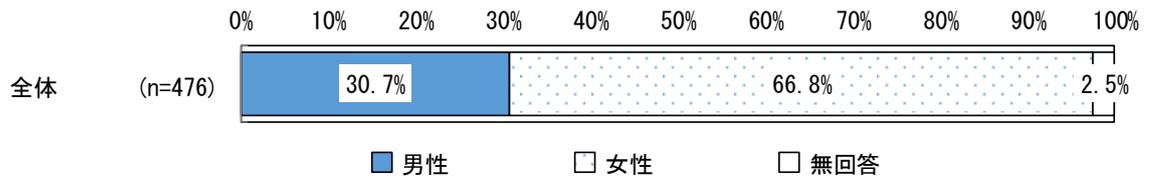
年齢別にみると、“65～69歳”、“75～79歳”、“80～84歳”では「配偶者」が最も多くなっています。

要介護度別にみると、“要支援2”では「配偶者」が69.2%と最も多くなっています。

居住状況別にみると、“夫婦のみ世帯”では「配偶者」が77.3%と最も多くなっています。



問3 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(✓はひとつ)

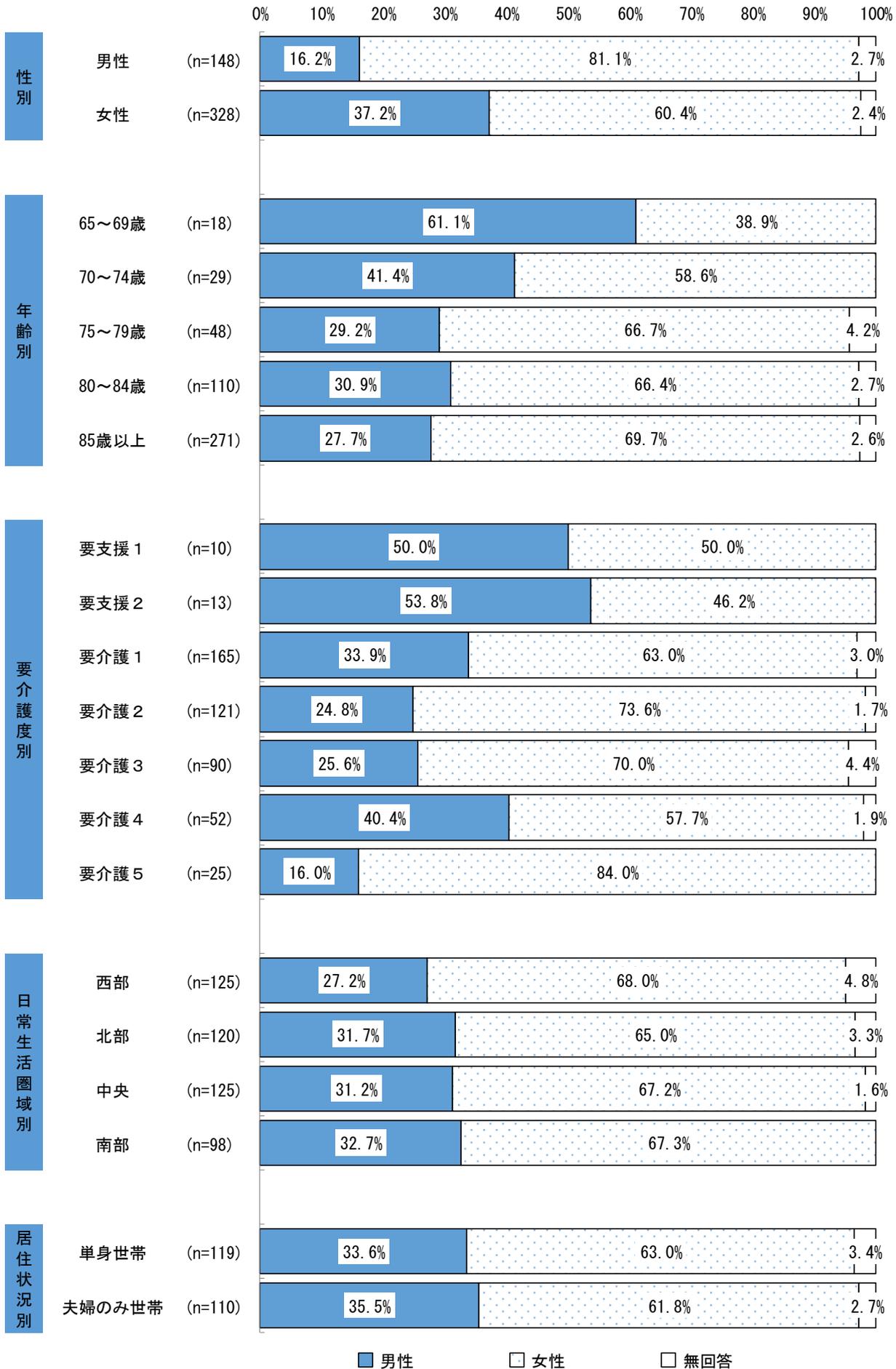


**男性では「女性」と答えた人がおよそ80%**  
**要介護5では「女性」と答えた人がおよそ80%**

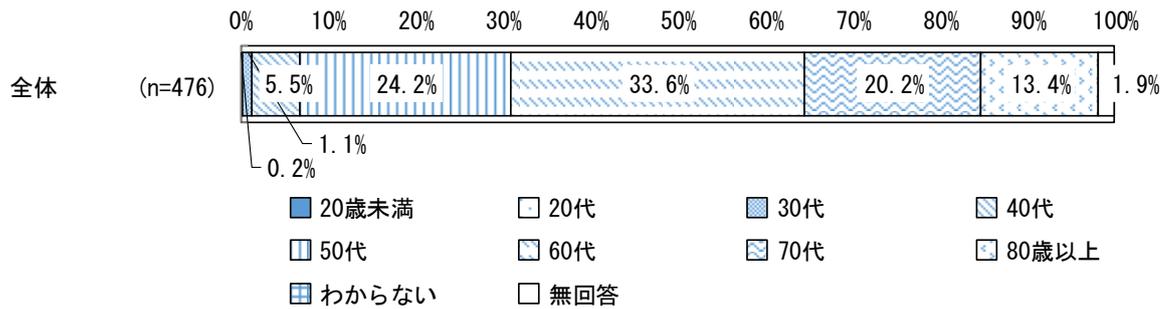
主な介護者の性別においては、「男性」が30.7%、「女性」が66.8%となっています。

年齢別にみると、“65～69歳”では「男性」が61.1%と最も多くなっています。

要介護度別にみると、“要支援1”、“要支援2”では「男性」が最も多くなっています。



問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(✓はひとつ)



**主な介護者の年齢は「60代」と答えた人がおよそ30%  
要支援2では「80歳以上」と答えた人がおよそ50%**

主な介護者の年齢においては、「60代」が33.6%と最も多く、次いで「50代」が24.2%、「70代」が20.2%となっています。

性別にみると、“男性”では「70代」が32.4%と最も多くなっています。

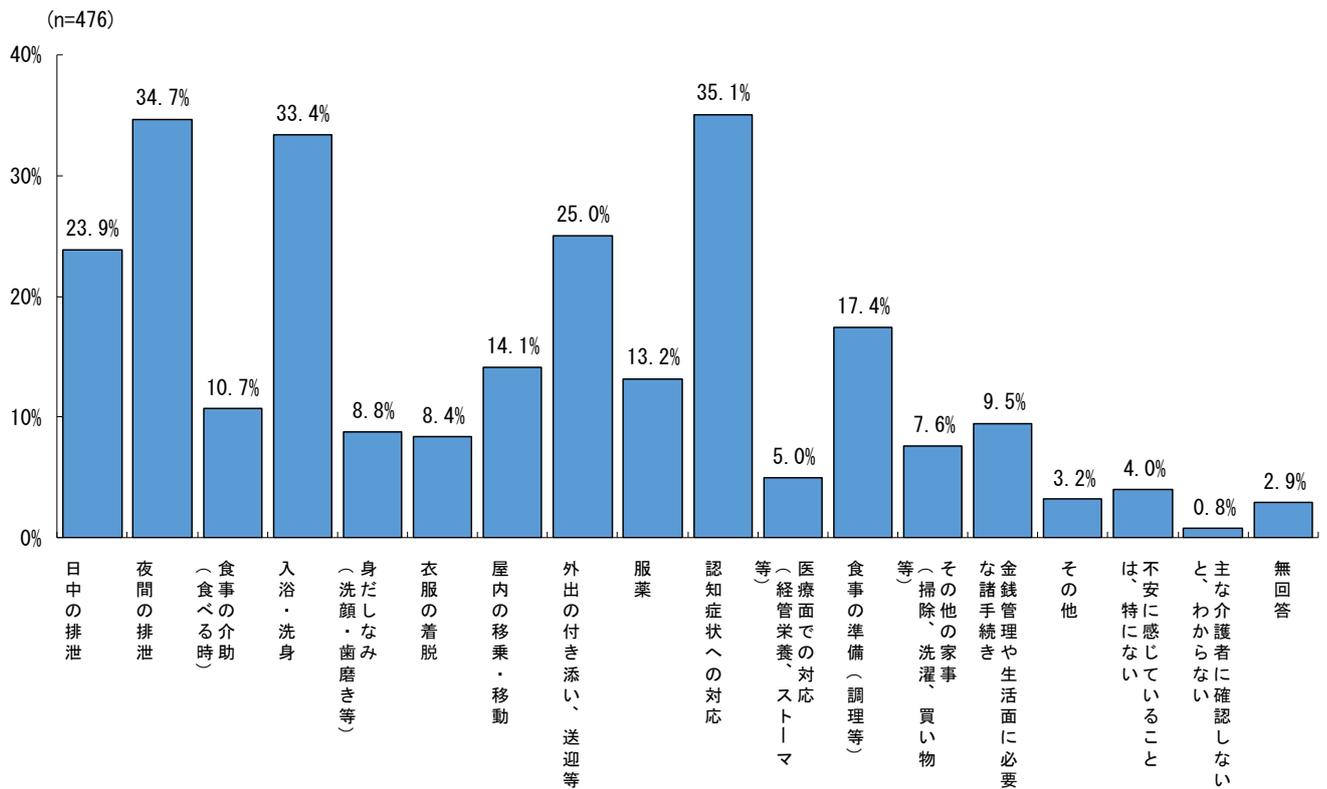
年齢別にみると、“65～69歳”、“75～79歳”では「70代」が最も多くなっています。また、“70～74歳”では「40代」が41.4%と最も多くなっています。“80～84歳”では「50代」が41.8%と最も多くなっています。

要介護度別にみると、“要支援2”では「80歳以上」が46.2%と最も多くなっています。また、“要介護5”では「50代」が36.0%と最も多くなっています。

居住状況別にみると、“夫婦のみ世帯”では「80歳以上」が34.5%と最も多くなっています。



問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。（現状で行っているか否かは問いません）（✓は3つまで）



全体では「認知症状への対応」と答えた人がおよそ40%  
「夜間の排泄」と答えた人がおよそ30%

主な介護者の方が不安に感じている介護等においては、「認知症状への対応」が35.1%と最も多く、次いで「夜間の排泄」が34.7%、「入浴・洗身」が33.4%となっています。

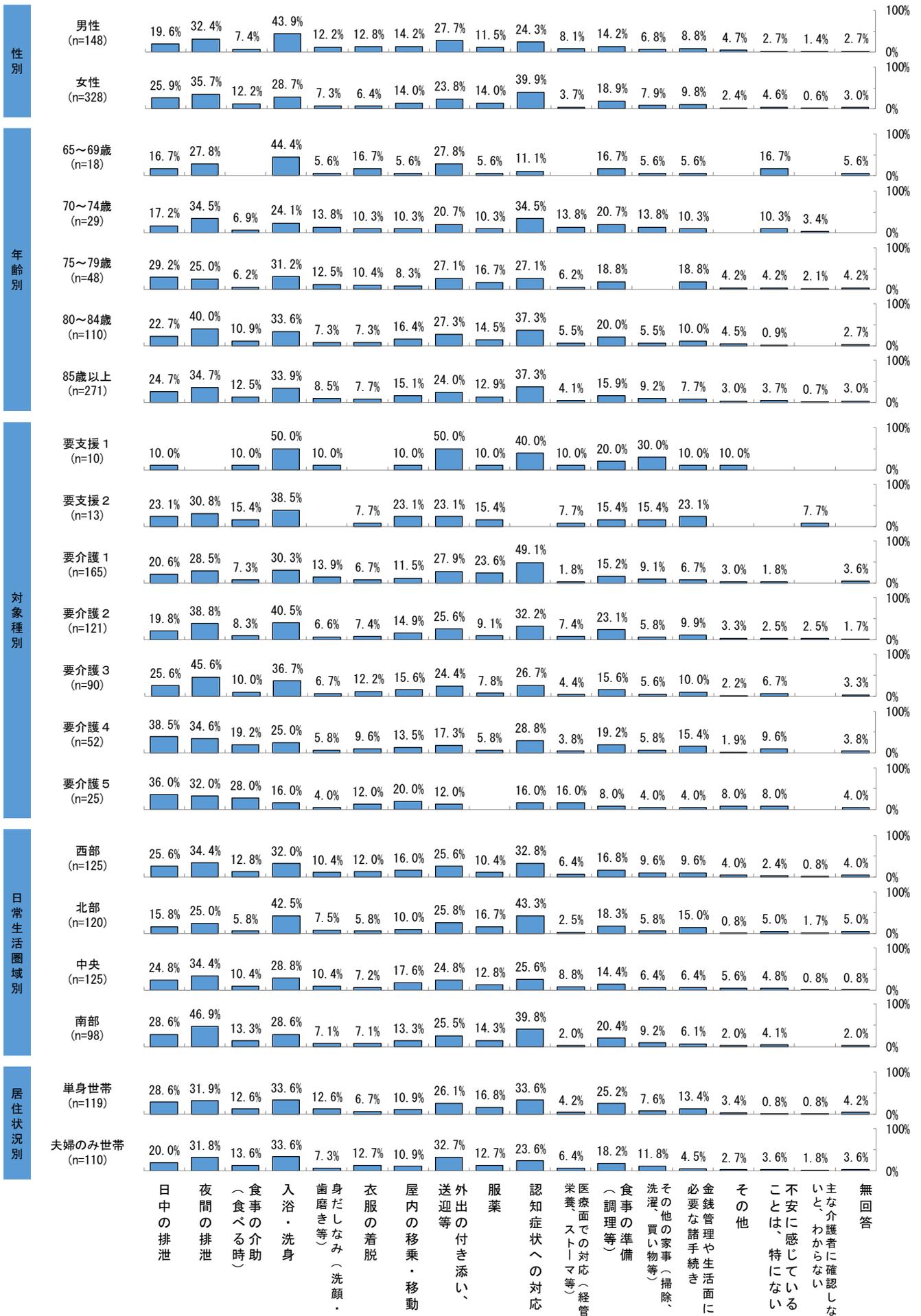
性別にみると、“男性”では「入浴・洗身」が43.9%と最も多くなっています。

年齢別にみると、“65～69歳”、“75～79歳”では「入浴・洗身」が最も多くなっています。また、“70～74歳”、“80～84歳”では「夜間の排泄」が最も多くなっています。

要介護度別にみると、“要支援1”、“要支援2”、“要介護2”では「入浴・洗身」が最も多くなっています。また、“要介護3”では「夜間の排泄」が45.6%と最も多くなっています。“要介護4”“要介護5”では「日中の排泄」が最も多くなっています。

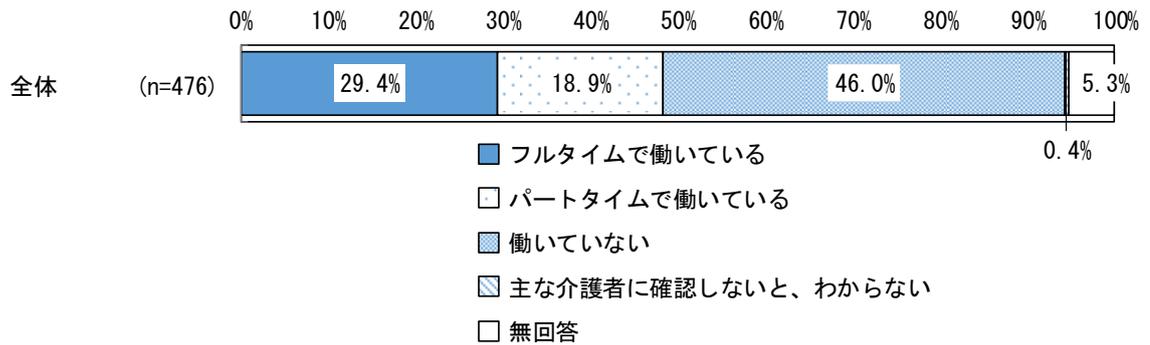
日常生活圏域別にみると、“西部”、“中央”、“南部”では「夜間の排泄」が最も多くなっています。

居住状況別にみると、“夫婦のみ世帯”では「入浴・洗身」が33.6%と最も多くなっています。



(2) 主な介護者の就労について

問6 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(✓はひとつ)

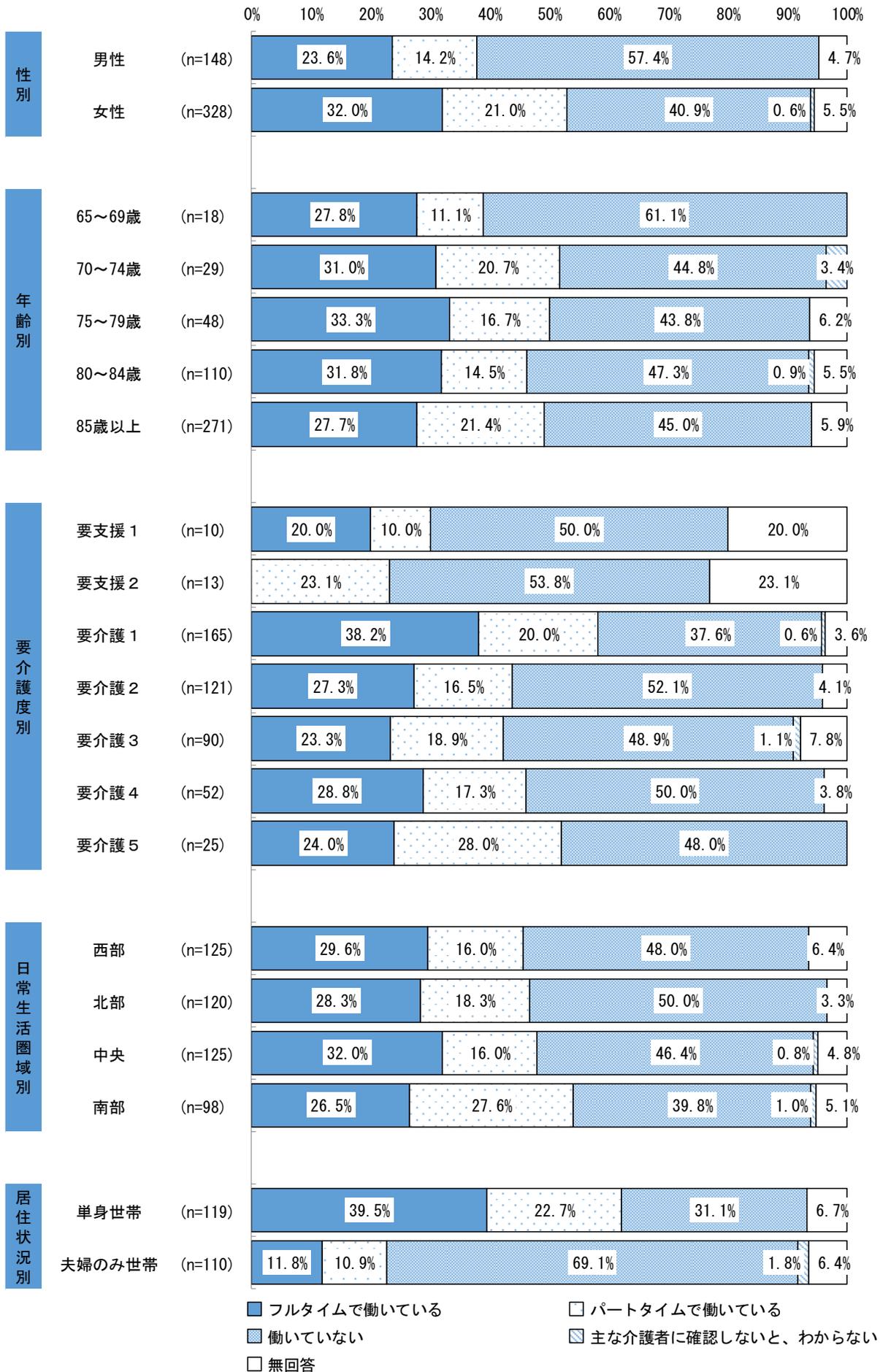


夫婦のみ世帯では「働いていない」と答えた人がおよそ70%

主な介護者の勤務形態においては、「働いていない」が46.0%と最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が29.4%、「パートタイムで働いている」が18.9%となっています。

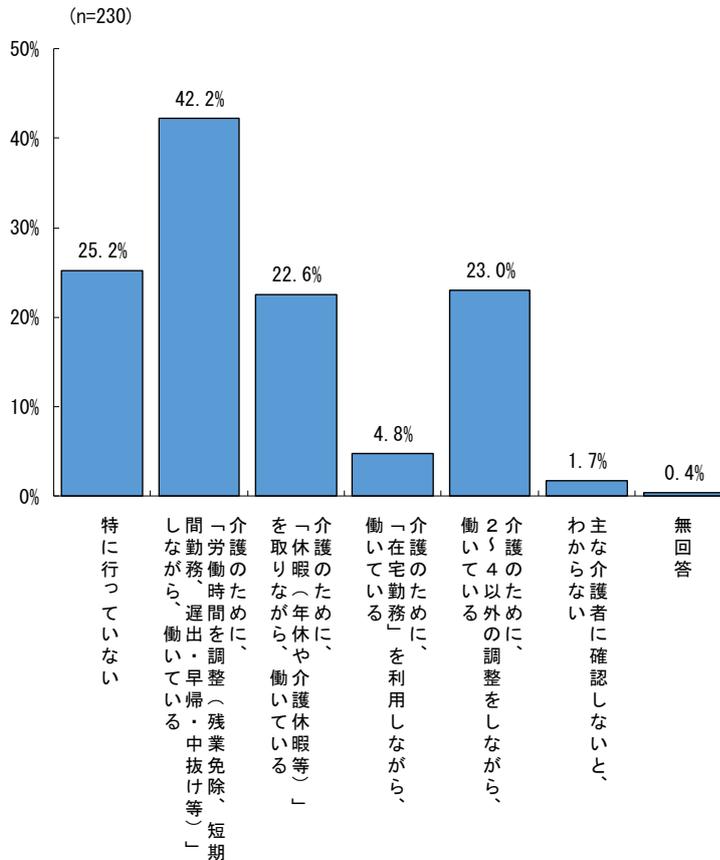
要介護度別にみると、“要介護1”では「フルタイムで働いている」が38.2%と最も多くなっている。

居住状況別にみると、“単身世帯”では「フルタイムで働いている」が39.5%と最も多くなっています。



問7 問6で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。

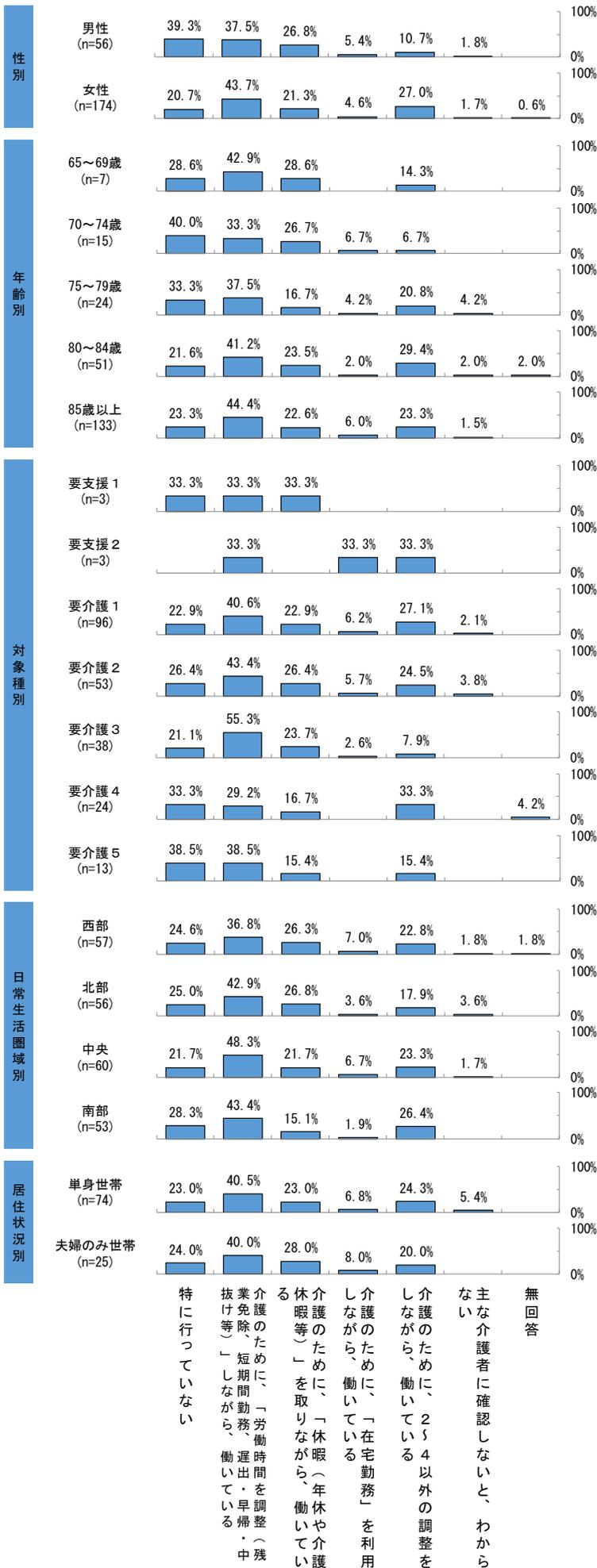
主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(✓はいくつでも)



「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短期間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」と答えた人がおよそ40%

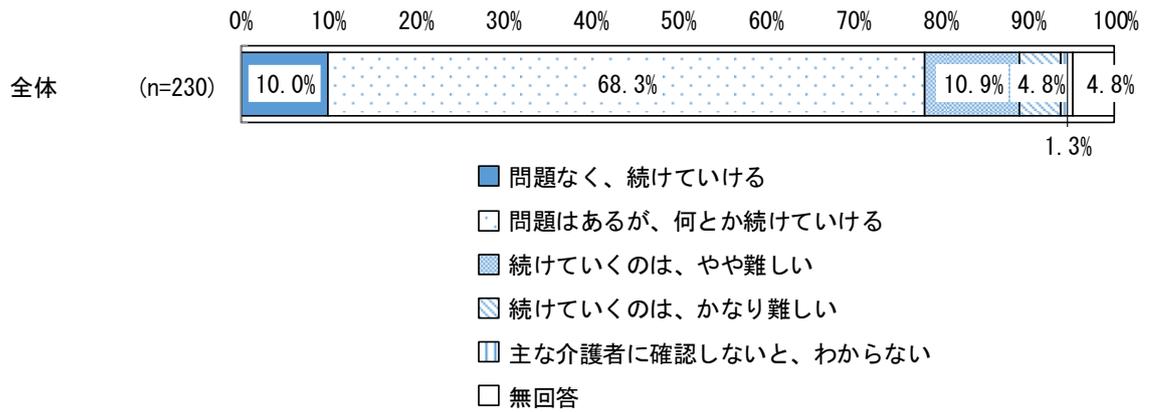
主な介護者が介護するために働き方を調整しているかにおいては、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短期間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が42.2%と最も多く、次いで「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」が23.0%となっています。また、「特に行っていない」は25.2%となっています。

要介護度別にみると、「要介護4」では「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」が33.3%と最も多くなっています。



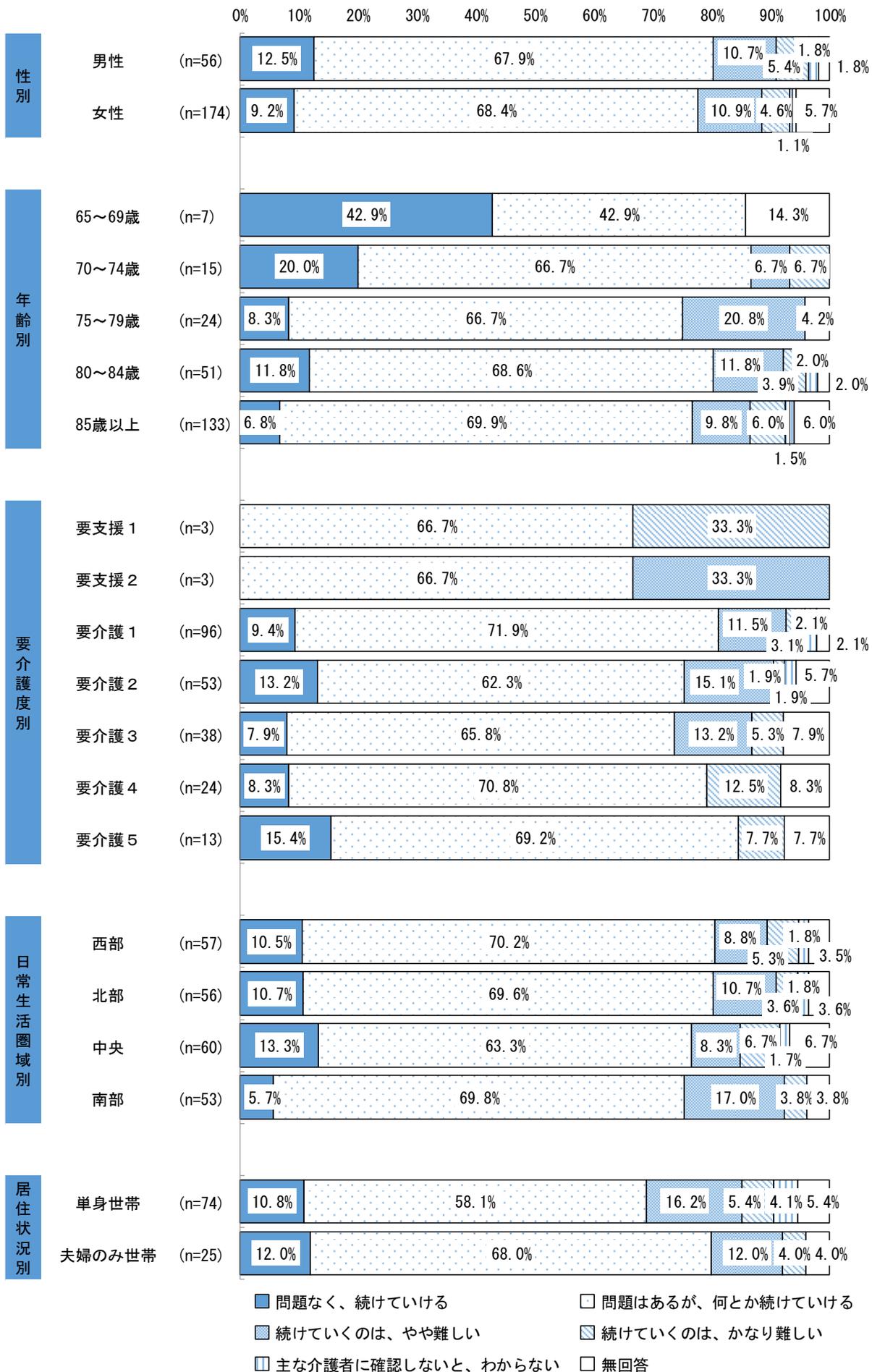
問8 問6で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(✓はひとつ)



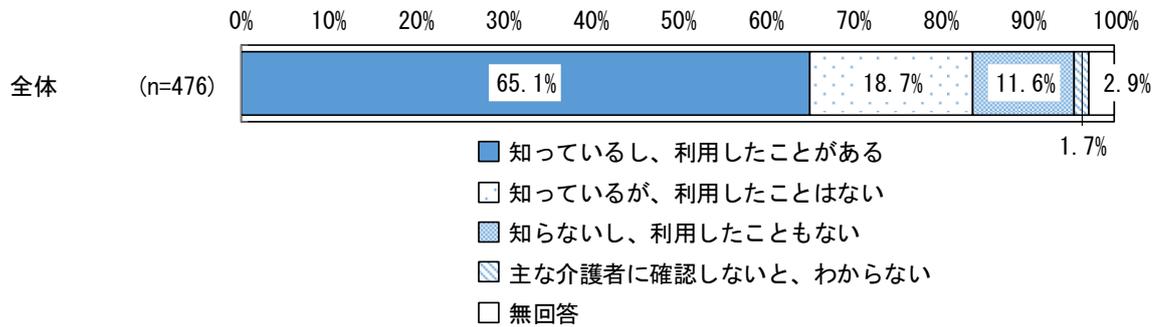
### 「問題はあるが、何とか続けていける」と答えた人がおよそ70%

主な介護者が今後も働きながら介護が続けられるかにおいては、「問題はあるが、何とか続けていける」が68.3%と最も多く、次いで「続けていくのは、やや難しい」が10.9%、「問題なく、続けていける」が10.0%となっています。



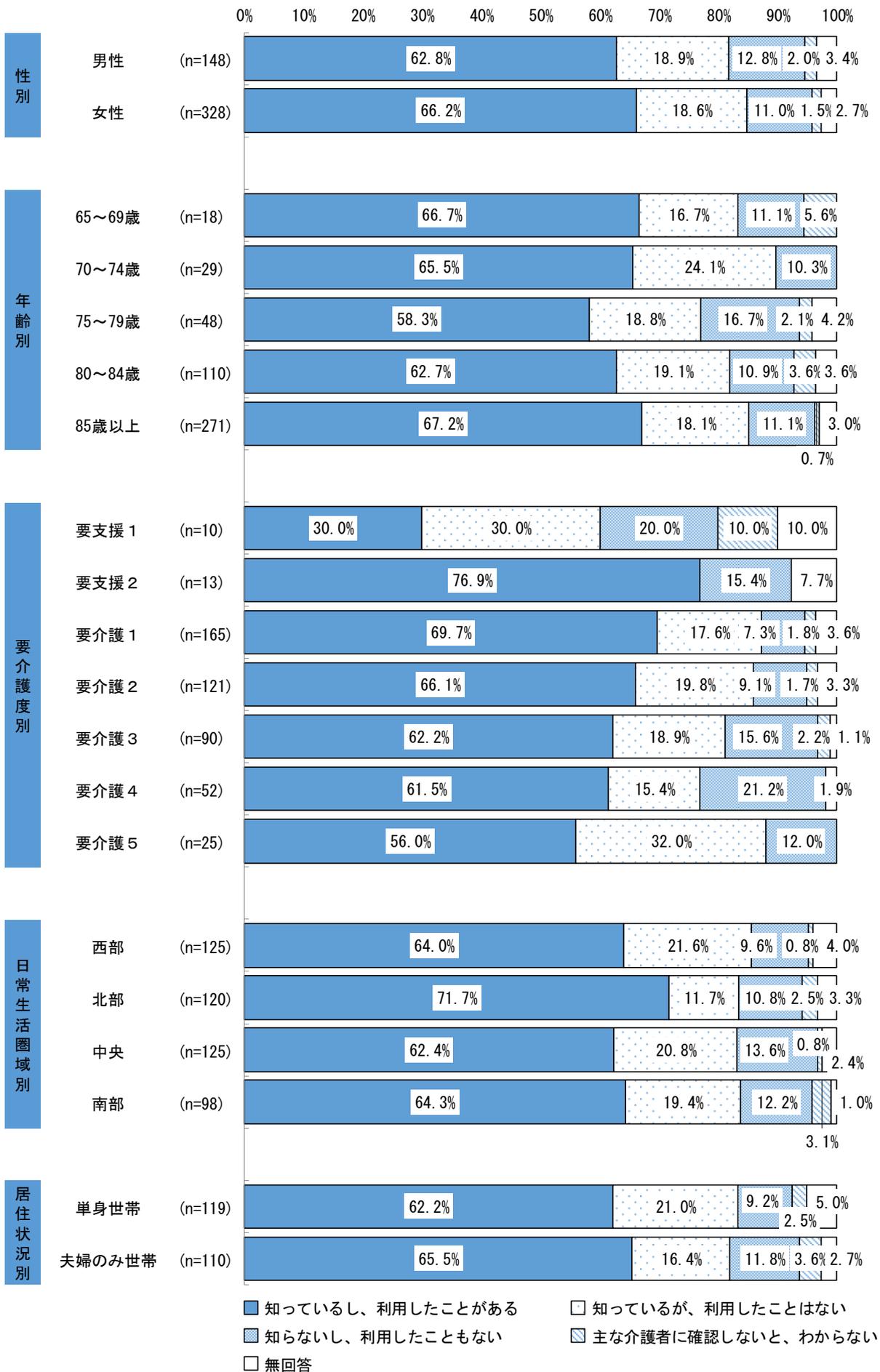
(3) 支援について

問9 地域包括支援センターが、高齢者の生活全般の相談ができる場所であることを知っていますか。また、利用したことはありますか。(✓はひとつ)



「知っているし、利用したことがある」と答えた人がおよそ70%  
 要支援1では「知っているし、利用したことがある」と答えた人が30%

地域包括支援センターの役割を知っているか、また利用したことがあるかにおいては、「知っているし、利用したことがある」が65.1%と最も多く、次いで「知っているが、利用したことはない」が18.7%、「知らないし、利用したこともない」が11.6%となっています。



令和7年度  
沼津市高齢者の生活と意識に関する調査  
報告書

令和8年3月

発行／沼津市  
企画・編集／長寿福祉課

〒410-8601

沼津市御幸町16-1

電話 055-934-4834